



Information-technology  
Promotion  
Agency, Japan

2018年度  
情報セキュリティの脅威に対する意識調査  
－ 調査報告書 －

2018年12月

独立行政法人 情報処理推進機構

# 目次

1.調査概要	p 2～3
2.回答者属性	p 4～6
3.調査結果概要	p 7～15
4.調査結果詳細【パソコン調査】	p 16
4-1.インターネットサービスの利用状況	p 17～29
4-2.インターネット利用時の脅威や被害	p 30～46
4-3.アカウントの管理方法	p 47～57
4-4.セキュリティ対策の実施状況	p 58～66
4-5.インターネットバンキング利用時のセキュリティ対策	p 67～71
4-6.情報セキュリティに関する情報収集	p 72～73
5.調査結果詳細【スマートデバイス調査】	p 74
5-1.インターネットサービスの利用状況	p 75～91
5-2.インターネット利用時の脅威や被害	p 92～108
5-3.アカウントの管理方法	p 109～119
5-4.セキュリティ対策の実施状況	p 120～123
5-5.スマートデバイスの利用状況	p 124～126
5-6.情報セキュリティに関する情報収集	p 127～128
6.Appendix: インターネット依存度について	p 129～146

# 1.調査概要

---

# 1.調査概要

調査目的	<p>本調査は、過去に当機構が実施した「情報セキュリティの脅威に対する意識調査」を継承し、インターネット利用者を対象としたアンケート調査を実施することで、パソコンおよびスマートデバイスの個人利用者が、情報セキュリティ関連の脅威に対する認識をどの程度深めているか、どの程度対策を進めているか等を把握し、今後の普及啓発活動に役立てることを目的とする。</p>																																																																																																																																																								
調査対象者	<p>【対象者条件】          全国13歳以上の、①パソコンでのインターネット利用者ならびに②スマートデバイス(スマートフォンまたはタブレット端末)でのインターネット利用者。それぞれの利用者の性別・年代別構成をもとに割り付けて回収(下表参照)。          【納品サンプル数および割付】          ①パソコンでの情報セキュリティの脅威に対する意識調査(以下「パソコン調査」) 5,000サンプル          ②スマートデバイスでの情報セキュリティの脅威に対する意識調査(以下「スマートデバイス調査」) 5,000サンプル          ※①②の振り分けにあたっては、事前調査にて、①は「インターネットはパソコンのみで行う」または「インターネットの利用時間がスマートデバイスよりパソコンの方が長い」回答者を、②は「インターネットはスマートデバイスのみで行う」または「インターネットの利用時間がパソコンよりスマートデバイスの方が長い」回答者を抽出。</p> <table border="1" data-bbox="478 592 1110 961"> <caption>①パソコン調査</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男性</th> <th colspan="2">女性</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13-14歳</td> <td>52</td> <td>1.0%</td> <td>38</td> <td>0.8%</td> <td>90</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>15-19歳</td> <td>118</td> <td>2.4%</td> <td>136</td> <td>2.7%</td> <td>254</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>20-29歳</td> <td>303</td> <td>6.1%</td> <td>275</td> <td>5.5%</td> <td>578</td> <td>11.6%</td> </tr> <tr> <td>30-39歳</td> <td>377</td> <td>7.5%</td> <td>366</td> <td>7.3%</td> <td>743</td> <td>14.9%</td> </tr> <tr> <td>40-49歳</td> <td>541</td> <td>10.8%</td> <td>472</td> <td>9.4%</td> <td>1,013</td> <td>20.3%</td> </tr> <tr> <td>50-59歳</td> <td>547</td> <td>10.9%</td> <td>449</td> <td>9.0%</td> <td>996</td> <td>19.9%</td> </tr> <tr> <td>60-69歳</td> <td>568</td> <td>11.4%</td> <td>327</td> <td>6.5%</td> <td>895</td> <td>17.9%</td> </tr> <tr> <td>70歳以上</td> <td>308</td> <td>6.2%</td> <td>123</td> <td>2.5%</td> <td>431</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,814</td> <td>56.3%</td> <td>2,186</td> <td>43.7%</td> <td>5,000</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1178 592 1810 961"> <caption>②スマートデバイス調査</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男性</th> <th colspan="2">女性</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> <th>n数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13-14歳</td> <td>38</td> <td>0.8%</td> <td>42</td> <td>0.8%</td> <td>80</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>15-19歳</td> <td>169</td> <td>3.4%</td> <td>182</td> <td>3.6%</td> <td>351</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>20-29歳</td> <td>354</td> <td>7.1%</td> <td>358</td> <td>7.2%</td> <td>712</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>30-39歳</td> <td>452</td> <td>9.0%</td> <td>497</td> <td>9.9%</td> <td>949</td> <td>19.0%</td> </tr> <tr> <td>40-49歳</td> <td>554</td> <td>11.1%</td> <td>573</td> <td>11.5%</td> <td>1,127</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>50-59歳</td> <td>428</td> <td>8.6%</td> <td>487</td> <td>9.7%</td> <td>915</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>60-69歳</td> <td>326</td> <td>6.5%</td> <td>334</td> <td>6.7%</td> <td>660</td> <td>13.2%</td> </tr> <tr> <td>70歳以上</td> <td>116</td> <td>2.3%</td> <td>90</td> <td>1.8%</td> <td>206</td> <td>4.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,437</td> <td>48.7%</td> <td>2,563</td> <td>51.3%</td> <td>5,000</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		男性		女性		合計		n数	%	n数	%	n数	%	13-14歳	52	1.0%	38	0.8%	90	1.8%	15-19歳	118	2.4%	136	2.7%	254	5.1%	20-29歳	303	6.1%	275	5.5%	578	11.6%	30-39歳	377	7.5%	366	7.3%	743	14.9%	40-49歳	541	10.8%	472	9.4%	1,013	20.3%	50-59歳	547	10.9%	449	9.0%	996	19.9%	60-69歳	568	11.4%	327	6.5%	895	17.9%	70歳以上	308	6.2%	123	2.5%	431	8.6%	合計	2,814	56.3%	2,186	43.7%	5,000	100.0%		男性		女性		合計		n数	%	n数	%	n数	%	13-14歳	38	0.8%	42	0.8%	80	1.6%	15-19歳	169	3.4%	182	3.6%	351	7.0%	20-29歳	354	7.1%	358	7.2%	712	14.2%	30-39歳	452	9.0%	497	9.9%	949	19.0%	40-49歳	554	11.1%	573	11.5%	1,127	22.5%	50-59歳	428	8.6%	487	9.7%	915	18.3%	60-69歳	326	6.5%	334	6.7%	660	13.2%	70歳以上	116	2.3%	90	1.8%	206	4.1%	合計	2,437	48.7%	2,563	51.3%	5,000	100.0%
	男性		女性		合計																																																																																																																																																				
	n数	%	n数	%	n数	%																																																																																																																																																			
13-14歳	52	1.0%	38	0.8%	90	1.8%																																																																																																																																																			
15-19歳	118	2.4%	136	2.7%	254	5.1%																																																																																																																																																			
20-29歳	303	6.1%	275	5.5%	578	11.6%																																																																																																																																																			
30-39歳	377	7.5%	366	7.3%	743	14.9%																																																																																																																																																			
40-49歳	541	10.8%	472	9.4%	1,013	20.3%																																																																																																																																																			
50-59歳	547	10.9%	449	9.0%	996	19.9%																																																																																																																																																			
60-69歳	568	11.4%	327	6.5%	895	17.9%																																																																																																																																																			
70歳以上	308	6.2%	123	2.5%	431	8.6%																																																																																																																																																			
合計	2,814	56.3%	2,186	43.7%	5,000	100.0%																																																																																																																																																			
	男性		女性		合計																																																																																																																																																				
	n数	%	n数	%	n数	%																																																																																																																																																			
13-14歳	38	0.8%	42	0.8%	80	1.6%																																																																																																																																																			
15-19歳	169	3.4%	182	3.6%	351	7.0%																																																																																																																																																			
20-29歳	354	7.1%	358	7.2%	712	14.2%																																																																																																																																																			
30-39歳	452	9.0%	497	9.9%	949	19.0%																																																																																																																																																			
40-49歳	554	11.1%	573	11.5%	1,127	22.5%																																																																																																																																																			
50-59歳	428	8.6%	487	9.7%	915	18.3%																																																																																																																																																			
60-69歳	326	6.5%	334	6.7%	660	13.2%																																																																																																																																																			
70歳以上	116	2.3%	90	1.8%	206	4.1%																																																																																																																																																			
合計	2,437	48.7%	2,563	51.3%	5,000	100.0%																																																																																																																																																			
調査手法	インターネット調査																																																																																																																																																								
調査時期	2018年9月27日(木)～2018年10月10日(火)																																																																																																																																																								
調査実施会社	楽天インサイト株式会社																																																																																																																																																								
調査結果の見方	<ul style="list-style-type: none"> <li>• nは回答者数を表している。</li> <li>• 回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。</li> <li>• 設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。</li> <li>• nが30未満の数値は参考値とする。</li> </ul>																																																																																																																																																								

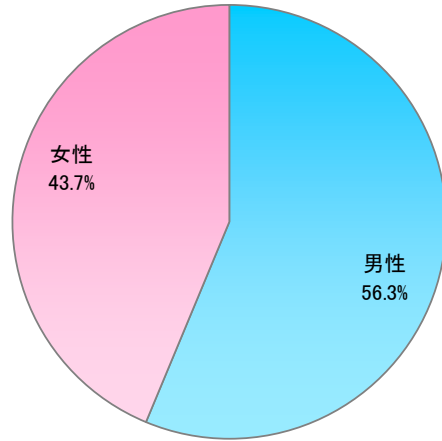
## 2.回答者属性

---

## 2.回答者属性【パソコン調査】

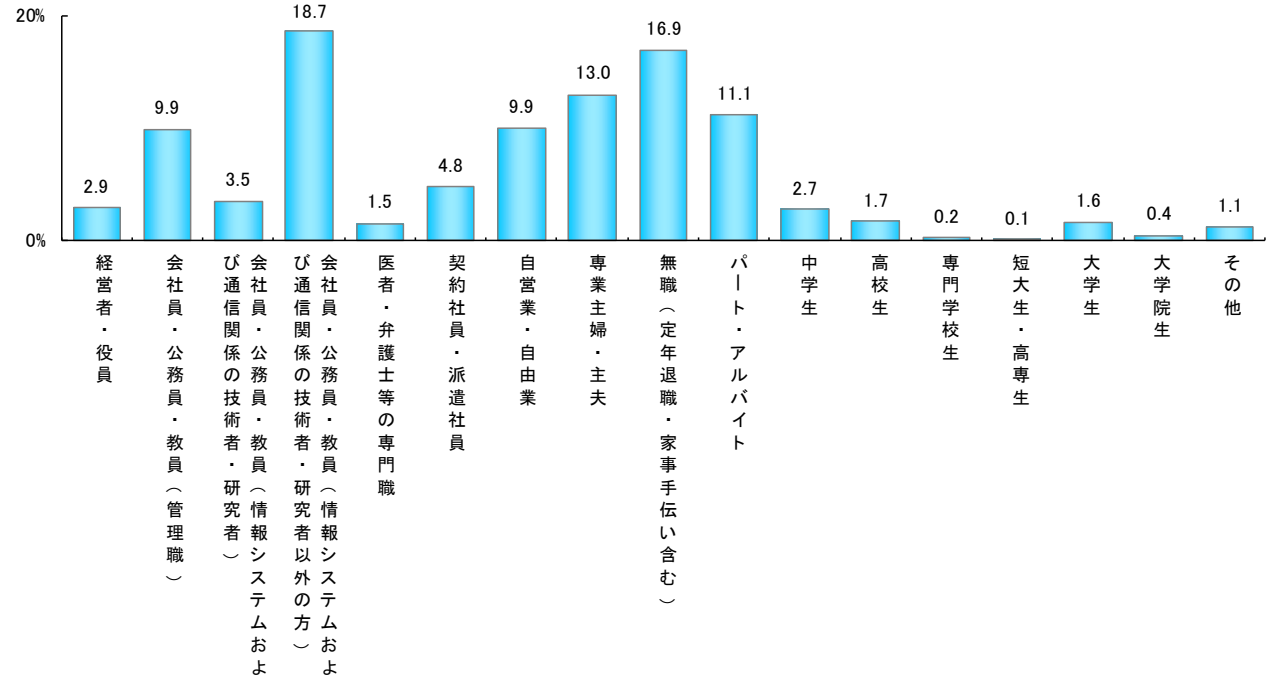
性別

(n=5000)



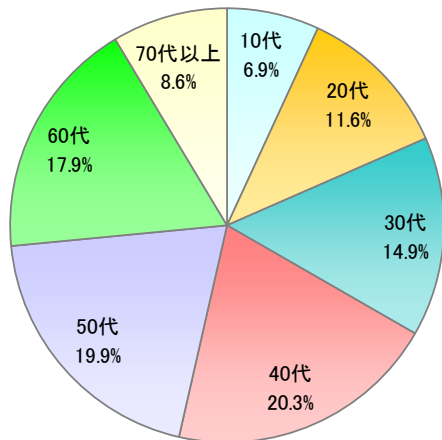
職業

(n=5000)



年代

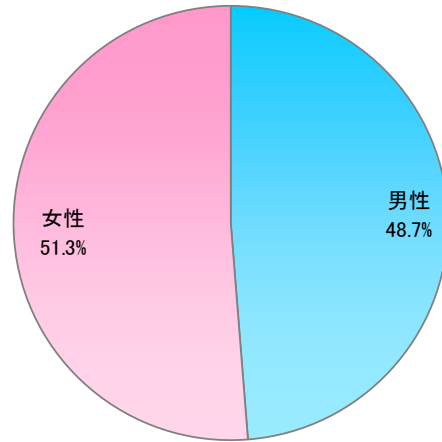
(n=5000)



## 2.回答者属性【スマートデバイス調査】

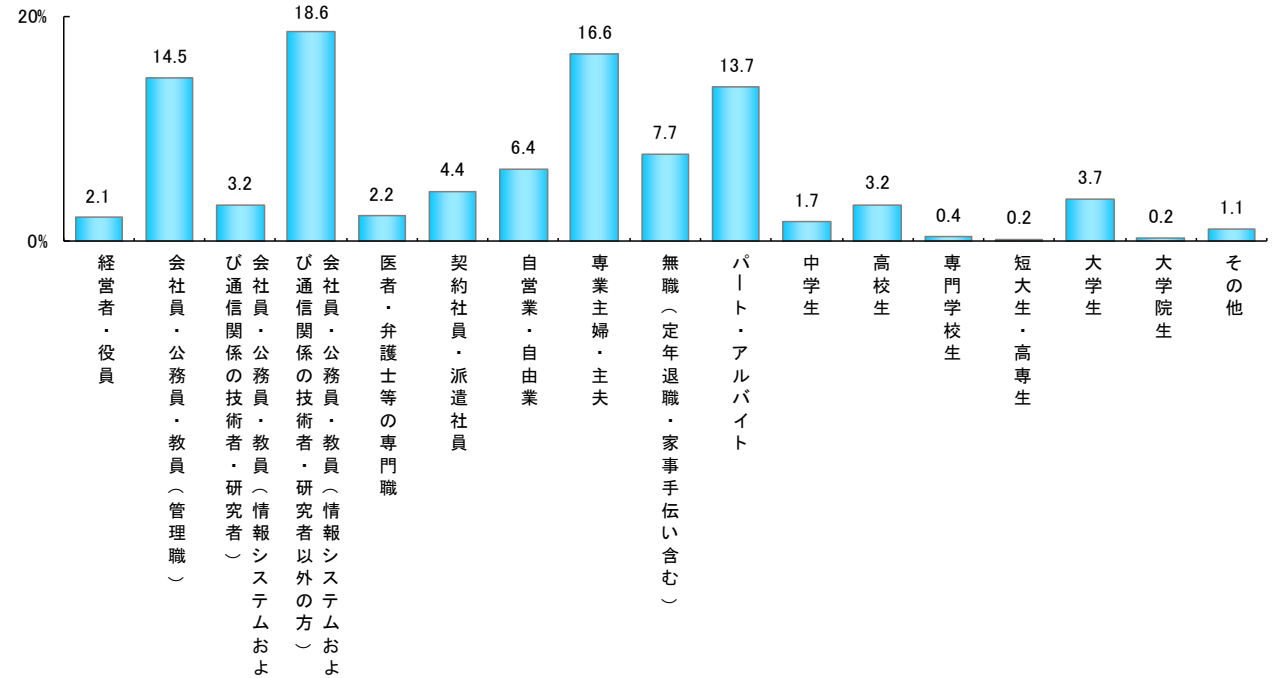
性別

(n=5000)



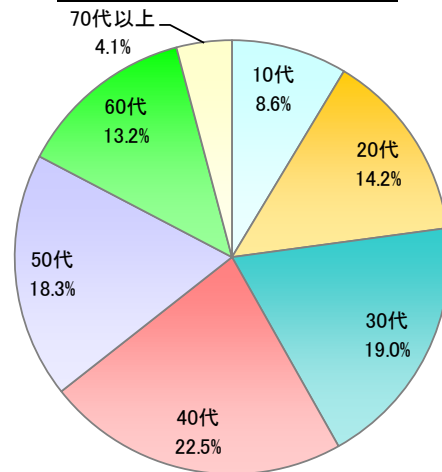
職業

(n=5000)



年代

(n=5000)



### 3. 調查結果概要

---



# 3.調査結果概要 (1)インターネットサービスの利用状況

インターネットは主に情報収集や買い物目的で利用されており、スマートデバイスでは「SNS」の利用も多い。パソコンは「Windows10」、スマートデバイスは「iOS」が利用OSの主流。

## ■ インターネット利用時のOSは、パソコンでは「Windows 10」、スマートデバイスでは「iOS」が主流。年々他OSとの差が開いている。

### パソコン利用者の使用機器のOS

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「Windows 10」(58.2%)である。次いで「Windows 7」(21.9%)、「Windows 8 / 8.1」(10.6%)、「Mac OS / Mac OS X」(4.3%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「Windows 10」が8.2ポイント増加。一方、「Windows 7」が5.3ポイント減少。

[【パソコン調査】使用機器のOS \(p.19\)](#)

### スマートデバイス利用者の使用機器のOS

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「iOS」(52.6%)である。次いで「Android」(40.5%)、「わからない」(3.4%)、「Windows」(3.2%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「Android」が3.2ポイント減少。

[【スマートデバイス調査】使用機器のOS \(p.77\)](#)

## ■ インターネットの利用用途の上位は「検索サイト・ポータルサイト」のほか、「インターネットショッピング」「ニュースサイト」など。スマートデバイス利用者の約6割は「SNS」を利用している。

### パソコン利用者のウェブサイト・インターネットサービスの利用用途

- ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(86.3%)である。次いで「インターネットショッピング」(75.0%)、「ニュースサイト」(65.7%)、「Webメール」(44.4%)と続く。

[【パソコン調査】ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途 \(p.27\)](#)

### スマートデバイス利用者のウェブサイト・インターネットサービスの利用用途

- ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(85.7%)である。次いで「インターネットショッピング」(71.0%)、「ニュースサイト」(67.3%)、「SNS」(58.2%)と続く。

[【スマートデバイス調査】ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途 \(p.89\)](#)

## 3.調査結果概要 (2)インターネット利用時の脅威や被害①

情報セキュリティに関する攻撃・脅威の中では、「フィッシング詐欺」「ワンクリック請求」の認知度が高い。また、「セクストーション」の認知度が前回から大きく伸びている。一方、全問正解率はあまり高くはなく、前回調査よりスコアも減少しており、認知度の割に内容が正しく理解されているとは言い難いのが現状。

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知度・理解度は、パソコン利用者は「フィッシング詐欺」、スマートデバイス利用者は「ワンクリック請求」がトップ。前回調査に比べ、「セクストーション」の認知度が大幅に増加。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知・理解

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知について最も高いのは、「フィッシング詐欺」(92.9%)である。次いで「ワンクリック請求」(91.4%)、「セキュリティホール」(77.9%)、「偽セキュリティソフト」(62.2%)と続く。
- 認知を前回調査と比較すると、「セクストーション」(32.1%)が13.4ポイント、「セキュリティホール」が3.8ポイント、「偽セキュリティソフト」が3.7ポイント、「標的型攻撃」(56.5%)が3.4ポイント、「マルウェア」(61.8%)が3.2ポイント増加。
- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度について、全問正解の割合をみると、「セキュリティホール」(24.6%)が最も高い。次いで「フィッシング詐欺」(23.0%)、「ワンクリック請求」(21.4%)、「マルウェア」(14.9%)、「ランサムウェア」(13.6%)と続く。
- 全問正解率を前回調査と比較すると、「標的型攻撃」が18.6ポイント、「パスワードリスト攻撃」が12.9ポイント、「ランサムウェア」が10.9ポイント、「マルウェア」が8.4ポイント、「セキュリティホール」が5.4ポイント減少。

【パソコン調査】情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知 (p.30-32)  
【パソコン調査】情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度 (p.33-39)

スマートデバイス利用者の情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知・理解

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知について最も高いのは、「ワンクリック請求」(89.8%)である。次いで「フィッシング詐欺」(84.7%)、「セキュリティホール」(64.1%)、「偽セキュリティソフト」(58.9%)と続く。
- 認知を前回調査と比較すると、「セクストーション」(32.7%)が12.7ポイント増加。一方、「ランサムウェア」(48.8%)が6.5ポイント、「偽セキュリティソフト」が3.7ポイント、「セキュリティホール」が3.1ポイント減少。
- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度について、全問正解の割合をみると、「ワンクリック請求」(20.4%)が最も高い。次いで「セキュリティホール」(16.7%)、「フィッシング詐欺」(15.8%)、「マルウェア」(9.0%)、「ランサムウェア」(8.8%)と続く。
- 全問正解率を前回調査と比較すると、「ランサムウェア」が14.8ポイント、「フィッシング詐欺」が7.6ポイント、「マルウェア」が3.6ポイント減少。

【スマートデバイス調査】情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知 (p.92-94)  
【スマートデバイス調査】情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度 (p.95-101)

## 3.調査結果概要 (2)インターネット利用時の脅威や被害②

過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルの経験率は6割以上。トラブル時には「自力で対処」するケースが多いが、パソコン利用者の約3割、スマートデバイス利用者の約4割はそのまま放置している。

- 過去1年間の被害経験率は、パソコン利用者が64.8%、スマートデバイス利用者が62.9%。「自力で対処」したケースが最も多く、パソコン利用者では前回調査より増加。一方、「何もしなかった」人がパソコン利用者が約3割、スマートデバイス利用者が約4割みられる。

### パソコン利用者の情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルについて、何らかの被害があった人は64.8%。被害・トラブルの上位は「本文中のURLにアクセスするように促す不審なメールを受信した」(33.9%)、「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面が表示された」(32.9%)であった。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「自力で対処」(45.5%)である。次いで「家族・友人・知人に相談」(13.5%)、「パソコンメーカーに相談」(7.4%)と続く。一方、被害・トラブル経験者のうち、約3割が「何もしなかった」(29.3%)と回答。
- 性別で見ると、男性は「自力で対処」が5.8ポイント、女性は「家族・友人・知人に相談」が7.1ポイント全体に比べて高い。
- 前回調査と比較すると、「自力で対処」が6.1ポイント増加。一方、「サービスの提供会社に相談」が3.4ポイント減少。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由について最も高いのは、「対処の必要性を感じなかった」(71.7%)である。次いで「何をしてもよいかわからなかった」(21.7%)、「面倒だった」(11.0%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「対処の必要性を感じなかった」が16.5ポイント増加。一方、「何をしてもよいかわからなかった」が13.6ポイント減少。

【パソコン調査】過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル(p.41)

【パソコン調査】情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法(p.43)

【パソコン調査】情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由(p.44)

### スマートデバイス利用者の情報セキュリティに関する被害・トラブル経験

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルについて、何らかの被害があった人は62.9%。被害・トラブルの上位は「本文中のURLにアクセスするように促す不審なメールを受信した」(34.4%)、「添付ファイルを開くように促す不審なメールを受信した」(29.6%)であった。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「自力で対処」(33.7%)である。次いで「家族・友人・知人に相談」(12.3%)、「携帯電話会社(キャリア)に相談」(9.0%)と続く。一方、被害・トラブル経験者のうち、約4割が「何もしなかった」(41.0%)と回答。
- 性別で見ると、女性は「家族・友人・知人に相談」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由について最も高いのは、「対処の必要性を感じなかった」(67.2%)である。次いで「何をしてもよいかわからなかった」(26.0%)、「面倒だった」(13.3%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「対処の必要性を感じなかった」が5.2ポイント、女性は「何をしてもよいかわからなかった」が5.1ポイント全体に比べて高い。

【スマートデバイス調査】過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル(p.103)

【スマートデバイス調査】情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法(p.105)

【スマートデバイス調査】情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由(p.106)

### 3.調査結果概要 (3)アカウントの管理方法

パソコン利用者、スマートデバイス利用者の4割前後が「6個以上」のアカウントを保有。パスワードは「他人が推測しにくい内容」「初期パスワードを使わない」「長い文字数」に設定するなど、セキュリティ対策を行っている。一方、「面倒」「これまで問題が起きていない」ことを理由に対策をとらない人も多い。

- パソコン利用者、スマートデバイス利用者の4割前後が「6個以上」のアカウントを持っている。  
パスワードは「他人が推測しにくい内容」「初期パスワードをそのまま使わず必ず変更」「長い文字数」にするなどして、セキュリティ対策をとっている。

#### パソコン利用者のパスワード設定・管理状況

- インターネットサービス利用のための保有アカウント数について最も高いのは、「1個」(18.8%)である。次いで「6～10個」(17.2%)、「2個」(13.0%)、「3個」(11.6%)と続く。約4割が「6個以上」(41.2%)保有している。
- アカウントのパスワード設定の実施状況(実施している)について最も高いのは、「パスワードは他人が推測しにくい内容を設定している」(78.0%)である。次いで「初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している」(63.7%)、「パスワードはできるだけ長い文字数を設定している」(62.0%)と続く。
- 対策を実施していない理由としては、どの対策も「対策を実施するのが面倒だから」が最も高い。次いで「パスワード管理ツールの自動生成機能を利用している」では「具体的にどう対策を実施してよいかかわからないから」(16.9%)、それ以外は「これまで対策を実施していなくても特に問題が発生していないから」と続く。
- ID・パスワードの管理方法について最も高いのは、「自分で記憶している」(56.0%)である。次いで「手帳などの紙にメモをしている」(52.4%)と続く。

【パソコン調査】インターネットサービス利用のための保有アカウント数 (p.47)

【パソコン調査】パスワード設定の実施状況 (p.48-50)

【パソコン調査】パスワード設定の非実施理由 (p.54-56)

【パソコン調査】ID・パスワードの管理方法 (p.57)

#### スマートデバイス利用者のパスワード設定・管理状況

- インターネットサービス利用のための保有アカウント数について最も高いのは、「6～10個」(19.1%)である。次いで、「1個」(16.4%)、「2個」(13.6%)、「3個」(13.2%)と続く。4割近くが「6個以上」(37.2%)保有している。
- アカウントのパスワード設定の実施状況(実施している)について最も高いのは、「パスワードは他人が推測しにくい内容を設定している」(70.3%)である。次いで「初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している」(62.5%)、「パスワードはできるだけ長い文字数を設定している」(59.6%)と続く。
- 対策を実施していない理由としては、どの対策も「対策を実施するのが面倒だから」が最も高い。次いで「パスワード管理ツールの自動生成機能を利用している」「初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している」では「具体的にどう対策を実施してよいかかわからないから」、それ以外は「これまで対策を実施していなくても特に問題が発生していないから」と続く。
- ID・パスワードの管理方法について最も高いのは、「自分で記憶している」(61.3%)である。次いで「手帳などの紙にメモをしている」(45.1%)と続く。

【スマートデバイス調査】インターネットサービス利用のための保有アカウント数 (p.109)

【スマートデバイス調査】パスワード設定の実施状況 (p.110-112)

【スマートデバイス調査】パスワード設定の非実施理由 (p.116-118)

【スマートデバイス調査】ID・パスワードの管理方法 (p.119)

### 3.調査結果概要 (4)セキュリティ対策の実施状況

情報セキュリティ対策は、パソコン利用者では「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」、スマートデバイス利用者では「OSのアップデート」がトップ。  
前回調査に比べ、スマートデバイス利用者で「アプリのインストール前にレビューやコメントを確認」が大幅に増加。

- 情報セキュリティ対策は、パソコン利用者では「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」、スマートデバイス利用者では「OSのアップデート」がトップ。前回調査に比べ、スマートデバイス利用者で「アプリをインストールする前にレビューやコメントを確認」が大幅に増加。

パソコン利用者の情報セキュリティ対策の実施状況

- 情報セキュリティ対策で最も高いのは、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」(60.9%)である。次いで「Windows Updateなどによるセキュリティパッチの更新」(55.7%)、「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」(45.4%)、「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」(44.1%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「よく知らないウェブサイトではファイルをダウンロードしない」が6ポイント、「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」が5.1ポイント減少。

【パソコン調査】情報セキュリティ対策(p.58)

スマートデバイス利用者の情報セキュリティ対策の実施状況

- スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況について最も高いのは、「OSのアップデート」(54.4%)である。次いで「信頼できる場所からアプリをインストールする」(49.0%)、「インストールしたアプリのアップデート」(43.5%)、「パスワードやパターン、顔認証などによる画面ロック機能」(27.0%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「アプリをインストールする前にレビューやコメントなどを確認する」が14.9ポイント増加。一方、「信頼できる場所からアプリをインストールする」「インストールしたアプリのアップデート」「パスワードやパターン、顔認証などによる画面ロック機能」「デバイス内データのバックアップ」が5ポイント以上減少。

【スマートデバイス調査】スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況(p.121)

- パソコン利用者は「メッセージの案内に従った要求金額の支払い」、スマートデバイス利用者は「警告画面から誘導されたアプリのインストール」を最も問題視している。前回調査に比べ、パソコン利用者のスコアが全般的に減少している。

パソコン利用者の情報セキュリティに関する問題意識

- 情報セキュリティに関する問題意識(問題がある計)について最も高いのは、「パソコンのファイルを暗号化した」というメッセージが表示され、パソコン内のファイルが利用できなくなったため、メッセージの案内に従って要求された金額を支払った」(74.9%)である。次いで「ウイルス対策ソフトは一度インストールしておけば更新しなくても安全である」(73.1%)、「インターネットを閲覧中にサポートページが表示され、「あなたのパソコンでウイルスを検出した」と通知されたため、画面の指示に従って有料の対策ソフトをインストールした」(71.7%)、「ホームページにあるバナーをクリックしたら、アプリケーションのインストールを要求されたので、インストールした」(70.5%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「1台のパソコンを複数人が同じアカウントで使用している」が8.2ポイント減少するなど、多くの項目が5ポイント以上減少。

【パソコン調査】情報セキュリティに関する問題意識(p.64-65)

スマートデバイス利用者のスマートデバイス利用に関する問題意識

- スマートデバイス利用に関する問題意識(問題がある計)について最も高いのは、「ウイルスに感染している」などの警告画面から誘導されたアプリをインストールした」(75.4%)である。次いで「不正ログインされた」などのパスワード変更を推奨するメールの案内に従ってID、パスワードを入力した」(71.8%)、「画面ロックのPINを誕生日にしている」(67.5%)、「公式マーケット以外から入手したアプリをインストールした」(60.4%)と続く。

【スマートデバイス調査】スマートデバイス利用に関する問題意識(p.122-123)

### 3.調査結果概要 (5)情報セキュリティに関する情報収集

求められているのは、「予防策・対応策の具体的事例」「被害の状況」「被害発生時の相談や届出に関する情報」。各種情報に対しては、「知らない用語が多い」「内容が難しい」「情報が多すぎる」といった問題点が指摘されている。

- 知りたい情報の上位は、「予防策や対応策などの具体的事例に関する情報」「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」。情報収集時の問題点上位は、「知らない用語が多い」「内容が難しい」「情報が多すぎる」。

#### パソコン利用者の情報セキュリティに関する情報収集状況

- 過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報としては、「被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報」(34.6%)、「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」(33.0%)、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」(20.6%)が上位に挙げられている。
- 前回調査と比較すると、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」が4.7ポイント減少。
- セキュリティ情報を収集する際の問題点について最も高いのは、「知らない用語が多い」(48.9%)である。次いで「内容が難しい」(47.3%)、「情報が多すぎる」(38.3%)、「自分から情報収集や勉強をするのが面倒」(25.7%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「知らない用語が多い」が9ポイント、「内容が難しい」が6.7ポイント全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、70代以上は「自分に関係がある情報なのかわからない」が10.2ポイント全体に比べて高い。
- 前回調査と比較すると、「情報が多すぎる」が3.4ポイント増加。

【パソコン調査】過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報 (p.72)  
【パソコン調査】セキュリティ情報を収集する際の問題点 (p.73)

#### スマートデバイス利用者の情報セキュリティに関する情報収集状況

- 過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報としては、「被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報」(38.5%)、「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」(34.5%)、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」(25.1%)が上位に挙げられている。
- セキュリティ情報を収集する際の問題点について最も高いのは、「知らない用語が多い」(58.1%)である。次いで「内容が難しい」(51.6%)、「情報が多すぎる」(41.7%)、「自分から情報収集や勉強をするのが面倒」(28.1%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「自分に関係がある情報なのかわからない」が10.1ポイント全体に比べて高い。

【スマートデバイス調査】過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報 (p.127)  
【スマートデバイス調査】セキュリティ情報を収集する際の問題点 (p.128)

### 3.調査結果概要 (6)インターネットバンキング利用時のセキュリティ対策

「ワンタイムパスワード生成器」「ソフトウェアキーボード」「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」は、金融機関からの提供率／実際の利用率ともに高い。前回調査に比べ、提供率／利用率ともに増加傾向がみられ、パソコン利用者のインターネットバンキング利用時のセキュリティ対策は進んでいる様子。

- 金融機関の提供率／利用率ともに、「ワンタイムパスワード生成器」「ソフトウェアキーボード」「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」が上位。前回調査に比べ、提供率／利用率ともに増加傾向がみられる。

パソコン利用者のインターネットバンキング利用時のセキュリティ対策

- 金融機関提供のセキュリティサービス内容(提供されている)について最も高いのは、「ワンタイムパスワード生成器の提供」(75.2%)である。次いで「ソフトウェアキーボードの提供」(68.6%)、「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」(66.1%)、「合言葉による追加認証の提供」(58.5%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「ワンタイムパスワード生成器の提供」が6.8ポイント、「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」「ソフトウェアキーボードの提供」が各5.6ポイント、「EV SSLによるインターネット接続環境の提供」が5.1ポイント増加。
- 利用している金融機関提供のセキュリティサービス内容について最も高いのは、「ワンタイムパスワード生成器」(59.6%)である。次いで「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」(47.2%)、「合言葉による追加認証」(43.5%)、「ソフトウェアキーボード」(43.3%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」が6.1ポイント、「ワンタイムパスワード生成器」が5.3ポイント、「合言葉による追加認証」が5ポイント、「EV SSLによるインターネット接続環境」が4.8ポイント、「ソフトウェアキーボード」が4.2ポイント増加。
- 金融機関のインターネットバンキングの利用について最も高いのは、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」(64.3%)である。次いで「預金残高を定期的に確認する」(64.2%)、「利用するブラウザを常に最新の状態にしている」(59.5%)、「ワンタイムパスワードを利用している」(58.6%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「URLやメールアドレスを確認する」が7ポイント、「利用するサイトは、あらかじめブックマークに登録しアクセスしている」が6.1ポイント、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」が5.6ポイント増加。

【パソコン調査】金融機関提供のセキュリティサービス内容 (p.67-68)

【パソコン調査】利用している金融機関提供のセキュリティサービス内容 (p.69)

【パソコン調査】金融機関のインターネットバンキングの利用について (p.70)

### 3.調査結果概要 (7)スマートデバイスの利用状況

スマートデバイス利用者のアプリ連携の設定利用率は34%で、10代・20代若年層の利用率が高い。一方、女性や高齢者で「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」人が多い。

- スマートデバイス利用者のルート化やJailBreak設定率は1割未満。アプリ連携の設定利用率は34%で、10代・20代の利用率が高い。一方、「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」人が約4割を占めており、女性・高齢者でその割合が高い。

スマートデバイス利用者のスマートデバイスの利用状況

- ルート化やJailBreakの設定を「している」人は5.9%にとどまり、「ルート化やJailBreakがどうか、わからない」(64.1%)が6割以上を占める。
- 性別でみると、女性は「ルート化やJailBreakがどうか、わからない」が10.6ポイント全体に比べて高い。
- アプリ連携の設定を「利用している」人は34.0%で、約4割が「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」(39.6%)と回答。
- 性別でみると、女性は「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」が8.3ポイント全体に比べて高い。
- 年代別でみると、「利用している」が10代は16.3ポイント、20代は13.9ポイント、「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」が60代は11ポイント、70代以上は11.4ポイント全体に比べて高い。

【スマートデバイス調査】ルート化やJailBreakの設定経験 (p.124)

【スマートデバイス調査】アプリ連携の設定・利用状況 (p.125)



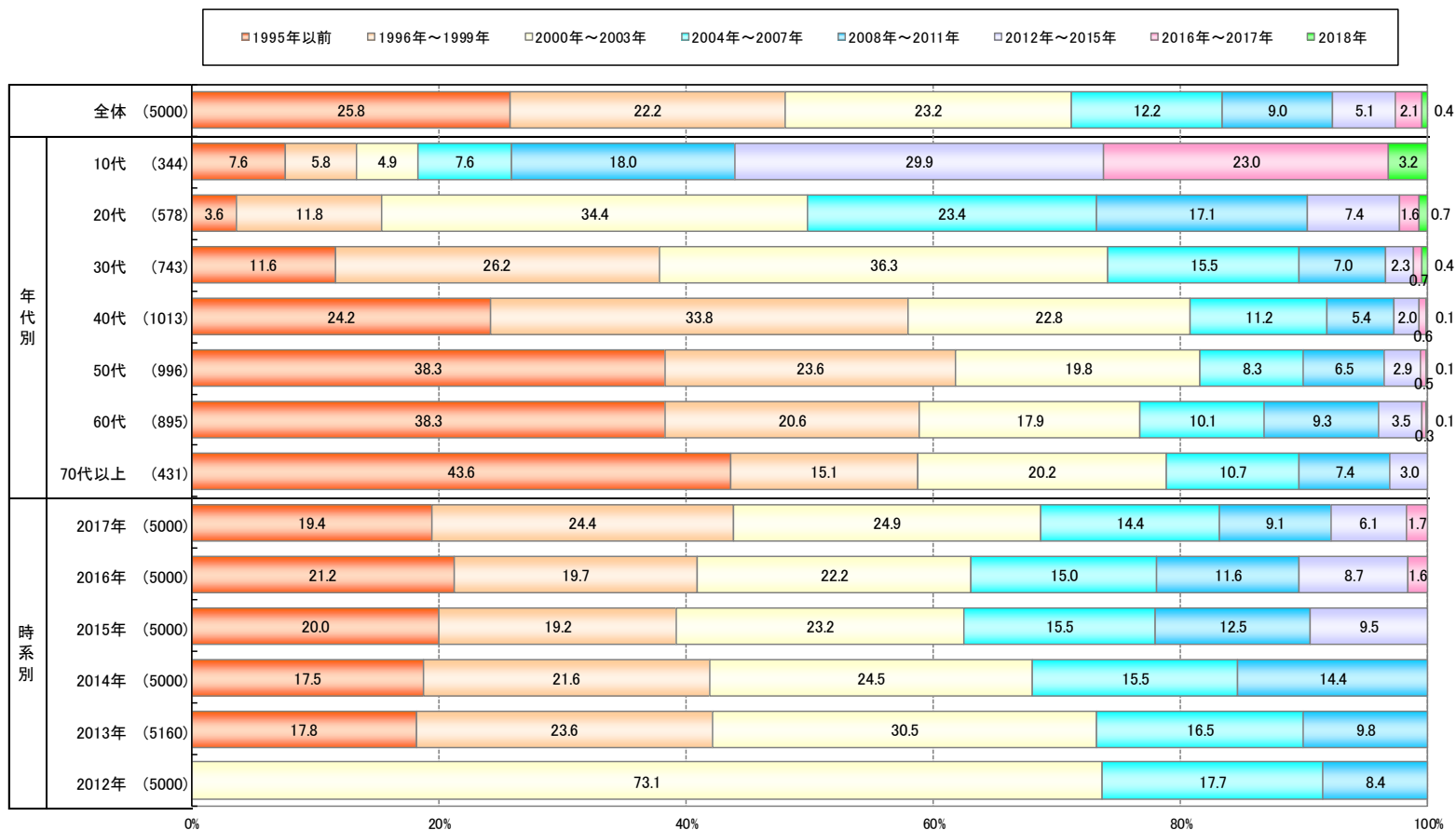
## **4.調査結果詳細【パソコン調査】**

---

## 4-1.インターネットサービスの利用状況 4-1-1.インターネット利用開始時期

- インターネット利用開始時期について最も高いのは、「1995年以前」(25.8%)である。次いで「2000年～2003年」(23.2%)、「1996年～1999年」(22.2%)、「2004年～2007年」(12.2%)と続く。
- 年代別で見ると、50代以降では「1995年以前」が全体よりも約13～18ポイント高い。

【SC6】 あなたがパソコンでインターネットを利用しはじめた時期について回答してください。明確に覚えていない場合は、だいたいの時期で構いません。(お答えは1つ)



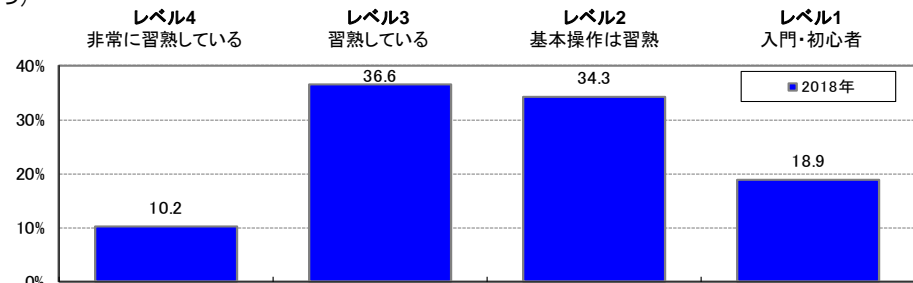
※「1996年～1999年」→2017年以前は「1996年～1997年」「1998年～1999年」

※「2000年～2003年」「2004年～2007年」「2008年～2011年」「2012年～2015年」「2016年～2017年」→2017年以前は2000年以降は各年毎

## 4-1-2.パソコンの習熟度

- パソコンの習熟度について最も高いのは、「パソコンに関する基本的な知識を有しており、具体的な操作方法やトラブル発生時の対応等は自分で調べて対処することができるレベル」(36.6%)である。次いで「パソコンの基本的な操作や簡単な設定変更はでき、予期せぬ挙動やエラーが発生した場合も他者からの説明があれば理解、対処できるレベル」(34.3%)、「パソコンの基本的な操作はできるが、設定変更等は自分ではできず他者をお願いをする必要があるレベル」(18.9%)と続く。
- 年代別でみると、10代は「レベル1」が26.4ポイント、20代は「レベル3」が11.7ポイント全体に比べて高い。
- 職業別でみると、「レベル4」が経営者・役員は11.2ポイント、会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)は30.3ポイント、大学生は10.1ポイント、自営業・自由業は「レベル3」が10.3ポイント、「レベル1」が専業主婦・主夫は18.8ポイント、中学生は47.3ポイント、高校生は23.3ポイント全体に比べて高い。

【SC8】 あなたのパソコンの習熟度として、最もあてはまるレベルを回答してください。(お答えは1つ)



		全体	レベル4 非常に習熟している	レベル3 習熟している	レベル2 基本操作は習熟	レベル1 入門・初心者
		5000	10.2	36.6	34.3	18.9
年代別	10代	344	7.3	22.1	25.3	45.3
	20代	578	15.2	48.3	28.2	8.3
	30代	743	13.1	44.0	31.9	11.0
	40代	1013	11.7	40.9	31.5	15.9
	50代	996	9.7	33.2	36.7	20.3
	60代	895	6.9	31.2	39.9	22.0
	70代以上	431	5.6	28.8	43.2	22.5
職業別	経営者・役員	145	21.4	29.7	31.0	17.9
	会社員・公務員・教員(管理職)	494	15.2	41.7	28.3	14.8
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	173	40.5	46.2	8.7	4.6
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外)	934	10.2	41.8	36.1	12.0
	医者・弁護士等の専門職	75	14.7	37.3	36.0	12.0
	契約社員・派遣社員	238	10.1	40.3	38.2	11.3
	自営業・自由業	497	13.5	46.9	32.2	7.4
	専業主婦・主夫	648	2.5	20.8	39.0	37.7
	無職(定年退職・家事手伝い含む)	847	6.4	36.7	41.6	15.3
	パート・アルバイト	557	5.0	35.0	36.6	23.3
	中学生	136	3.7	11.0	19.1	66.2
	高校生	83	8.4	22.9	26.5	42.2
	専門学校生	12	25.0	41.7	8.3	25.0
	短大生・高専生	3	-	33.3	66.7	-
大学生	79	20.3	43.0	26.6	10.1	
大学院生	22	13.6	77.3	9.1	-	
その他	57	12.3	38.6	29.8	19.3	

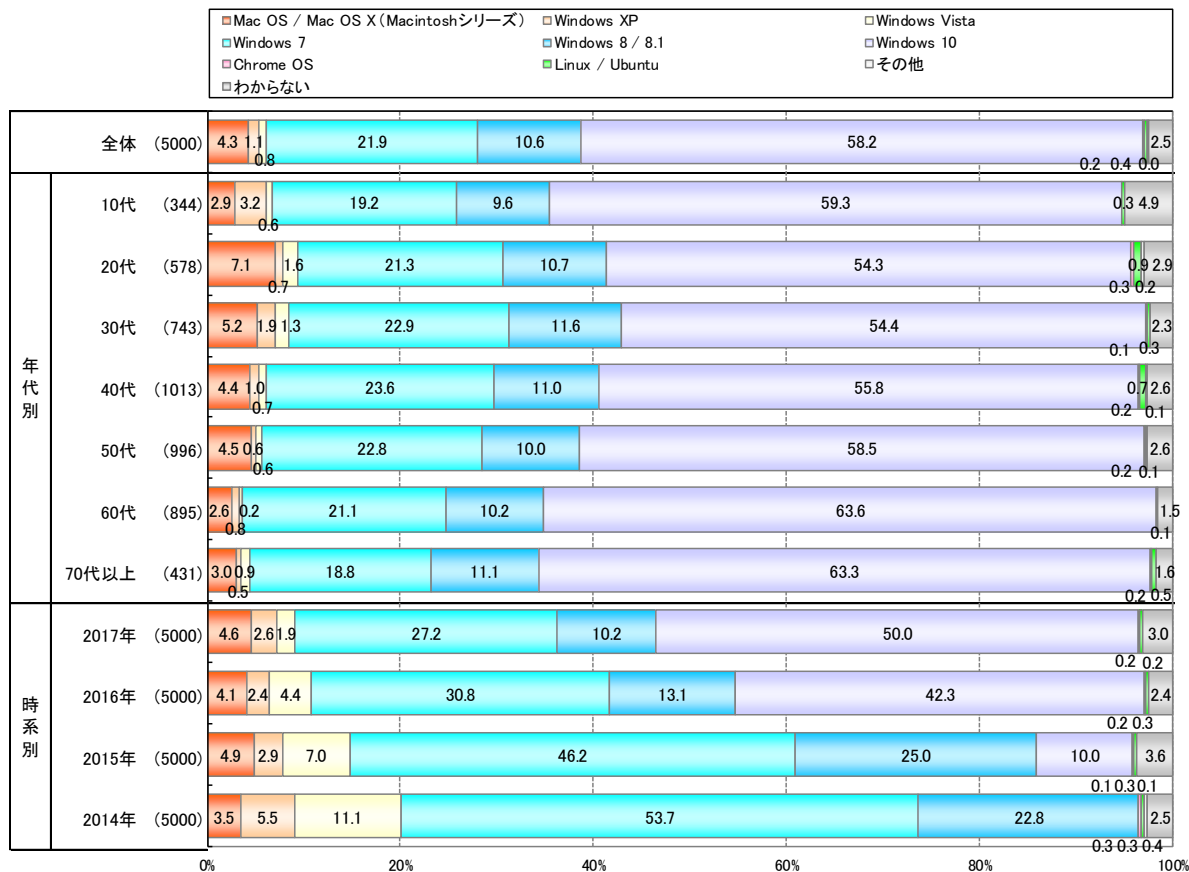
※今年度から全面改訂

## 4-1-3.使用機器のOS①

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「Windows 10」(58.2%)である。次いで「Windows 7」(21.9%)、「Windows 8 / 8.1」(10.6%)、「Mac OS / Mac OS X (Macintoshシリーズ)」(4.3%)と続く。
- 年代別で見ると、「Windows 10」が60代は5.4ポイント、70代以上は5.1ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「Windows 10」が8.2ポイント増加している。一方、「Windows 7」が5.3ポイント減少している。

【Q1】あなたが主に利用しているパソコンのOSについて、あてはまるものを選択してください。

OSの異なるパソコンを複数台利用している場合は、その中で最もインターネットの利用時間が長いパソコンのOSを選択してください。(お答えは1つ)

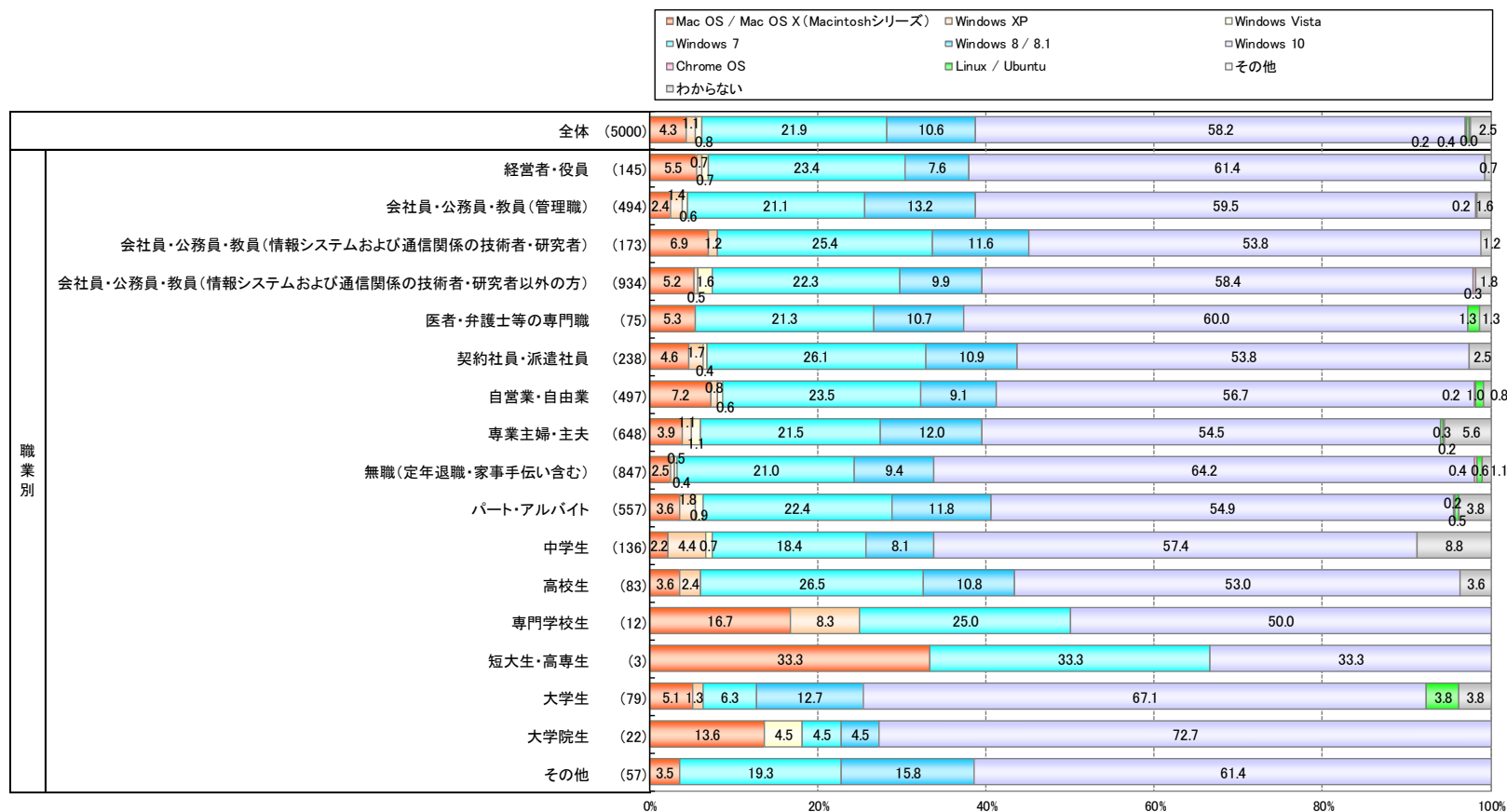


## 4-1-3.使用機器のOS②

- 職業別でみると、その他は「Windows 8 / 8.1」が5.2ポイント、「Windows 10」が無職(定年退職・家事手伝い含む)は6ポイント、大学生は8.9ポイント、中学生は「わからない」が6.3ポイント全体に比べて高い。

【Q1】あなたが主に利用しているパソコンのOSについて、あてはまるものを選択してください。

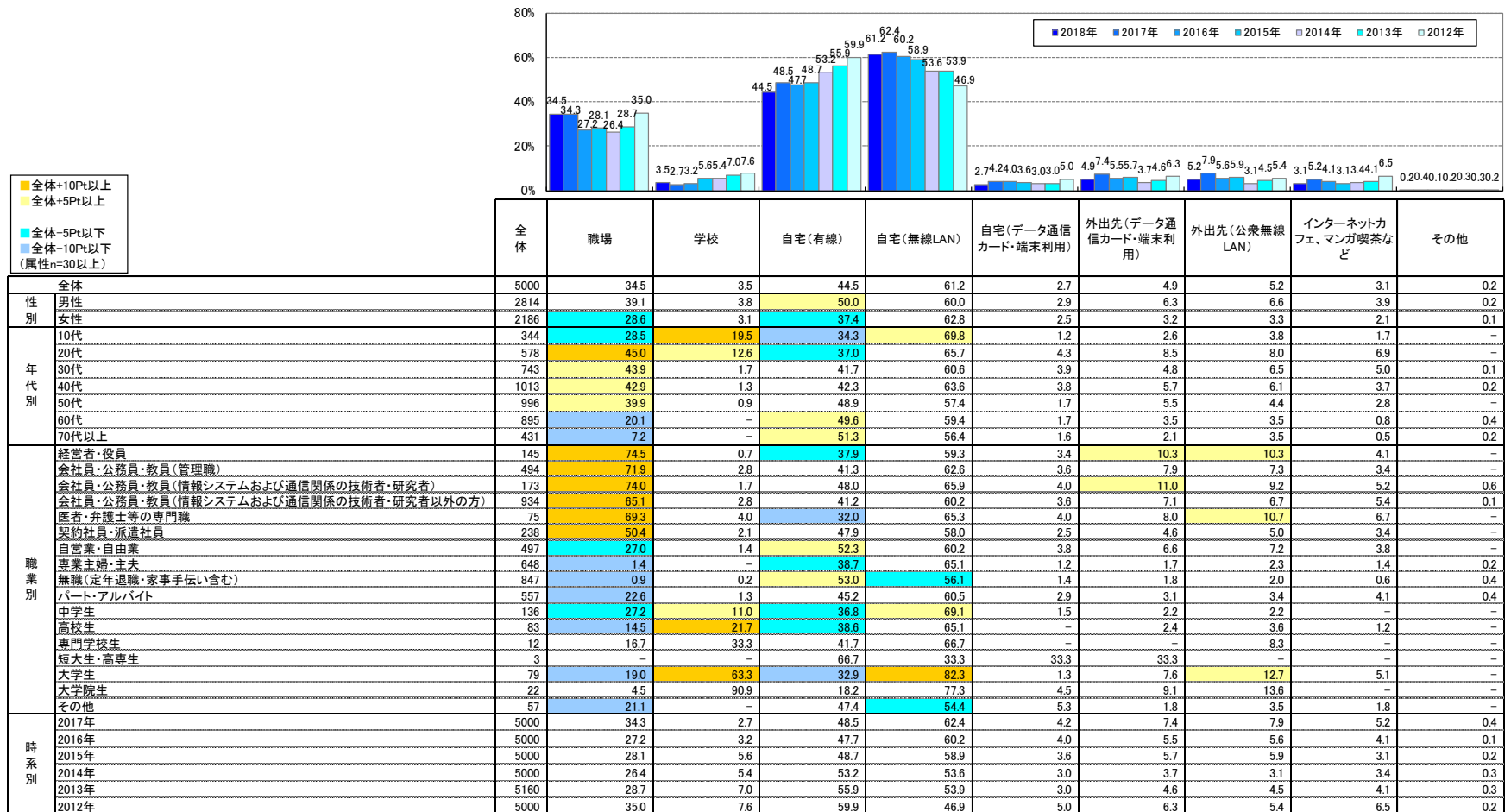
OSの異なるパソコンを複数台利用している場合は、その中で最もインターネットの利用時間が長いパソコンのOSを選択してください。(お答えは1つ)



## 4-1-4.パソコンでのインターネットの利用場所

- パソコンでのインターネットの利用場所について最も高いのは、「自宅(無線LAN)」(61.2%)である。次いで「自宅(有線)」(44.5%)、「職場」(34.5%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「自宅(有線)」が5.5ポイント全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、10代は「学校」が16ポイント、20代は「職場」が10.5ポイント全体に比べて高い。
- 職業別で見ると、「職場」が経営者・役員が40ポイント、会社員・公務員・教員(管理職)が37.4ポイント、会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)が39.5ポイント、会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)が30.6ポイント、医者・弁護士等の専門職が34.8ポイント、契約社員・派遣社員が15.9ポイント、「学校」が高校生は18.2ポイント、大学生が59.8ポイント、大学生は「自宅(無線LAN)」が21.1ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「自宅(有線)」が4ポイント減少している。

【Q2】あなたがパソコンでインターネットを利用する場所はどこですか。主に利用しているパソコンに限らず、パソコンでインターネットを利用することのある場所をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

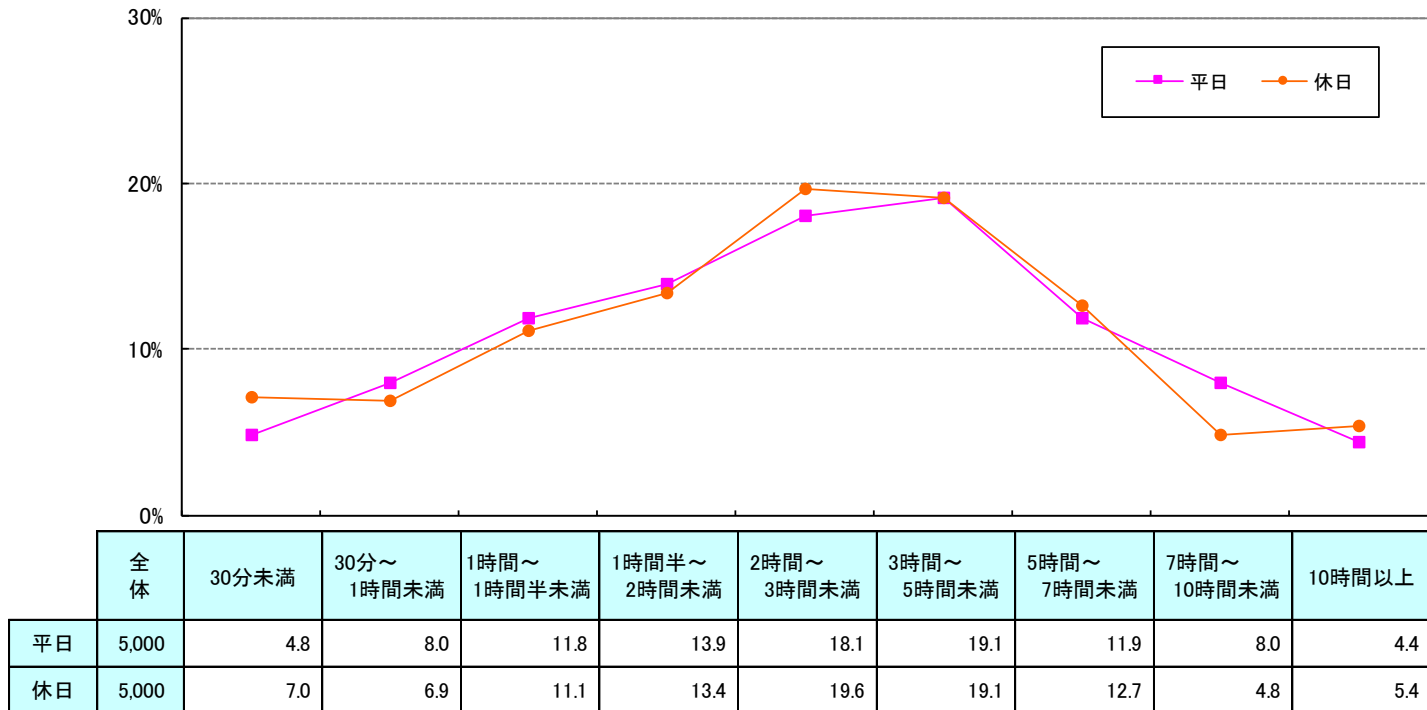


※「インターネットカフェ、マンガ喫茶など」→2017年度以前は「インターネットカフェ、マンガ喫茶等」

## 4-1-5.パソコンでのインターネット利用時間

- パソコンでのインターネット利用時間は、平日は「3時間～5時間未満」(19.1%)、休日は「2時間～3時間未満」(19.6%)が最も高い。

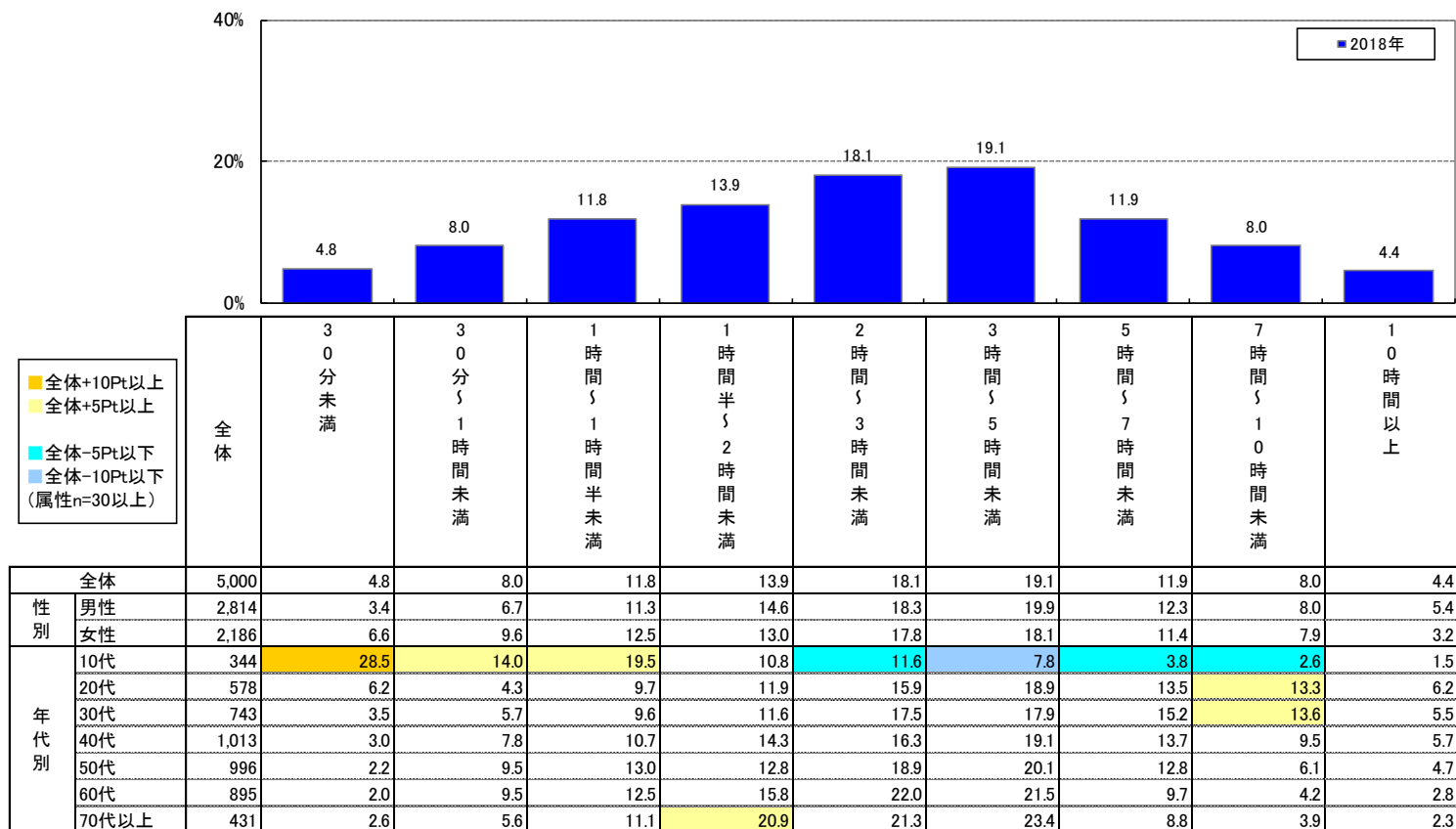
【SC5】 あなたは普段プライベートで、当該機器（インターネット）をどのくらい利用していますか。  
 「平日（仕事や学校等のある日）」と「休日（仕事や学校等のない日）」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。（お答えは1つ）



## 4-1-6.パソコンでのインターネット利用時間(平日)①

- パソコンでのインターネット利用時間(平日)について最も高いのは、「3時間～5時間未満」(19.1%)である。次いで「2時間～3時間未満」(18.1%)、「1時間半～2時間未満」(13.9%)、「5時間～7時間未満」(11.9%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「30分未満」が23.7ポイント全体に比べて高い。

【SC5S1】あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(お答えは1つ)



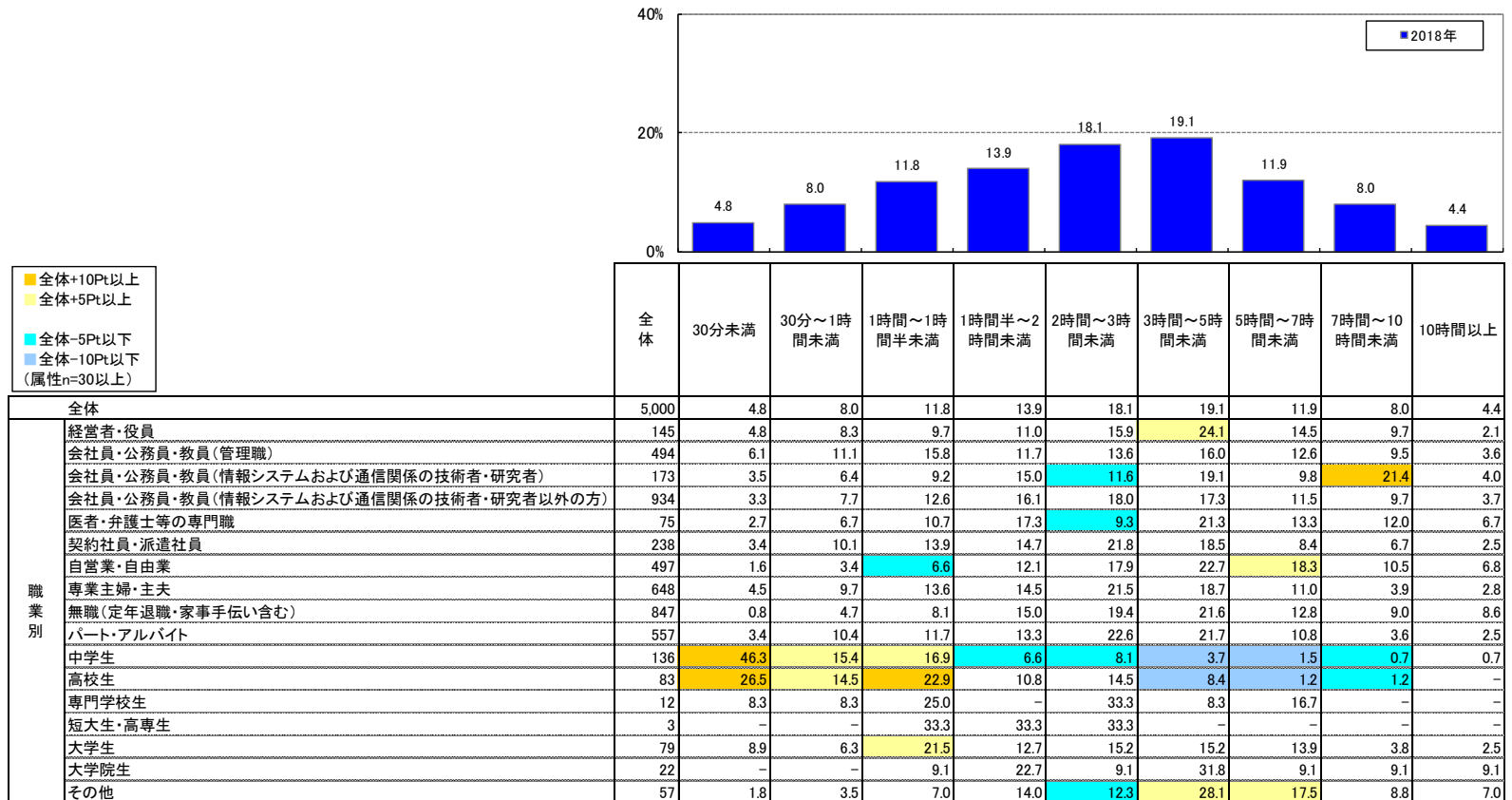


## 4-1-6.パソコンでのインターネット利用時間(平日)②

- 職業別でみると、会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)は「7時間～10時間未満」が13.4ポイント、「30分未満」が中学生は41.5ポイント、高校生は21.7ポイント、高校生は「1時間～1時間半未満」が11.1ポイント全体に比べて高い。

【SC5S1】あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。

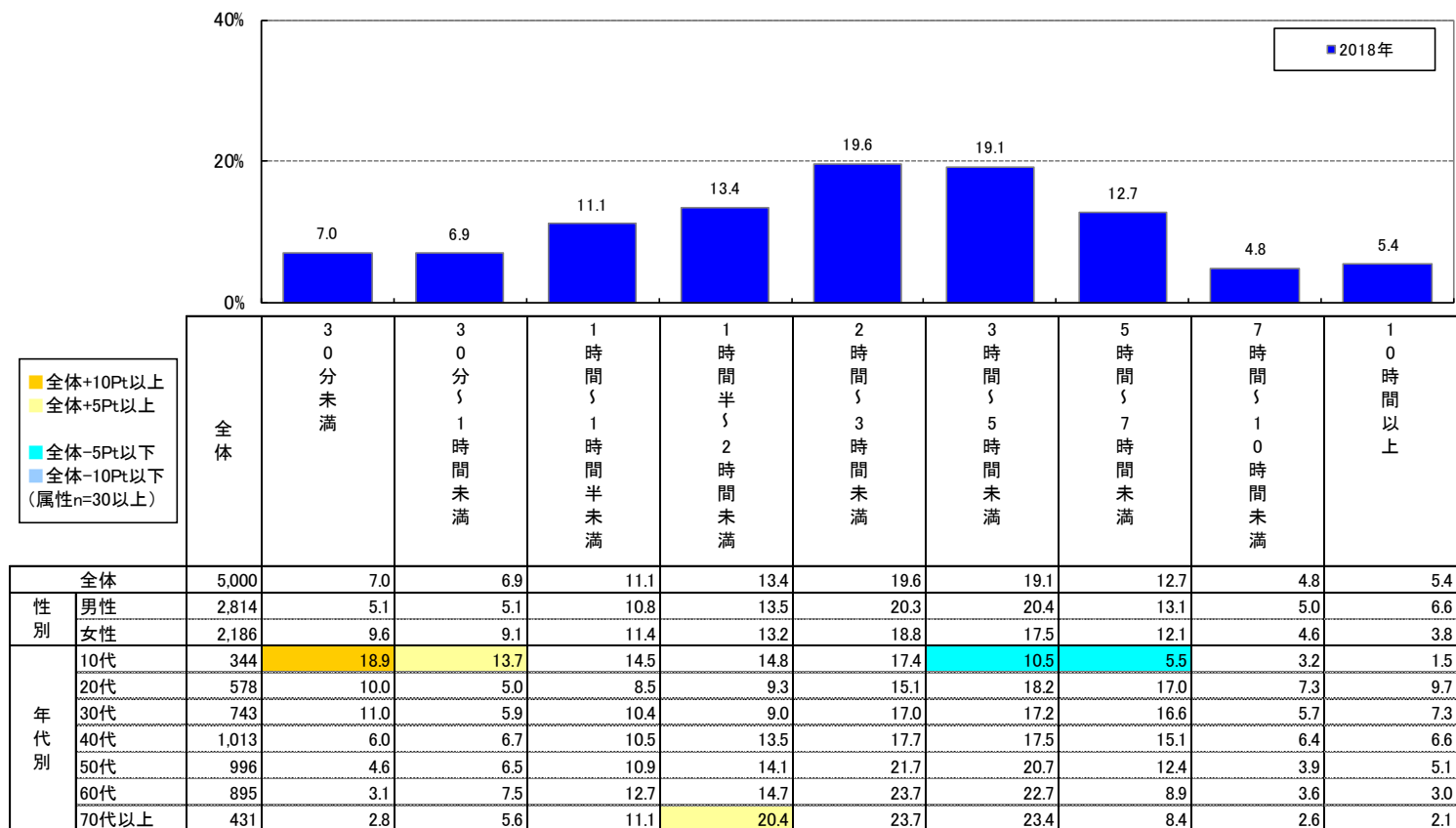
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(お答えは1つ)



## 4-1-7.パソコンでのインターネット利用時間(休日)①

- パソコンでのインターネット利用時間(休日)について最も高いのは、「2時間～3時間未満」(19.6%)である。次いで「3時間～5時間未満」(19.1%)、「1時間半～2時間未満」(13.4%)、「5時間～7時間未満」(12.7%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「30分未満」が11.9ポイント全体に比べて高い。

【SC5S4】あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(お答えは1つ)

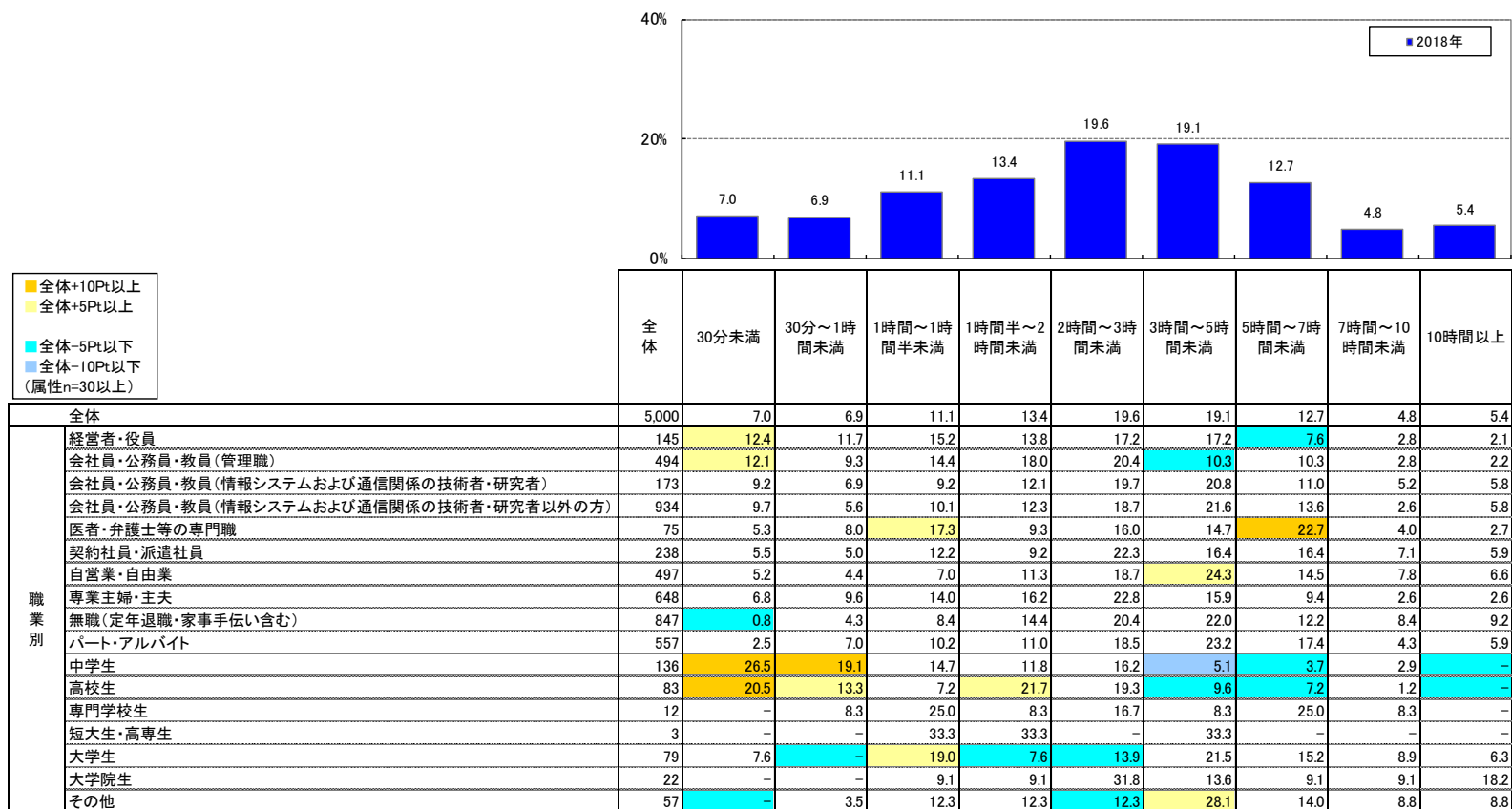


## 4-1-7.パソコンでのインターネット利用時間(休日)②

- 職業別でみると、医者・弁護士等の専門職は「5時間～7時間未満」が10ポイント、「30分未満」が中学生は19.5ポイント、高校生は13.5ポイント、中学生は「30分～1時間未満」が12.2ポイント全体に比べて高い。

【SC5S4】あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。

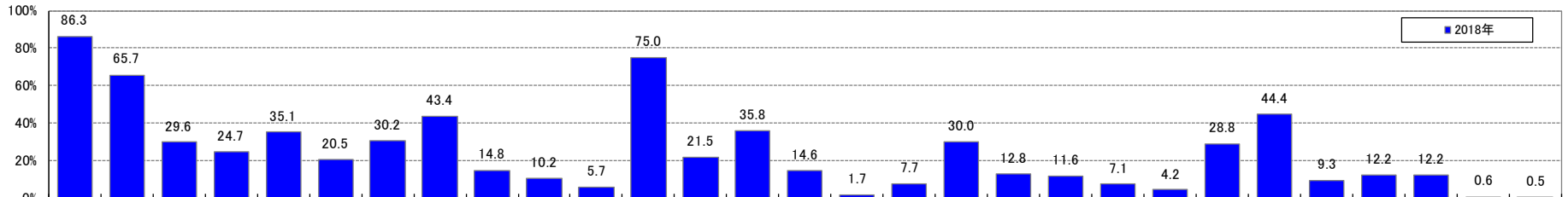
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(お答えは1つ)



# 4-1-8.ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途

- ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(86.3%)である。次いで「インターネットショッピング(Amazon、楽天など)」(75.0%)、「ニュースサイト」(65.7%)、「Webメール(Gmail、Yahoo!メールなど)」(44.4%)と続く。
- 性別でみると、男性は「アダルトサイト」が6.8ポイント、「インターネットバンキング」が5.7ポイント全体に比べて高い。
- 年代別でみると、「動画共有サイト(YouTube、ニコニコ動画など)」が20代は16.5ポイント、30代は11.5ポイント、「SNS(Facebook、mixi、Google+、Twitter、LINEなど)」が20代は15.1ポイント、30代は10.8ポイント、30代は「個人・著名人のサイト(ブログなど)」が11.5ポイント、70代以上は「株のネット取引」が11.6ポイント、「国税のネット手続き(e-Taxなど)」が12.5ポイント、「オンライン予約(宿泊、航空券、飲食店など)」が11.8ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「企業・団体のサイト」が11.4ポイント、「インターネットオークション」が10.1ポイント、「オンライン翻訳」が12.6ポイント、「SNS(Facebook、mixi、Google+、Twitter、LINEなど)」が14.6ポイント、「クラウドストレージ(Dropbox、iCloud、GoogleDriveなど)」が14.7ポイント全体に比べて高い。

【Q3】あなたがパソコンでインターネットを利用する際、どのようなウェブサイトやインターネットサービスを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



属性	属性数	利用用途																													
		検索サイト・ポータルサイト	ニュースサイト	企業・団体のサイト	個人・著名人のサイト(ブログなど)	商品比較・クチコミなどのコミュニティサイト	Q & A サイト	辞書・百科事典サイト (Wikimedia, goo辞書など)	動画共有サイト (YouTube, ニニコ動画など)	懸賞サイト	アダルトサイト	海外サイト	インターネットショッピング (Amazon, 楽天など)	インターネットオークション	株のネット取引	仮想通貨のネット取引 (Bitcoin, Ethereumなど)	国税のネット手続き (e-Taxなど)	オンライン予約 (宿泊, 航空券, 飲食店など)	オンラインゲーム	オンライン翻訳	オンラインスキャン (ウイルスチェック)	ビデオチャット (Skypeなど)	SNS (Facebook, mixi, Google+, Twitter, LINEなど)	Webメール (Gmail, Yahoo!メールなど)	クラウドストレージ (Dropbox, iCloud, GoogleDriveなど)	動画配信サービス (hulu, Netflix, U-NEXTなど)	掲示板	ファイル交換ソフト (Winny, Winny, Shareなど)	その他		
全体	5000	86.3	65.7	29.6	24.7	35.1	20.5	30.2	43.4	14.8	10.2	5.7	75.0	21.5	35.8	1.7	7.7	30.0	12.8	11.6	7.1	4.2	28.8	44.4	9.3	12.2	12.2	0.6	0.5		
性別	男性	2814	86.4	68.6	31.7	22.5	33.7	19.4	31.9	46.1	15.6	17.0	71.0	25.1	41.5	19.5	2.3	10.4	30.8	13.6	12.7	7.7	4.3	29.1	44.5	11.1	13.2	14.5	0.5	0.5	
	女性	2186	86.1	61.9	26.9	27.5	36.8	22.0	28.0	40.1	13.7	1.3	3.9	75.0	16.9	28.5	8.3	0.8	4.2	29.0	11.6	10.2	6.5	4.0	28.5	44.3	7.0	11.0	9.2	0.7	0.5
年代別	10代	344	82.3	52.9	21.2	18.9	19.2	14.0	18.0	46.8	8.1	7.8	3.2	45.6	15.1	18.9	7.0	0.3	2.3	16.9	20.1	9.3	4.4	3.8	24.7	25.9	6.1	9.3	6.4	0.6	0.9
	20代	578	87.0	55.2	32.9	30.3	36.7	25.1	34.9	59.9	11.9	18.3	12.1	68.9	16.6	23.0	8.7	4.5	3.5	23.0	20.8	14.2	5.4	7.3	43.9	51.9	16.8	21.8	18.3	2.2	-
	30代	743	89.5	64.2	33.8	36.2	39.8	25.2	30.7	54.9	11.8	15.7	7.3	73.6	25.2	36.6	14.1	3.1	4.2	27.9	18.6	14.8	7.1	5.4	39.6	53.8	12.5	15.7	18.8	0.7	0.3
	40代	1013	89.2	67.6	33.4	33.4	38.5	24.3	31.6	48.3	15.7	11.6	6.8	78.6	24.7	43.2	13.4	2.2	5.1	29.4	13.1	14.3	8.0	4.6	34.6	48.9	11.6	13.8	16.3	0.4	0.5
	50代	996	88.2	69.4	29.1	22.0	34.7	19.7	28.4	38.8	17.3	6.7	4.1	79.1	23.9	40.2	14.7	0.5	7.2	32.2	8.7	10.2	6.6	3.2	23.5	42.2	7.5	11.3	9.9	0.3	0.3
	60代	895	82.9	69.4	26.0	12.8	34.1	14.7	27.3	29.8	15.8	6.1	3.4	80.4	20.7	36.6	17.5	0.6	12.6	34.0	7.4	8.2	7.7	2.5	16.1	39.3	5.1	6.9	5.9	0.2	0.7
	70代以上	431	78.9	71.7	24.8	12.1	32.0	16.7	39.9	26.7	19.0	4.2	2.3	79.8	15.8	36.2	26.2	0.5	20.2	41.8	5.8	8.8	9.7	3.0	18.6	37.8	3.5	5.1	5.6	-	0.9
パソコン習熟度	レベル4	512	87.9	69.9	41.0	32.0	43.8	27.3	35.9	48.4	14.8	17.8	14.8	72.3	31.6	45.7	17.6	5.3	12.7	37.5	19.9	24.2	9.4	8.0	43.4	52.1	24.0	22.1	21.5	1.6	0.8
	レベル3	1830	89.9	68.7	35.6	30.0	40.3	24.6	37.3	52.6	16.0	13.8	7.5	79.0	23.9	44.1	16.9	2.4	9.0	34.7	15.7	16.2	9.3	5.4	36.2	52.6	13.4	14.8	15.5	0.7	0.3
	レベル2	1715	85.6	66.8	26.1	22.2	33.2	18.9	28.7	40.6	14.6	7.7	3.5	76.2	19.9	32.9	14.3	0.6	7.5	26.9	10.1	7.1	6.8	3.3	25.0	42.3	4.7	10.2	9.7	0.2	0.3
	レベル1	943	79.6	55.5	18.3	14.8	23.5	11.9	16.2	28.1	12.7	3.5	1.2	66.7	14.3	19.8	9.1	0.3	2.8	22.6	8.0	4.1	2.3	1.5	13.8	27.9	1.6	5.6	5.1	0.4	0.8

※今年度から全面改訂

## 4-1-9.ウェブサイト・インターネットサービスを利用しない理由

- ウェブサイト・インターネットサービスを利用しない理由については、全て「あまり利用する必要性を感じないから」が最も高い。

【Q4】 当該ウェブサイトやインターネットサービスを利用しない理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

…1位の理由

n=当該ウェブサイト・インターネットサービス非利用者(Q3)

	全体	ウイルス感染被害が心配だから	詐欺などの金銭被害が心配だから	不正利用や不正送金による金銭被害が心配だから	情報漏えいが心配だから	恨みを持つたり誹謗中傷されたりすることが心配だから	利用方法がよくわからないから	あまり利用する必要性を感じないから	その他	特に理由はない
検索サイト・ポータルサイト	685	12.3	3.4	3.1	5.0	2.0	4.5	40.7	0.4	35.2
ニュースサイト	1,716	4.0	2.0	1.5	1.8	0.3	1.9	50.5	0.6	40.0
企業・団体のサイト	3,518	4.5	2.2	2.0	2.8	0.6	1.8	58.8	0.1	31.4
個人・著名人のサイト(ブログなど)	3,767	5.6	2.5	2.0	3.3	2.0	2.0	62.7	0.1	26.3
商品比較・クチコミなどのコミュニティサイト	3,247	4.3	2.5	2.2	2.7	1.7	2.6	55.3	0.3	32.3
Q&Aサイト	3,974	3.5	2.0	1.7	2.2	1.4	3.1	57.8	0.3	31.1
辞書・百科事典サイト(Wikipedia、goo辞書など)	3,489	3.4	1.6	1.4	1.8	0.7	3.2	55.4	0.3	34.3
動画共有サイト(YouTube、ニコニコ動画など)	2,828	7.1	2.0	2.4	2.6	0.8	2.8	54.0	0.2	31.8
懸賞サイト	4,261	6.0	4.8	3.1	6.5	0.6	2.7	55.2	0.2	28.9
アダルトサイト	4,492	18.3	10.4	6.6	6.5	1.2	1.5	57.2	0.2	21.9
海外サイト	4,715	19.5	8.1	6.6	6.9	1.0	3.6	54.3	0.3	22.7
インターネットショッピング(Amazon、楽天など)	1,250	6.2	4.9	5.4	6.0	0.7	3.0	38.7	0.2	40.2
インターネットオークション	3,924	3.9	7.1	5.6	4.3	1.3	4.0	58.9	0.2	24.7
インターネットバンキング	3,208	6.6	7.5	9.7	8.9	0.5	4.4	51.8	0.3	26.5

	全体	ウイルス感染被害が心配だから	詐欺などの金銭被害が心配だから	不正利用や不正送金による金銭被害が心配だから	情報漏えいが心配だから	恨みを持つたり誹謗中傷されたりすることが心配だから	利用方法がよくわからないから	あまり利用する必要性を感じないから	その他	特に理由はない
株のネット取引	4,269	4.5	5.6	6.0	5.1	0.8	4.9	59.3	0.3	24.2
仮想通貨のネット取引(Bitcoin、Ethereumなど)	4,916	5.0	7.9	8.0	5.1	0.7	5.3	61.5	0.3	21.4
国税のネット手続き(e-Taxなど)	4,617	3.2	3.1	2.9	3.6	0.5	7.4	59.5	0.6	24.8
オンライン予約(宿泊、航空券、飲食店など)	3,499	3.3	2.3	2.3	3.3	0.7	3.4	55.8	0.2	31.9
オンラインゲーム	4,362	4.7	2.6	2.5	2.6	0.9	2.4	65.3	0.4	24.0
オンライン翻訳	4,418	3.0	1.5	1.5	1.6	0.6	3.2	63.6	0.2	27.1
オンラインस्कラン(ウイルスチェック)	4,643	5.2	2.4	2.0	2.7	0.5	5.2	57.4	0.3	28.7
ビデオチャット(Skypeなど)	4,791	3.8	2.2	1.9	2.8	1.1	3.9	64.6	0.2	24.4
SNS(Facebook、mixi、Google+、Twitter、LINEなど)	3,558	4.1	2.4	2.0	4.6	3.6	3.8	60.8	0.4	25.8
Webメール(Gmail、Yahoo!メールなど)	2,781	5.0	2.2	2.1	4.0	1.2	3.2	53.4	0.4	32.1
クラウドストレージ(Dropbox、 iCloud、 GoogleDriveなど)	4,535	3.2	1.8	1.6	3.4	0.7	5.0	61.2	0.1	27.0
動画配信サービス(hulu、Netflix、U-NEXTなど)	4,388	4.0	1.9	2.1	2.1	0.7	3.0	62.9	0.4	26.7
掲示板	4,391	4.3	2.3	2.0	3.4	4.0	2.8	62.3	0.1	25.4
ファイル交換ソフト(Winny、Winnyp、Shareなど)	4,971	11.1	3.3	3.7	5.8	0.8	4.8	60.0	0.2	23.6

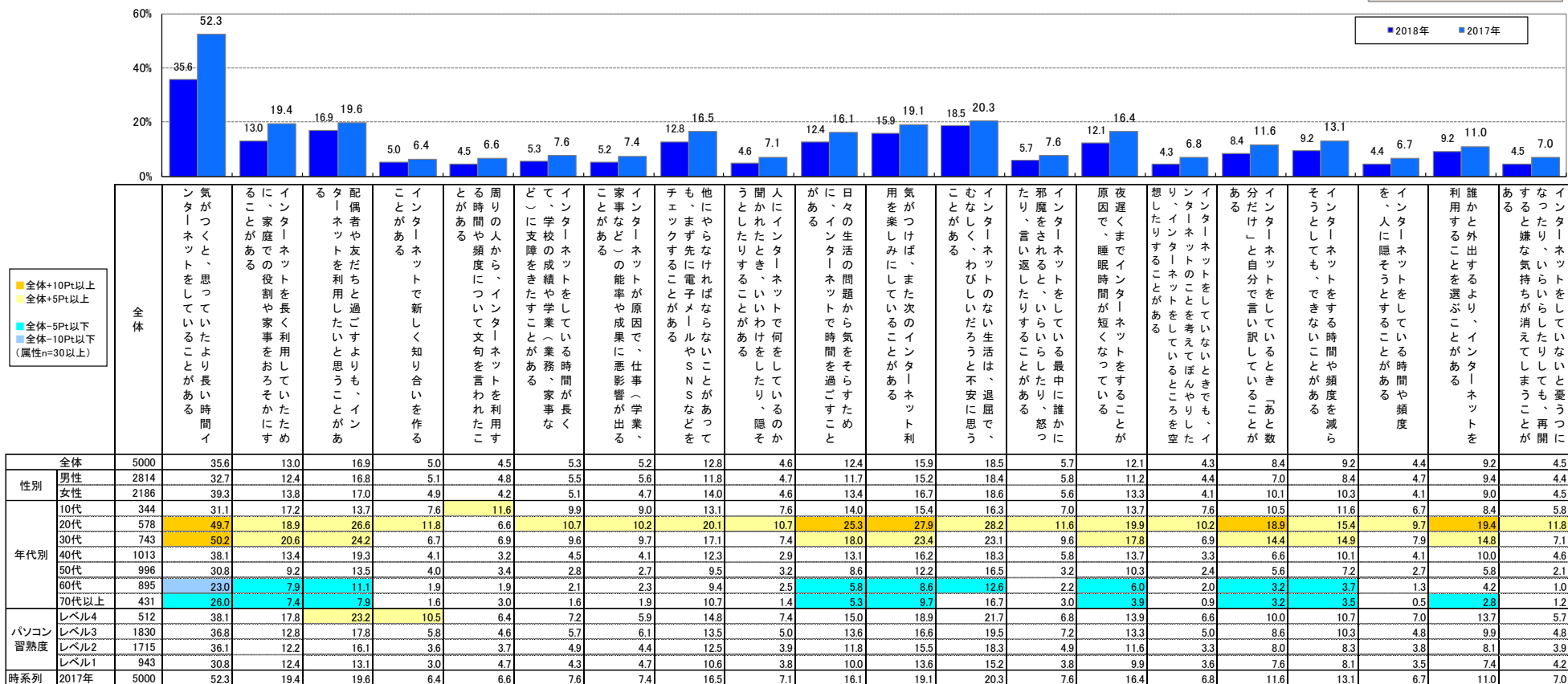
※今年度から全面改訂

# 4-1-10.インターネットへの依存

- インターネットへの依存について最も高いのは、「気がつく、思っていたより長い時間インターネットをしていることがある」(35.6%)である。次いで「インターネットのない生活は、退屈で、むなしく、わびしいだろうと不安に思うことがある」(18.5%)、「配偶者や友だちと過ごすよりも、インターネットを利用したいと思うことがある」(16.9%)、「気がつけば、また次のインターネット利用を楽しみにしていることがある」(15.9%)と続く。
- 年代別でみると、「気がつく、思っていたより長い時間インターネットをしていることがある」が20代は14.1ポイント、30代は14.6ポイント、20代は「日々の生活の問題から気をそらすために、インターネットで時間を過ごすことがある」が12.9ポイント、「気がつけば、また次のインターネット利用を楽しみにしていることがある」が12ポイント、「インターネットをしているとき「あと数分だけ」と自分で言い訳していることがある」が10.5ポイント、「誰かと外出するより、インターネットを利用することを選ぶことがある」が10.2ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「気がつく、思っていたより長い時間インターネットをしていることがある」が16.7ポイント、「インターネットを長く利用していたために、家庭での役割や家事をおろそかにすることがある」が6.4ポイント減少している。

【Q6】あなたが最近インターネットを利用する中で、次のようなことはどの程度ありますか。それぞれについて、ひとつずつお選びください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「いつもある」「よくある」の合計値

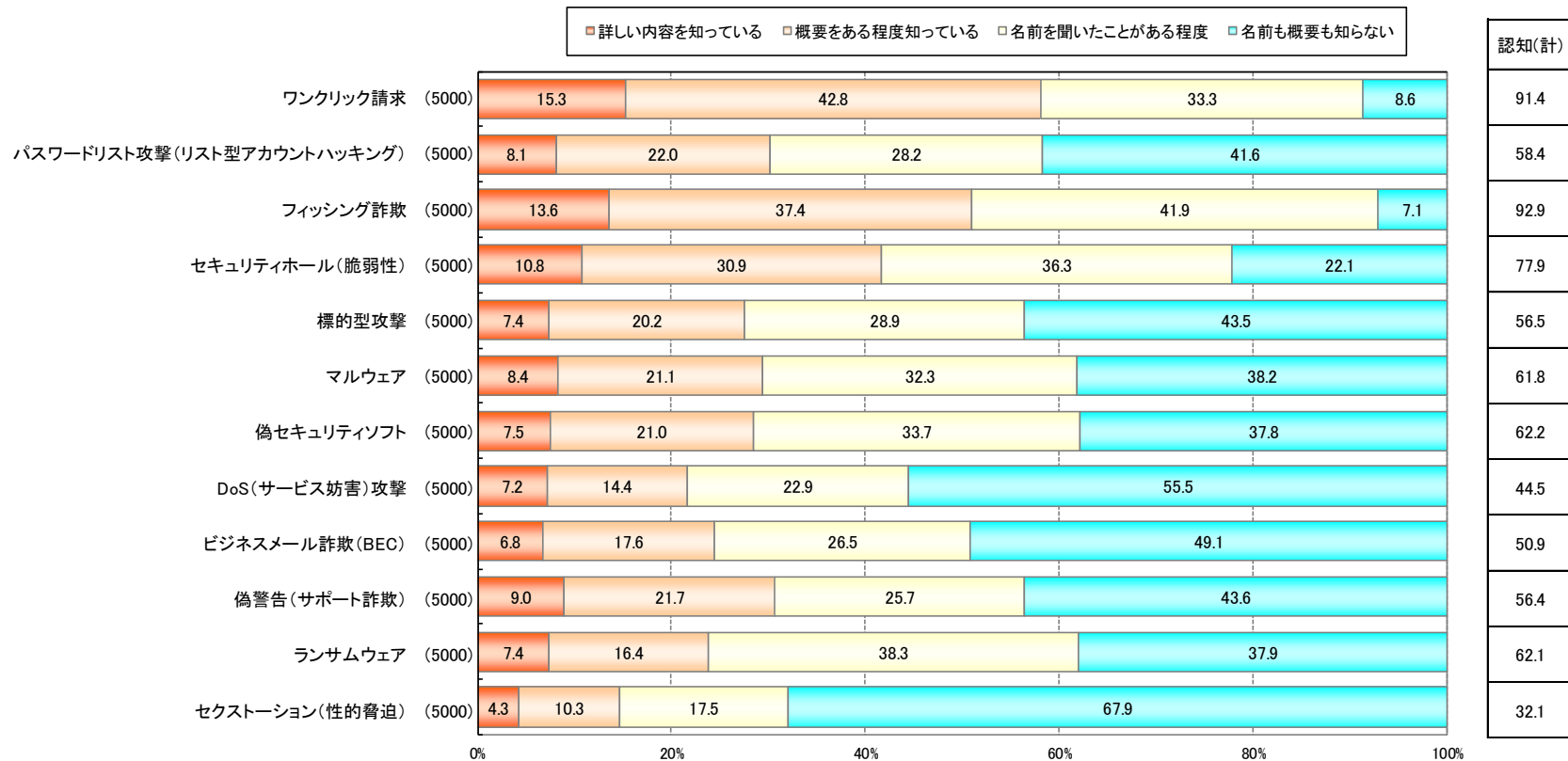


## 4-2.インターネット利用時の脅威や被害

### 4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知(計)をみると、「フィッシング詐欺」(92.9%)が最も高い。次いで「ワンクリック請求」(91.4%)、「セキュリティホール(脆弱性)」(77.9%)、「偽セキュリティソフト」(62.2%)と続く。

【Q7】 あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

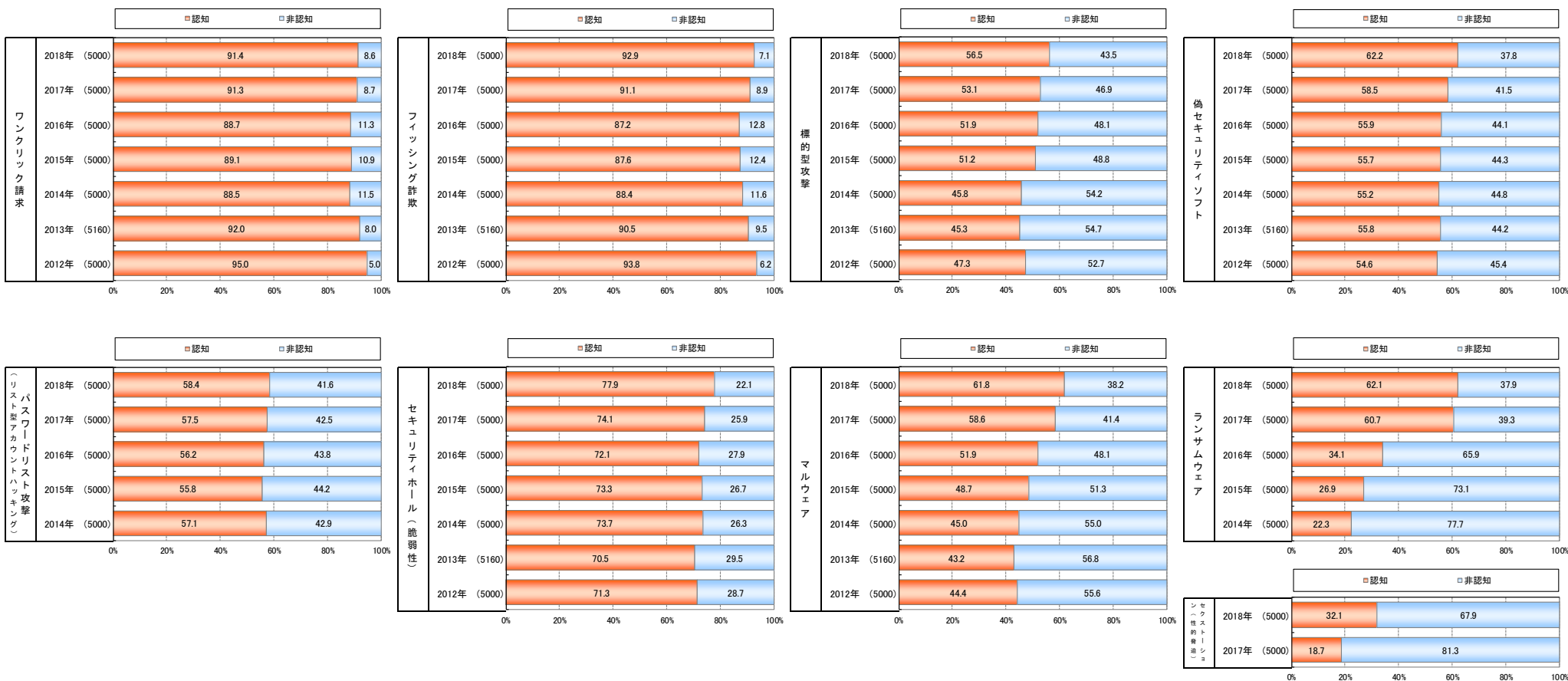


※「DoS(サービス妨害)攻撃」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」は今年度から追加した設問  
 ※「セクストーション(性的脅迫)」→2017年以前は「セクストーション」

## 4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知②

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の「認知」について、前年(2017年)と比較すると、「セクストーション(性的脅迫)」が13.4ポイント増加している。また、「セキュリティホール(脆弱性)」が3.8ポイント、「偽セキュリティソフト」が3.7ポイント、「標的型攻撃」が3.4ポイント、「マルウェア」が3.2ポイント増加している。

【Q7】あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)



※「セクストーション(性的脅迫)」  
→2017年以前は「セクストーション」

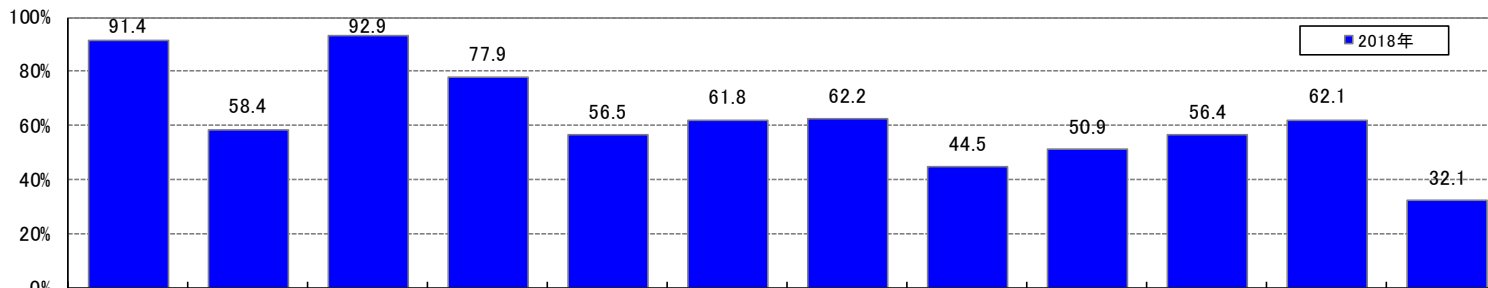


## 4-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知③

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知について最も高いのは、「フィッシング詐欺」(92.9%)である。次いで「ワンクリック請求」(91.4%)、「セキュリティホール(脆弱性)」(77.9%)、「偽セキュリティソフト」(62.2%)と続く。
- 性別でみると、男性は「標的型攻撃」が11.7ポイント、「マルウェア」が11.5ポイント、「DoS(サービス妨害)攻撃」が11.1ポイント全体に比べて高い。
- 年代別でみると、20代は「マルウェア」が10.5ポイント、「セクストーション(性的脅迫)」が14.1ポイント、「DoS(サービス妨害)攻撃」が20代は15.2ポイント、30代は10.3ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「標的型攻撃」「DoS(サービス妨害)攻撃」が30ポイント以上、「パスワードリスト攻撃(リスト型アカウントハッキング)」「マルウェア」「偽セキュリティソフト」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」「ランサムウェア」「セクストーション(性的脅迫)」が20ポイント以上全体に比べて高い。

【Q7】あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「詳しい内容を知っている」「概要をある程度知っている」「名前を聞いたことがある程度」の合計値



		全体	ワンクリック請求	パスワードリスト攻撃(リスト型アカウントハッキング)	フィッシング詐欺	セキュリティホール(脆弱性)	標的型攻撃	マルウェア	偽セキュリティソフト	DoS(サービス妨害)攻撃	ビジネスメール詐欺(BEC)	偽警告(サポート詐欺)	ランサムウェア	セクストーション(性的脅迫)
全体		5000	91.4	58.4	92.9	77.9	56.5	61.8	62.2	44.5	50.9	56.4	62.1	32.1
性別	男性	2814	93.7	66.6	95.5	85.3	68.2	73.3	69.7	55.6	60.0	65.1	70.8	39.2
	女性	2186	88.4	47.8	89.6	68.3	41.4	47.1	52.6	30.3	39.2	45.2	50.8	23.0
年代別	10代	344	92.2	61.0	90.7	76.2	61.3	62.8	63.4	49.7	54.7	59.0	62.8	39.8
	20代	578	94.1	67.8	92.7	80.6	63.3	72.3	68.9	59.7	60.7	65.7	71.3	46.2
	30代	743	94.3	61.4	93.5	78.6	55.7	69.7	62.4	54.8	52.9	60.0	66.4	35.9
	40代	1013	93.8	58.8	95.3	79.1	56.3	66.9	59.6	47.8	53.0	58.5	65.9	31.3
	50代	996	91.4	55.2	93.4	77.7	55.5	61.3	61.4	41.0	51.2	55.9	63.0	30.6
	60代	895	86.8	51.6	91.7	75.8	54.1	50.8	61.9	32.0	43.9	48.0	54.9	25.1
	70代以上	431	85.8	58.7	89.6	76.6	52.4	45.5	60.3	29.2	40.1	49.4	45.5	20.0
パソコン習熟度	レベル4	512	95.7	85.5	97.7	94.1	87.7	91.0	84.2	83.0	80.1	81.1	88.7	61.9
	レベル3	1830	96.0	68.0	97.2	89.3	67.1	77.2	71.7	56.7	60.5	69.1	74.6	40.1
	レベル2	1715	90.1	51.2	92.2	73.2	47.6	52.0	56.6	32.7	43.7	48.3	54.5	23.7
	レベル1	943	82.4	38.1	83.2	55.4	35.0	34.0	42.1	21.7	29.4	33.4	36.9	15.6

※「DoS(サービス妨害)攻撃」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」は今年度から追加した設問  
 ※「セクストーション(性的脅迫)」→2017年以前は「セクストーション」

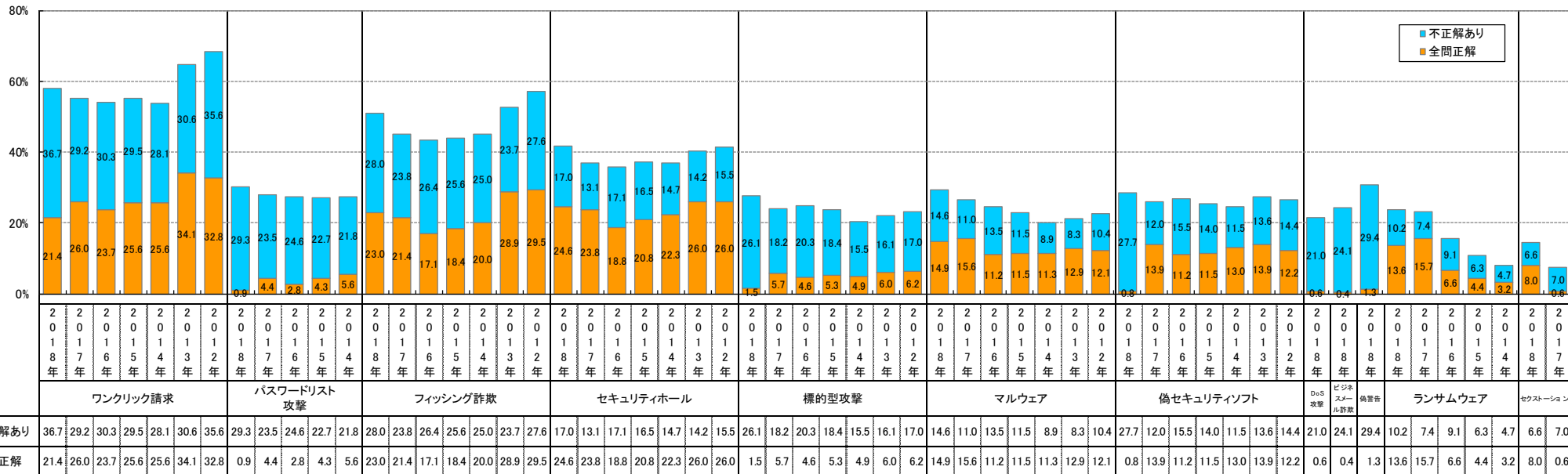
## 4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度について、全問正解の割合をみると、「セキュリティホール」(24.6%)が最も高い。次いで「フィッシング詐欺」(23.0%)、「ワンクリック請求」(21.4%)、「マルウェア」(14.9%)、「ランサムウェア」(13.6%)と続く。

【Q8】 次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※インターネット上での各攻撃・脅威を問う設問において、全3問正解の場合を「全問正解」、正解が2問以下の場合を「不正解あり」と定義している。

※n数を調査対象者全体として算出。 2018年:n=5000 2017年:n=5000 2016年:n=5000 2015年:n=5000 2014年:n=5000 2013年:n=5160 2012年:n=5000



※「DoS(サービス妨害)攻撃」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」は今年度から追加した設問

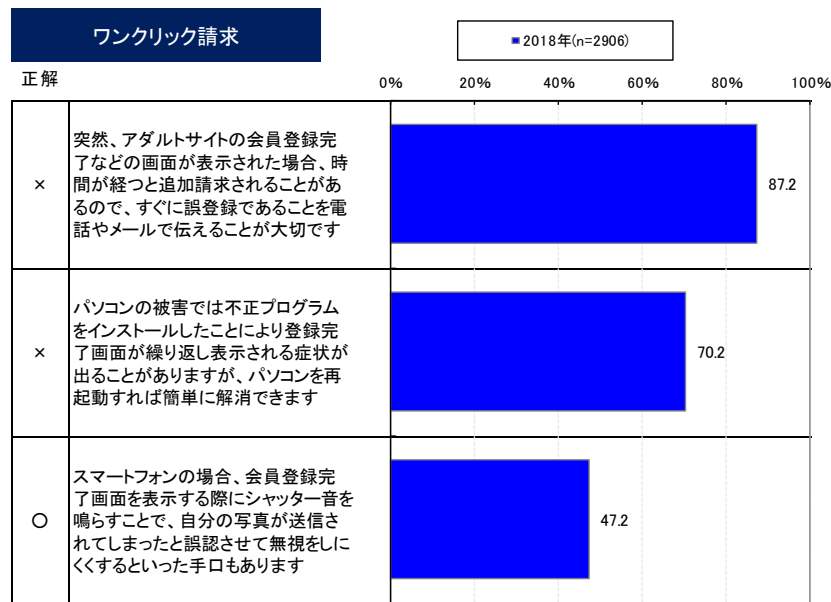
※「セクストーション(性的脅迫)」→2017年以前は「セクストーション」

## 4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度②

- ワンクリック請求について、全問正解率は36.9%。
- 「突然、アダルトサイトの会員登録完了などの画面が表示された場合、時間が経つと追加請求されることがあるので、すぐに誤登録であることを電話やメールで伝えることが大切です」(87.2%)の正解率が最も高く、次いで「パソコンの被害では不正プログラムをインストールしたことにより登録完了画面が繰り返し表示される症状がありますが、パソコンを再起動すれば簡単に解消できます」(70.2%)、「スマートフォンの場合、会員登録完了画面を表示する際にシャッター音を鳴らすことで、自分の写真が送信されてしまったと誤認させて無視をしにくくするといった手口もあります」(47.2%)と続く。
- パスワードリスト攻撃について、全問正解率は3.0%。前年(2017年)よりも12.9ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「辞書や人名録などのリストに載っている単語やそれらを組み合わせたパスワードを総当たりする攻撃手法です」の正解率が12.8ポイント減少している。

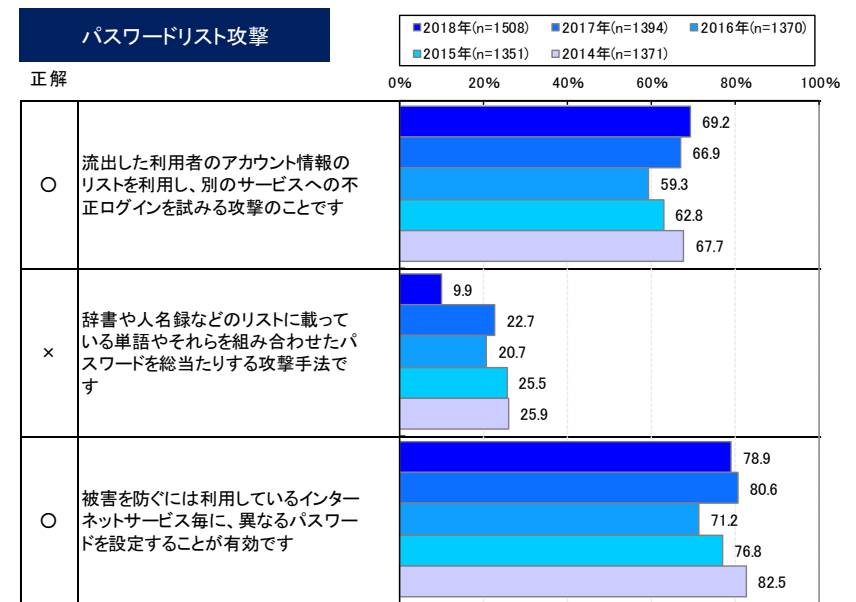
【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



※今年度から全面改訂

	全問正解	不正解あり
2018年	36.9%	63.1%



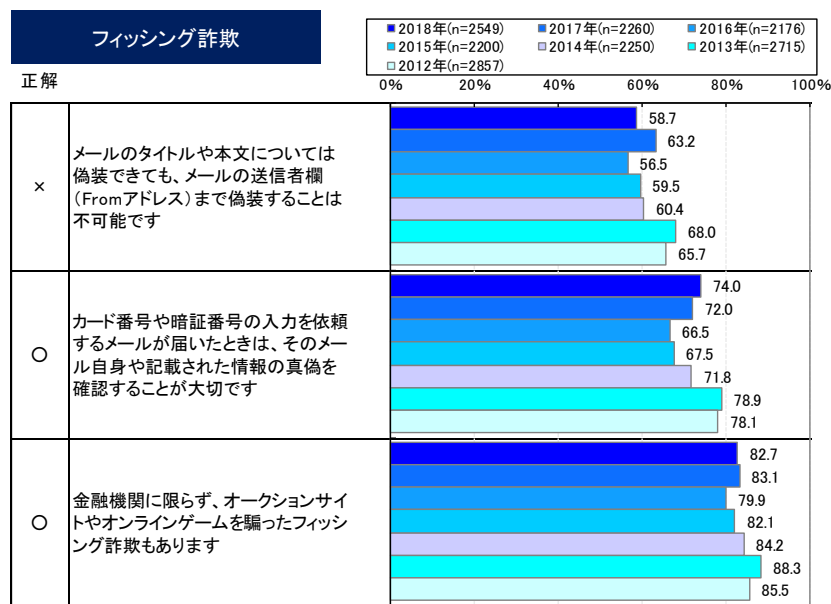
	全問正解	不正解あり
2018年	3.0%	97.0%
2017年	15.9%	84.1%
2016年	10.1%	89.9%
2015年	15.9%	84.1%
2014年	20.5%	79.5%

## 4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度③

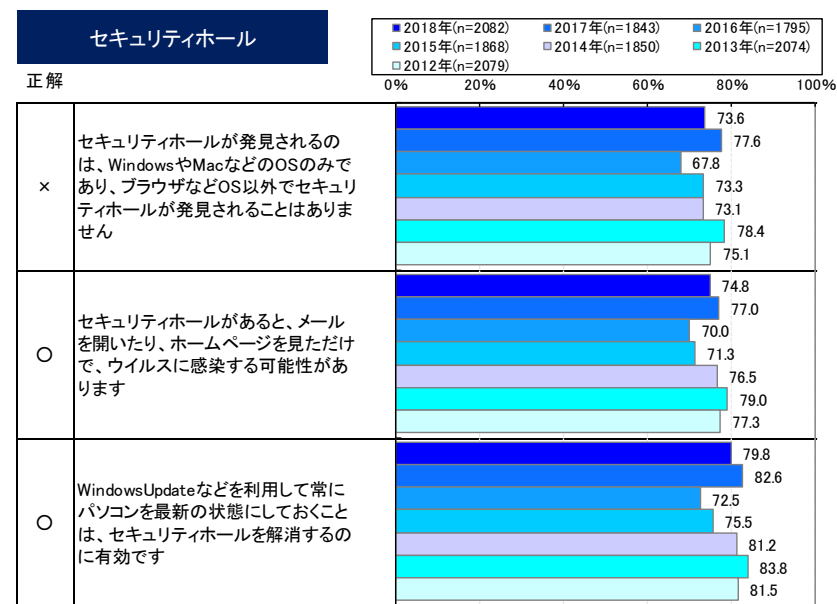
- フィッシング詐欺について、全問正解率は45.0%。
- 前年(2017年)と比較すると、「メールのタイトルや本文については偽装できても、メールの送信者欄(Fromアドレス)まで偽装することは不可能です」の正解率が4.5ポイント減少している。
- セキュリティホールについて、全問正解率は59.2%。前年(2017年)よりも5.4ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「セキュリティホールが発見されるのは、WindowsやMacなどのOSのみであり、ブラウザなどOS以外でセキュリティホールが発見されることはありません」の正解率が4ポイント減少している。

【Q8】 次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上の各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



	全問正解	不正解あり
2018年	45.0%	55.0%
2017年	47.3%	52.7%
2016年	39.2%	60.8%
2015年	41.9%	58.1%
2014年	44.5%	55.5%
2013年	54.9%	45.1%
2012年	51.7%	48.3%



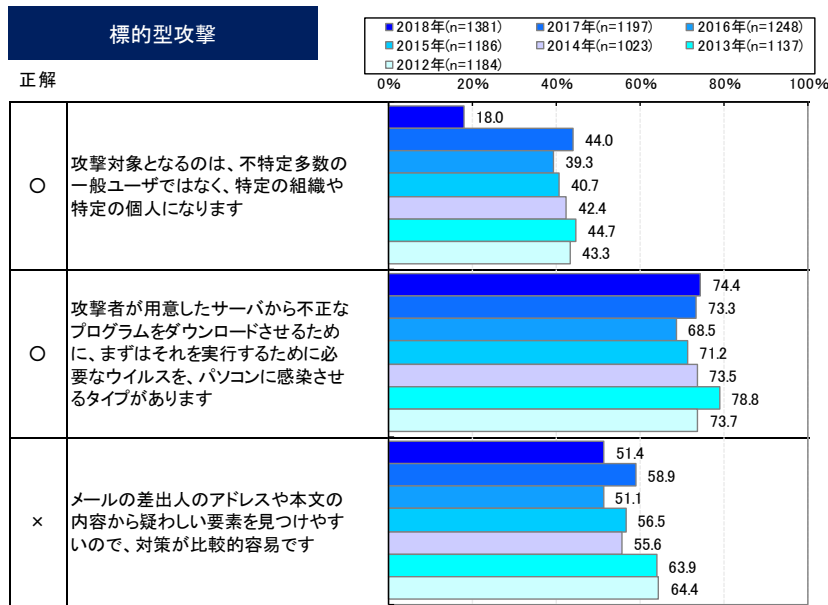
	全問正解	不正解あり
2018年	59.2%	40.8%
2017年	64.6%	35.4%
2016年	52.3%	47.7%
2015年	55.8%	44.2%
2014年	60.3%	39.7%
2013年	64.7%	35.3%
2012年	62.7%	37.3%

## 4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度④

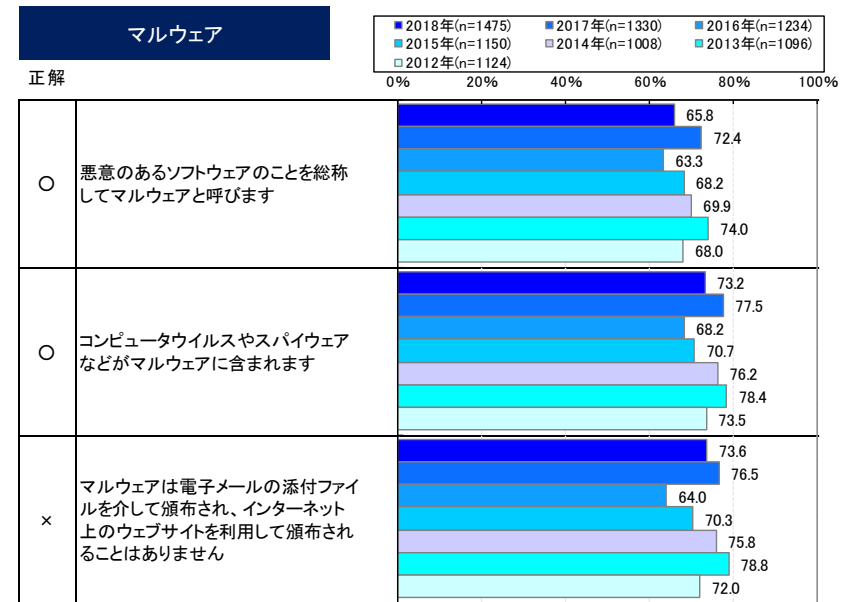
- 標的型攻撃について、全問正解率は5.4%。前年(2017年)よりも18.6ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「攻撃対象となるのは、不特定多数の一般ユーザではなく、特定の組織や特定の個人になります」の正解率が26ポイント大きく減少している。また、「メールの差出人のアドレスや本文の内容から疑わしい要素を見つけやすいので、対策が比較的容易です」の正解率が7.5ポイント減少している。
- マルウェアについて、全問正解率は50.4%。前年(2017年)よりも8.4ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「悪意のあるソフトウェアのことを総称してマルウェアと呼びます」の正解率が6.6ポイント、「コンピュータウイルスやスパイウェアなどがマルウェアに含まれます」の正解率が4.3ポイント減少している。

【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上の各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



	全問正解	不正解あり
2018年	5.4%	94.6%
2017年	24.0%	76.0%
2016年	18.6%	81.4%
2015年	22.5%	77.5%
2014年	24.0%	76.0%
2013年	27.1%	72.9%
2012年	26.8%	73.2%



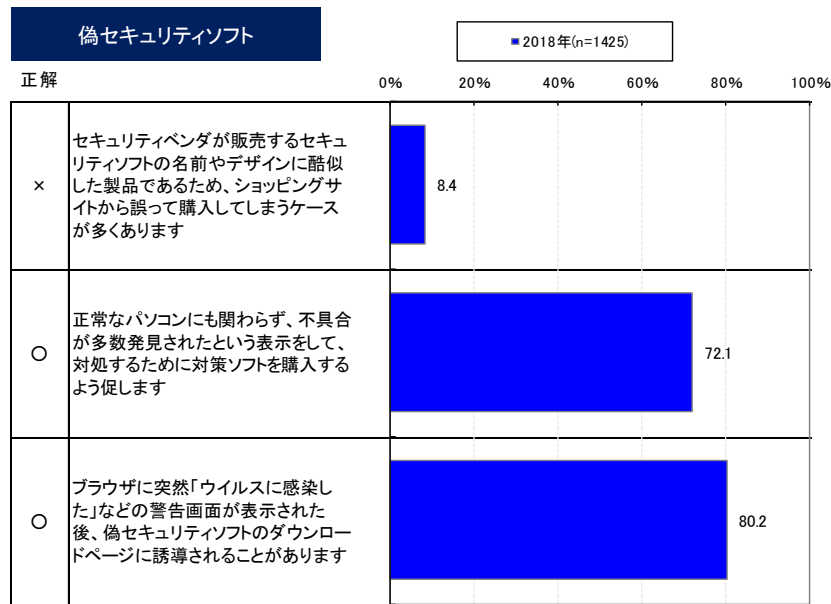
	全問正解	不正解あり
2018年	50.4%	49.6%
2017年	58.8%	41.2%
2016年	45.4%	54.6%
2015年	50.2%	49.8%
2014年	56.1%	43.9%
2013年	60.8%	39.2%
2012年	53.8%	46.2%

## 4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑤

- 偽セキュリティソフトについて、全問正解率は2.9%。
- 「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面が表示された後、偽セキュリティソフトのダウンロードページに誘導されることがあります」(80.2%)の正解率が最も高く、次いで「正常なパソコンにも関わらず、不具合が多数発見されたという表示をして、対処するために対策ソフトを購入するよう促します」(72.1%)、「セキュリティベンダが販売するセキュリティソフトの名前やデザインに酷似した製品であるため、ショッピングサイトから誤って購入してしまうケースが多くあります」(8.4%)と続く。
- DoS攻撃について、全問正解率は2.8%。
- 「特定のサービスやサーバに対して、過剰なアクセスによる負荷をかけるなどによって利用できない状況にする攻撃です」(73.8%)の正解率が最も高く、次いで「ショッピングサイトにおいて被害を防ぐためには、大量の発注でもサービスが低下しないように作業員や在庫を十分に確保しておくことが重要です」(45.2%)、「他者のアカウントに不正ログインをして、各種設定を変更するなど当該サービスを利用できない状況にする攻撃です」(9.2%)と続く。

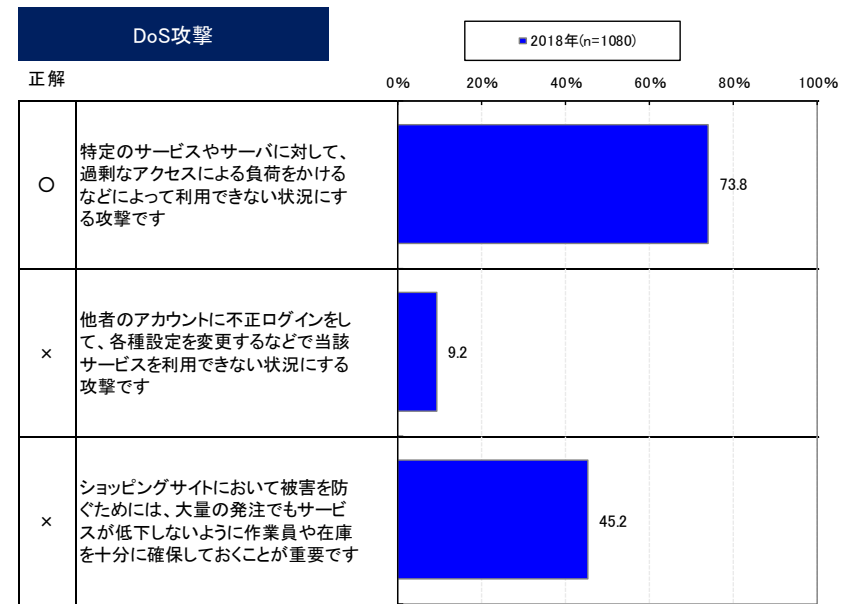
【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



※今年度から全面改訂

	全問正解	不正解あり
2018年	2.9%	97.1%



※今年度から追加した設問

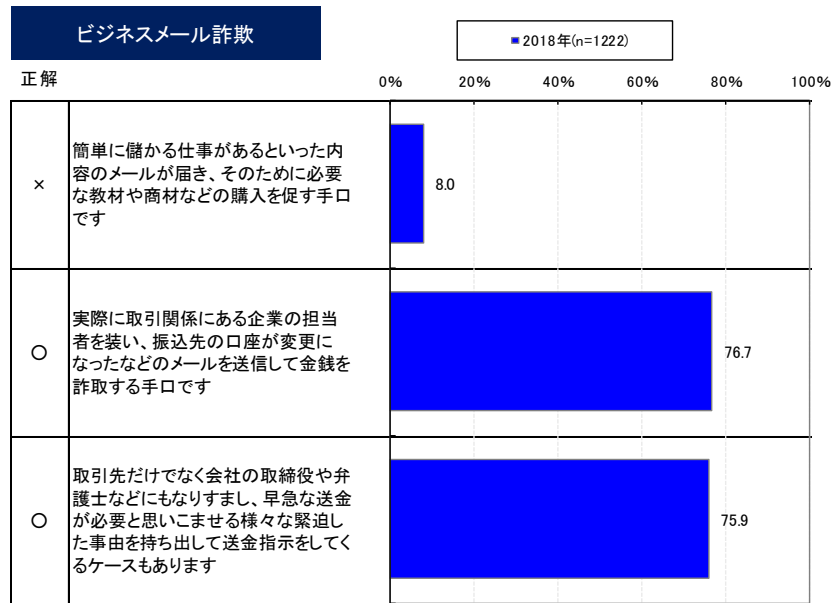
	全問正解	不正解あり
2018年	2.8%	97.2%

## 4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑥

- ビジネスメール詐欺について、全問正解率は1.5%。
- 「実際に取引関係にある企業の担当者を装い、振込先の口座が変更になったなどのメールを送信して金銭を詐取する手口です」(76.7%)の正解率が最も高く、次いで「取引先だけでなく会社の取締役や弁護士などにもなりすまし、早急な送金が必要と思わせる様々な緊迫した事由を持ち出して送金指示をしてくるケースもあります」(75.9%)、「簡単に儲かる仕事があるといった内容のメールが届き、そのために必要な教材や商材などの購入を促す手口です」(8.0%)と続く。
- 偽警告について、全問正解率は4.2%。
- 「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面と電話番号を表示させ、不安を煽って電話をかけるように誘導する手口です」(80.4%)の正解率が最も高く、次いで「遠隔操作でパソコンを調査すると提案され、調査の結果パソコンに問題が見つかったとして有償のサポート契約を持ちかけられます」(73.3%)、「自宅にサポートデスクの担当者が訪問し、パソコンをチェックするとパフォーマンスが低下しているという診断結果を告げられて新しいパソコンの購入を迫られます」(11.9%)と続く。

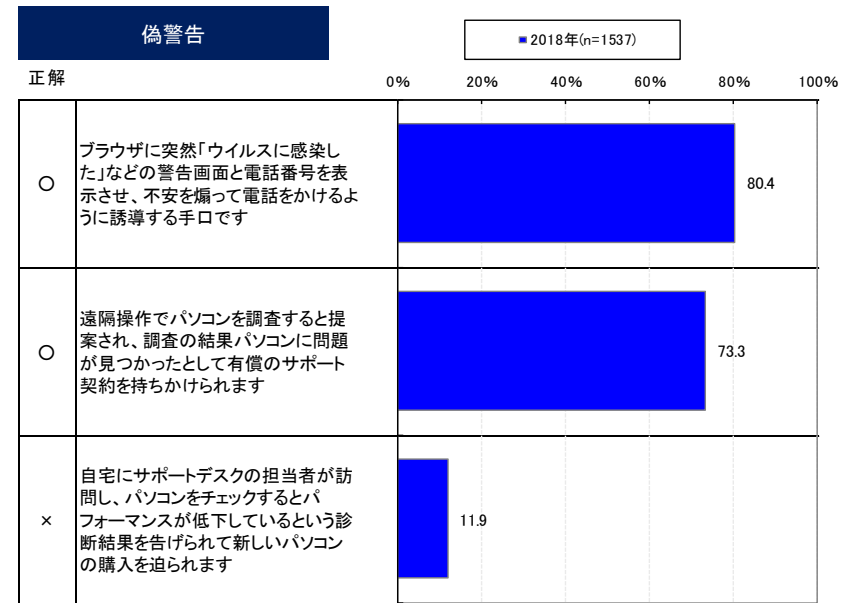
【Q8】 次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



※今年度から追加した設問

	全問正解	不正解あり
2018年	1.5%	98.5%



※今年度から追加した設問

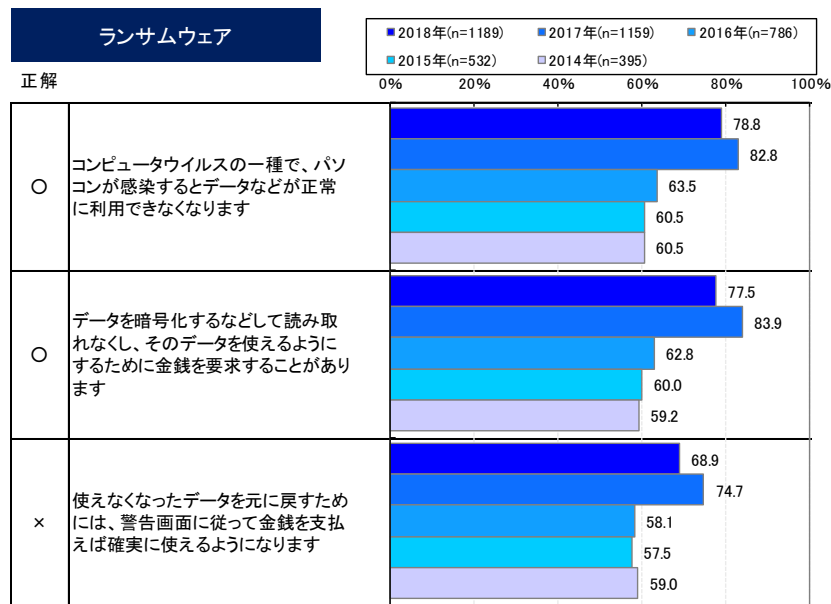
	全問正解	不正解あり
2018年	4.2%	95.8%

## 4-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑦

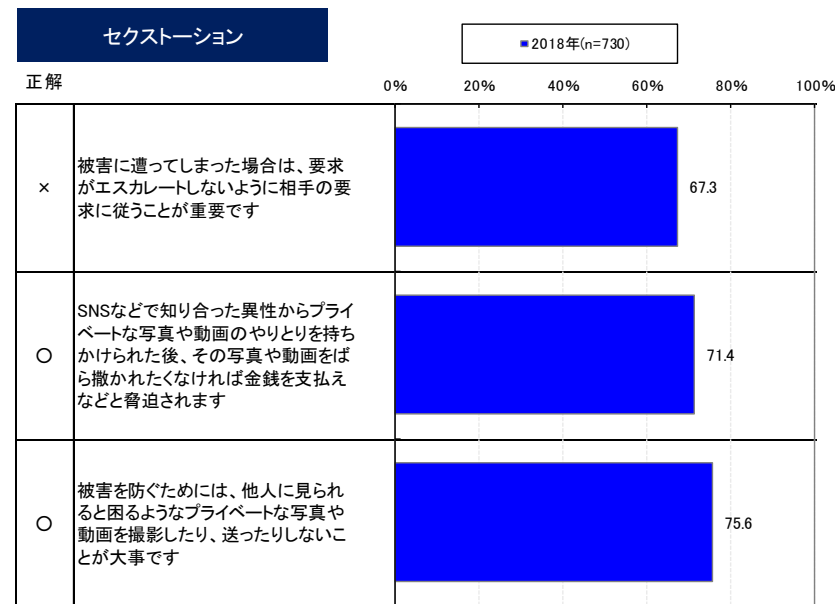
- ランサムウェアについて、全問正解率は57.0%。前年(2017年)よりも10.9ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「データを暗号化するなどして読み取れなくし、そのデータを使えるようにするために金銭を要求することがあります」の正解率が6.4ポイント、「使えなくなったデータを元に戻すためには、警告画面に従って金銭を支払えば確実に使えるようになります」の正解率が5.8ポイント、「コンピュータウイルスの一種で、パソコンが感染するとデータなどが正常に利用できなくなります」の正解率が4ポイント減少している。
- セクストーションについて、全問正解率は54.7%。
- 「被害を防ぐためには、他人に見られると困るようなプライベートな写真や動画を撮影したり、送ったりしないことが大事です」(75.6%)の正解率が最も高く、次いで「SNSなどで知り合った異性からプライベートな写真や動画のやりとりを持ちかけられた後、その写真や動画をばら撒かれなければ金銭を支払えなどと脅迫されます」(71.4%)、「被害に遭ってしまった場合は、要求がエスカレートしないように相手の要求に従うことが重要です」(67.3%)と続く。

【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上の各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



	全問正解	不正解あり
2018年	57.0%	43.0%
2017年	67.9%	32.1%
2016年	42.2%	57.8%
2015年	41.0%	59.0%
2014年	40.0%	60.0%



※今年度から全面改訂

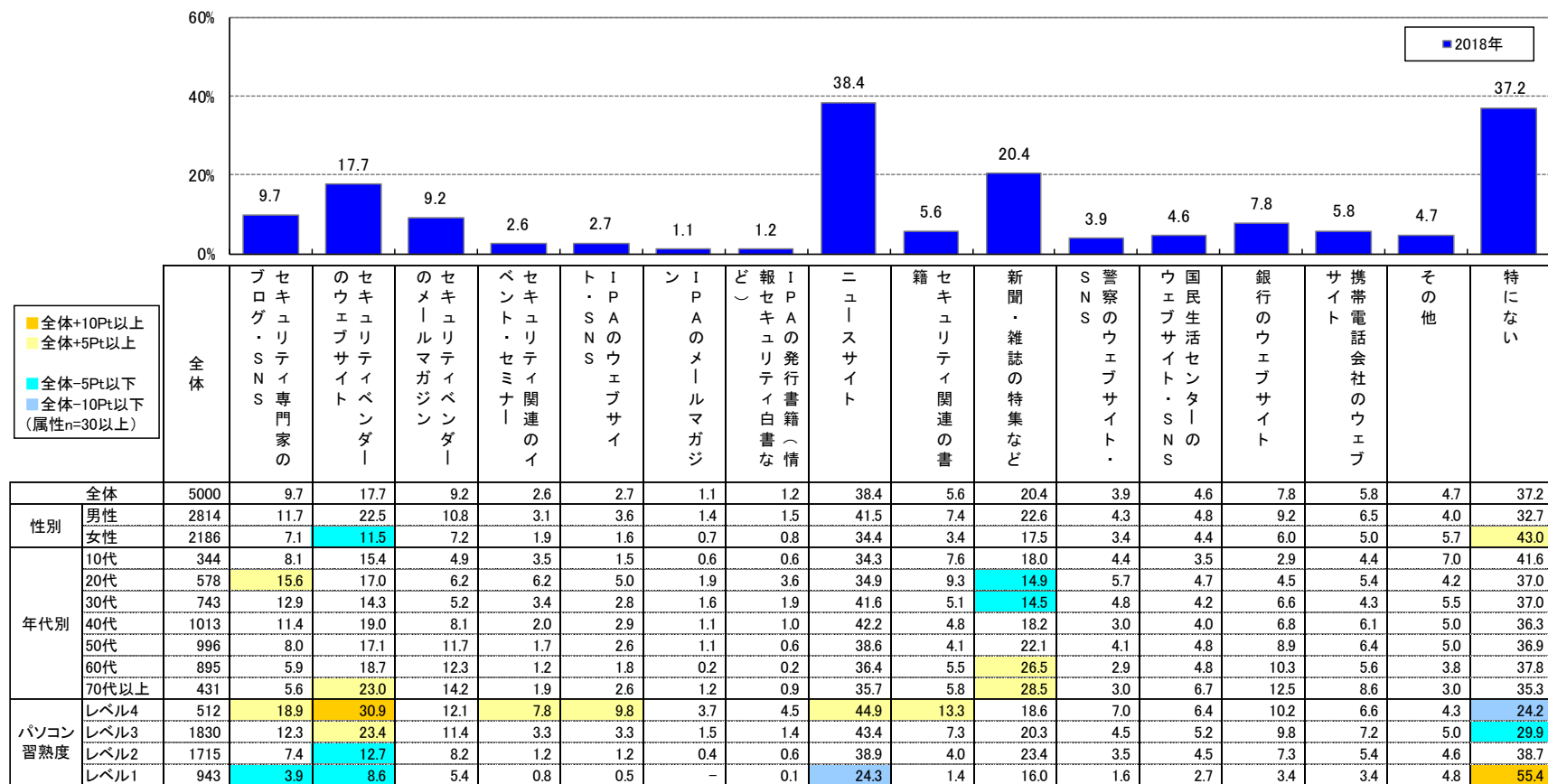
	全問正解	不正解あり
2018年	54.7%	45.3%



### 4-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の情報入手

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の情報入手について最も高いのは、「ニュースサイト」(38.4%)である。次いで「特にない」(37.2%)、「新聞・雑誌の特集など」(20.4%)、「セキュリティベンダーのウェブサイト」(17.7%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「特にない」が5.8ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「セキュリティベンダーのウェブサイト」が13.2ポイント、「レベル1」は「特にない」が18.2ポイント全体に比べて高い。

【Q9】 あなたは前問で挙げたような攻撃や脅威などのセキュリティに関する情報を、どこで確認、入手していますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

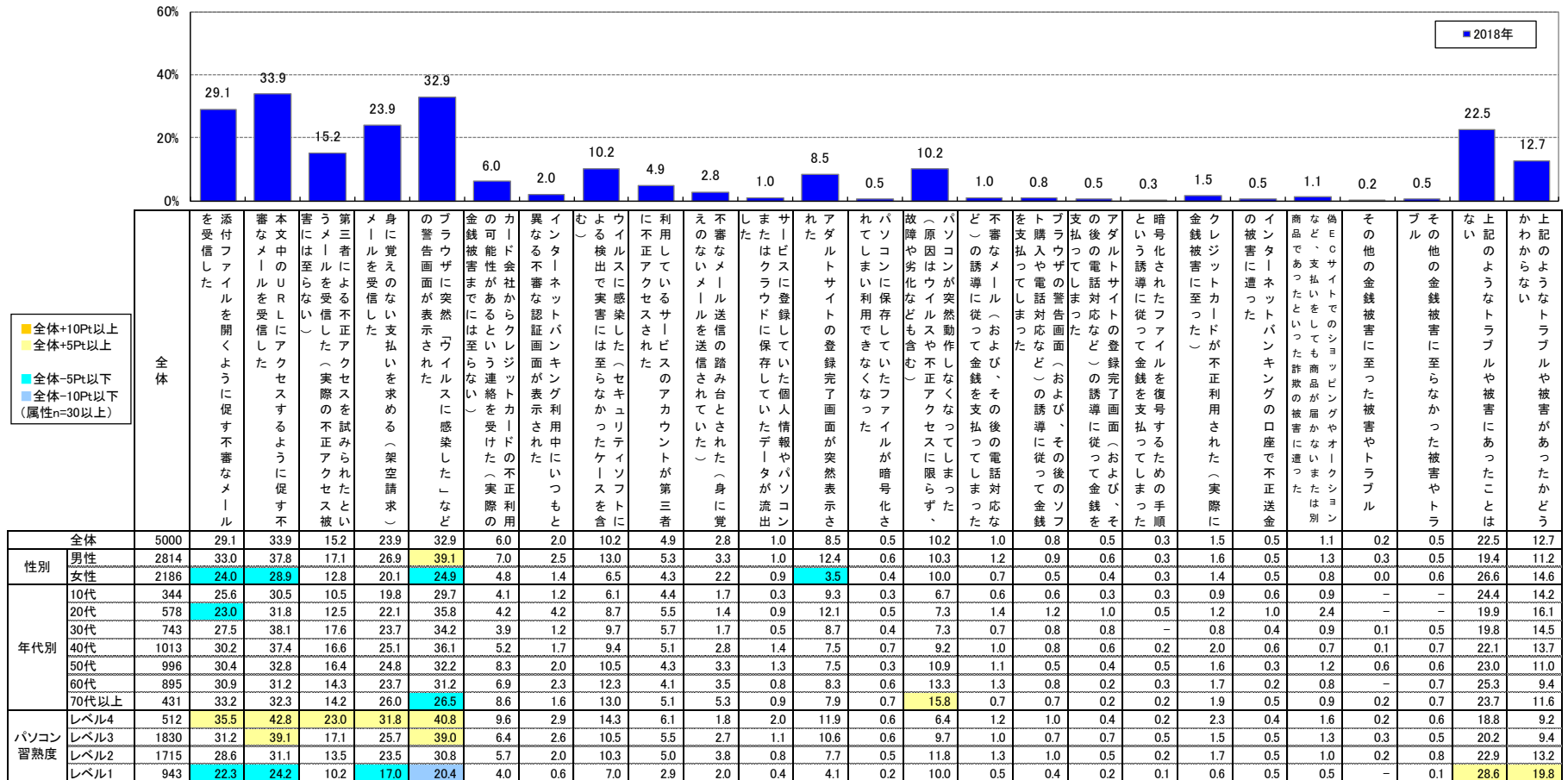


※今年度から追加した設問

## 4-2-4.過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルについて最も高いのは、「本文中のURLにアクセスするように促す不審なメールを受信した」(33.9%)である。次いで「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面が表示された」(32.9%)、「添付ファイルを開くように促す不審なメールを受信した」(29.1%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面が表示された」が6.2ポイント全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、70代以上は「パソコンが突然動作しなくなってしまった(原因はウイルスや不正アクセスに限らず、故障や劣化なども含む)」が5.6ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「添付ファイルを開くように促す不審なメールを受信した」が6.4ポイント、「第三者による不正アクセスを試みられたというメールを受信した(実際の不正アクセス被害には至らない)」が7.8ポイント、「身に覚えのない支払いを求める(架空請求)メールを受信した」が7.9ポイント、「本文中のURLにアクセスするように促す不審なメールを受信した」がレベル4は8.9ポイント、レベル3は5.2ポイント、「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面が表示された」がレベル4は7.9ポイント、レベル3は6.1ポイント、レベル1は「上記のようなトラブルや被害にあったことはない」が6.1ポイント、「上記のようなトラブルや被害があったかどうかわからない」が7.1ポイント全体に比べて高い。

【Q10】 あなたは過去1年間、インターネット利用中に次に挙げるような被害やトラブルを経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



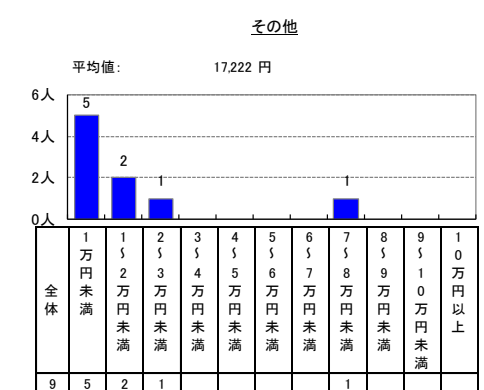
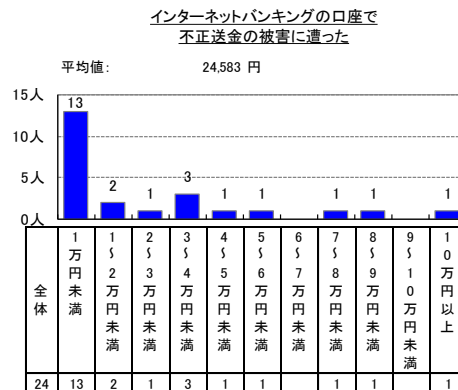
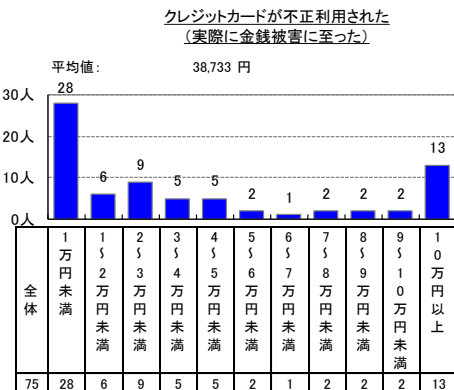
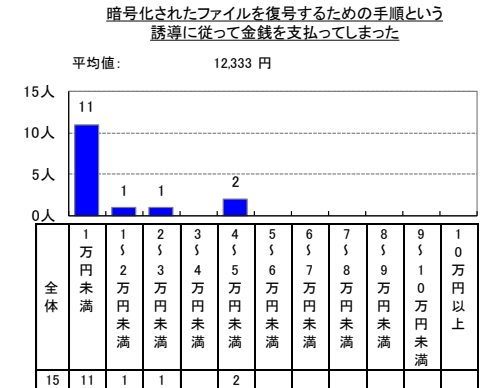
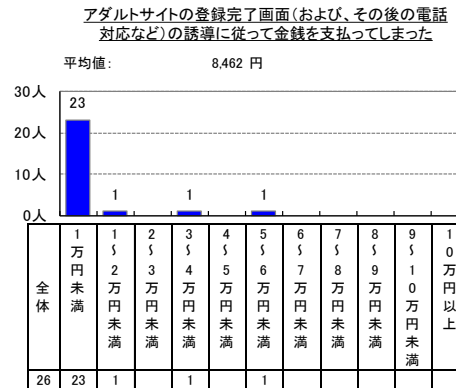
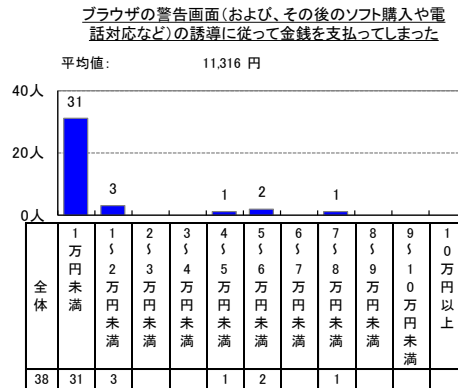
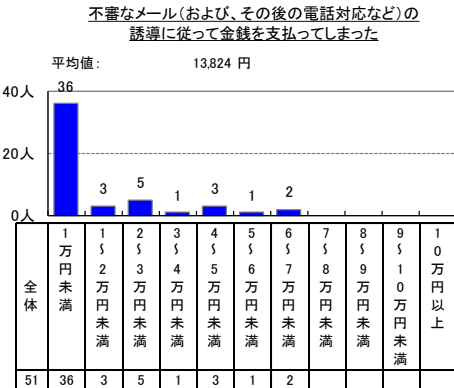
※今年度から全面改訂

## 4-2-5.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭被害額

- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭被害について、「クレジットカードが不正利用された(実際に金銭被害に至った)」は最も被害者が多い(75人)。「1万円未満」の被害額が最も多く、次いで「10万円以上」と続き、平均値は38,733円である。
- 次いで被害者が多い「偽ECサイトでのショッピングやオークションなど、支払いをしても商品が届かないまたは別商品であったといった詐欺の被害に遭った」(54人)も「1万円未満」の被害額が最も多く、平均値は19,259円である。

【Q11】 その際の具体的な被害金額について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=金銭的な被害を被った方(Q10)



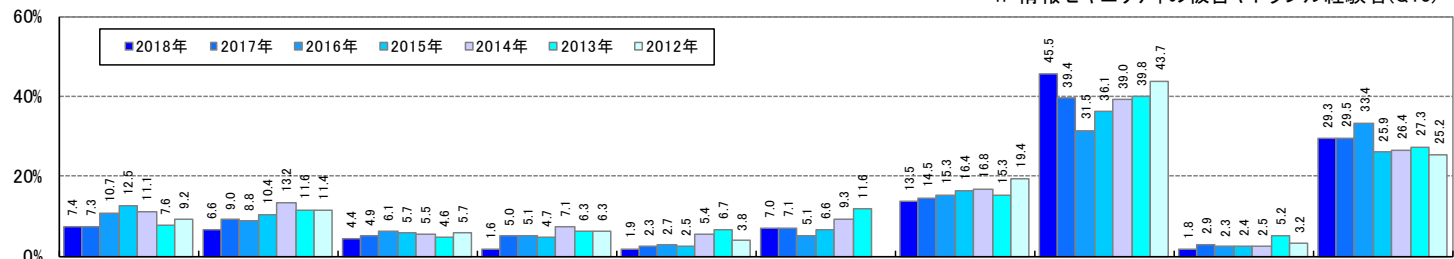
※今年度から追加した設問

## 4-2-6.情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法

- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「自力で対処」(45.5%)である。次いで「何もしなかった」(29.3%)、「家族・友人・知人に相談」(13.5%)、「パソコンメーカーに相談」(7.4%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「自力で対処」が5.8ポイント、女性は「家族・友人・知人に相談」が7.1ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、「自力で対処」がレベル4は11.7ポイント、レベル3は12ポイント、レベル1は「家族・友人・知人に相談」が11.8ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「自力で対処」が6.1ポイント増加している。一方、「サービスの提供会社に相談」が3.4ポイント減少している。

【Q12】 前問でお答えになった被害やトラブルにあったときに、あなたがとった対処方法を以下からすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=情報セキュリティの被害やトラブル経験者(Q10)



		全体	パソコンメーカーに相談	プロバイダに相談	パソコン・ソフトウェアの販売店に相談	サービスの提供会社に相談	公的機関(警察署、消費生活センター、IPAなど)に相談	銀行・クレジットカード会社へ連絡	家族・友人・知人に相談	自力で対処	その他	何もしなかった
性別	全体	3240	7.4	6.6	4.4	1.6	1.9	7.0	13.5	45.5	1.8	29.3
	男性	1954	7.6	7.4	4.6	1.2	1.9	7.5	8.9	51.3	1.5	27.5
	女性	1286	7.0	5.4	4.2	2.3	1.8	6.3	20.6	36.7	2.3	31.9
年代別	10代	211	9.5	6.6	5.7	0.9	1.4	3.8	20.4	40.3	0.9	29.9
	20代	370	11.9	7.3	6.2	-	1.4	5.9	14.1	48.4	0.8	30.3
	30代	488	7.2	5.5	2.9	1.2	1.6	4.1	13.5	50.4	1.6	28.7
	40代	650	3.1	4.0	2.8	1.8	1.2	6.3	9.8	50.3	1.7	31.5
	50代	657	4.6	5.2	3.2	1.5	2.7	9.6	14.9	45.2	1.8	28.3
	60代	585	10.4	8.2	5.8	1.7	1.5	8.5	12.3	39.7	3.1	30.3
	70代以上	279	10.4	13.6	7.9	4.7	3.2	8.6	15.8	39.1	1.8	23.3
パソコン習熟度	レベル4	369	9.2	6.2	4.6	1.1	1.9	8.1	6.0	57.2	2.4	19.0
	レベル3	1289	6.8	5.7	4.1	1.0	1.6	6.8	9.0	57.5	1.3	25.9
	レベル2	1096	6.7	7.9	3.7	2.3	2.2	7.3	16.2	38.1	2.0	33.9
	レベル1	486	9.1	6.4	6.8	2.3	1.9	6.2	25.3	21.6	2.3	35.4
時系列	2017年	1882	7.3	9.0	4.9	5.0	2.3	7.1	14.5	39.4	2.9	29.5
	2016年	1637	10.7	8.8	6.1	5.1	2.7	5.1	15.3	31.5	2.3	33.4
	2015年	1558	12.5	10.4	5.7	4.7	2.5	6.6	16.4	36.1	2.4	25.9
	2014年	2144	11.1	13.2	5.5	7.1	5.4	9.3	16.8	39.0	2.5	26.4
	2013年	1727	7.6	11.6	4.6	6.3	6.7	11.6	15.3	39.8	5.2	27.3
	2012年	1891	9.2	11.4	5.7	6.3	3.8	-	19.4	43.7	3.2	25.2

※「サービスの提供会社に相談」→2017年度以前は「サービス(オークションやゲーム等)の提供会社に相談」

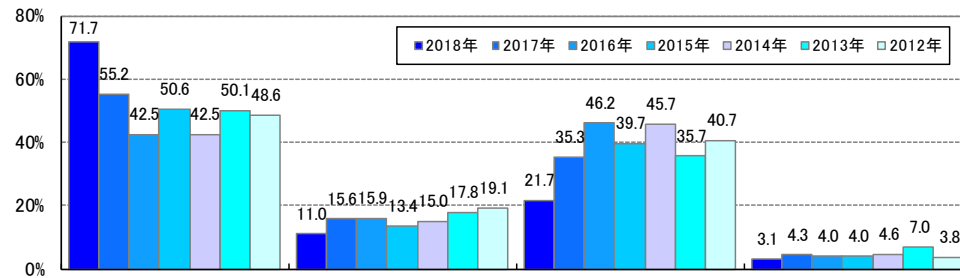
※「公的機関(警察署、消費生活センター、IPAなど)に相談」→2017年度以前は「公的機関(警察署、消費者センター、IPAなど)に相談」

## 4-2-7.情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由

- 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由について最も高いのは、「対処の必要性を感じなかった」(71.7%)である。次いで「何をしてもよいかわからなかった」(21.7%)、「面倒だった」(11.0%)と続く。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「対処の必要性を感じなかった」が11.2ポイント、レベル1は「何をしてもよいかわからなかった」が19.6ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「対処の必要性を感じなかった」が16.5ポイント増加している。一方、「何をしてもよいかわからなかった」が13.6ポイント減少している。

【Q13】 対処を何もしなかった理由をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=被害やトラブル遭遇時に対処しなかった者(Q12)



		理由				
		対処の必要性を感じなかった	面倒だった	何をしてもよいかわからなかった	その他	
全体	全体	948	71.7	11.0	21.7	3.1
	男性	538	74.0	11.0	20.3	2.4
	女性	410	68.8	11.0	23.7	3.9
年代別	10代	63	79.4	15.9	19.0	-
	20代	112	78.6	17.0	17.0	3.6
	30代	140	71.4	7.9	20.0	1.4
	40代	205	73.7	11.7	19.0	3.4
	50代	186	67.2	10.2	24.2	3.8
	60代	177	70.1	7.3	26.0	4.5
	70代以上	65	64.6	12.3	26.2	1.5
	全体	70	82.9	8.6	11.4	2.9
パソコン習熟度	レベル3	334	78.7	9.3	13.8	4.2
	レベル2	372	71.5	12.1	21.8	1.9
	レベル1	172	54.1	12.8	41.3	3.5
	全体	556	55.2	15.6	35.3	4.3
時系列別	2017年	546	42.5	15.9	46.2	4.0
	2016年	403	50.6	13.4	39.7	4.0
	2015年	567	42.5	15.0	45.7	4.6
	2014年	471	50.1	17.8	35.7	7.0
	2013年	477	48.6	19.1	40.7	3.8
	2012年	477	48.6	19.1	40.7	3.8

## 4-2-8.インターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由

- インターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由についてみると、「メールアドレス」「固定電話番号」「携帯電話番号」は「迷惑な連絡や郵送物が増えることが心配だから」が最も高い。それ以外は全て「詐欺や不正利用などの金銭被害に遭うことが心配だから」が最も高い。

【Q5】次に挙げる情報の中でインターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由として、あてはまるものをすべて選択してください。（お答えはそれぞれいくつでも）

…1位の理由

	全体	に詐欺や不正利用などの金銭被害に遭うことが心配だから	迷惑な連絡や郵送物が増えることが心配だから	自分の趣味や行動を他人に知られてしまうことが心配だから	まสเตอร์カードなどの犯罪に巻き込まれてしまわないか心配だから	その他の心配や不安がある	漏えいしても特に困ることや不安はない
メールアドレス	5,000	56.7	57.0	12.3	9.4	14.1	8.3
固定電話番号	5,000	53.5	56.5	10.1	11.4	14.0	10.2
携帯電話番号	5,000	56.6	58.5	12.1	12.6	15.2	6.7
氏名	5,000	59.8	50.2	16.6	15.0	18.0	9.4
住所	5,000	60.3	58.5	16.1	17.5	17.4	6.4
生年月日	5,000	53.6	40.0	13.1	10.9	16.8	16.9
性別	5,000	35.6	26.4	8.5	8.5	11.7	37.9
マイナンバー(個人番号)	5,000	77.0	45.8	17.1	14.5	24.3	3.9
職業	5,000	37.2	28.9	12.4	7.8	16.4	33.0

	全体	に詐欺や不正利用などの金銭被害に遭うことが心配だから	迷惑な連絡や郵送物が増えることが心配だから	自分の趣味や行動を他人に知られてしまうことが心配だから	まสเตอร์カードなどの犯罪に巻き込まれてしまわないか心配だから	その他の心配や不安がある	漏えいしても特に困ることや不安はない
家族構成(配偶者や子供の有無など)	5,000	47.5	39.7	14.0	15.0	20.2	17.8
勤務先・通学先	5,000	43.7	37.7	15.7	14.1	19.5	19.8
クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード	5,000	83.0	39.7	17.1	12.8	20.4	3.2
金融機関の口座番号	5,000	81.8	36.6	14.8	12.3	19.4	3.6
インターネットショッピングの購入履歴	5,000	55.1	39.5	29.3	8.9	16.9	11.2
ウェブの検索履歴・閲覧履歴	5,000	43.0	34.5	32.9	9.4	17.2	14.2
位置情報(現在地・ロケーション履歴)	5,000	43.1	31.3	28.0	22.7	21.2	11.9
パソコンに保存しているデータ(写真やドキュメントなど)	5,000	48.5	31.8	35.6	15.4	24.4	9.2
クラウドストレージにアップロードしたデータ(写真やドキュメントなど)	5,000	43.9	29.6	31.4	13.8	22.5	14.8

※今年度から全面改訂

## 4-2-9.情報漏えいによるサービス提供側の補償額

- 情報漏えいによるサービス提供側の補償額についてみると、「クレジットカード情報」「パスポートの情報」「氏名と、住所や電話番号などの連絡先」「氏名と、生年月日や血液型などの個人に関する情報」は「50,001円以上」が最も高い。それ以外は全て「0円（特に補償などは不要）」が最も高い。

【Q14】あなたが利用しているサービスにおいて提供側の不適切な運用による情報漏えいが発生した場合、その補償として妥当と考える（お詫びとして納得できる）金額についてそれぞれあてはまるものを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

	全体	0円（特に補償などは不要）	1万円未満	3万円未満	5万円未満	10万円未満	30万円未満	50万円未満	100万円未満	300万円未満	500万円以上	1万円以上
サービス利用に必要なIDと、暗号化されているパスワード	5,000	29.7	3.7	3.2	5.8	6.3	4.3	7.1	7.7	3.0	29.3	39.9
サービス利用に必要なIDと、暗号化されていないパスワード	5,000	31.3	4.0	3.7	5.8	6.3	4.4	7.0	7.7	3.4	26.4	37.5
メールアドレス	5,000	31.2	4.4	3.8	6.7	6.9	5.1	7.6	6.9	3.2	24.2	34.2
クレジットカード情報	5,000	22.2	3.0	2.0	3.5	3.6	3.0	6.0	6.3	3.6	46.8	56.7
パスポートの情報	5,000	26.3	2.9	2.2	3.2	3.7	3.0	5.4	6.8	3.7	42.8	53.3
氏名と、住所や電話番号などの連絡先	5,000	25.4	3.4	2.5	4.1	4.7	3.7	7.1	7.6	4.0	37.5	49.1
氏名と、生年月日や血液型などの個人に関する情報	5,000	27.1	3.4	2.7	4.1	5.6	4.1	7.6	6.7	4.3	34.4	45.4
趣味や嗜好に関する情報（登録したプロフィール情報や閲覧・購入履歴など）	5,000	32.9	3.6	3.5	5.8	6.8	5.0	7.9	7.3	3.4	23.8	34.5
学歴または職歴	5,000	35.8	3.7	3.4	5.9	6.6	5.4	6.6	6.7	3.6	22.4	32.7
既往歴や健康診断結果などの情報	5,000	31.2	3.3	3.3	5.1	5.6	5.2	6.5	7.1	4.2	28.7	40.0

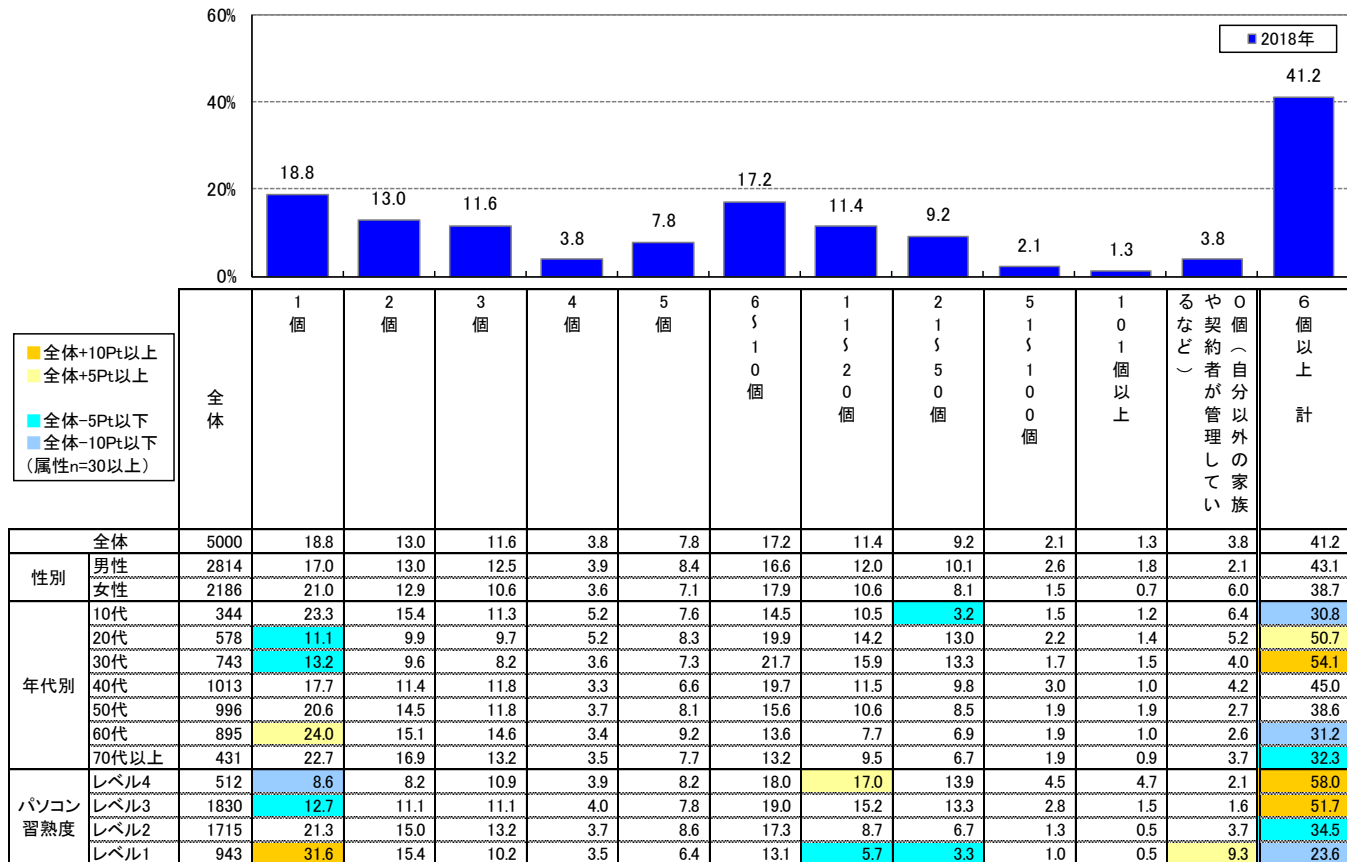
※今年度から追加した設問

## 4-3.アカウントの管理方法

### 4-3-1.インターネットサービス利用のための保有アカウント数

- インターネットサービス利用のための保有アカウント数について最も高いのは、「1個」(18.8%)である。次いで「6~10個」(17.2%)、「2個」(13.0%)、「3個」(11.6%)と続く。
- 年代別で見ると、30代は「6個以上」が12.9ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、「6個以上」がレベル4は16.8ポイント、レベル3は10.5ポイント、レベル1は「1個」が12.8ポイント全体に比べて高い。

【Q15】 あなたが現在所有、管理しているインターネットサービス利用のためのアカウント数について、あてはまるものを選択してください。  
メールアドレスなど同一のIDを設定していても、対象となるインターネットサービスが異なれば別のアカウントとして計算してください。(お答えは1つ)



※今年度から全面改訂



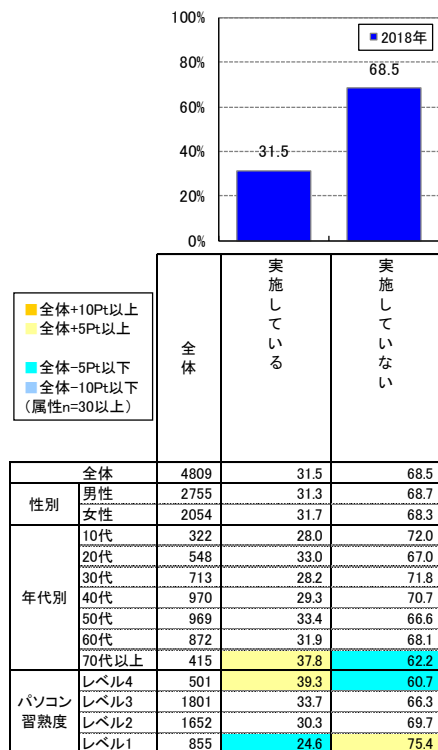
## 4-3-2.パスワード設定の実施状況①

- 『パスワードは定期的に変更している』を「実施している」割合は31.5%である。
- 年代別で見ると、70代以上は「実施している」が6.3ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「実施している」が7.8ポイント、レベル1は「実施していない」が6.9ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワードは他人が推測しにくい(氏名や誕生日などの情報を用いない)内容を設定している』を「実施している」割合は78.0%である。
- 年代別で見ると、10代は「実施していない」が6.3ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル1は「実施していない」が9ポイント全体に比べて高い。

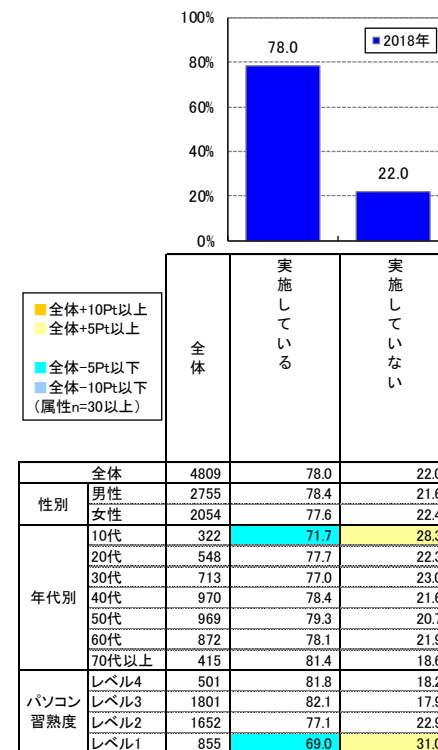
【Q16】 アカウントのパスワード設定における対策の実施について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)

パスワードは定期的に変更している



パスワードは他人が推測しにくい  
(氏名や誕生日などの情報を用いない)内容を設定している



※今年度から追加した設問

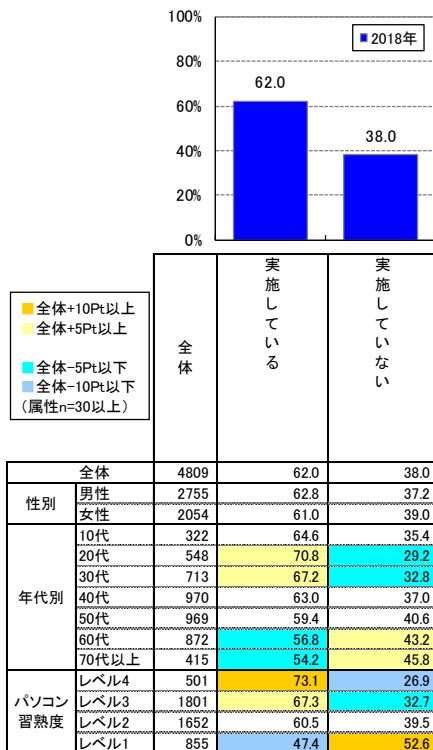
## 4-3-2.パスワード設定の実施状況②

- 『パスワードはできるだけ長い文字数を設定している』を「実施している」割合は62.0%である。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「実施している」が11.1ポイント、レベル1は「実施していない」が14.6ポイント全体に比べて高い。
- 『サービス毎に異なるパスワードを設定している(使い回しをしていない)』を「実施している」割合は48.7%である。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「実施している」が7.8ポイント、レベル1は「実施していない」が7.8ポイント全体に比べて高い。

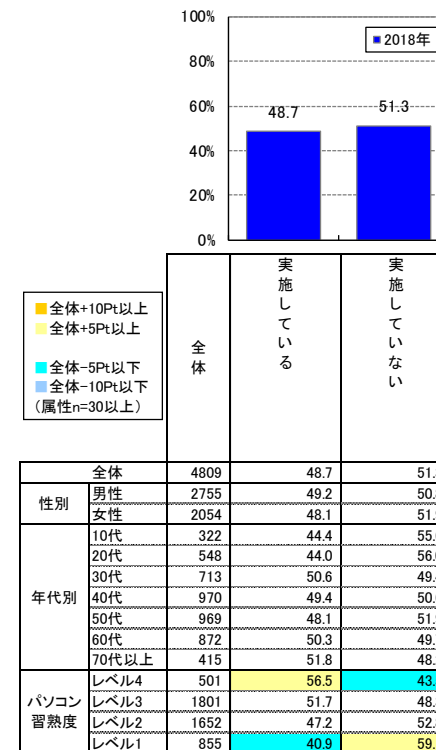
【Q16】 アカウントのパスワード設定における対策の実施について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)

パスワードはできるだけ長い文字数を設定している



サービス毎に異なるパスワードを設定している  
(使い回しをしていない)



※今年度から追加した設問

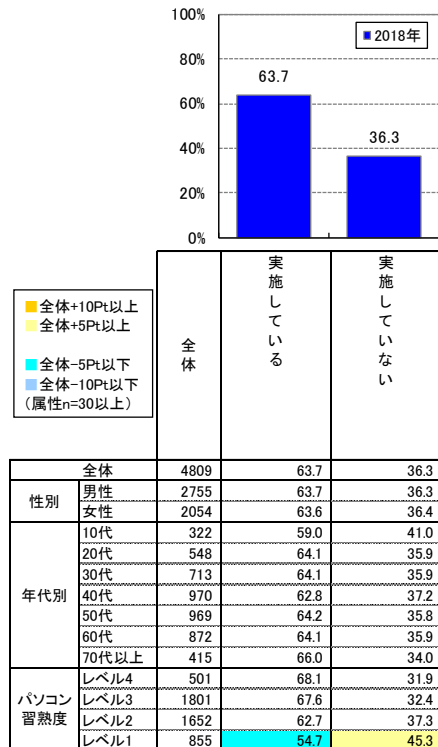
## 4-3-2.パスワード設定の実施状況③

- 『初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している』を「実施している」割合は63.7%である。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「実施していない」が9ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワード管理ツール(ハードウェア、ソフトウェア問わず)の自動生成機能を利用している』を「実施している」割合は18.7%である。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「実施している」が7.2ポイント全体に比べて高い。

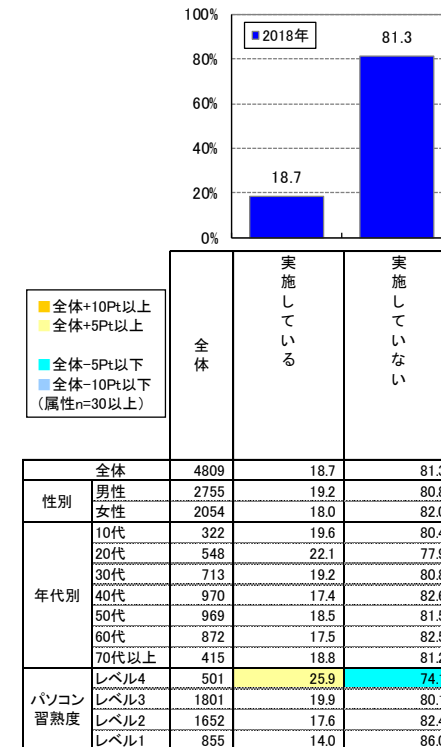
【Q16】 アカウントのパスワード設定における対策の実施について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)

初期パスワードが設定されている場合は、  
そのまま使わず必ず変更している



パスワード管理ツール(ハードウェア、ソフトウェア問わず)  
の自動生成機能を利用している



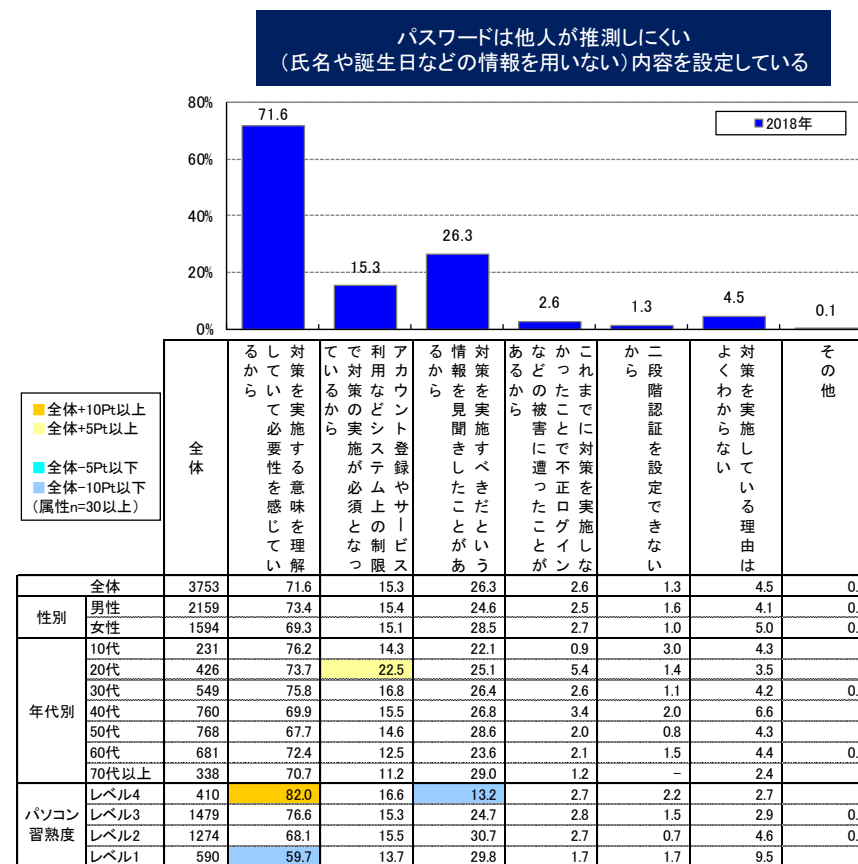
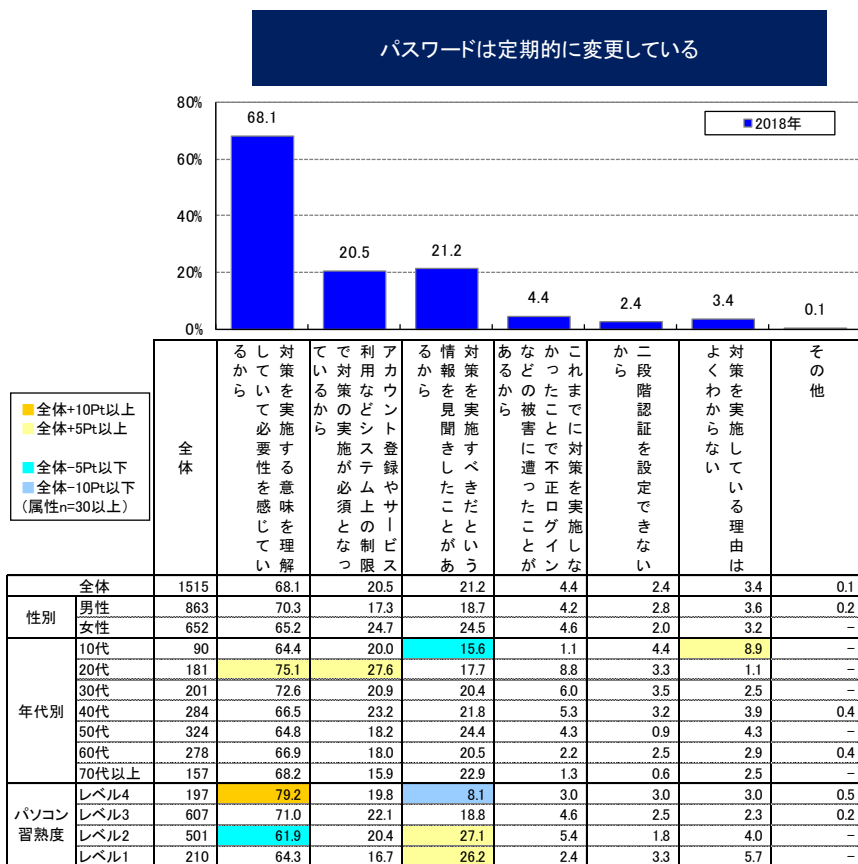
※今年度から追加した設問

### 4-3-3.パスワード設定の実施理由①

- 『パスワードは定期的に変更している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(68.1%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(21.2%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(20.5%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」が11.1ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワードは他人が推測しにくい(氏名や誕生日などの情報を用いない)内容を設定している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(71.6%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(26.3%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(15.3%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」が10.4ポイント全体に比べて高い。

【Q17】 対策を実施している理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=対策実施者(Q16)



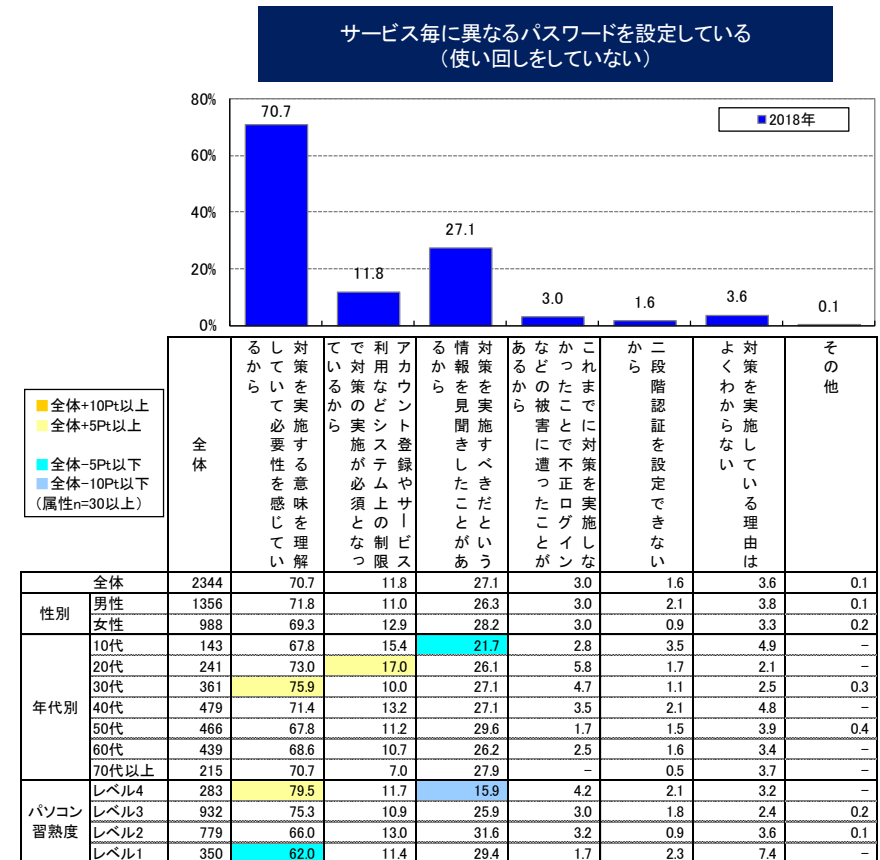
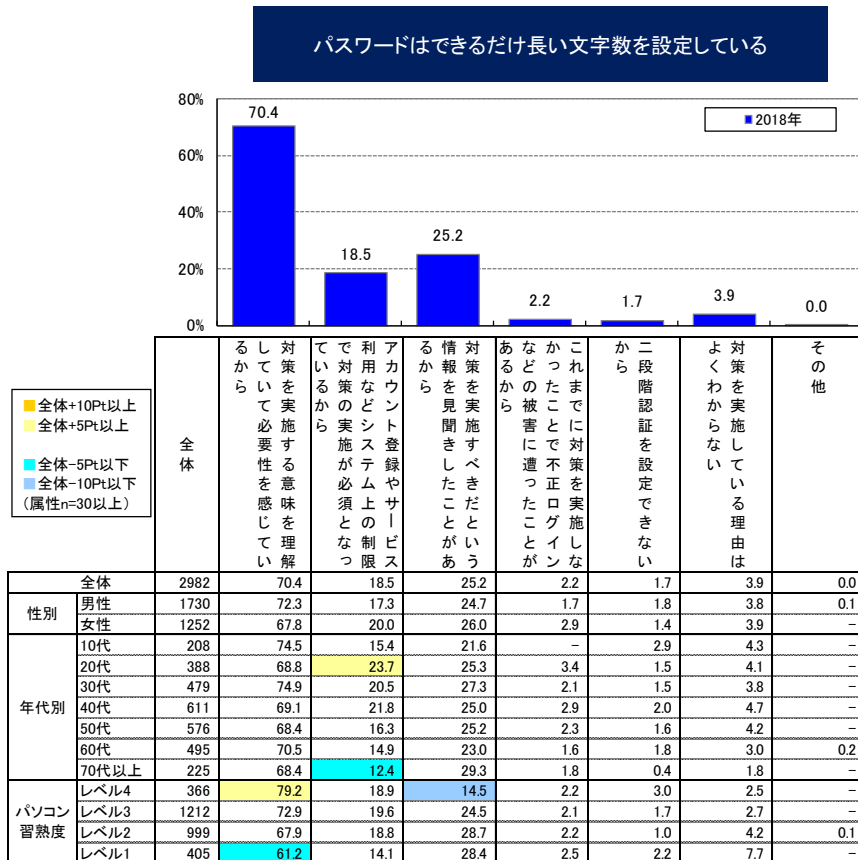
※今年度から追加した設問

### 4-3-3.パスワード設定の実施理由②

- 『パスワードはできるだけ長い文字数を設定している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(70.4%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(25.2%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(18.5%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」が8.8ポイント全体に比べて高い。
- 『サービス毎に異なるパスワードを設定している(使い回しをしていない)』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(70.7%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(27.1%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(11.8%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」が5.2ポイント、30代は「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」が8.8ポイント全体に比べて高い。

【Q17】 対策を実施している理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=対策実施者(Q16)



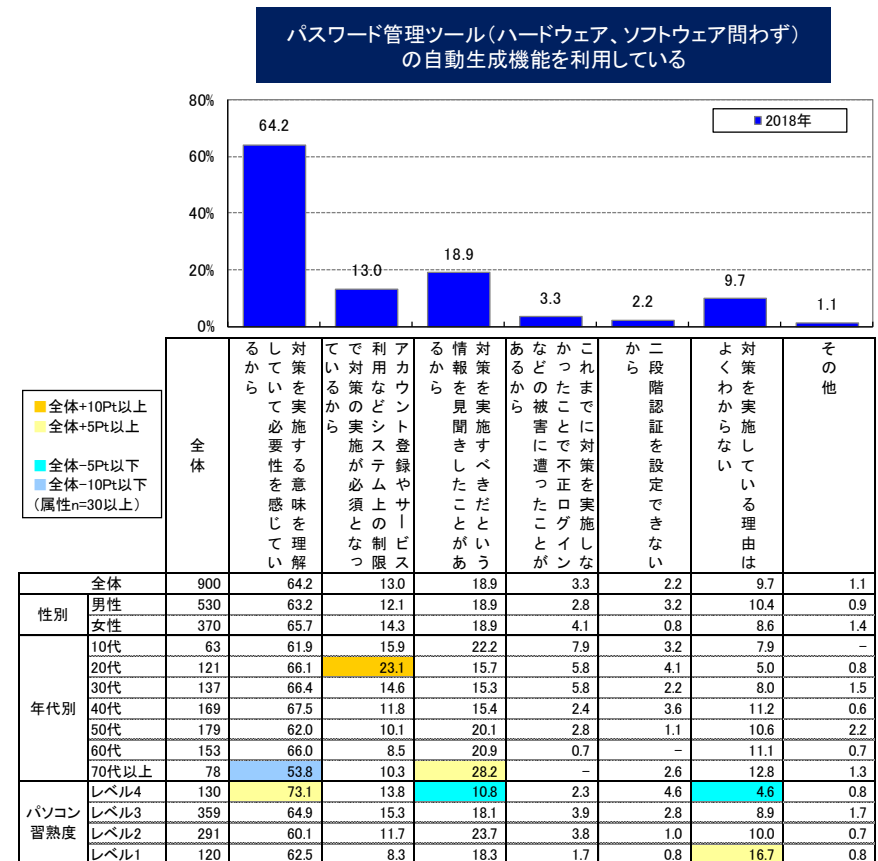
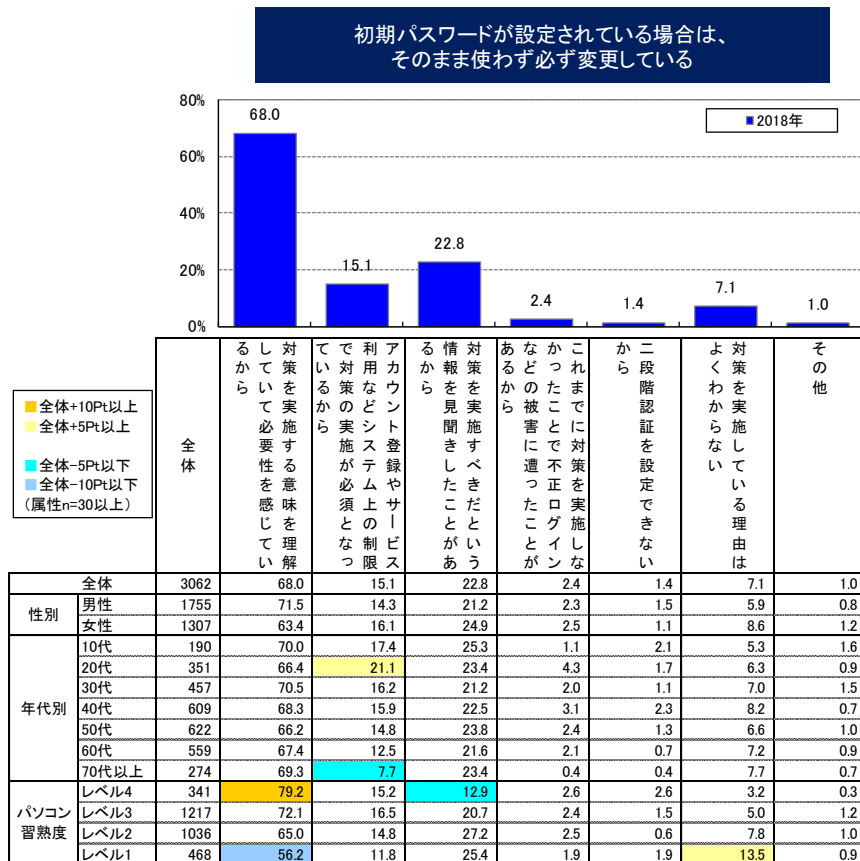
※今年度から追加した設問

### 4-3-3.パスワード設定の実施理由③

- 『初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(68.0%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(22.8%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(15.1%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」が11.2ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワード管理ツール(ハードウェア、ソフトウェア問わず)の自動生成機能を利用している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(64.2%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(18.9%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(13.0%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」が10.1ポイント全体に比べて高い。

【Q17】 対策を実施している理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=対策実施者(Q16)

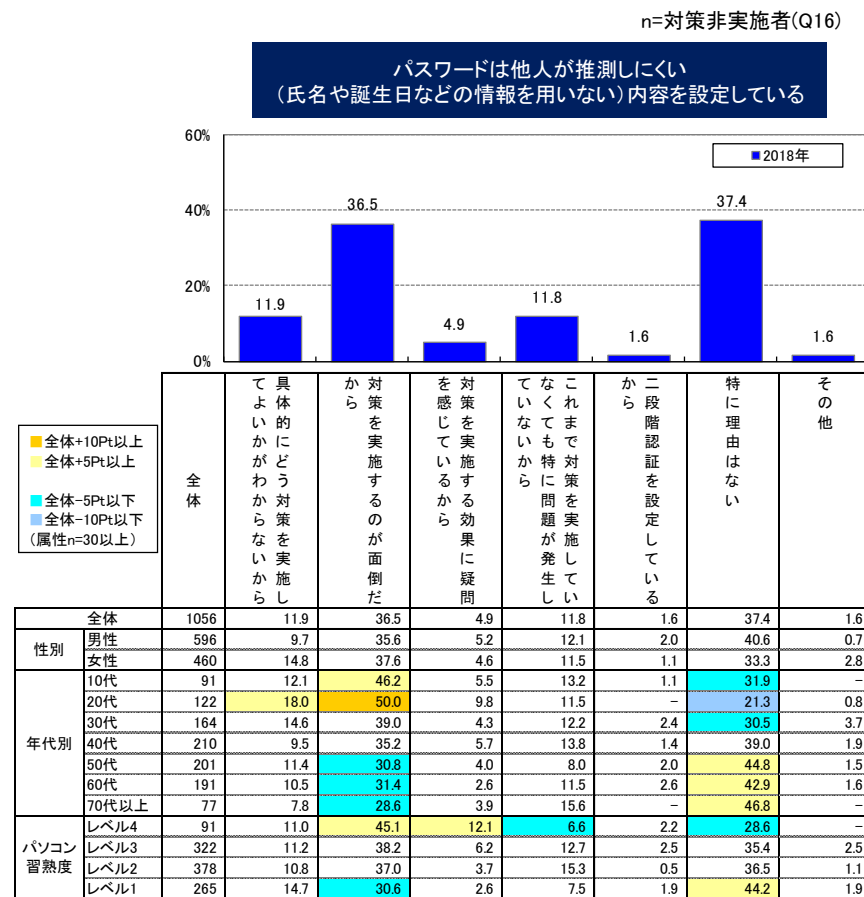
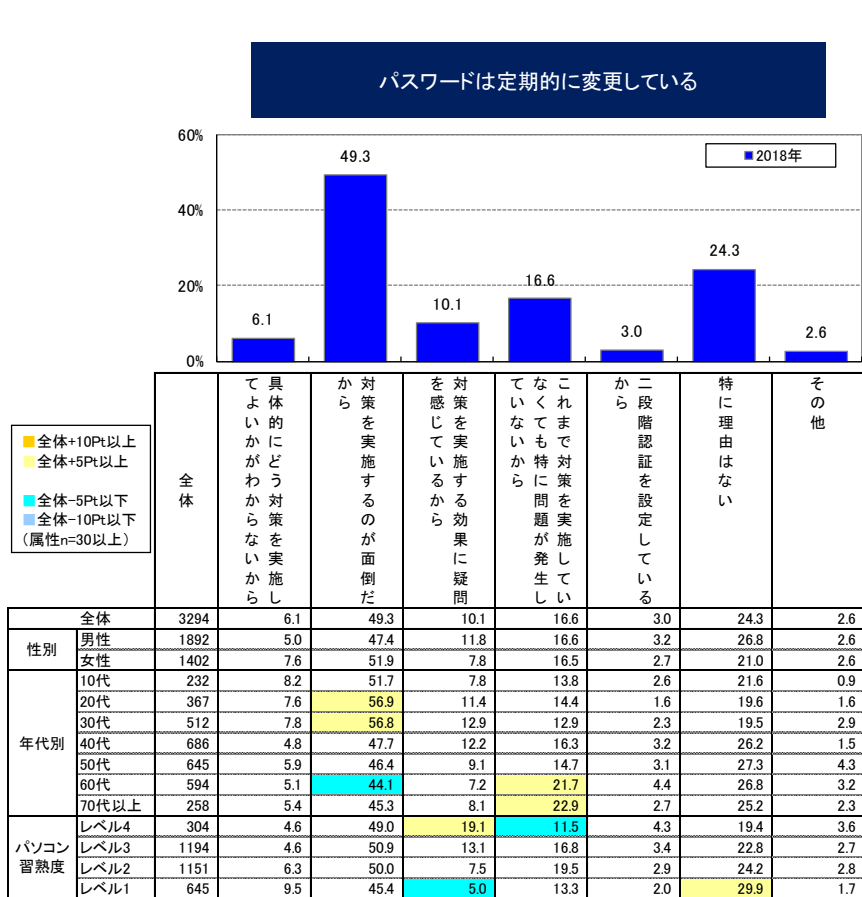


※今年度から追加した設問

## 4-3-4.パスワード設定の非実施理由①

- 『パスワードは定期的に変更している』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(49.3%)である。次いで「特に理由はない」(24.3%)、「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」(16.6%)と続く。
- 年代別でみると、「対策を実施するのが面倒だから」が20代は7.6ポイント、30代は7.5ポイント、「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」が60代は5.1ポイント、70代以上は6.3ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「対策を実施する効果に疑問を感じているから」が9ポイント、レベル1は「特に理由はない」が5.6ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワードは他人が推測しにくい(氏名や誕生日などの情報を用いない)内容を設定している』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(37.4%)である。次いで「対策を実施するのが面倒だから」(36.5%)、「具体的にどう対策を実施してよいかかわからないから」(11.9%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「対策を実施するのが面倒だから」が13.5ポイント全体に比べて高い。

【Q18】 対策を実施していない理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)



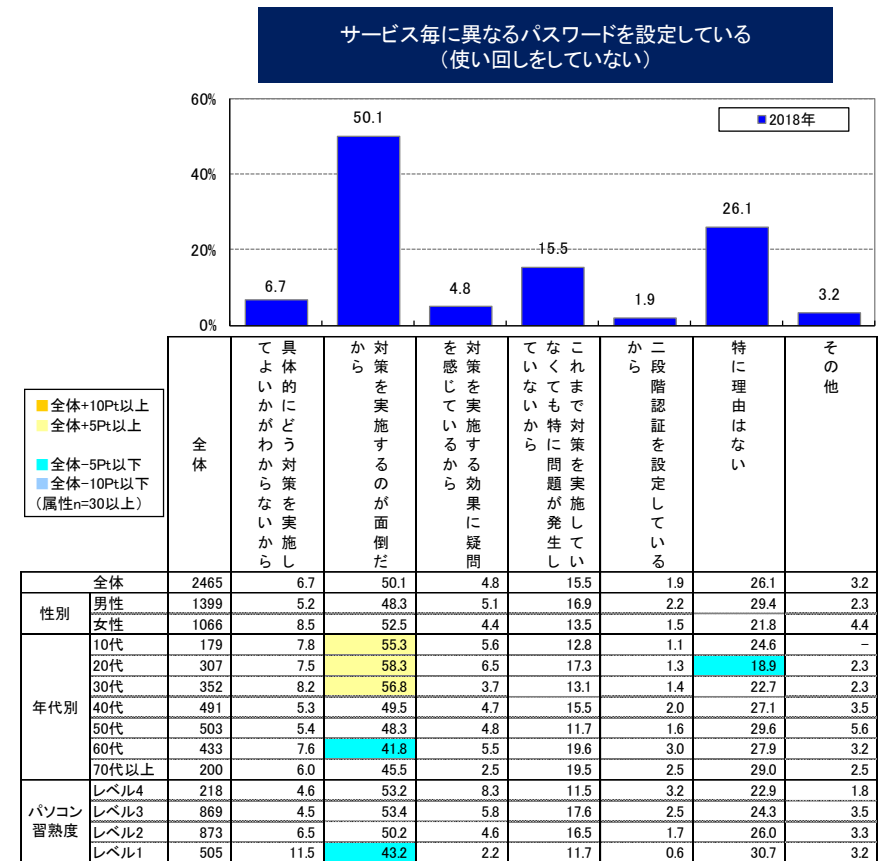
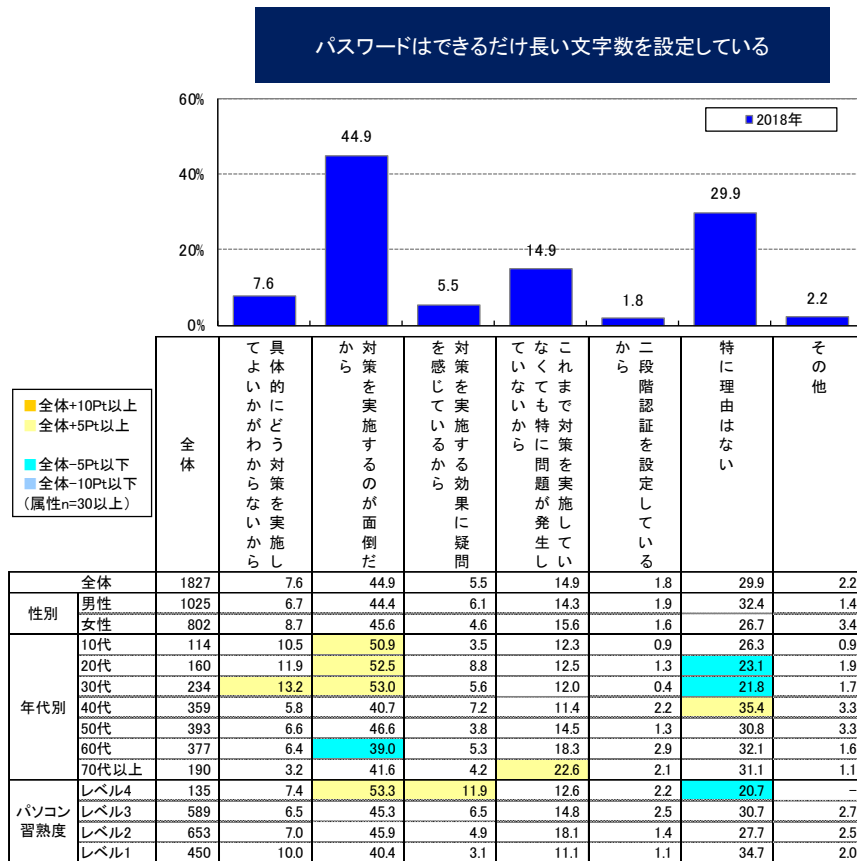
※今年度から追加した設問

## 4-3-4.パスワード設定の非実施理由②

- 『パスワードはできるだけ長い文字数を設定している』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(44.9%)である。次いで「特に理由はない」(29.9%)、「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」(14.9%)と続く。
- 年代別で見ると、「対策を実施するのが面倒だから」が10代は6ポイント、20代は7.6ポイント、30代は8.1ポイント、30代は「具体的にどう対策を実施してよいかわからないから」が5.6ポイント、40代は「特に理由はない」が5.5ポイント、70代以上は「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」が7.7ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「対策を実施するのが面倒だから」が8.4ポイント、「対策を実施する効果に疑問を感じているから」が6.4ポイント全体に比べて高い。
- 『サービス毎に異なるパスワードを設定している(使い回しをしていない)』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(50.1%)である。次いで「特に理由はない」(26.1%)、「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」(15.5%)と続く。
- 年代別で見ると、「対策を実施するのが面倒だから」が10代は5.2ポイント、20代は8.2ポイント、30代は6.7ポイント全体に比べて高い。

【Q18】 対策を実施していない理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=対策非実施者(Q16)



※今年度から追加した設問

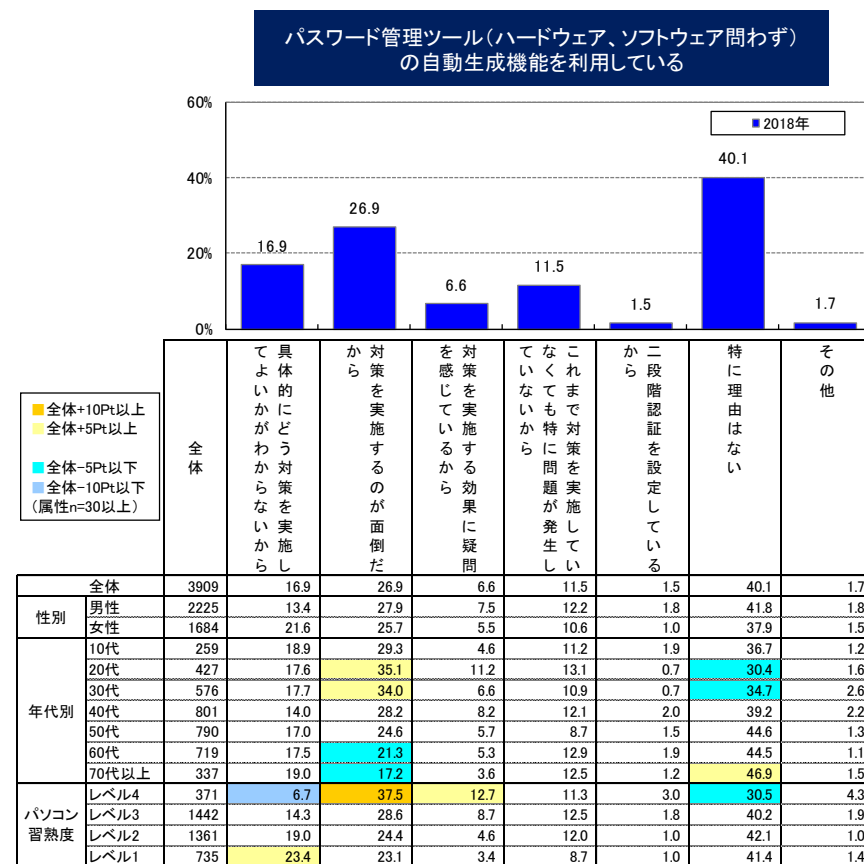
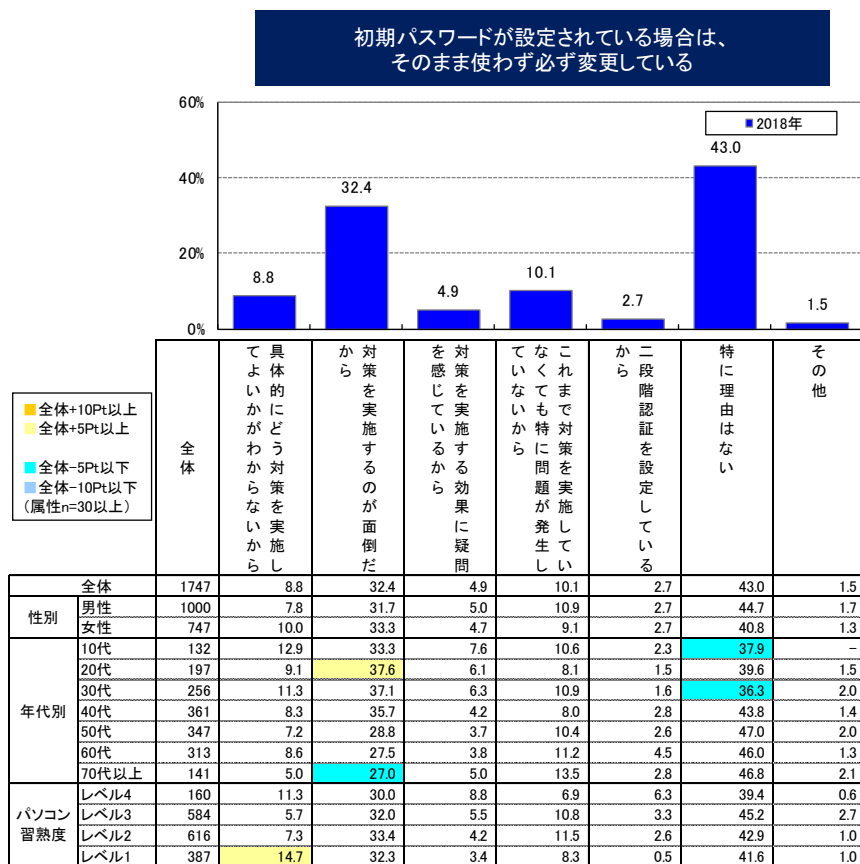


### 4-3-4.パスワード設定の非実施理由③

- 『初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(43.0%)である。次いで「対策を実施するのが面倒だから」(32.4%)、「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」(10.1%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「対策を実施するのが面倒だから」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル1は「対策を実施するのが面倒だから」が10.6ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワード管理ツール(ハードウェア、ソフトウェア問わず)の自動生成機能を利用している』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(40.1%)である。次いで「対策を実施するのが面倒だから」(26.9%)、「具体的にどう対策を実施してよいか分からないから」(16.9%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「対策を実施するのが面倒だから」が10.6ポイント全体に比べて高い。

【Q18】 対策を実施していない理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=対策非実施者(Q16)



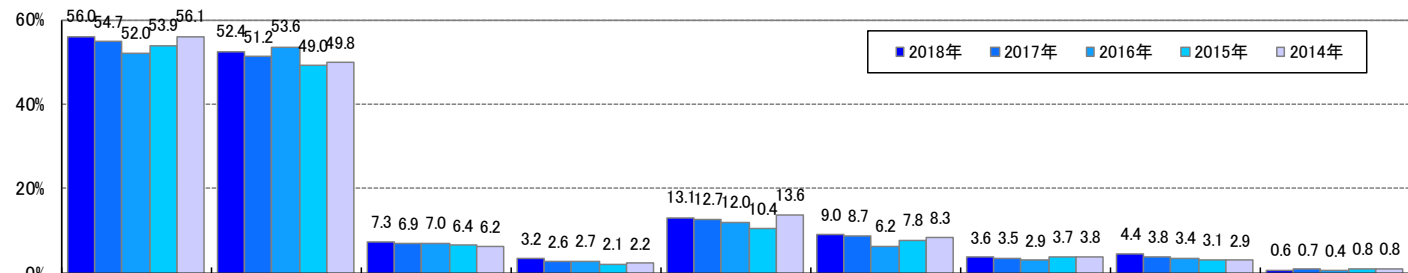
※今年度から追加した設問

## 4-3-5.ID・パスワードの管理方法

- ID・パスワードの管理方法について最も高いのは、「自分で記憶している」(56.0%)である。次いで「手帳などの紙にメモをしている」(52.4%)、「ブラウザの保存機能を使っている」(13.1%)、「電子ファイル(メモ帳や表計算ソフト)に記録し管理している(ファイルにパスワードロックなどはしていない)」(9.0%)と続く。
- 年代別で見ると、「手帳などの紙にメモをしている」が60代は13.4ポイント、70代以上は17.5ポイント全体に比べて高い。

【Q19】 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウント(IDやパスワード)の管理方法について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)

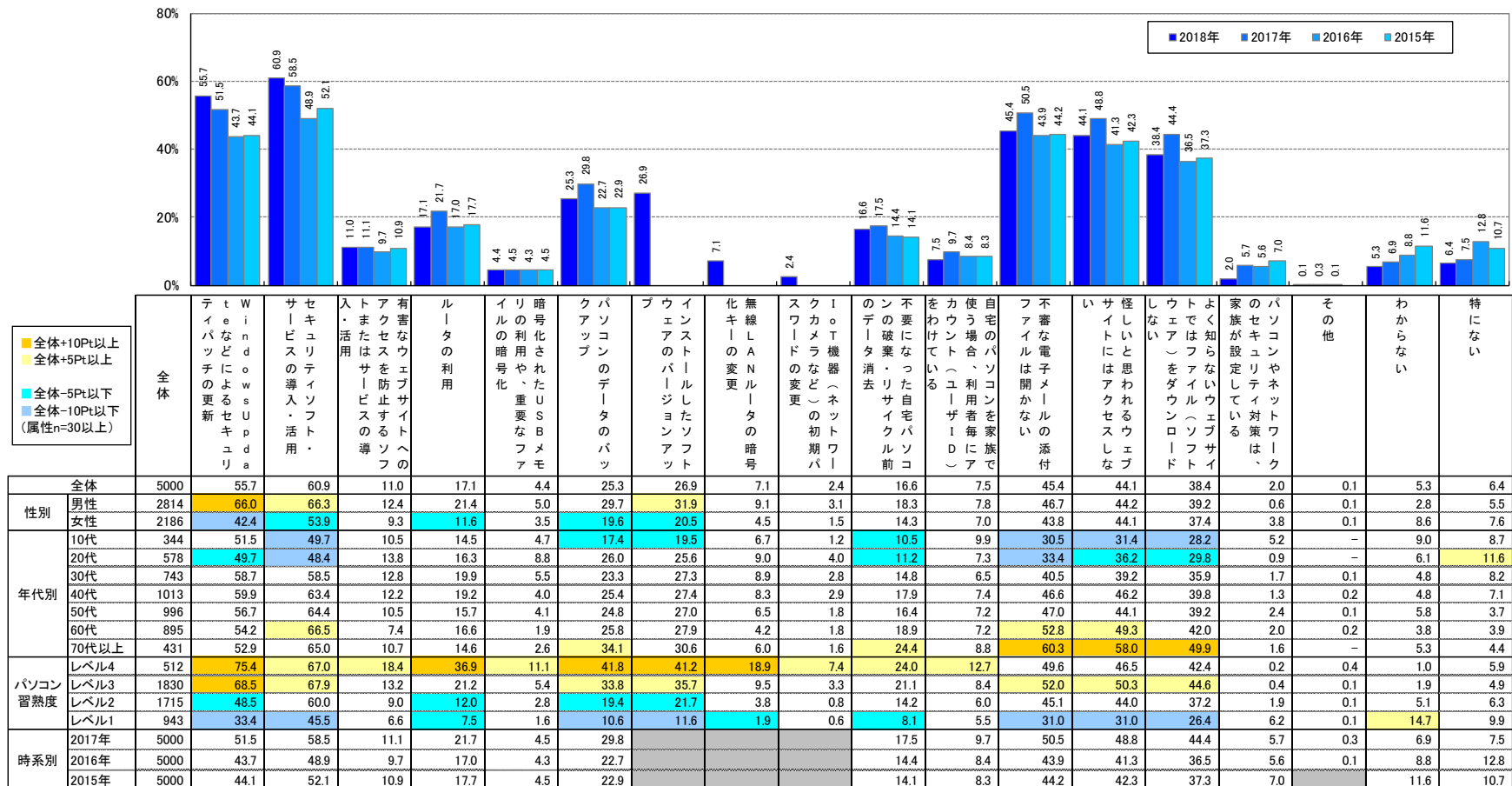


	全体	全体+10Pt以上		全体+5Pt以上		全体-5Pt以下		全体-10Pt以下 (属性n=30以上)			
		割合 (%)	ポイント	割合 (%)	ポイント	割合 (%)	ポイント	割合 (%)	ポイント		
全体	4809	56.0	52.4	7.3	3.2	13.1	9.0	3.6	4.4	0.6	
性別	男性	2755	56.3	48.6	9.0	4.1	15.2	10.3	4.5	5.4	0.6
	女性	2054	55.5	57.6	5.0	2.0	10.2	7.2	2.4	3.0	0.5
年代別	10代	322	64.6	41.0	5.0	3.7	9.6	8.1	1.6	2.5	-
	20代	548	65.5	36.7	10.6	6.2	18.8	11.1	4.0	3.8	0.4
	30代	713	64.7	46.7	7.4	3.5	15.6	9.4	4.5	3.8	0.4
	40代	970	62.3	46.6	7.4	3.8	14.3	8.8	3.4	3.8	1.1
	50代	969	52.9	55.7	7.3	2.1	11.9	8.7	2.9	4.6	0.8
	60代	872	44.7	65.8	6.3	1.9	10.8	8.3	3.7	5.7	0.3
	70代以上	415	37.6	69.9	6.5	2.4	8.9	8.7	5.1	5.3	0.2
パソコン習熟度	レベル4	501	61.5	31.1	14.6	4.6	17.8	12.8	6.4	6.2	0.8
	レベル3	1801	57.0	47.0	9.6	4.5	16.9	12.3	5.1	5.2	0.6
	レベル2	1652	54.7	61.0	4.7	2.3	10.4	6.7	2.4	3.5	0.5
	レベル1	855	53.0	60.0	3.3	1.5	7.5	4.1	1.2	3.3	0.6
時系別	2017年	4064	54.7	51.2	6.9	2.6	12.7	8.7	3.5	3.8	0.7
	2016年	3740	52.0	53.6	7.0	2.7	12.0	6.2	2.9	3.4	0.4
	2015年	3822	53.9	49.0	6.4	2.1	10.4	7.8	3.7	3.1	0.8
	2014年	3873	56.1	49.8	6.2	2.2	13.6	8.3	3.8	2.9	0.8

# 4-4.セキュリティ対策の実施状況 4-4-1.情報セキュリティ対策

- 情報セキュリティ対策で最も高いのは、「セキュリティソフト・サービスの導入・活用」(60.9%)である。次いで「WindowsUpdateなどによるセキュリティパッチの更新」(55.7%)、「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」(45.4%)、「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」(44.1%)と続く。
- 性別でみると、男性は「WindowsUpdateなどによるセキュリティパッチの更新」が10.3ポイント全体に比べて高い。
- 年代別でみると、70代以上は「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」が14.9ポイント、「怪しいと思われるウェブサイトにはアクセスしない」が13.9ポイント、「よく知らないウェブサイトではファイル(ソフトウェア)をダウンロードしない」が11.5ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「WindowsUpdateなどによるセキュリティパッチの更新」が19.7ポイント、「ルータの利用」が19.8ポイント、「パソコンのデータのバックアップ」が16.5ポイント、「インストールしたソフトウェアのバージョンアップ」が14.3ポイント、「無線LANルータの暗号化キーの変更」が11.8ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「よく知らないウェブサイトではファイル(ソフトウェア)をダウンロードしない」が6ポイント、「不審な電子メールの添付ファイルは開かない」が5.1ポイント減少している。

【Q20】 あなた自身が所有するパソコンや自宅のネットワークについて、現在実施しているセキュリティ対策をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



※「インストールしたソフトウェアのバージョンアップ」「無線LANルータの暗号化キーの変更」「IoT機器(ネットワークカメラなど)の初期パスワードの変更」は今年度から追加した設問  
 ※「WindowsUpdateなどによるセキュリティパッチの更新」→2017年以前は「WindowsUpdate等によるセキュリティパッチの更新」

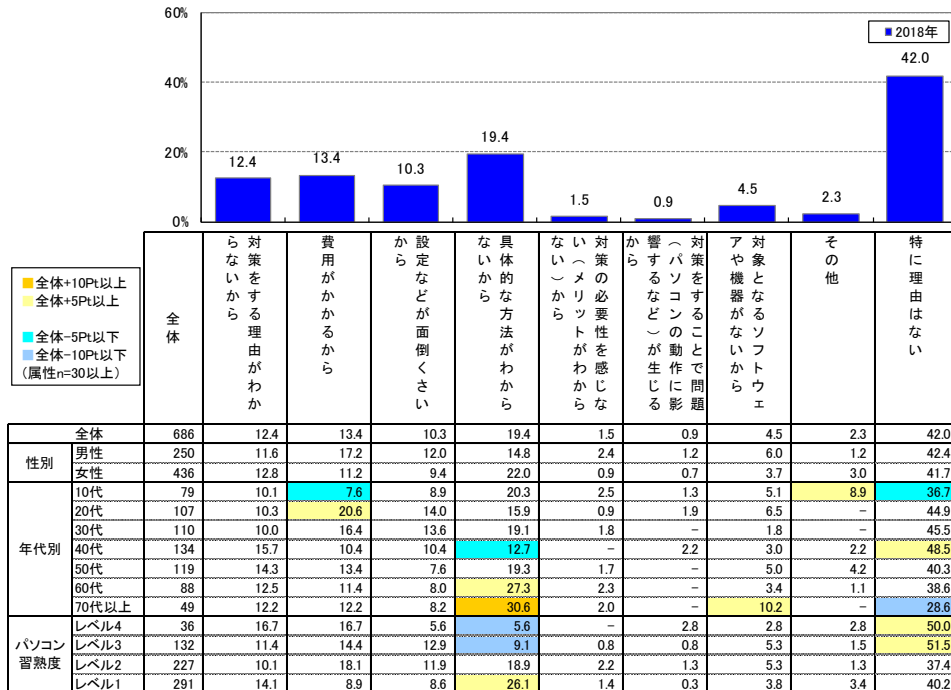
## 4-4-2.セキュリティ対策を実施しない理由①

- 『WindowsUpdateなどによるセキュリティパッチの更新』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(42.0%)である。次いで「具体的な方法がわからないから」(19.4%)、「費用がかかるから」(13.4%)、「対策をする理由がわからないから」(12.4%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「具体的な方法がわからないから」が11.2ポイント全体に比べて高い。
- 『セキュリティソフト・サービスの導入・活用』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(41.7%)である。次いで「具体的な方法がわからないから」(19.0%)、「費用がかかるから」(15.3%)、「対策をする理由がわからないから」(12.1%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「具体的な方法がわからないから」が11.6ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル3は「特に理由はない」が10.6ポイント全体に比べて高い。

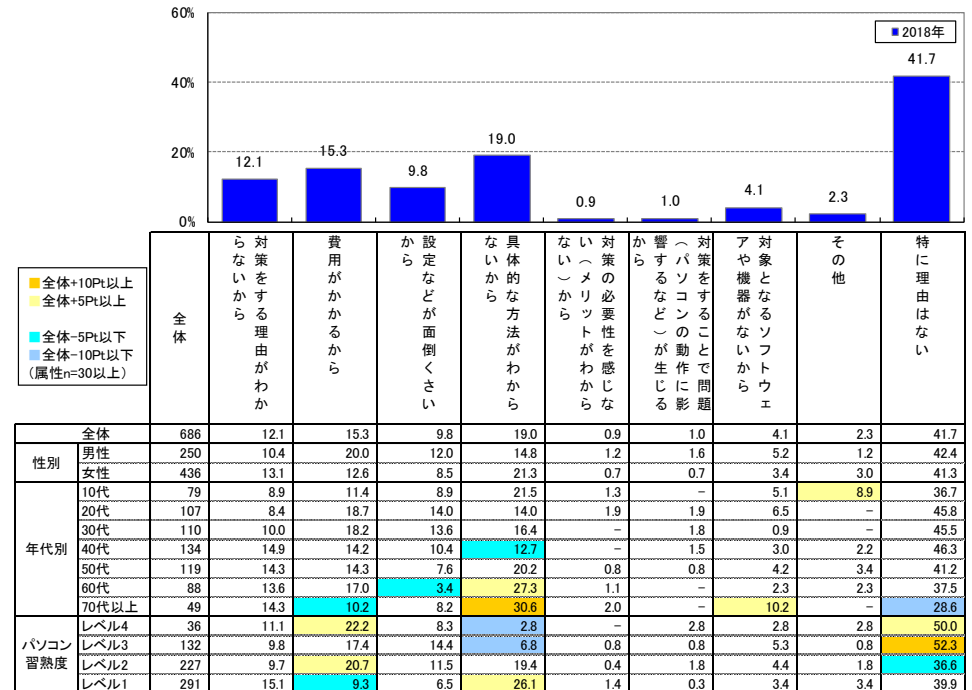
【Q21】 対策を実施していない理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=セキュリティ対策非実施者(Q20)

WindowsUpdateなどによるセキュリティパッチの更新



セキュリティソフト・サービスの導入・活用



※今年度から全面改訂

## 4-4-2.セキュリティ対策を実施しない理由②

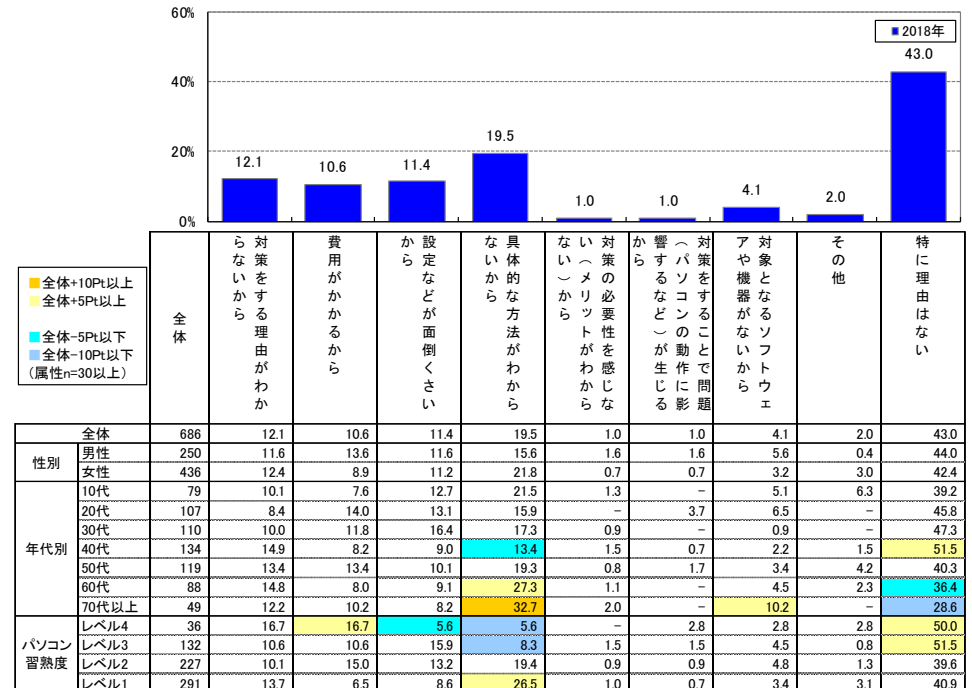
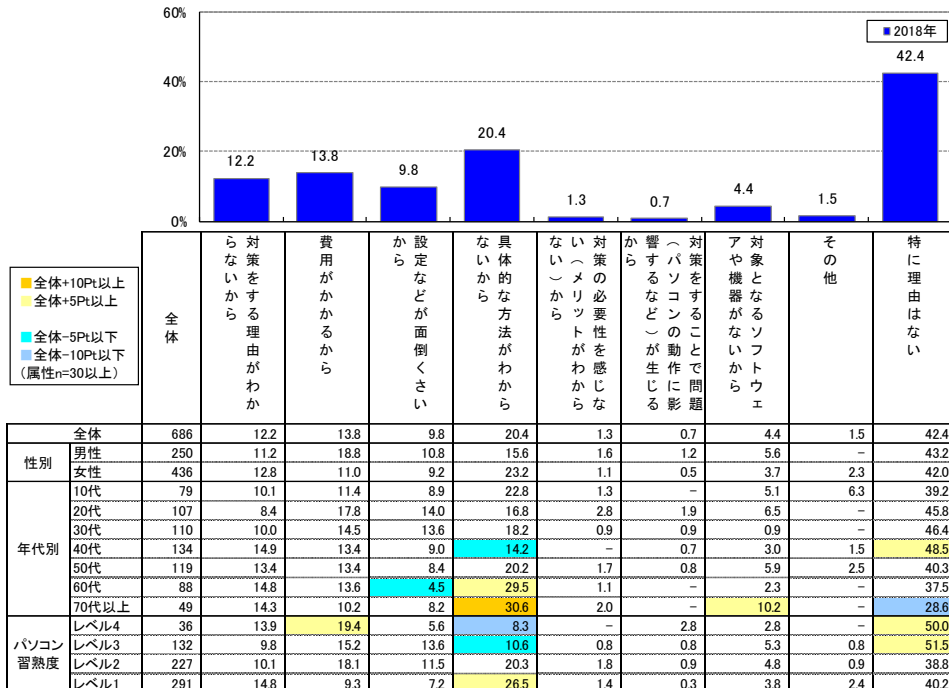
- 『有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(42.4%)である。次いで「具体的な方法がわからないから」(20.4%)、「費用がかかるから」(13.8%)、「対策をする理由がわからないから」(12.2%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「具体的な方法がわからないから」が10.2ポイント全体に比べて高い。
- 『パソコンのデータのバックアップ』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(43.0%)である。次いで「具体的な方法がわからないから」(19.5%)、「対策をする理由がわからないから」(12.1%)、「設定などが面倒くさいから」(11.4%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「具体的な方法がわからないから」が13.2ポイント全体に比べて高い。

【Q21】 対策を実施していない理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=セキュリティ対策非実施者(Q20)

有害なウェブサイトへのアクセスを防止するソフトまたはサービスの導入・活用

パソコンのデータのバックアップ



※今年度から全面改訂

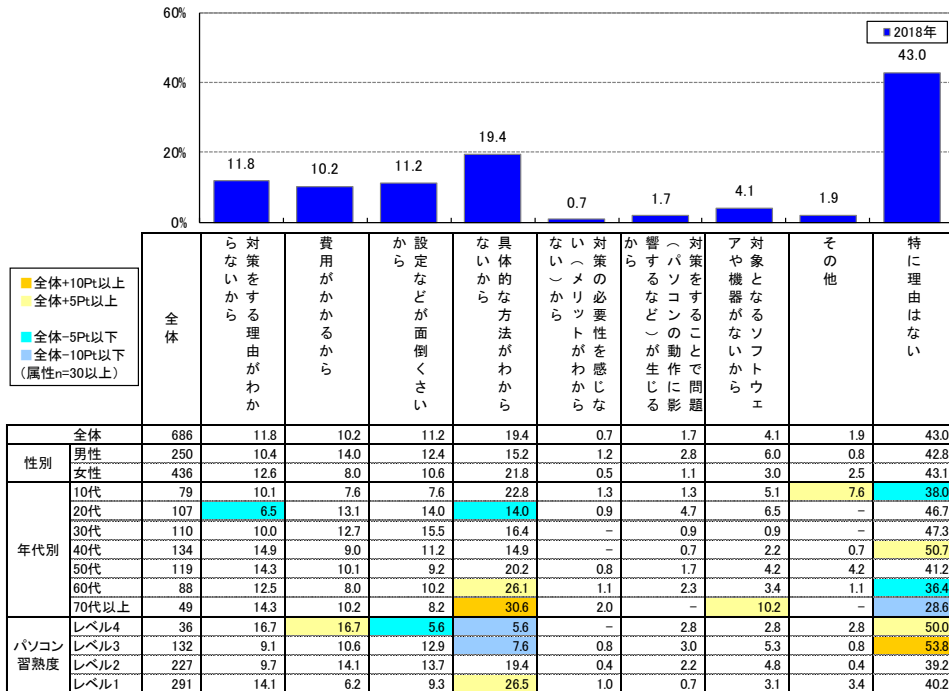
## 4-4-2.セキュリティ対策を実施しない理由③

- 『インストールしたソフトウェアのバージョンアップ』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(43.0%)である。次いで「具体的な方法がわからないから」(19.4%)、「対策をする理由がわからないから」(11.8%)、「設定などが面倒くさいから」(11.2%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「具体的な方法がわからないから」が11.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル3は「特に理由はない」が10.8ポイント全体に比べて高い。
- 『無線LANルータの暗号化キーの変更』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(43.0%)である。次いで「具体的な方法がわからないから」(20.3%)、「対策をする理由がわからないから」(11.7%)、「設定などが面倒くさいから」(10.3%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「具体的な方法がわからないから」が10.3ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル3は「特に理由はない」が10.8ポイント全体に比べて高い。

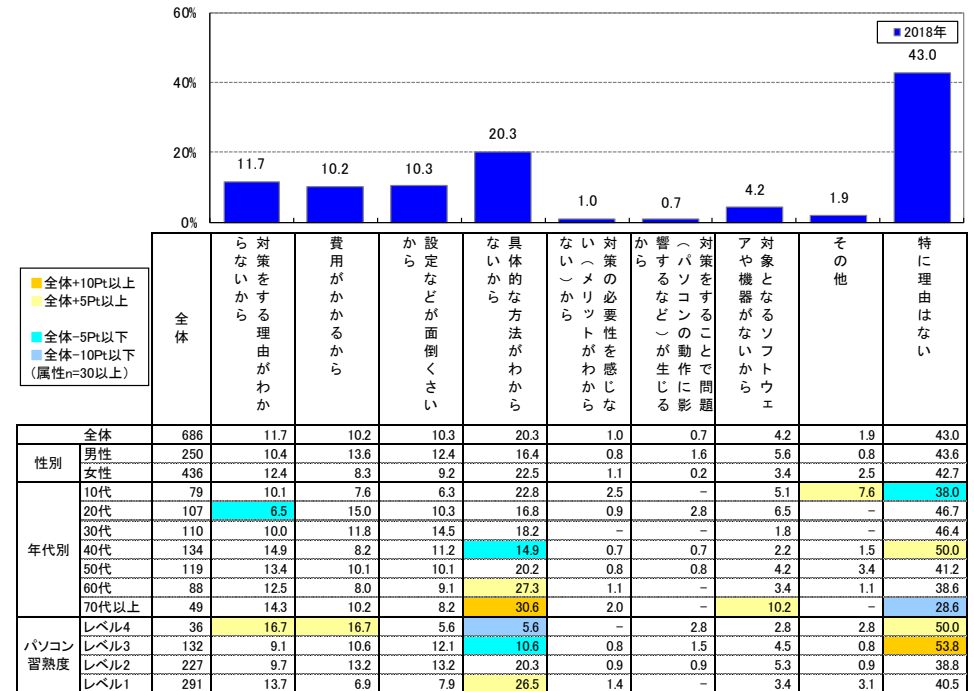
【Q21】 対策を実施していない理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=セキュリティ対策非実施者(Q20)

インストールしたソフトウェアのバージョンアップ



無線LANルータの暗号化キーの変更



※今年度から全面改訂

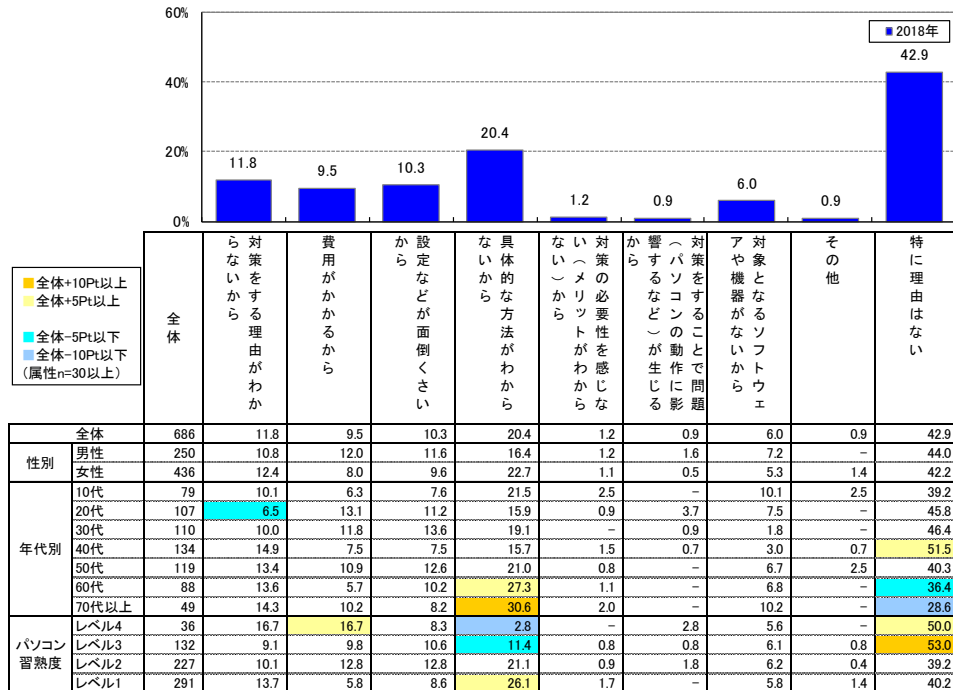
## 4-4-2.セキュリティ対策を実施しない理由④

- 『IoT機器(ネットワークカメラなど)の初期パスワードの変更』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(42.9%)である。次いで「具体的な方法がわからないから」(20.4%)、「対策をする理由がわからないから」(11.8%)、「設定などが面倒くさいから」(10.3%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「具体的な方法がわからないから」が10.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル3は「特に理由はない」が10.1ポイント全体に比べて高い。

【Q21】 対策を実施していない理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=セキュリティ対策非実施者(Q20)

IoT機器(ネットワークカメラなど)の初期パスワードの変更



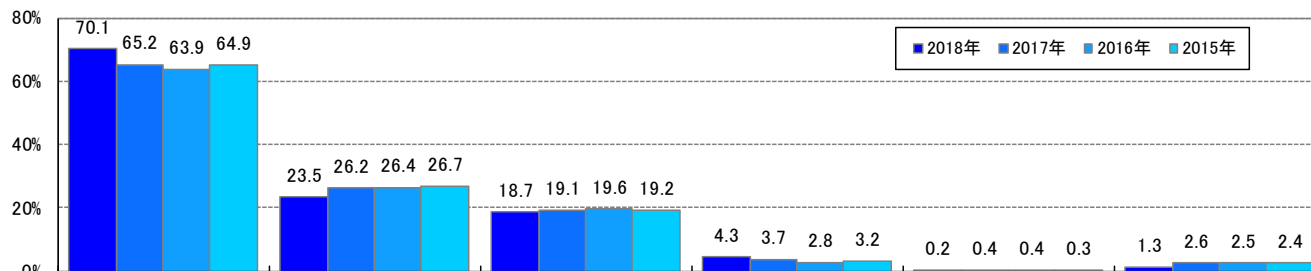
※今年度から全面改訂

### 4-4-3.利用しているセキュリティソフト・サービス

- 利用しているセキュリティソフト・サービスについて最も高いのは、「有償ソフト」(70.1%)である。次いで「無償ソフト(フリーソフト)」(23.5%)、「プロバイダのセキュリティサービス」(18.7%)、「オンラインスキャン」(4.3%)と続く。
- 年代別でみると、「無償ソフト(フリーソフト)」が10代は5.7ポイント、20代は6.9ポイント、30代は8.9ポイント、「プロバイダのセキュリティサービス」が60代は8ポイント、70代以上は9.5ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「無償ソフト(フリーソフト)」が9.7ポイント全体に比べて高い。

【Q22】 あなたがお使いのセキュリティソフト・サービスを以下から選択してください。(お答えはいくつでも)

n=セキュリティソフト・サービス導入・活用者(Q20)



		全体	有償ソフト	無償ソフト(フリーソフト)	プロバイダのセキュリティサービス	オンラインスキャン	その他	わからない
全体		3044	70.1	23.5	18.7	4.3	0.2	1.3
性別	男性	1865	69.9	26.8	18.0	4.5	0.3	0.6
	女性	1179	70.5	18.2	19.9	4.0	0.2	2.4
年代別	10代	171	68.4	29.2	18.1	5.3	-	-
	20代	280	69.3	30.4	8.6	3.2	0.4	2.1
	30代	435	66.2	32.4	8.3	6.0	-	1.6
	40代	642	68.2	24.8	16.8	5.0	-	1.9
	50代	641	69.9	21.4	20.7	3.0	0.3	1.2
	60代	595	74.1	15.5	26.7	3.9	0.2	0.8
	70代以上	280	74.3	17.9	28.2	4.6	1.1	0.7
パソコン習熟度	レベル4	343	72.3	33.2	13.1	6.7	0.6	0.6
	レベル3	1243	70.9	26.1	17.6	4.7	0.1	0.5
	レベル2	1029	69.2	20.2	21.3	3.6	0.3	1.2
	レベル1	429	68.3	15.6	20.3	2.8	0.2	4.7
時系別	2017年	3019	65.2	26.2	19.1	3.7	0.4	2.6
	2016年	2535	63.9	26.4	19.6	2.8	0.4	2.5
	2015年	2711	64.9	26.7	19.2	3.2	0.3	2.4

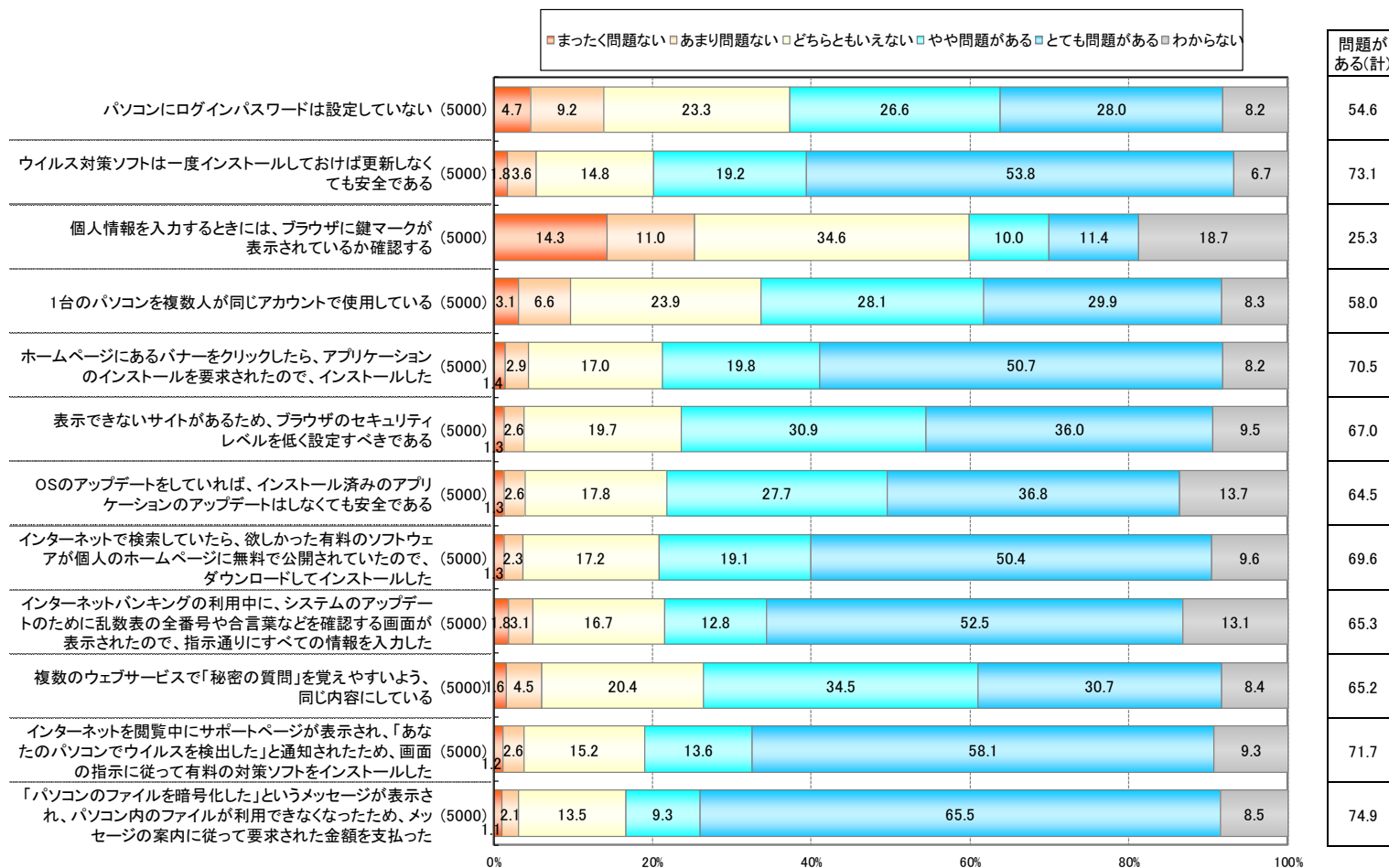


## 4-4-4.情報セキュリティに関する問題意識①

- 情報セキュリティに関する問題意識について、問題がある(計)が最も高いのは、「パソコンのファイルを暗号化した」というメッセージが表示され、パソコン内のファイルが利用できなくなったため、メッセージの案内に従って要求された金額を支払った(74.9%)である。次いで「ウイルス対策ソフトは一度インストールしておけば更新しなくても安全である」(73.1%)、「インターネットを閲覧中にサポートページが表示され、「あなたのパソコンでウイルスを検出した」と通知されたため、画面の指示に従って有料の対策ソフトをインストールした」(71.7%)、「ホームページにあるバナーをクリックしたら、アプリケーションのインストールを要求されたので、インストールした」(70.5%)と続く。

※「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」は反転項目のため、「まったく問題ない」「あまり問題ない」の合計が対象

【Q23】以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

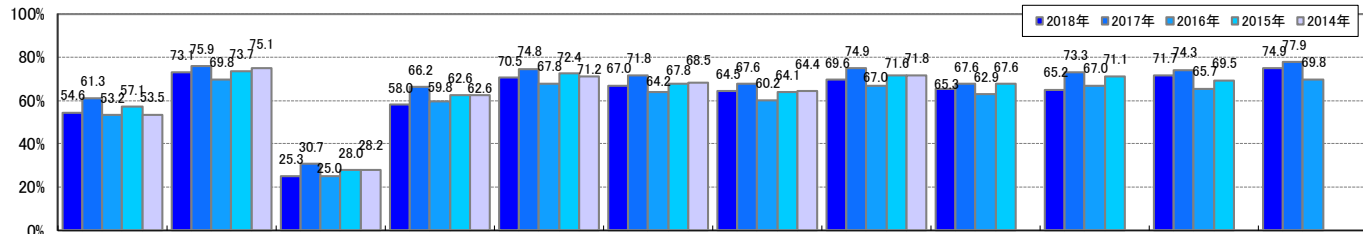


## 4-4-4.情報セキュリティに関する問題意識②

- 情報セキュリティに関する問題意識について最も高いのは、「パソコンのファイルを暗号化した」というメッセージが表示され、パソコン内のファイルが利用できなくなったため、メッセージの案内に従って要求された金額を支払った(74.9%)である。次いで「ウイルス対策ソフトは一度インストールしておけば更新しなくても安全である」(73.1%)、「インターネットを閲覧中にサポートページが表示され、「あなたのパソコンでウイルスを検出した」と通知されたため、画面の指示に従って有料の対策ソフトをインストールした」(71.7%)、「ホームページにあるバナーをクリックしたら、アプリケーションのインストールを要求されたので、インストールした」(70.5%)と続く。
- 性別でみると、男性は「OSのアップデートをしていれば、インストール済みのアプリケーションのアップデートはしなくても安全である」が5.5ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、「OSのアップデートをしていれば、インストール済みのアプリケーションのアップデートはしなくても安全である」がレベル4は10.9ポイント、レベル3は10.5ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「1台のパソコンを複数人が同じアカウントで使用している」が8.2ポイント、「複数のウェブサービスで「秘密の質問」を覚えやすいよう、同じ内容にしている」が8.1ポイント、「パソコンにログインパスワードは設定していない」が6.7ポイント、「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」が5.4ポイント、「インターネットで検索していたら、欲しかった有料のソフトウェアが個人のホームページに無料で公開されていたので、ダウンロードしてインストールした」が5.3ポイント減少している。

【Q23】以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「とても問題がある」「やや問題がある」の合計値  
 ※「個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する」は反転項目のため「まったく問題ない」「あまり問題ない」の合計値

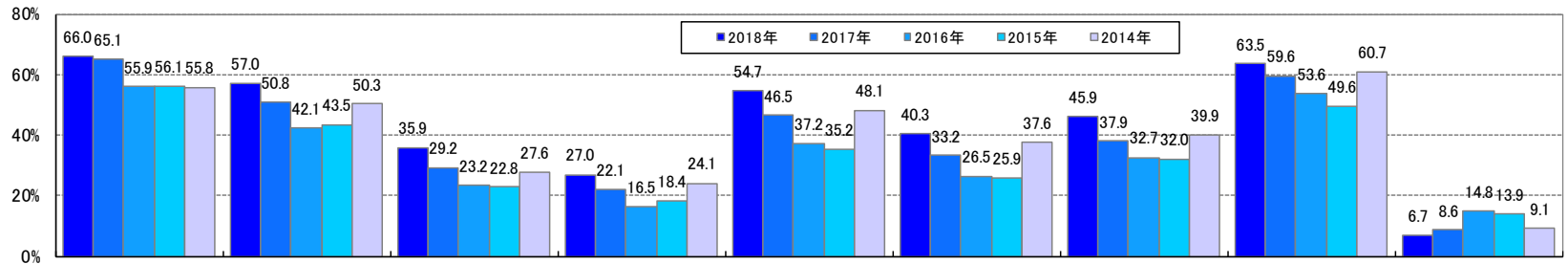


	全体	問題意識												
		1. パソコンにログインパスワードは設定していない	2. 複数人でパソコンを共有している	3. ウイルス対策ソフトは一度インストールしておけば更新しなくても安全である	4. 個人情報を入力するときには、ブラウザに鍵マークが表示されているか確認する	5. 1台のパソコンを複数人が同じアカウントで使用している	6. ホームページにあるバナーをクリックしたら、アプリケーションのインストールを要求されたので、インストールした	7. 表示できないサイトがあるため、ブラウザのセキュリティレベルを低く設定する	8. OSのアップデートをしていれば、アプリケーションのアップデートはしなくても安全である	9. インターネット上で検索していたら、欲しかった有料のソフトウェアが個人のホームページに無料で公開されていたので、ダウンロードしてインストールした	10. 複数のウェブサービスで「秘密の質問」を覚えやすいよう、同じ内容にしている	11. 複数のウェブサービスで「秘密の質問」を覚えやすいよう、同じ内容にしている	12. インターネットを閲覧中にサポートページが表示され、「あなたのパソコンでウイルスを検出した」と通知されたため、画面の指示に従って有料の対策ソフトをインストールした	13. メッセージの金額を支払った
全体	5000	54.6	73.1	25.3	58.0	70.5	67.0	64.5	69.6	65.3	65.2	71.7	74.9	
性別	男性	2814	57.1	75.1	26.9	60.9	72.7	70.2	70.0	72.0	68.1	67.3	74.0	76.6
	女性	2186	51.3	70.4	23.1	54.3	67.7	62.8	57.5	66.4	61.7	62.4	68.8	72.6
年代別	10代	344	61.3	70.6	26.7	52.3	66.6	64.5	63.1	66.6	64.5	61.6	70.1	72.7
	20代	578	58.8	69.4	34.6	51.4	66.3	62.5	63.3	67.5	61.1	60.0	65.7	69.9
	30代	743	57.2	73.8	30.3	54.8	68.0	64.5	66.6	70.3	60.8	64.2	69.3	72.5
	40代	1013	51.8	72.5	27.2	56.3	70.9	64.9	68.7	65.9	65.4	65.6	72.2	74.4
	50代	996	54.9	73.9	22.4	60.1	73.5	69.5	65.1	68.7	66.2	66.1	72.6	75.8
	60代	895	52.3	76.6	19.4	63.5	73.2	71.2	64.7	74.0	70.6	68.6	76.5	79.9
	70代以上	431	49.2	71.0	16.9	65.0	70.3	69.6	58.9	68.4	65.9	66.1	72.2	75.6
パソコン習熟度	レベル4	512	62.5	77.3	39.1	64.5	77.5	72.5	75.4	76.2	72.7	70.7	76.4	77.9
	レベル3	1830	59.9	79.9	30.8	62.6	77.2	73.9	75.0	76.4	70.7	71.1	78.0	81.3
	レベル2	1715	54.0	72.4	20.6	57.8	69.3	65.9	62.4	69.2	65.1	64.9	71.5	75.3
	レベル1	943	40.9	58.7	15.6	46.0	56.0	52.5	42.1	53.4	51.2	51.1	57.4	59.8
時系列	2017年	5000	61.3	75.9	30.7	66.2	74.8	71.8	67.6	74.9	67.6	73.3	74.3	77.9
	2016年	5000	53.2	69.8	25.0	59.8	67.8	64.2	60.2	67.0	62.9	67.0	65.7	69.8
	2015年	5000	57.1	73.7	28.0	62.6	72.4	67.8	64.1	71.6	67.6	71.1	69.5	
	2014年	5000	53.5	75.1	28.2	62.6	71.2	68.5	64.4	71.8				

## 4-4-5.情報セキュリティに関する日常の行動

- 情報セキュリティに関する日常の行動について最も高いのは、「パソコンには、ログインパスワードを設定している」(66.0%)である。次いで「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」(63.5%)、「ウイルス対策ソフトのパターンファイルは常に最新の状態にしている」(57.0%)、「ウェブ閲覧中に、意図しないアプリケーションのインストールファイルがダウンロードされる場合は、キャンセルする」(54.7%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「個人のホームページや怪しいサイトにあるソフトウェアは、ウイルスに感染する可能性が高いので使わない」が12.8ポイント、「知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する」が14.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、「ウイルス対策ソフトのパターンファイルは常に最新の状態にしている」がレベル4は14.9ポイント、レベル3は10.5ポイント、「OSのアップデートと共に、インストールしているソフトウェアも最新のバージョンに更新している」がレベル4は17.9ポイント、レベル3は10.5ポイント、レベル4は「氏名や住所、クレジットカード番号などを入力する時は、アドレスバーのURLを必ずチェックし、安全な設定になっているかを確認する」が17.4ポイント、「ブラウザのセキュリティ設定は常に高くし、表示されない場合だけ指示に従って設定している」が12.3ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、多くの項目で5ポイント以上スコアが増加している。

【Q24】あなたは以下の行動をとっていますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



	全体	行動									
		1. パソコンには、ログインパスワードを設定している	2. ウイルス対策ソフトのパターンファイルは常に最新の状態にしている	3. 氏名や住所、クレジットカード番号などを入力する時は、アドレスバーのURLを必ずチェックし、安全な設定になっているかを確認する	4. ブラウザのセキュリティ設定は常に高くし、表示されない場合だけ指示に従って設定している	5. ウェブ閲覧中に、意図しないアプリケーションのインストールファイルがダウンロードされる場合は、キャンセルする	6. OSのアップデートと共に、インストールしているソフトウェアも最新のバージョンに更新している	7. 個人のホームページや怪しいサイトにあるソフトウェアは、ウイルスに感染する可能性が高いので使わない	8. 知らない人からの電子メールの添付ファイルは、開かずに削除する	9. 上記にあてはまるものはない	
全体	5000	66.0	57.0	35.9	27.0	54.7	40.3	45.9	63.5	6.7	
性別	男性	2814	67.2	64.3	38.4	28.7	57.6	46.8	47.1	62.5	6.4
	女性	2186	64.4	47.6	32.8	24.7	50.9	31.9	44.5	64.6	7.1
年代別	10代	344	67.2	54.7	31.1	28.2	45.9	34.6	35.5	50.6	6.4
	20代	578	64.4	47.1	36.0	26.3	47.2	36.2	33.7	46.5	10.0
	30代	743	64.6	56.1	36.6	27.7	52.6	39.7	41.3	58.4	8.3
	40代	1013	65.4	58.1	34.0	29.3	57.3	42.6	45.8	63.4	8.3
	50代	996	65.7	58.1	39.1	27.3	57.2	41.5	48.8	67.8	6.2
	60代	895	67.0	60.6	33.6	23.4	56.8	41.9	52.4	72.0	3.6
	70代以上	431	69.6	60.8	40.8	26.7	58.7	40.1	58.7	77.7	3.9
パソコン習熟度	レベル4	512	68.4	71.9	53.3	39.3	64.5	58.2	45.5	61.3	7.4
	レベル3	1830	69.7	67.5	42.0	32.9	62.9	50.8	49.8	66.3	4.8
	レベル2	1715	64.7	52.4	31.1	23.8	51.7	34.8	47.9	64.6	5.8
	レベル1	943	59.8	36.7	23.5	14.5	38.7	20.5	35.0	56.9	11.8
時系列別	2017年	5000	65.1	50.8	29.2	22.1	46.5	33.2	37.9	59.6	8.6
	2016年	5000	55.9	42.1	23.2	16.5	37.2	26.5	32.7	53.6	14.8
	2015年	5000	56.1	43.5	22.8	18.4	35.2	25.9	32.0	49.6	13.9
	2014年	5000	55.8	50.3	27.6	24.1	48.1	37.6	39.9	60.7	9.1

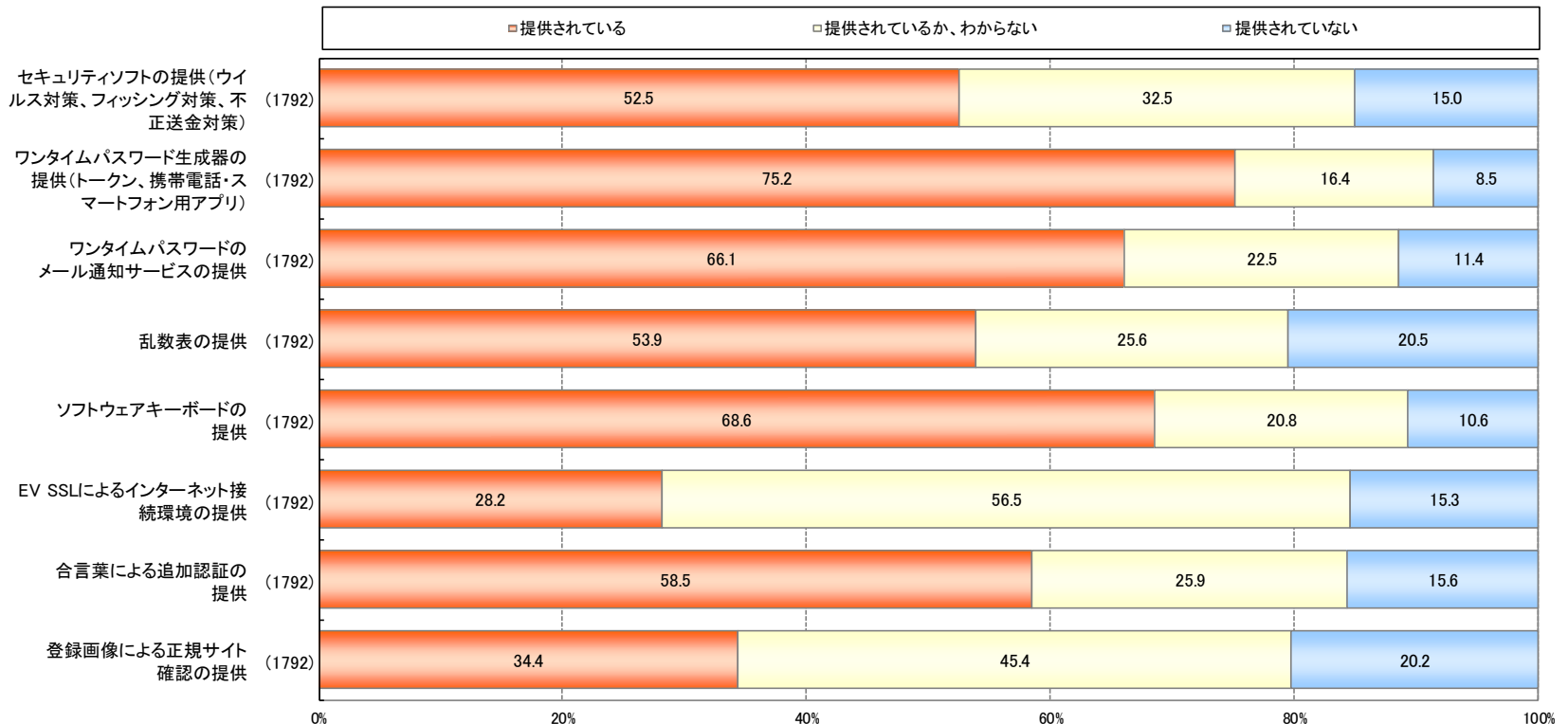
## 4-5.インターネットバンキング利用時のセキュリティ対策

### 4-5-1.金融機関提供のセキュリティサービス内容①

- 金融機関提供のセキュリティサービス内容について、「提供されている」割合が最も高いのは、「ワンタイムパスワード生成器の提供(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)」(75.2%)である。次いで「ソフトウェアキーボードの提供」(68.6%)、「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」(66.1%)、「合言葉による追加認証の提供」(58.5%)と続く。

【Q25】 あなたが「インターネットバンキング」を利用するうえで金融機関が提供しているセキュリティサービスを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネットバンキング利用者(Q3)



※「セキュリティソフトの提供(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」→2017年以前は「セキュリティ対策ソフトの提供(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」

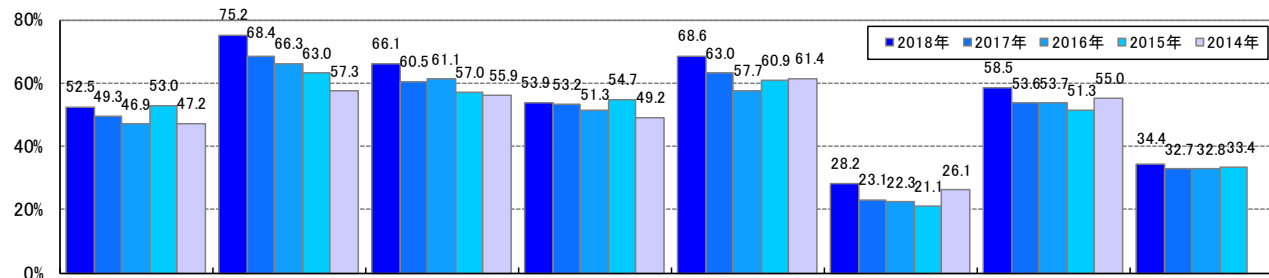
## 4-5-1.金融機関提供のセキュリティサービス内容②

- 金融機関提供のセキュリティサービス内容について最も高いのは、「ワンタイムパスワード生成器の提供(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)」(75.2%)である。次いで「ソフトウェアキーボードの提供」(68.6%)、「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」(66.1%)、「合言葉による追加認証の提供」(58.5%)と続く。
- 年代別でみると10代は「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」が15.4ポイント、20代は「EV SSLによるインターネット接続環境の提供」が11.6ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「ソフトウェアキーボードの提供」が13.9ポイント、「EV SSLによるインターネット接続環境の提供」が25.6ポイント、「登録画像による正規サイト確認の提供」が10ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「ワンタイムパスワード生成器の提供(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)」が6.8ポイント、「ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供」「ソフトウェアキーボードの提供」が各5.6ポイント、「EV SSLによるインターネット接続環境の提供」が5.1ポイント増加している。

【Q25】あなたが「インターネットバンキング」を利用するうえで金融機関が提供しているセキュリティサービスを選択してください。(お答えはそれぞれ1つつ)

n=インターネットバンキング利用者(Q3)

※値は「提供されている」



	n	セキュリティソフトの提供(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)		ワンタイムパスワード生成器の提供(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)		ワンタイムパスワードのメール通知サービスの提供		乱数表の提供		ソフトウェアキーボードの提供		EV SSLによるインターネット接続環境の提供		合言葉による追加認証の提供		登録画像による正規サイト確認の提供	
		全体+10Pt以上	全体+5Pt以上	全体+10Pt以上	全体+5Pt以上	全体+10Pt以上	全体+5Pt以上	全体+10Pt以上	全体+5Pt以上	全体+10Pt以上	全体+5Pt以上	全体+10Pt以上	全体+5Pt以上	全体+10Pt以上	全体+5Pt以上	全体+10Pt以上	全体+5Pt以上
全体	1792	52.5	47.2	75.2	61.4	66.1	53.9	68.6	28.2	58.5	34.4						
性別	男性	1168	55.2	77.4	66.8	53.7	70.8	29.9	58.6	35.7							
	女性	624	47.4	71.0	64.9	54.3	64.4	25.0	58.5	32.1							
年代別	10代	65	47.7	78.5	81.5	53.8	73.8	30.8	60.0	36.9							
	20代	133	50.4	67.7	57.1	46.6	54.9	39.8	54.9	33.8							
	30代	272	43.8	69.5	60.7	48.2	65.8	26.8	52.2	31.3							
	40代	438	47.5	74.7	64.2	55.3	68.0	31.1	59.4	34.0							
	50代	400	56.3	77.0	69.3	58.5	73.8	29.0	63.5	36.5							
	60代	328	61.3	81.4	70.4	54.6	71.3	23.2	63.4	33.5							
	70代以上	156	57.7	73.7	65.4	53.2	65.4	19.9	46.8	37.2							
パソコン習熟度	レベル4	234	56.4	82.9	67.5	61.1	82.5	53.8	64.5	44.4							
	レベル3	807	54.4	77.6	68.9	53.3	70.8	29.7	60.2	36.6							
	レベル2	564	52.0	71.1	63.1	51.8	63.5	19.1	55.5	30.7							
	レベル1	187	41.2	67.4	61.5	54.0	57.2	16.6	52.9	24.1							
	時系別	2017年	2093	49.3	68.4	60.5	53.2	63.0	23.1	53.6	32.7						
2016年	2012	46.9	66.3	61.1	51.3	57.7	22.3	53.7	32.8								
2015年	1628	53.0	63.0	57.0	54.7	60.9	21.1	51.3	33.4								
2014年	1599	47.2	57.3	55.9	49.2	61.4	26.1	55.0									

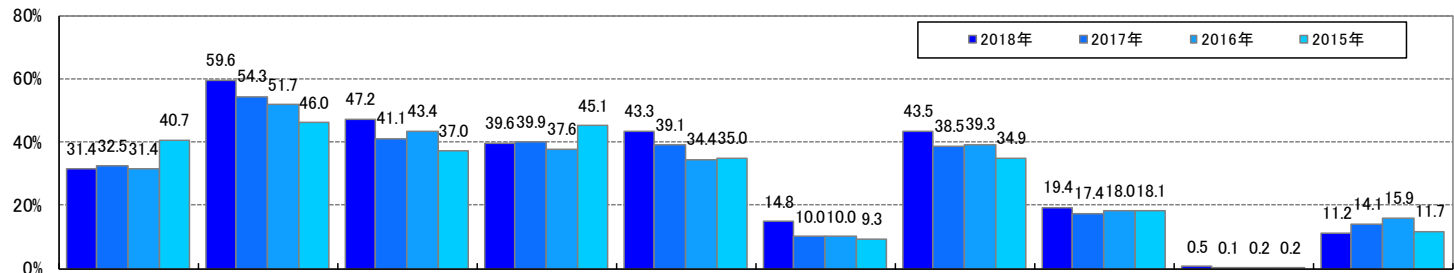
※「セキュリティソフトの提供(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」→2017年以前は「セキュリティ対策ソフトの提供(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」

## 4-5-2.利用している金融機関提供のセキュリティサービス内容

- 利用している金融機関提供のセキュリティサービス内容について最も高いのは、「ワンタイムパスワード生成器(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)」(59.6%)である。次いで「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」(47.2%)、「合言葉による追加認証」(43.5%)、「ソフトウェアキーボード」(43.3%)と続く。
- 年代別でみると、60代は「セキュリティソフト(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」が10.1ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「EV SSLによるインターネット接続環境」が15.5ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「ワンタイムパスワードのメール通知サービス」が6.1ポイント、「ワンタイムパスワード生成器(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)」が5.3ポイント、「合言葉による追加認証」が5ポイント、「EV SSLによるインターネット接続環境」が4.8ポイント、「ソフトウェアキーボード」が4.2ポイント増している。

【Q26】 主に利用している金融機関の「インターネットバンキング」のセキュリティサービスのうち、あなたが利用しているものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=インターネットバンキング利用者(Q3)



		全体	セキュリティソフト(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)	ワンタイムパスワード生成器(トークン、携帯電話・スマートフォン用アプリ)	ワンタイムパスワードのメール通知サービス	乱数表	ソフトウェアキーボード	EV SSLによるインターネット接続環境	合言葉による追加認証	登録画像による正規サイト確認	その他	セキュリティサービスは利用していない
全体		1792	31.4	59.6	47.2	39.6	43.3	14.8	43.5	19.4	0.5	11.2
性別	男性	1168	34.7	63.2	49.1	40.4	44.5	17.3	43.7	20.7	0.4	9.5
	女性	624	25.2	52.9	43.8	38.1	41.0	10.1	43.1	16.8	0.6	14.3
	全体	65	21.5	58.5	56.9	36.9	52.3	12.3	38.5	15.4	-	9.2
年代別	10代	133	31.6	54.1	42.1	31.6	28.6	21.1	34.6	12.0	-	19.5
	20代	272	25.0	52.6	43.8	35.3	43.0	18.8	39.0	17.6	0.4	14.0
	30代	438	24.9	60.7	47.7	40.9	41.3	13.0	42.7	20.3	0.5	13.0
	40代	400	32.8	62.3	45.5	43.0	44.5	17.3	49.5	22.3	0.8	8.8
	50代	328	41.5	63.1	50.0	41.5	47.6	12.2	49.7	17.1	0.6	7.3
	60代	156	39.7	59.6	50.6	39.1	46.2	7.7	34.6	25.0	0.6	9.0
	70代以上	234	34.6	68.8	47.4	44.0	48.7	30.3	45.3	23.1	0.9	9.0
パソコン習熟度	レベル3	807	32.3	61.8	50.3	38.8	44.2	15.6	45.6	21.1	0.4	9.8
	レベル2	564	31.7	54.3	43.4	39.2	41.0	9.8	41.7	16.7	0.7	11.0
	レベル1	187	21.9	54.5	44.9	39.0	39.6	7.0	37.4	15.5	-	20.3
	全体	2093	32.5	54.3	41.1	39.9	39.1	10.0	38.5	17.4	0.1	14.1
時系列	2016年	2012	31.4	51.7	43.4	37.6	34.4	10.0	39.3	18.0	0.2	15.9
	2017年	2093	32.5	54.3	41.1	39.9	39.1	10.0	38.5	17.4	0.1	14.1
	2015年	1628	40.7	46.0	37.0	45.1	35.0	9.3	34.9	18.1	0.2	11.7

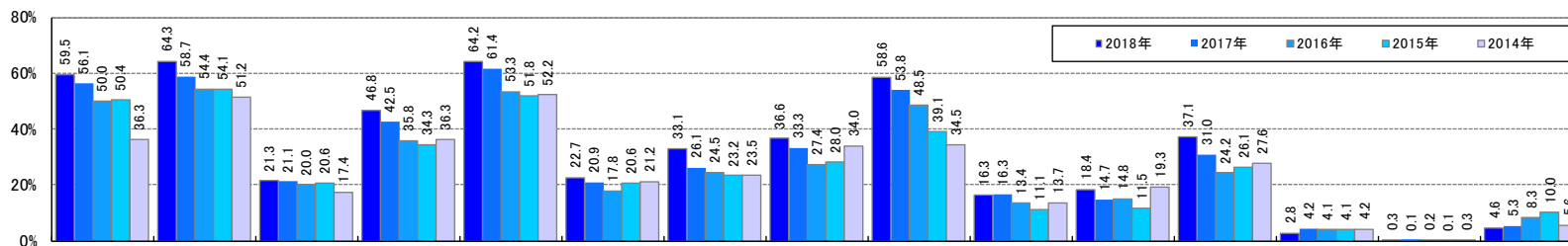
※「セキュリティソフト(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」→2017年以前は「セキュリティ対策ソフト(ウイルス対策、フィッシング対策、不正送金対策)」

# 4-5-3.金融機関のインターネットバンキングの利用について

- 金融機関のインターネットバンキングの利用について最も高いのは、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」(64.3%)である。次いで「預金残高を定期的に確認する」(64.2%)、「利用するブラウザを常に最新の状態にしている」(59.5%)、「ワンタイムパスワードを利用している」(58.6%)と続く。
- 性別でみると、男性は「利用するブラウザを常に最新の状態にしている」が7.4ポイント、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」が6.2ポイント全体に比べて高い。
- 年代別でみると、70代以上は「金融機関が提供しているセキュリティソフトを利用している」が11.4ポイント、「金融機関からのパスワードなどの問い合わせに応じない」が10.9ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「利用するブラウザを常に最新の状態にしている」が17.9ポイント、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」が13.9ポイント、「URLやメールアドレスを確認する」が16ポイント、「ブラウザでURLが表示されるアドレスバー（もしくは一部）が緑色になっていることを確認する」が14.5ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「URLやメールアドレスを確認する」が7ポイント、「利用するサイトは、あらかじめブックマークに登録しアクセスしている」が6.1ポイント、「ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている」が5.6ポイント増加している。

【Q27】 主に利用している金融機関の「インターネットバンキング」を利用するうえで、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=インターネットバンキング利用者(Q3)



	全体	セキュリティ対策															
		利用するブラウザを常に最新の状態にしている	ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしている	金融機関が提供しているセキュリティソフトを利用している	金融機関からのパスワードなどの問い合わせに応じない	預金残高を定期的に確認する	乱数表、合言葉などの入力を入力しない	URLやメールアドレスを確認する	他のサービスのアカウントとは異なるパスワードにしている	ワンタイムパスワードを利用している	ブラウザでURLが表示されるアドレスバー（もしくは一部）が緑色になっていることを確認する	携帯電話のメールアドレスを登録している	メールでのワンタイムパスワード通知サービスは、携帯端末のメールアドレスを登録している	利用するサイトは、あらかじめブックマークに登録している	設定している	その他のセキュリティ対策	行っていない
全体	1792	59.5	64.3	21.3	46.8	64.2	22.7	33.1	36.6	58.6	16.3	18.4	37.1	2.8	0.3	4.6	
性別	男性	1168	66.9	70.5	22.8	49.4	65.9	25.3	35.3	36.8	17.6	19.4	40.8	1.5	0.3	3.9	
	女性	624	45.7	52.9	18.6	41.8	60.9	17.6	29.0	36.2	13.9	16.5	30.1	5.3	0.5	5.9	
年代別	10代	65	49.2	60.0	16.9	38.5	61.5	27.7	30.8	27.7	15.4	21.5	38.5	4.6	-	4.6	
	20代	133	59.4	61.7	15.0	36.9	57.9	27.8	36.8	39.8	24.8	18.8	27.1	1.5	-	8.3	
	30代	272	57.7	60.3	13.2	39.0	61.4	22.8	35.3	36.0	18.4	16.9	36.0	3.3	-	6.3	
	40代	438	61.2	63.2	17.1	47.3	59.6	20.1	34.7	35.4	16.7	16.2	35.2	1.6	-	5.3	
	50代	400	62.5	65.8	23.0	48.3	65.5	23.3	32.8	35.8	17.8	18.5	40.8	3.0	0.5	2.5	
	60代	328	60.1	68.6	29.6	51.2	70.1	21.3	27.7	41.2	12.8	22.9	39.9	4.6	0.3	3.7	
	70代以上	156	53.2	66.0	32.7	57.7	72.4	24.4	34.6	34.6	66.0	8.3	16.0	37.2	1.3	1.9	3.8
パソコン習熟度	レベル4	234	77.4	78.2	20.9	54.7	69.2	30.8	49.1	44.4	65.4	30.8	21.8	44.9	0.9	-	3.8
	レベル3	807	67.0	69.3	19.7	49.6	65.4	24.7	35.9	38.4	60.8	17.5	20.1	42.0	1.9	0.2	3.7
	レベル2	564	50.4	58.7	23.9	43.6	62.1	19.0	26.4	33.9	53.2	10.8	15.1	30.1	3.0	0.7	4.4
	レベル1	187	32.1	42.8	20.9	34.2	58.8	15.0	20.9	27.3	57.2	9.6	17.1	27.3	8.6	-	9.6
時系列	2017年	2093	56.1	58.7	21.1	42.5	61.4	20.9	26.1	33.3	53.8	16.3	14.7	31.0	4.2	0.1	5.3
	2016年	2012	50.0	54.4	20.0	35.8	53.3	17.8	24.5	27.4	48.5	13.4	14.8	24.2	4.1	0.2	8.3
	2015年	1628	50.4	54.1	20.6	34.3	51.8	20.6	23.2	28.0	39.1	11.1	11.5	26.1	4.1	0.1	10.0
	2014年	1599	36.3	51.2	17.4	36.3	52.2	21.2	23.5	34.0	34.5	13.7	19.3	27.6	4.2	0.3	5.6

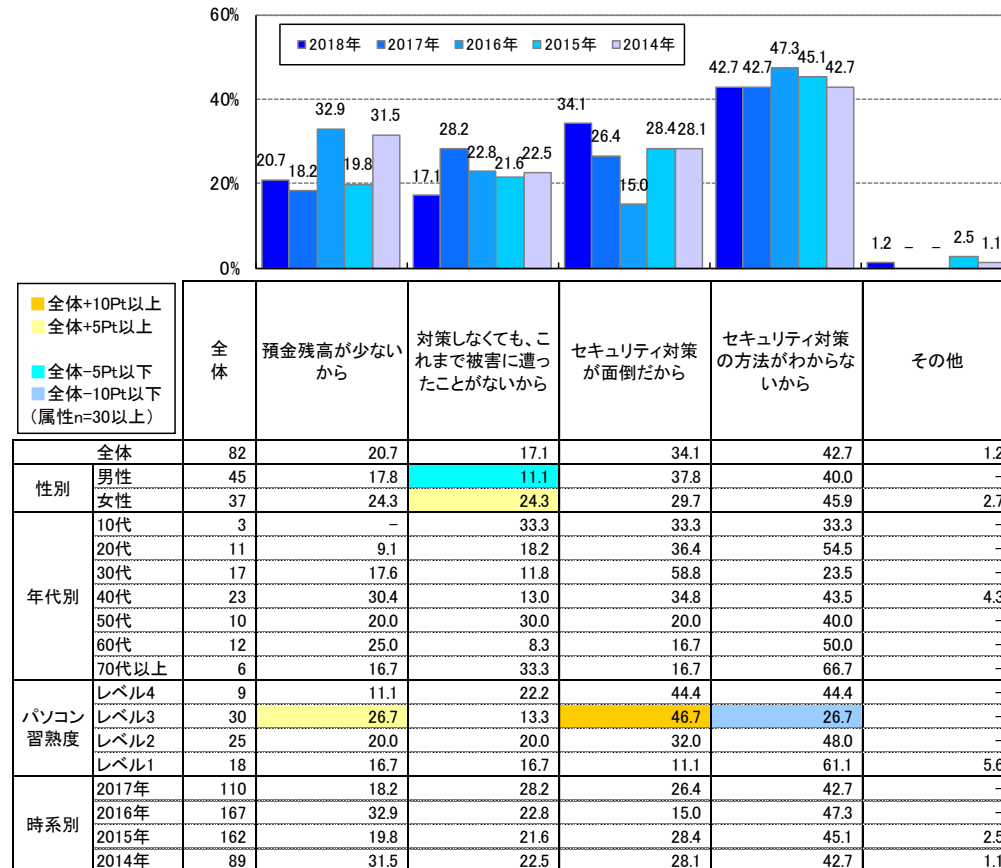
※「金融機関が提供しているセキュリティソフトを利用している」→2017年度以前は「金融機関が提供しているセキュリティ対策ソフトを利用している」  
 ※「金融機関からのパスワードなどの問い合わせに応じない」→2017年度以前は「金融機関からのパスワード等の問い合わせに応じない」  
 ※「その他のセキュリティ対策をしている」→2017年度以前は「その他」

## 4-5-4.インターネットバンキング利用時にセキュリティ対策をしていない理由

- インターネットバンキング利用時にセキュリティ対策をしていない理由について最も高いのは、「セキュリティ対策の方法がわからないから」(42.7%)である。次いで「セキュリティ対策が面倒だから」(34.1%)、「預金残高が少ないから」(20.7%)、「対策しなくても、これまで被害に遭ったことがないから」(17.1%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「対策しなくても、これまで被害に遭ったことがないから」が7.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル3は「セキュリティ対策が面倒だから」が12.6ポイント全体に比べて高い。
- 前回(2017年)と比較すると、「セキュリティ対策が面倒だから」が7.7ポイント増加している。一方、「対策しなくても、これまで被害に遭ったことがないから」が11.1ポイント減少している。

【Q28】「インターネットバンキング」を利用するうえでセキュリティ対策を行っていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=「インターネットバンキング」を利用するうえで、セキュリティ対策は何も行っていない方(Q27)

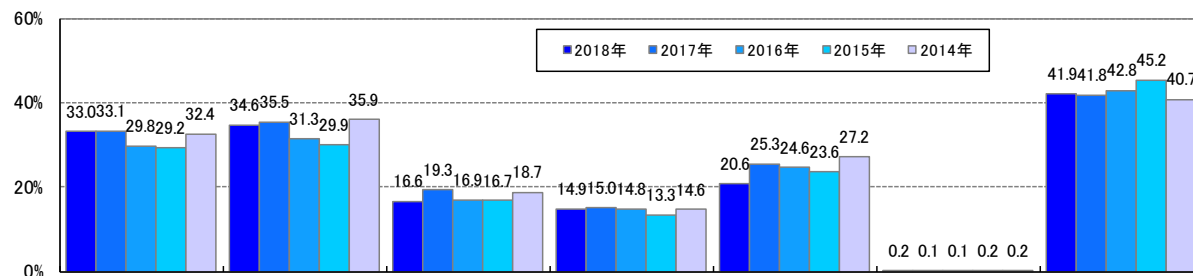




## 4-6.情報セキュリティに関する情報収集 4-6-1.過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報

- 過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報について最も高いのは、「特にない」(41.9%)である。次いで「被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報」(34.6%)、「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」(33.0%)、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」(20.6%)と続く。
- パソコン習熟度でみると、レベル4は「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」が13.1ポイント、レベル1は「特にない」が12.5ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」が4.7ポイント減少している。

【Q29】 過去1年間に、あなたが知りたいと思ったセキュリティ情報はどのようなことでしたか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



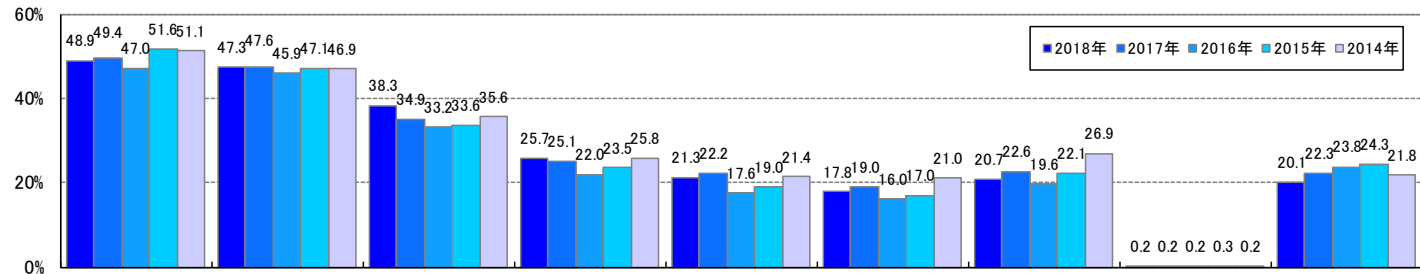
	属性	n	情報カテゴリ						
			全体	最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報	被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報	市販されているセキュリティサービス・製品に関する情報	ユーザの被害や対策実施などに関する体験談やレポートの情報	被害が起きたときの相談や届出に関する情報	その他
	全体	5000	33.0	34.6	16.6	14.9	20.6	0.2	41.9
性別	男性	2814	36.6	35.8	17.9	15.5	20.0	0.1	39.6
	女性	2186	28.5	33.0	15.1	14.0	21.5	0.2	44.8
年代別	10代	344	34.9	29.4	17.4	12.8	16.0	-	41.9
	20代	578	33.0	33.9	20.8	17.3	18.7	-	39.6
	30代	743	35.0	35.1	17.2	18.8	22.3	0.3	42.1
	40代	1013	34.4	34.4	15.1	15.6	20.3	0.2	42.6
	50代	996	32.6	35.7	16.6	13.7	20.9	0.1	42.0
	60代	895	29.6	34.4	14.0	11.8	20.8	0.2	42.8
	70代以上	431	33.2	36.9	18.8	13.7	23.7	0.2	40.8
パソコン習熟度	レベル4	512	46.1	39.8	21.3	19.7	17.8	0.6	31.6
	レベル3	1830	36.9	36.4	18.3	16.6	20.3	0.1	39.6
	レベル2	1715	30.8	35.8	16.6	15.0	22.9	0.1	40.5
	レベル1	943	22.4	26.0	11.0	8.6	18.8	0.3	54.4
時系列	2017年	5000	33.1	35.5	19.3	15.0	25.3	0.1	41.8
	2016年	5000	29.8	31.3	16.9	14.8	24.6	0.1	42.8
	2015年	5000	29.2	29.9	16.7	13.3	23.6	0.2	45.2
	2014年	5000	32.4	35.9	18.7	14.6	27.2	0.2	40.7

※「ユーザの被害や対策実施などに関する体験談やレポートの情報」→2017年度以前は「ユーザの被害や対策実施等に関する体験談やレポートの情報」

## 4-6-2.セキュリティ情報を収集する際の問題点

- セキュリティ情報を収集する際の問題点について最も高いのは、「知らない用語が多い」(48.9%)である。次いで「内容が難しい」(47.3%)、「情報が多すぎる」(38.3%)、「自分から情報収集や勉強をするのが面倒」(25.7%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「知らない用語が多い」が9ポイント、「内容が難しい」が6.7ポイント全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、70代以上は「自分に関係がある情報なのかわからない」が10.2ポイント全体に比べて高い。
- パソコン習熟度で見ると、レベル4は「特に問題点は感じていない」が17.6ポイント、「知らない用語が多い」がレベル2は10.9ポイント、レベル1は12.2ポイント、レベル1は「内容が難しい」が11.7ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「情報が多すぎる」が3.4ポイント増加している。

【Q30】 あなたは、セキュリティ情報を収集するにあたって、どのような問題点を感じていますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



	属性	n	問題点								
			知らない用語が多い	内容が難しい	情報が多すぎる	自分から情報収集や勉強をするのが面倒	情報の更新が早すぎて追いつけない	情報がどこにあるかわからない	自分に関係がある情報なのかわからない	その他	特に問題点は感じていない
全体	全体	5000	48.9	47.3	38.3	25.7	21.3	17.8	20.7	0.2	20.1
性別	男性	2814	41.9	42.1	38.3	23.6	19.5	17.3	19.2	0.2	23.7
	女性	2186	57.9	54.0	38.3	28.4	23.5	18.4	22.6	0.2	15.4
年代別	10代	344	46.8	44.2	37.8	23.3	19.5	12.8	15.7	-	18.0
	20代	578	44.6	40.8	41.0	24.6	20.8	16.4	15.4	0.2	19.7
	30代	743	46.8	47.0	41.7	27.9	26.8	18.8	17.5	0.3	19.7
	40代	1013	47.9	47.2	38.2	26.4	23.2	19.8	19.2	0.2	21.7
	50代	996	48.5	47.4	38.3	25.8	20.0	15.9	21.0	0.2	21.0
	60代	895	52.1	50.8	34.7	24.7	18.5	19.1	25.1	0.1	19.0
	70代以上	431	56.4	52.0	36.7	25.8	17.9	18.6	30.9	0.5	19.3
パソコン習熟度	レベル4	512	20.1	24.6	31.3	17.0	15.0	10.5	10.2	0.2	37.7
	レベル3	1830	40.4	39.4	39.3	23.1	21.8	15.9	18.1	0.3	22.8
	レベル2	1715	59.8	56.2	40.8	28.5	21.6	19.8	24.3	0.1	13.7
	レベル1	943	61.1	59.0	35.6	30.3	23.0	21.7	24.8	0.2	16.9
時系別	2017年	5000	49.4	47.6	34.9	25.1	22.2	19.0	22.6	0.2	22.3
	2016年	5000	47.0	45.9	33.2	22.0	17.6	16.0	19.6	0.2	23.8
	2015年	5000	51.6	47.1	33.6	23.5	19.0	17.0	22.1	0.3	24.3
	2014年	5000	51.1	46.9	35.6	25.8	21.4	21.0	26.9	0.2	21.8

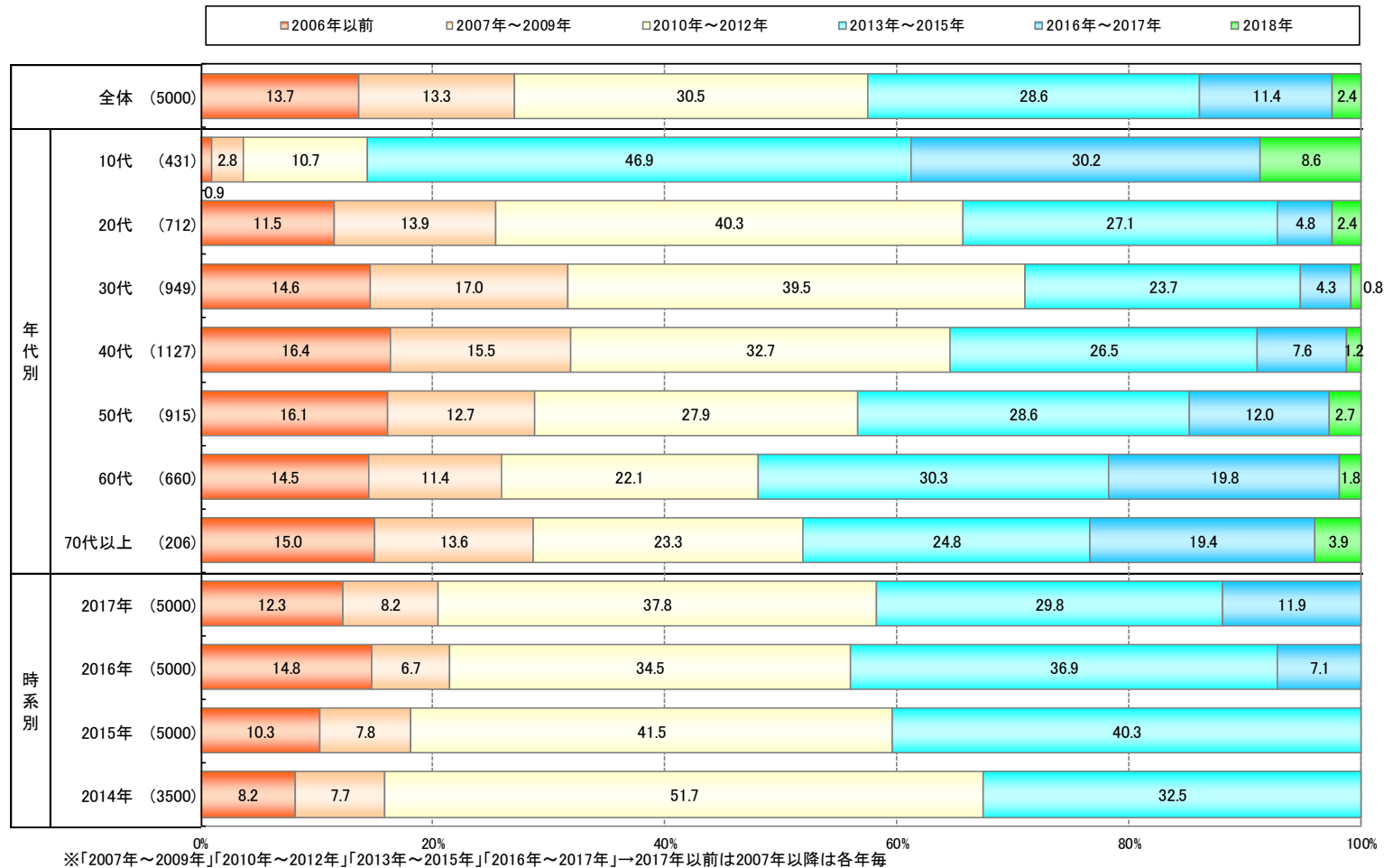
## **5.調査結果詳細【スマートデバイス調査】**

---

# 5-1.インターネットサービスの利用状況 5-1-1.スマートデバイスによるインターネット利用開始時期

- スマートデバイスによるインターネット利用開始時期について最も高いのは、「2010年～2012年」(30.5%)である。次いで「2013年～2015年」(28.6%)、「2006年以前」(13.7%)、「2007年～2009年」(13.3%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「2013年～2015年」が18.3ポイント、「2016年～2017年」が18.8ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「2007年～2009年」が5.1ポイント増加している。一方、「2010年～2012年」が7.3ポイント減少している。

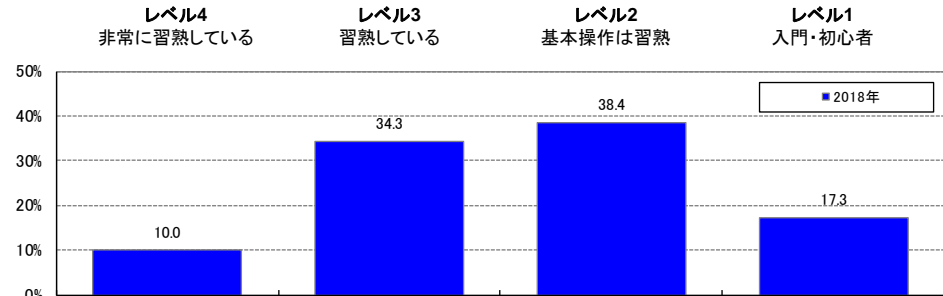
【SC7】 あなたがスマートデバイス(スマートフォン・タブレット端末)でインターネットを利用しはじめた時期について回答してください。明確に覚えていない場合は、だいたいの時期で構いません。(お答えは1つ)



## 5-1-2.スマートデバイスの習熟度

- スマートデバイスの習熟度について最も高いのは、「スマートデバイスの基本的な操作や簡単な設定変更はでき、予期せぬ挙動やエラーが発生した場合も他者からの説明があれば理解、対処できるレベル」(38.4%)である。次いで「スマートデバイスに関する基本的な知識を有しており、具体的な操作方法やトラブル発生時の対応等は自分で調べて対処することができるレベル」(34.3%)、「スマートデバイスの基本的な操作はできるが、設定変更等は自分ではできず他者をお願いをする必要があるレベル」(17.3%)、「スマートデバイスに関する十分な知識を有しており、具体的な操作方法やトラブル発生時の対応等について他者に説明することができるレベル」(10.0%)と続く。
- 年代別でみると、「レベル3」が10代は11.4ポイント、20代は11.1ポイント、70代以上は「レベル1」が12.8ポイント全体に比べて高い。
- 職業別でみると、会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)は「レベル4」が22.5ポイント、専業主婦・主夫は「レベル1」が12.8ポイント、「レベル3」が高校生は10.8ポイント、大学生は20.2ポイント全体に比べて高い。

【SC9】 あなたのスマートデバイス(スマートフォン・タブレット端末)の習熟度として、最もあてはまるレベルを回答してください。(お答えは1つ)



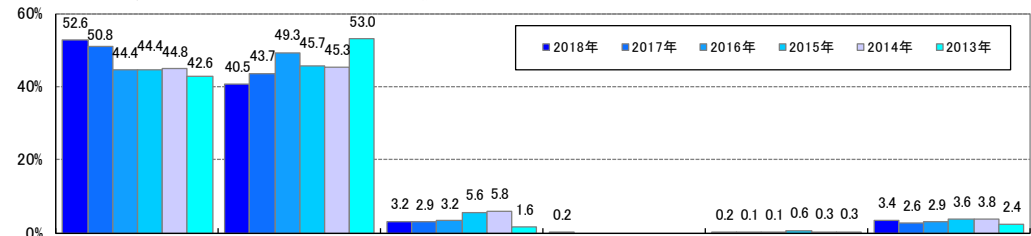
		全体	レベル4 スマートデバイスに関する十分な知識を有しており、具体的な操作方法やトラブル発生時の対応等について他者に説明することができるレベル	レベル3 スマートデバイスに関する基本的な知識を有しており、具体的な操作方法やトラブル発生時の対応等は自分で調べて対処することができるレベル	レベル2 スマートデバイスの基本的な操作や簡単な設定変更はでき、予期せぬ挙動やエラーが発生した場合も他者からの説明があれば理解、対処できるレベル	レベル1 スマートデバイスの基本的な操作はできるが、設定変更等は自分ではできず他者をお願いをする必要があるレベル
全体		5000	10.0	34.3	38.4	17.3
性別	男性	2437	14.6	39.8	34.3	11.2
	女性	2563	5.5	29.1	42.2	23.2
年代別	10代	431	15.5	45.7	26.5	12.3
	20代	712	15.2	45.4	31.2	8.3
	30代	949	11.7	37.9	37.4	13.0
	40代	1127	9.1	33.7	40.1	17.1
	50代	915	7.3	29.0	41.6	22.1
	60代	660	5.3	22.9	45.3	26.5
	70代以上	206	4.4	19.4	46.1	30.1
職業別	経営者・役員	103	17.5	34.0	36.9	11.7
	会社員・公務員・教員(管理職)	726	13.9	37.3	33.2	15.6
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	160	32.5	38.1	23.1	6.3
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	930	8.3	41.8	38.5	11.4
	医者・弁護士等の専門職	111	14.4	27.0	47.7	10.8
	契約社員・派遣社員	222	7.2	31.1	46.8	14.9
	自営業・自由業	320	12.5	40.9	33.4	13.1
	専業主婦・主夫	830	4.6	24.3	41.0	30.1
	家事手伝い・無職(定年退職含む)	386	7.3	30.8	44.3	17.6
	パート・アルバイト	683	6.1	25.2	47.0	21.7
	中学生	86	19.8	27.9	30.2	22.1
	高校生	162	17.3	45.1	25.9	11.7
	専門学校生	19	10.5	52.6	21.1	15.8
	短大生・高専生	8	-	75.0	25.0	-
	大学生	187	10.7	54.5	26.2	8.6
	大学院生	12	25.0	58.3	8.3	8.3
その他	55	1.8	27.3	43.6	27.3	

※今年度から全面改訂

# 5-1-3.使用機器のOS

- 使用機器のOSについて最も高いのは、「iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ)」(52.6%)である。次いで「Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、MediaPad、ZenPadなど)」(40.5%)、「わからない」(3.4%)、「Windows (Windows Phone、Windows Mobile、Windows RT、Windows 8/8.1、Windows 10)」(3.2%)と続く。
- 年代別で見ると、「iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ)」が10代は14.5ポイント、20代は17.5ポイント全体に比べて高い。
- 職業別で見ると、「iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ)」が医者・弁護士等の専門職は12.3ポイント、高校生は17.2ポイント、大学生は20.1ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、MediaPad、ZenPadなど)」が3.2ポイント減少している。

【Q1】あなたが主に利用しているスマートデバイスのOSについて、あてはまるものを選択してください。  
OSの異なるスマートデバイスを複数台利用している場合は、その中で最もインターネットの利用時間が長いスマートデバイスのOSを選択してください。(お答えは1つ)



	全体	OS					Fire OS (Kindle Fireなど)	その他	わからない
		iOS (iPhoneシリーズ、iPadシリーズ)	Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、MediaPad、ZenPadなど)	Windows (Windows Phone、Windows Mobile、Windows RT、Windows 8/8.1、Windows 10)	Fire OS (Kindle Fireなど)	その他			
全体	5000	52.6	40.5	3.2	0.2	0.2	3.4		
年代別	10代	431	67.1	29.2	2.1	0.2	1.4		
	20代	712	70.1	26.7	1.5	0.1	1.5		
	30代	949	56.9	39.8	1.7	-	0.1		
	40代	1127	47.6	47.0	2.0	0.1	0.1		
	50代	915	47.2	44.5	4.0	0.4	0.1		
	60代	660	39.4	44.7	6.5	0.2	0.5		
	70代以上	206	35.0	48.5	9.2	1.0	6.3		
職業別	経営者・役員	103	52.4	35.9	6.8	-	4.9		
	会社員・公務員・教員(管理職)	726	56.5	37.9	3.3	0.1	0.4		
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)	160	50.0	46.3	2.5	-	1.3		
	会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)	930	54.3	41.5	2.8	-	0.1		
	医者・弁護士等の専門職	111	64.9	29.7	3.6	-	0.9		
	契約社員・派遣社員	222	47.3	44.6	4.1	0.9	-		
	自営業・自由業	320	46.9	45.9	3.8	0.3	-		
	専業主婦・主夫	830	51.4	38.1	3.3	0.1	0.1		
	家事手伝い・無職(定年退職含む)	386	39.1	49.7	5.4	0.5	0.5		
	パート・アルバイト	683	47.9	45.2	1.9	-	-		
	中学生	86	46.5	45.3	4.7	1.2	-		
	高校生	162	69.8	27.8	1.2	-	-		
	専門学校生	19	78.9	21.1	-	-	-		
	短大生・高専生	8	50.0	37.5	-	-	-		
	大学生	187	72.7	24.1	2.7	-	-		
	大学院生	12	91.7	8.3	-	-	-		
	その他	55	50.9	38.2	-	-	10.9		
時系列	2017年	5000	50.8	43.7	2.9	-	2.6		
	2016年	5000	44.4	49.3	3.2	-	2.9		
	2015年	5000	44.4	45.7	5.6	-	3.6		
	2014年	3500	44.8	45.3	5.8	-	3.8		
	2013年	2066	42.6	53.0	1.6	-	0.3		

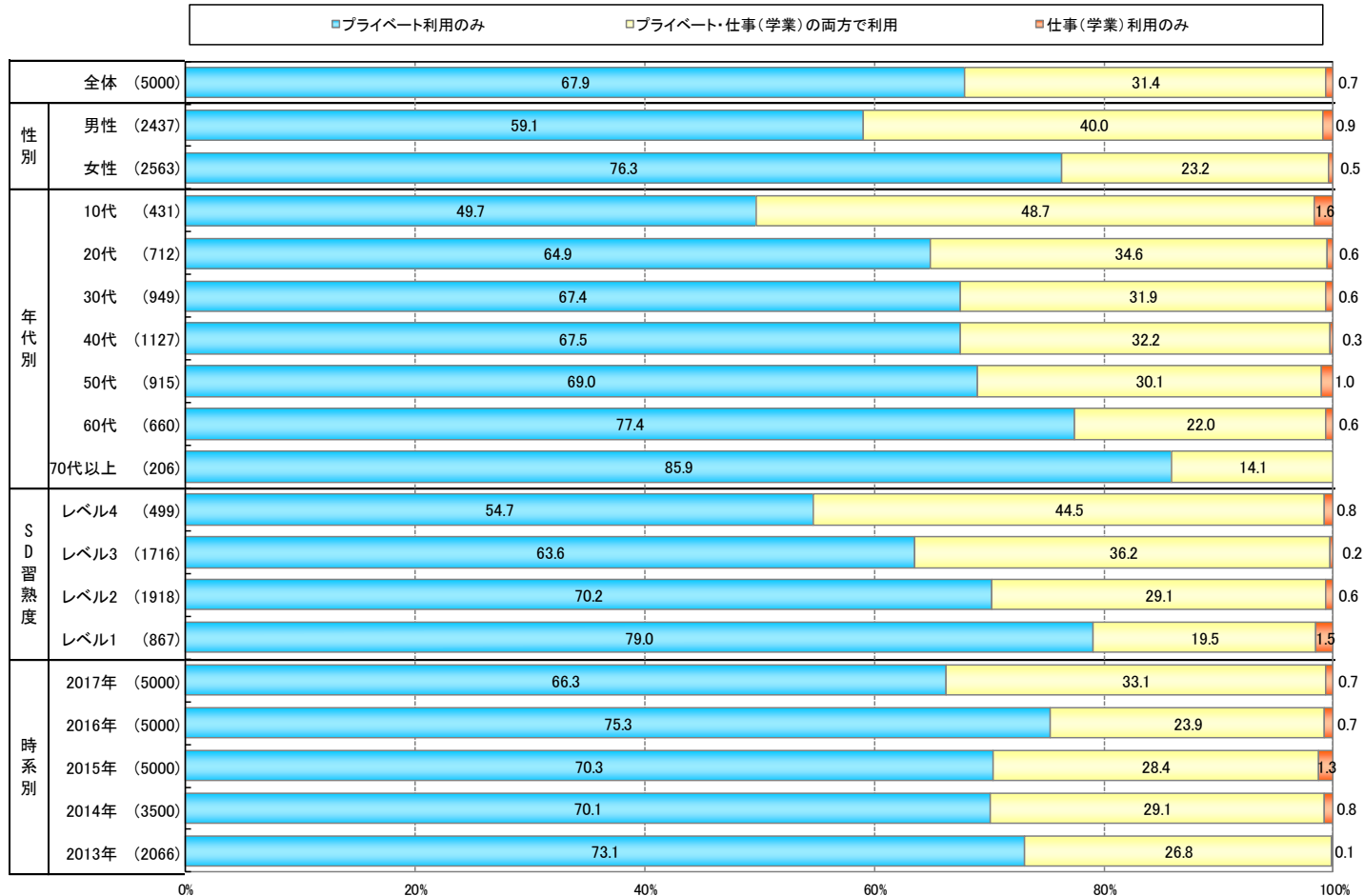
※「Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、MediaPad、ZenPadなど)」→2017年度以前は「Android (Galaxy、AQUOS PHONE、XPERIA、REGZA、等)」

※「Fire OS (Kindle Fireなど)」→今年度から追加した項目

## 5-1-4.スマートデバイスのプライベート／ビジネス使用

- スマートデバイスのプライベート／ビジネス使用について最も高いのは、「プライベート利用のみ」(67.9%)である。次いで「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」(31.4%)、「仕事(学業)利用のみ」(0.7%)と続く。
- 年代別で見ると、10代は「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」が17.3ポイント、70代以上は「プライベート利用のみ」が18ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「プライベート・仕事(学業)の両方で利用」が13.1ポイント、レベル1は「プライベート利用のみ」が11.1ポイント全体に比べて高い。

【Q2】 お持ちのスマートデバイスはプライベート(家事も含む)利用ですか、仕事・学業でも利用しますか。あてはまるものを1つ選択してください。(お答えは1つ)

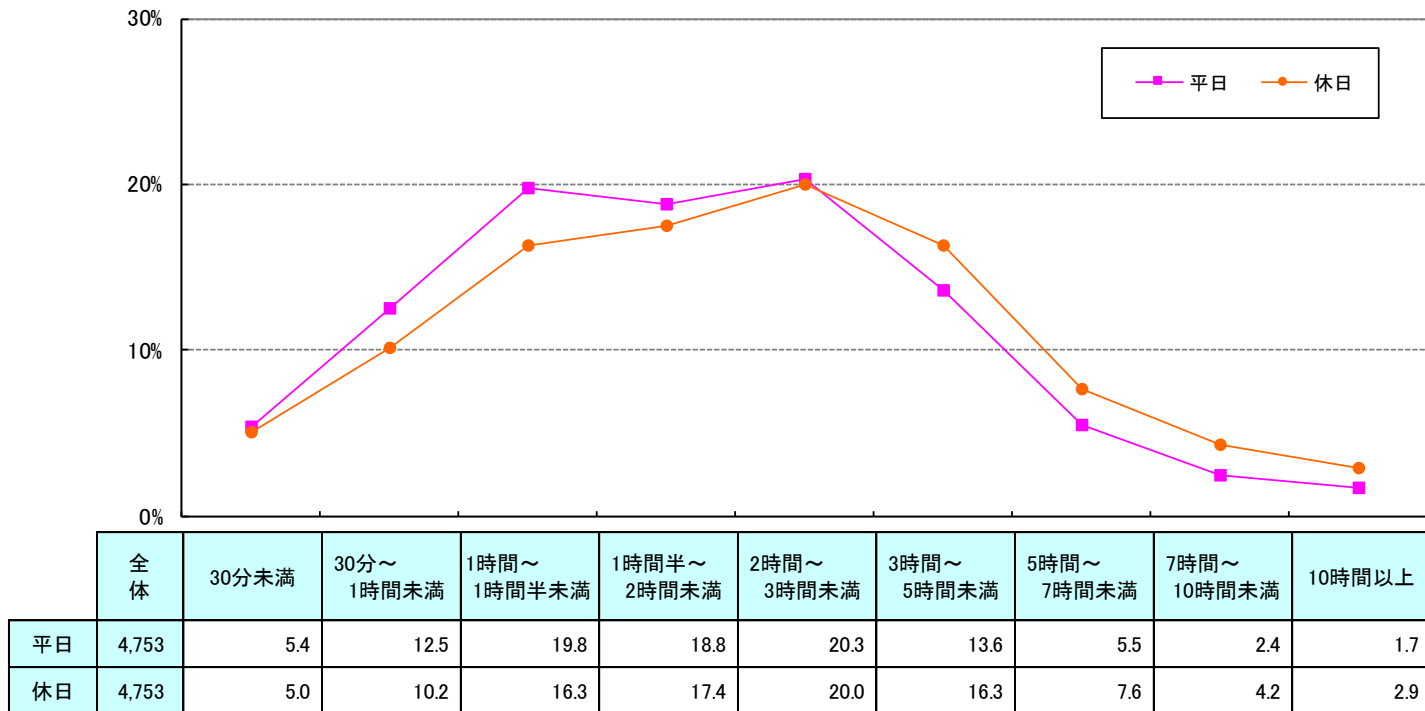


## 5-1-5.スマートフォンでのインターネット利用時間

- スマートフォンでのインターネット利用時間は、平日・休日ともに「2時間～3時間未満」が最も高い。

【SC5】 あなたは普段プライベートで、当該機器（インターネット）をどのくらい利用していますか。  
「平日（仕事や学校等のある日）」と「休日（仕事や学校等のない日）」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。（それぞれ1つ）

n=スマートフォン利用者(SC4)



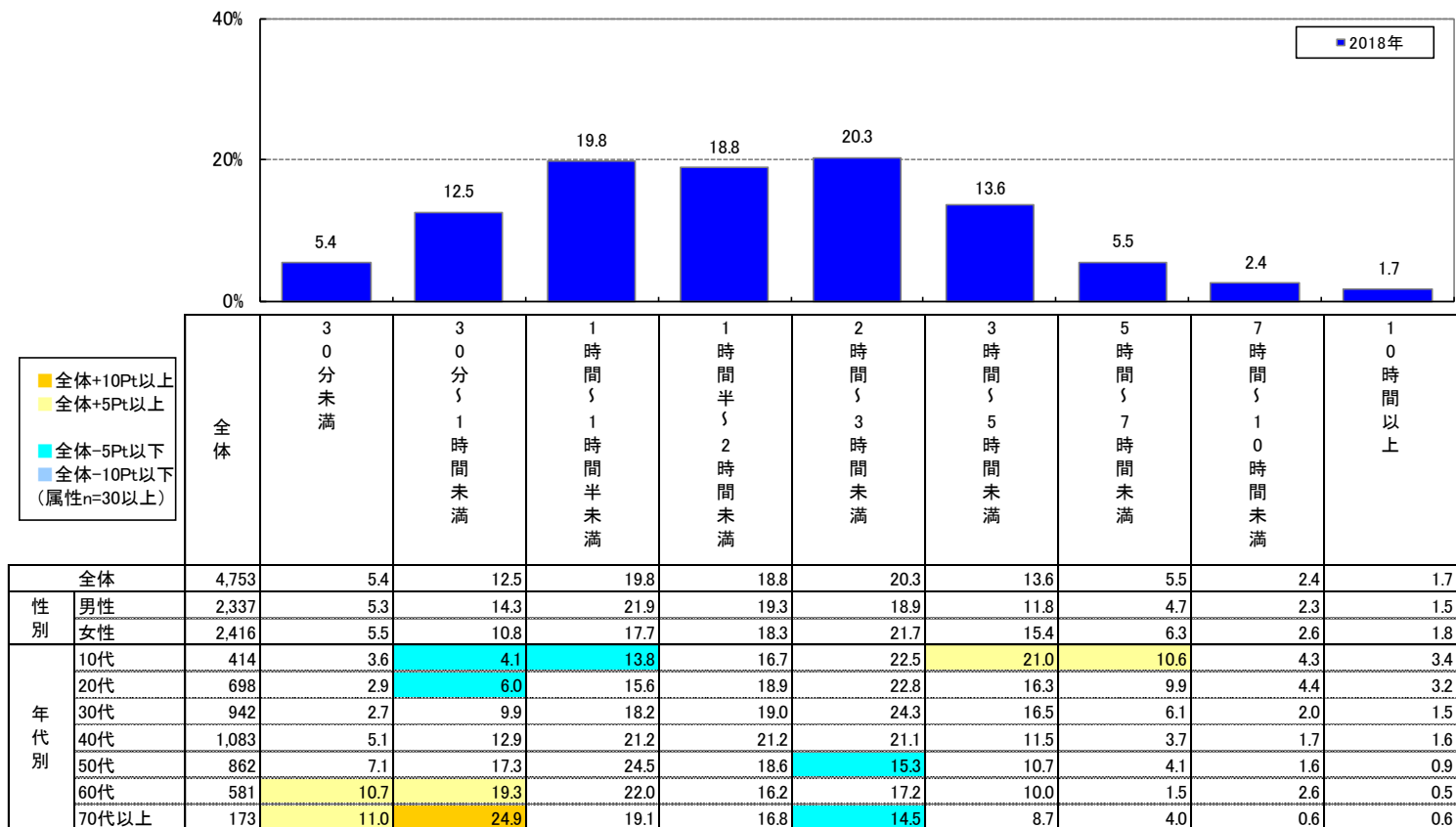


## 5-1-6.スマートフォンでのインターネット利用時間(平日)①

- スマートフォンでのインターネット利用時間(平日)について最も高いのは、「2時間～3時間未満」(20.3%)である。次いで「1時間～1時間半未満」(19.8%)、「1時間半～2時間未満」(18.8%)、「3時間～5時間未満」(13.6%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「30分～1時間未満」が12.4ポイント全体に比べて高い。

【SC5S2】 [スマートフォン]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

n=スマートフォン利用者(SC4)

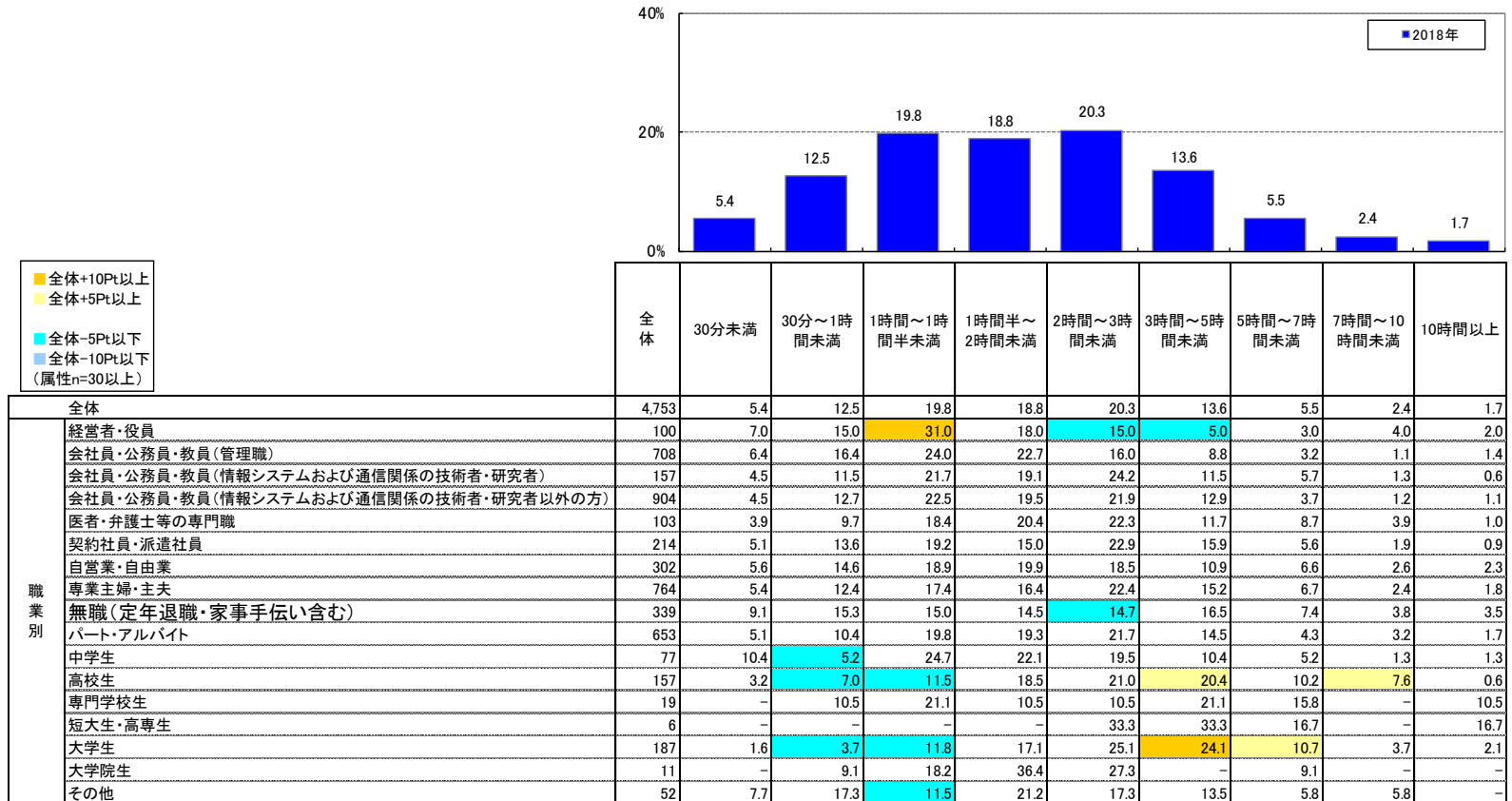


## 5-1-6.スマートフォンでのインターネット利用時間(平日)②

- 職業別でみると、経営者・役員は「1時間～1時間半未満」が11.2ポイント、大学生は「3時間～5時間未満」が10.5ポイント全体に比べて高い。

【SC5S2】 [スマートフォン]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

n=スマートフォン利用者(SC4)

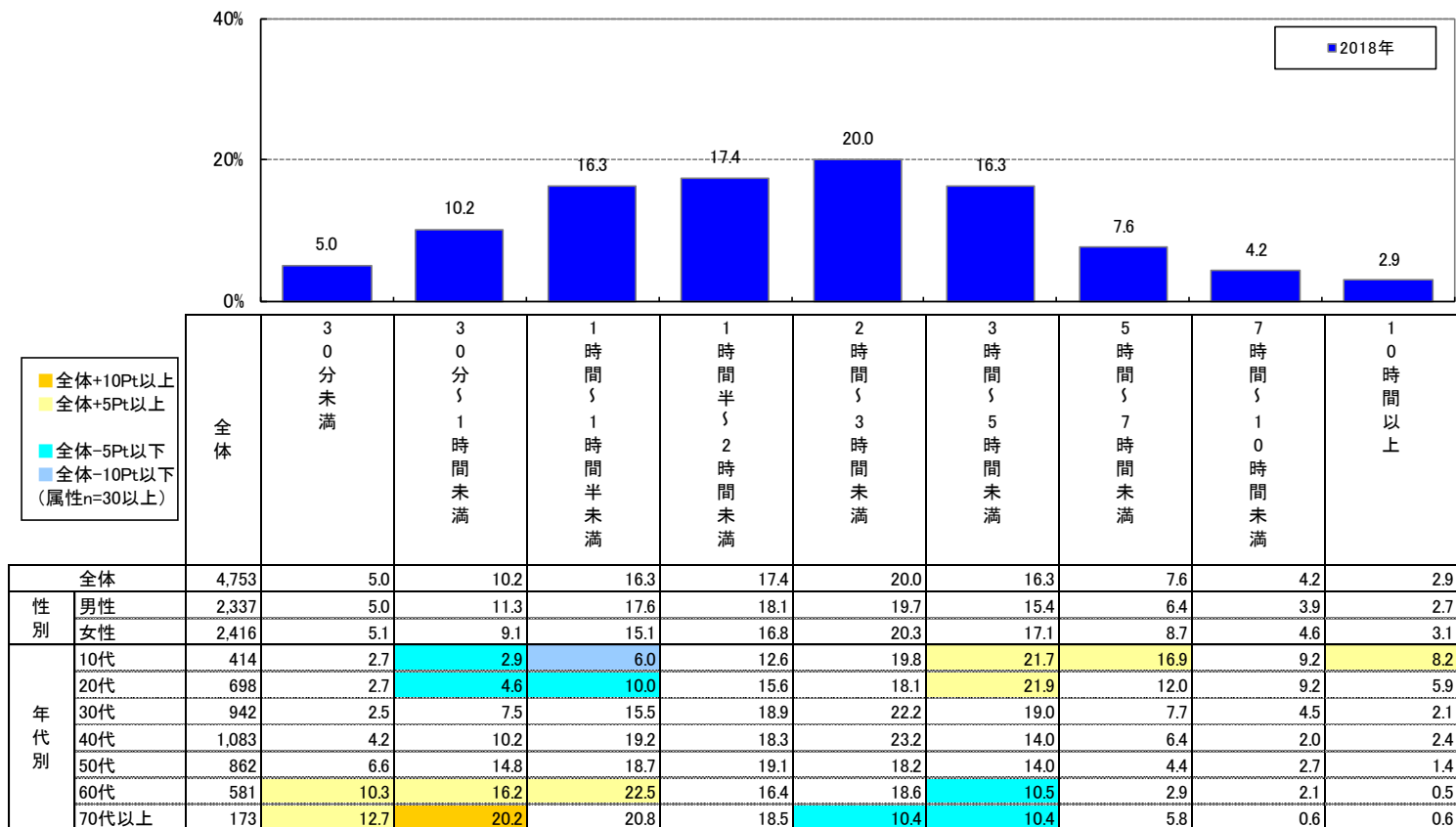


## 5-1-7.スマートフォンでのインターネット利用時間(休日)①

- スマートフォンでのインターネット利用時間(休日)について最も高いのは、「2時間～3時間未満」(20.0%)である。次いで「1時間半～2時間未満」(17.4%)、「1時間～1時間半未満」(16.3%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「30分～1時間未満」が10ポイント全体に比べて高い。

【SC5S5】 [スマートフォン]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

n=スマートフォン利用者(SC4)

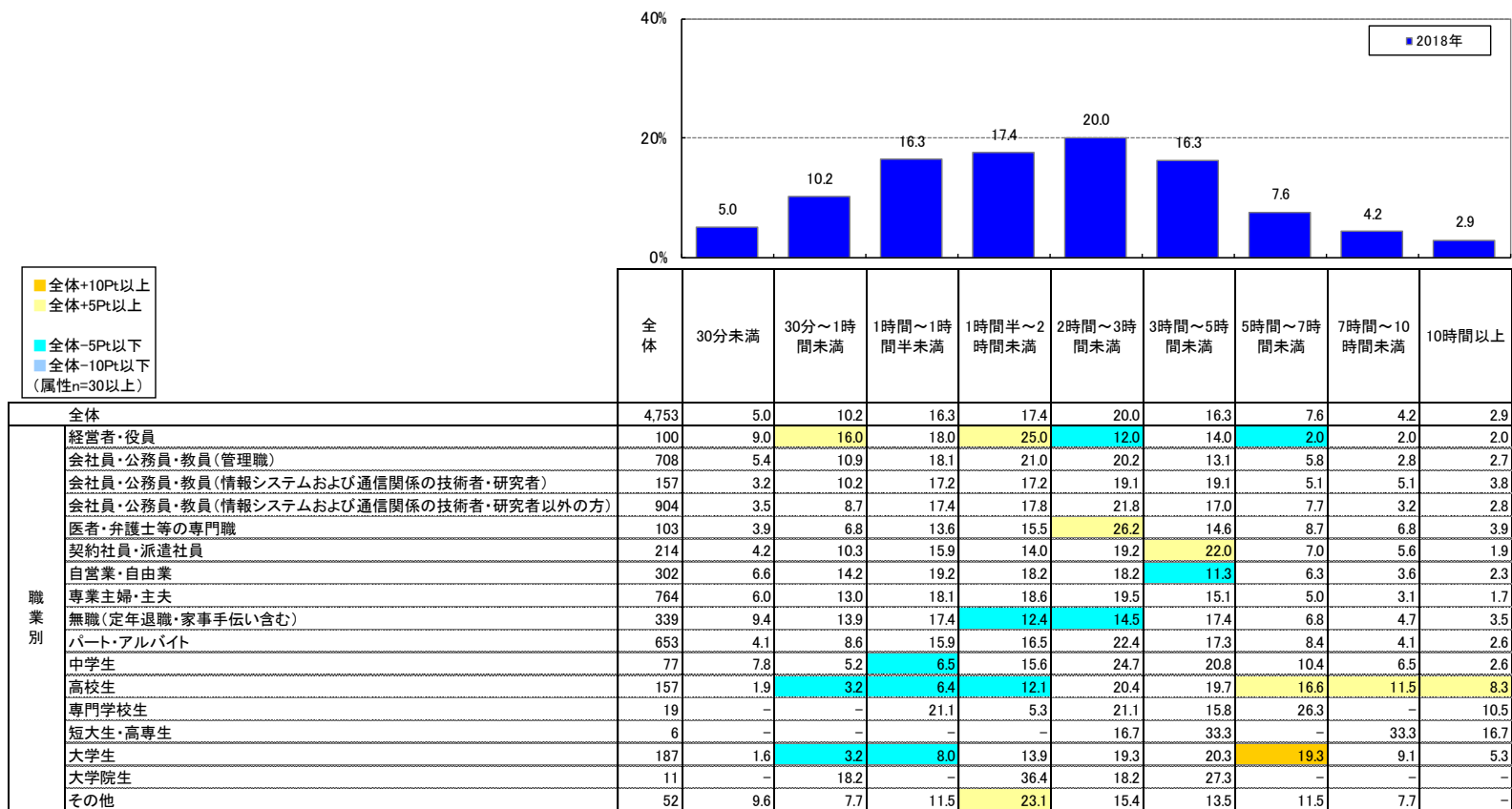


## 5-1-7.スマートフォンでのインターネット利用時間(休日)②

- 職業別でみると、大学生は「5時間～7時間未満」が11.7ポイント全体に比べて高い。

【SC5S5】 [スマートフォン]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

n=スマートフォン利用者(SC4)

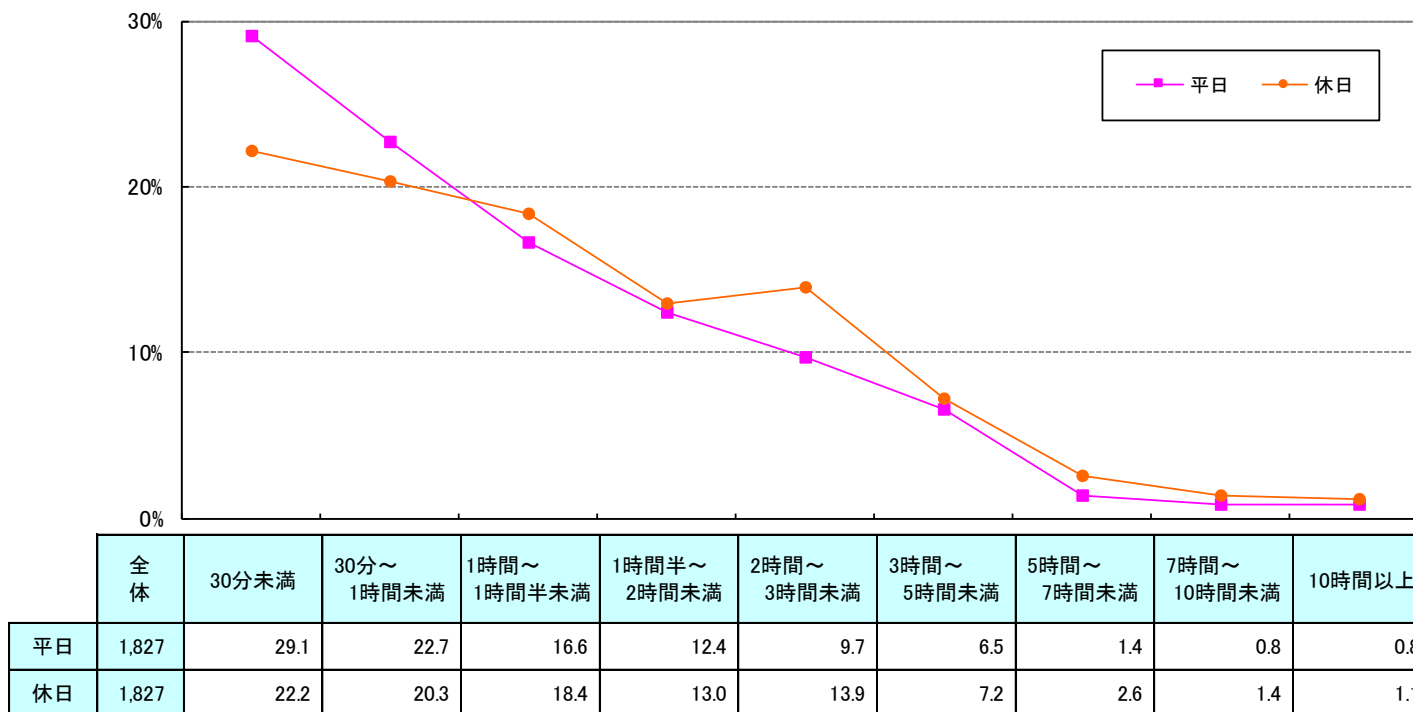


## 5-1-8.タブレット端末でのインターネット利用時間

- タブレット端末でのインターネット利用時間は、平日・休日ともに「30分未満」が最も高い。

【SC5】 あなたは普段プライベートで、当該機器（インターネット）をどのくらい利用していますか。  
「平日（仕事や学校等のある日）」と「休日（仕事や学校等のない日）」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。（それぞれ1つ）

n=タブレット端末利用者(SC4)

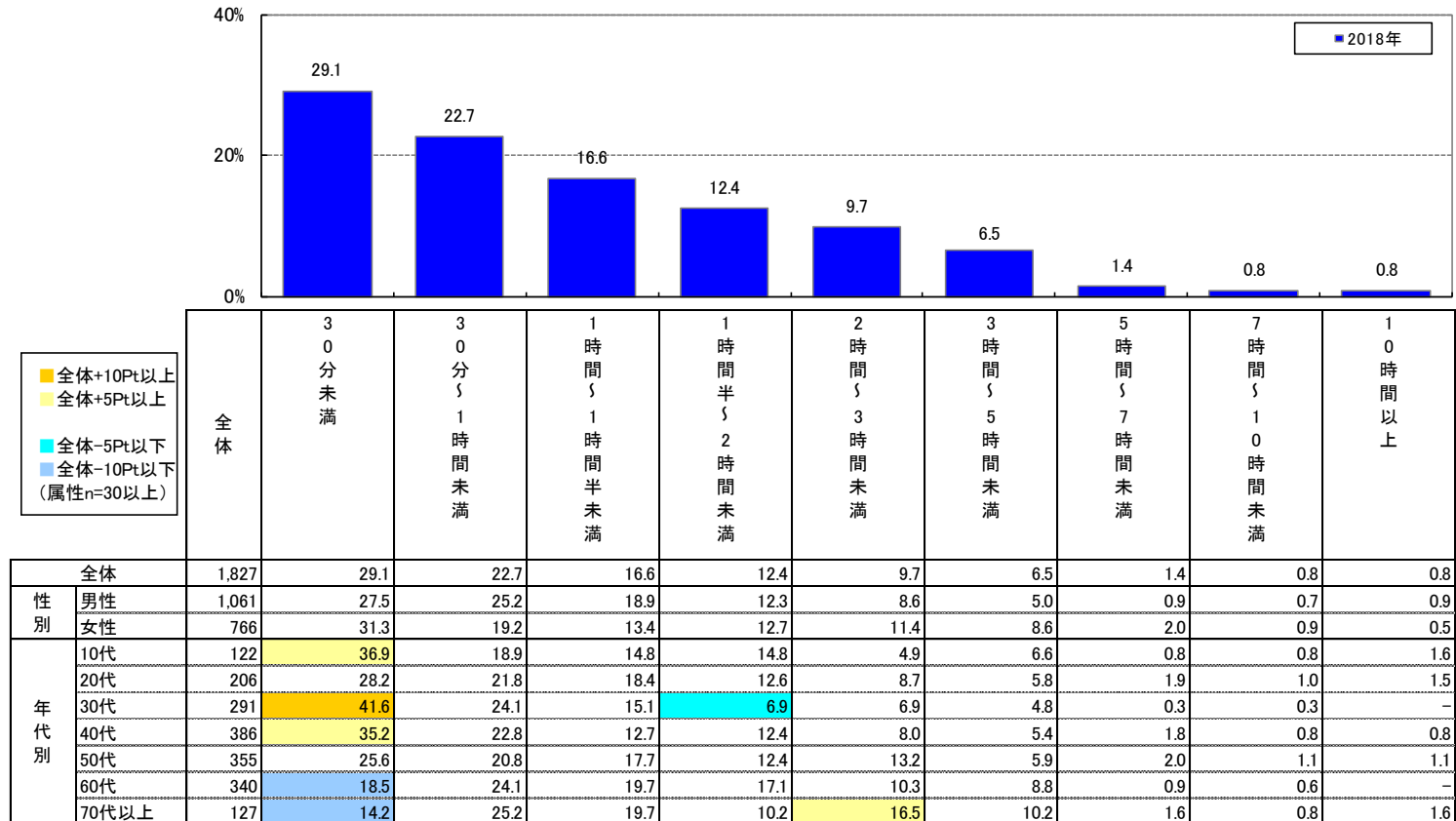


## 5-1-9.タブレット端末でのインターネット利用時間(平日)①

- タブレット端末でのインターネット利用時間(平日)について最も高いのは、「30分未満」(29.1%)である。次いで「30分～1時間未満」(22.7%)、「1時間～1時間半未満」(16.6%)、「1時間半～2時間未満」(12.4%)と続く。
- 年代別で見ると、30代は「30分未満」が12.5ポイント全体に比べて高い。

【SC5S3】 [タブレット端末]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

n=タブレット端末利用者(SC4)

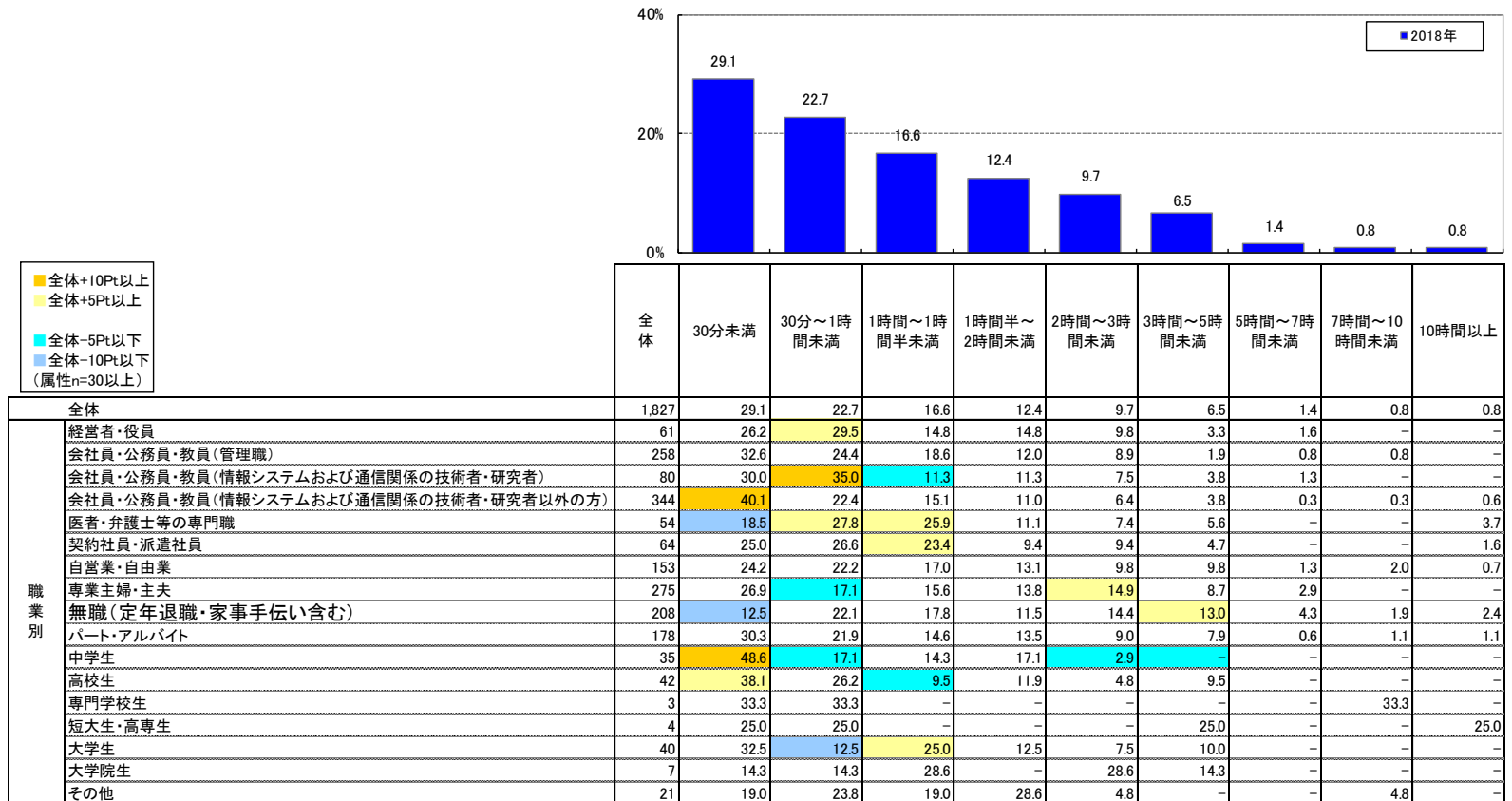


## 5-1-9.タブレット端末でのインターネット利用時間(平日)②

- 職業別でみると、会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者)は「30分～1時間未満」が12.3ポイント、「30分未満」が会社員・公務員・教員(情報システムおよび通信関係の技術者・研究者以外の方)は11ポイント、中学生は19.5ポイント全体に比べて高い。

【SC5S3】 [タブレット端末]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

n=タブレット端末利用者(SC4)

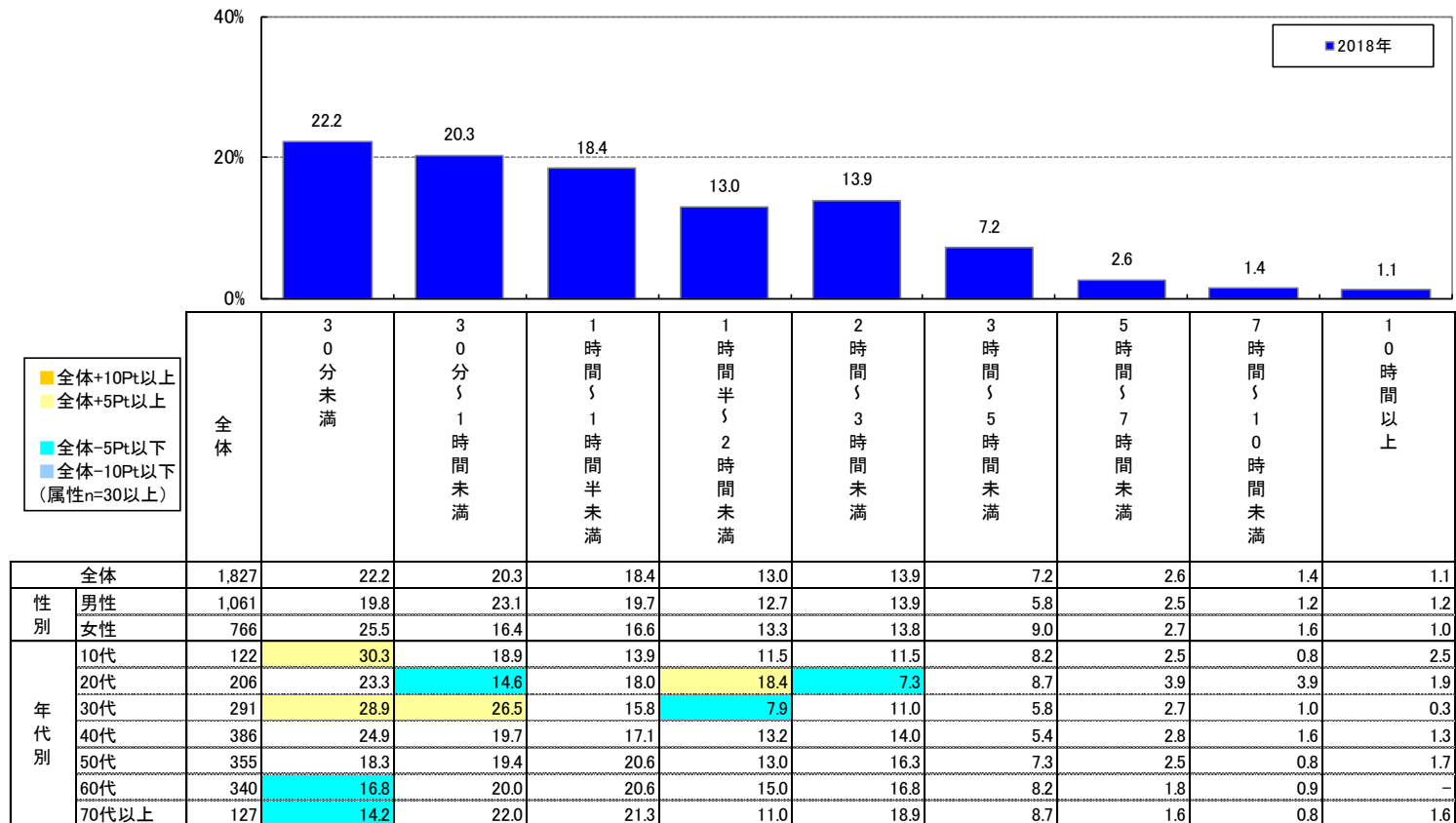


## 5-1-10.タブレット端末でのインターネット利用時間(休日)①

- タブレット端末でのインターネット利用時間(休日)について最も高いのは、「30分未満」(22.2%)である。次いで「30分～1時間未満」(20.3%)、「1時間～1時間半未満」(18.4%)、「2時間～3時間未満」(13.9%)と続く。
- 年代別で見ると、「30分未満」が10代は8.1ポイント、30代は6.7ポイント、20代は「1時間半～2時間未満」が5.4ポイント、30代は「30分～1時間未満」が6.2ポイント全体に比べて高い。

【SC5S6】 [タブレット端末]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

n=タブレット端末利用者(SC4)



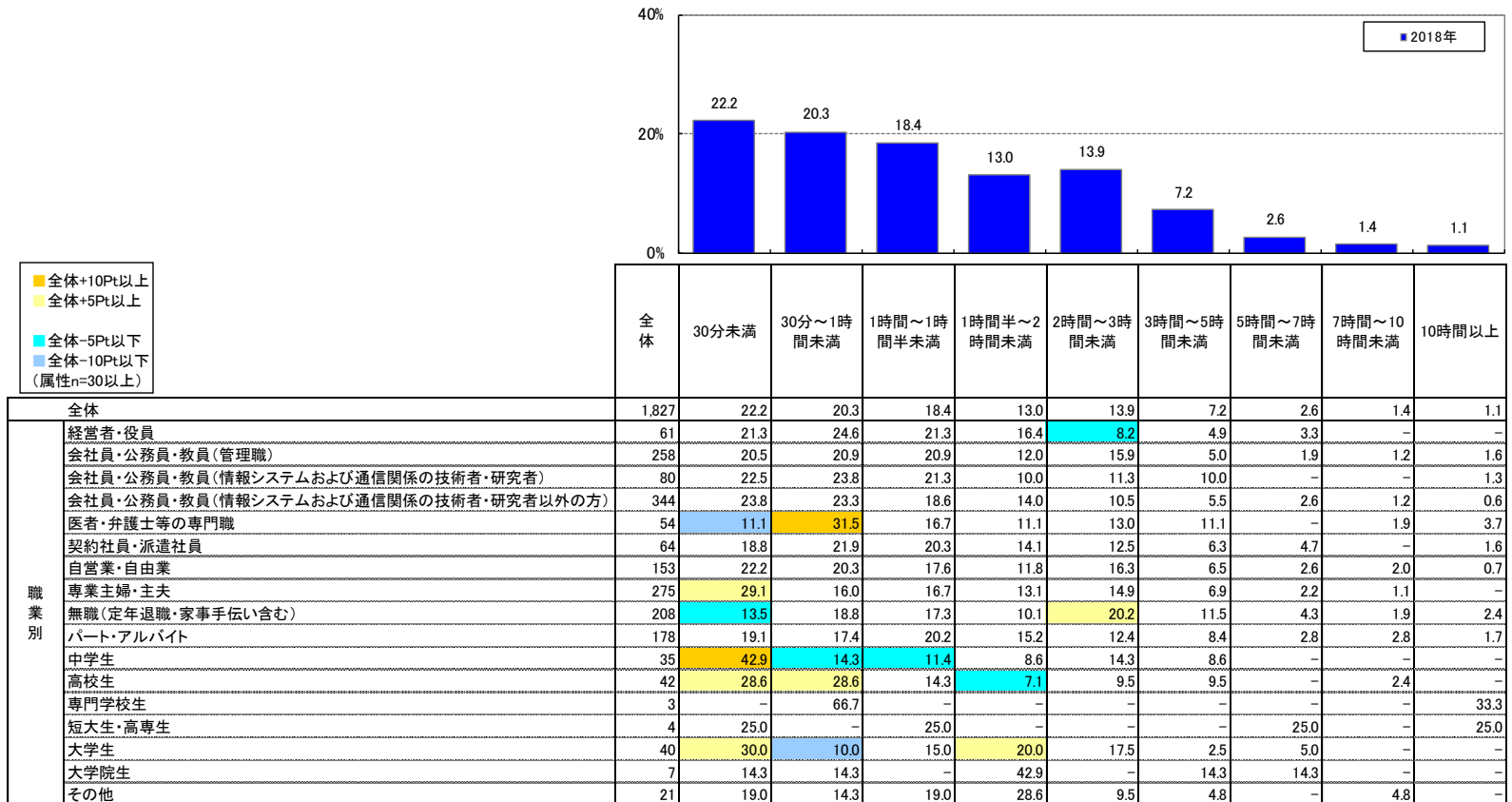


## 5-1-10.タブレット端末でのインターネット利用時間(休日)②

- 職業別でみると、医者・弁護士等の専門職は「30分～1時間未満」が11.2ポイント、中学生は「30分未満」が20.7ポイント全体に比べて高い。

【SC5S6】 [タブレット端末]あなたは普段プライベートで、当該機器(インターネット)をどのくらい利用していますか。  
「平日(仕事や学校等のある日)」と「休日(仕事や学校等のない日)」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。(それぞれ1つ)

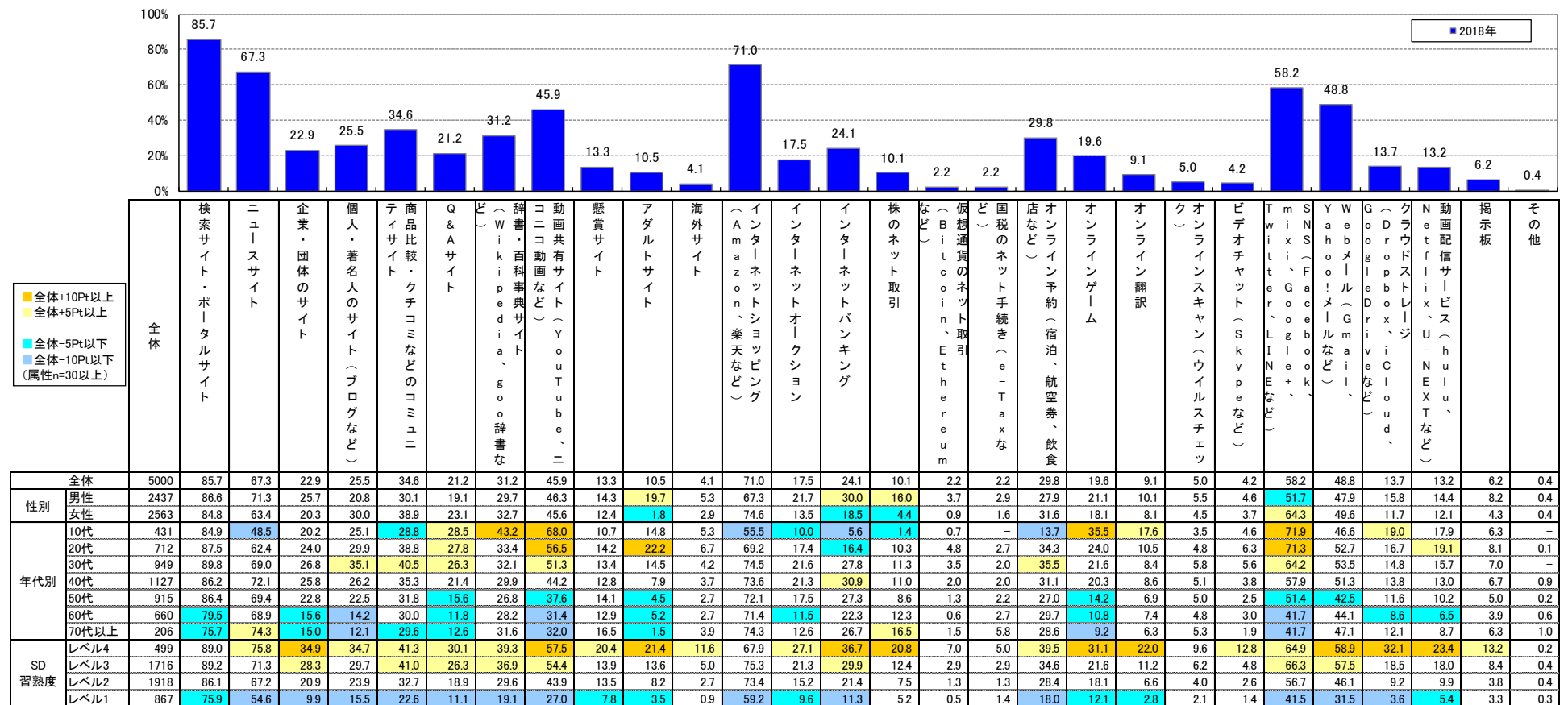
n=タブレット端末利用者(SC4)



# 5-1-11.ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途

- ウェブサイト・インターネットサービスの利用用途について最も高いのは、「検索サイト・ポータルサイト」(85.7%)である。次いで「インターネットショッピング (Amazon、楽天など)」(71.0%)、「ニュースサイト」(67.3%)、「SNS (Facebook、mixi、Google+、Twitter、LINEなど)」(58.2%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「アダルトサイト」「インターネットバンキング」「株のネット取引」、女性は「SNS (Facebook、mixi、Google+、Twitter、LINEなど)」が5ポイント以上全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、10代は「辞書・百科事典サイト (Wikipedia、goo辞書など)」「オンラインゲーム」、20代は「アダルトサイト」、「動画共有サイト (YouTube、ニコニコ動画など)」「SNS (Facebook、mixi、Google+、Twitter、LINEなど)」が10代・20代は10ポイント以上全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は多数の項目が10ポイント以上全体に比べて高い。

【Q3】あなたがスマートデバイスでインターネットを利用する際、どのようなウェブサイトやインターネットサービスを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



## 5-1-12.ウェブサイト・インターネットサービスを利用しない理由

- ウェブサイト・インターネットサービスを利用しない理由については、全て「あまり利用する必要性を感じないから」が最も高い。

【Q4】 当該ウェブサイトやインターネットサービスを利用しない理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

…1位の理由

n=当該ウェブサイト・インターネットサービス非利用者(Q3)

	全体	ウイルス感染被害が心配だから	詐欺などの金銭被害が心配だから	不正利用や不正送金による金銭被害が心配だから	情報漏えいが心配だから	恨みを持たれたり誹謗中傷されたりすることが心配だから	利用方法がよくわからないから	あまり利用する必要性を感じないから	その他	特に理由はない
検索サイト・ポータルサイト	716	13.7	7.7	4.9	6.3	1.5	4.7	33.9	-	37.0
ニュースサイト	1,636	7.3	3.4	1.6	2.5	0.7	2.9	45.9	0.3	38.5
企業・団体のサイト	3,854	6.9	3.9	2.8	4.9	0.7	3.0	51.7	0.2	31.8
個人・著名人のサイト(ブログなど)	3,726	6.6	4.2	2.7	4.4	2.3	2.7	53.5	0.2	29.5
商品比較・クチコミなどのコミュニティサイト	3,268	6.1	4.5	3.5	4.3	1.9	4.2	46.7	0.4	34.1
Q&Aサイト	3,941	5.5	3.2	2.4	3.9	1.9	4.1	50.1	0.3	32.4
辞書・百科事典サイト(Wikipedia、goo辞書など)	3,438	4.9	2.8	2.4	3.1	0.8	4.3	47.3	0.2	36.6
動画共有サイト(YouTube、ニコニコ動画など)	2,703	9.2	4.0	3.6	3.8	1.4	3.6	45.2	0.6	34.6
懸賞サイト	4,334	7.8	8.0	4.5	7.7	0.9	4.2	47.2	0.4	29.2
アダルトサイト	4,473	20.3	13.4	9.0	8.5	1.4	2.1	51.1	0.2	23.5
海外サイト	4,796	22.9	10.9	8.0	9.1	1.3	4.5	46.8	0.2	23.8
インターネットショッピング(Amazon、楽天など)	1,448	6.7	6.6	6.4	6.3	1.5	4.8	33.6	0.8	39.4
インターネットオークション	4,126	5.2	9.8	6.6	6.2	1.4	6.3	50.9	0.1	25.8
インターネットバンキング	3,795	7.6	9.9	11.6	10.0	0.9	7.1	44.5	0.3	26.4

	全体	ウイルス感染被害が心配だから	詐欺などの金銭被害が心配だから	不正利用や不正送金による金銭被害が心配だから	情報漏えいが心配だから	恨みを持たれたり誹謗中傷されたりすることが心配だから	利用方法がよくわからないから	あまり利用する必要性を感じないから	その他	特に理由はない
株のネット取引	4,496	5.9	9.3	9.3	7.4	0.9	8.1	50.1	0.2	25.1
仮想通貨のネット取引(Bitcoin、Ethereumなど)	4,888	6.7	11.4	11.4	7.2	0.8	8.2	51.7	0.2	23.0
国税のネット手続き(e-Taxなど)	4,889	4.9	5.6	5.7	5.8	0.8	9.5	50.7	0.4	26.3
オンライン予約(宿泊、航空券、飲食店など)	3,508	4.4	4.0	3.9	4.8	0.7	4.9	45.6	0.5	35.2
オンラインゲーム	4,022	6.0	3.3	3.8	4.1	1.4	2.9	56.9	0.3	27.8
オンライン翻訳	4,547	4.5	2.7	2.6	3.0	0.8	4.4	56.1	0.2	29.3
オンラインस्कラン(ウイルスチェック)	4,750	6.8	3.6	2.9	3.6	0.9	8.3	48.8	0.1	30.5
ビデオチャット(Skypeなど)	4,792	5.4	3.7	3.2	4.2	1.3	5.2	56.0	0.2	27.5
SNS(Facebook、mixi、Google+、Twitter、LINEなど)	2,090	5.7	4.3	3.4	6.3	3.4	3.8	46.8	0.1	32.1
Webメール(Gmail、Yahoo!メールなど)	2,561	6.9	3.7	3.8	4.6	1.1	3.7	45.3	0.1	34.6
クラウドストレージ(Dropbox、 iCloud、 GoogleDriveなど)	4,316	5.4	2.7	2.7	4.3	0.8	7.4	50.3	0.2	30.7
動画配信サービス(hulu、Netflix、U-NEXTなど)	4,338	4.9	2.9	2.8	3.2	0.8	4.4	55.3	0.8	29.5
掲示板	4,689	6.1	3.5	3.2	5.9	6.4	3.8	53.7	0.1	27.5

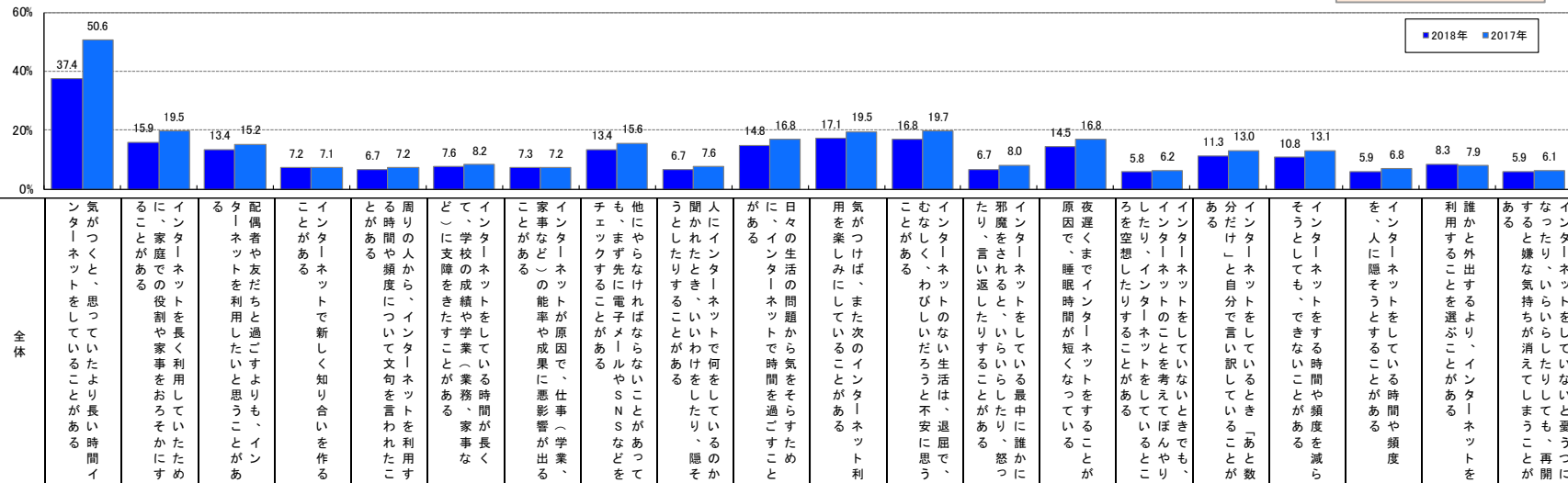
※今年度から追加した設問

# 5-1-13.インターネットへの依存

- インターネットへの依存について最も高いのは、「気がつくと思っていたより長い時間インターネットをしていることがある」(37.4%)である。次いで「気がつけば、また次のインターネット利用を楽しみにしていることがある」(17.1%)、「インターネットのない生活は、退屈で、むなしく、わびしいだろうと不安に思うことがある」(16.8%)、「インターネットを長く利用していたために、家庭での役割や家事をおろそかにすることがある」(15.9%)と続く。
- 年代別で見ると10代・20代、SD習熟度で見るとレベル4は、多くの項目が全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別で見ると、仕事(学業)利用のみは「周りの人から、インターネットを利用する時間や頻度について文句を言われたことがある」が20.6ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「気がつくと思っていたより長い時間インターネットをしていることがある」が13.2ポイント減少している。

【Q6】あなたが最近インターネットを利用する中で、次のようなことはどの程度ありますか。それぞれについて、ひとつずつお選びください。(お答えはそれぞれ1つ)

※値は「いつもある」「よくある」の合計値



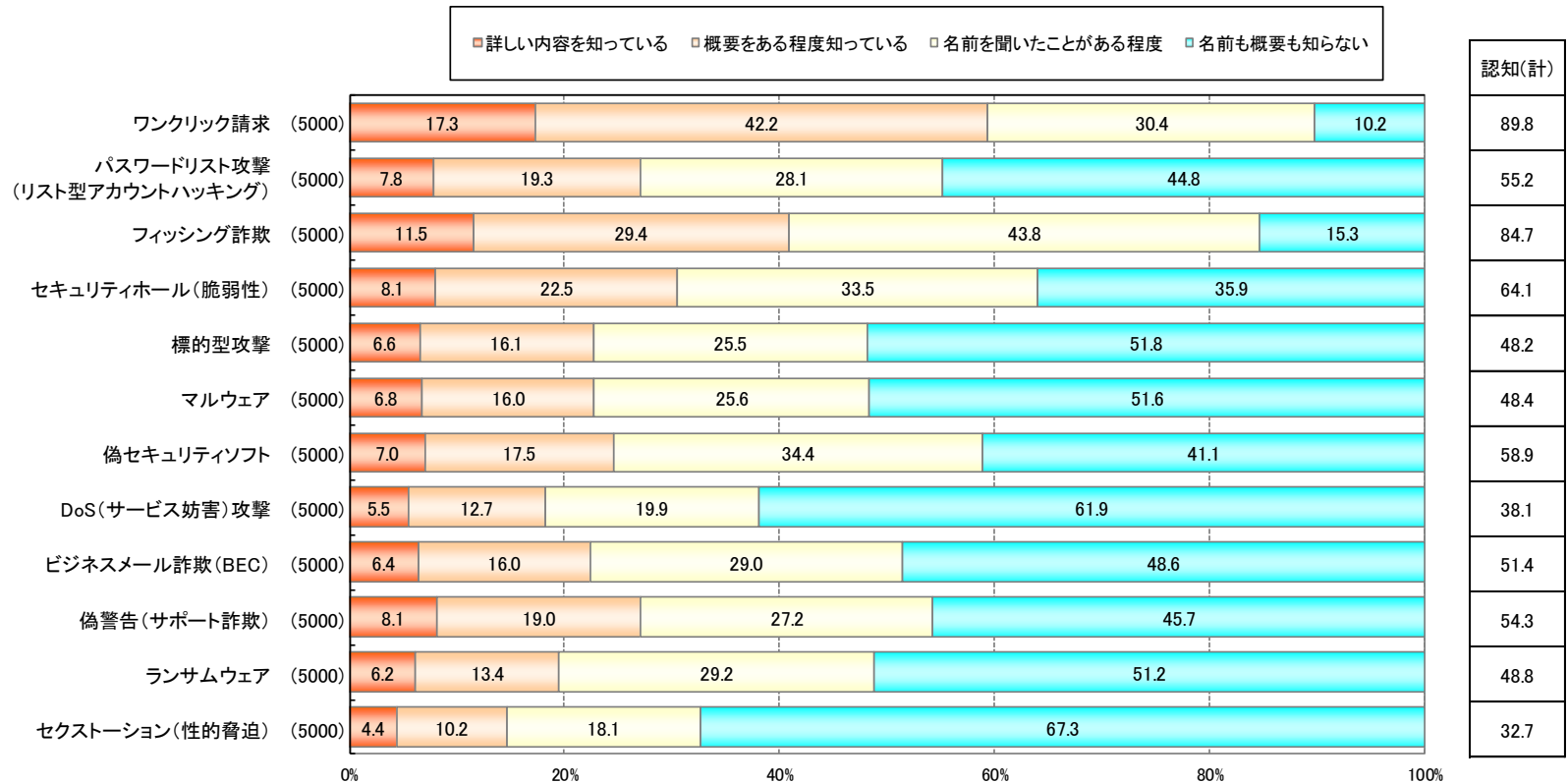
■ 全体+10Pt以上  
■ 全体+5Pt以上  
■ 全体-5Pt以下  
■ 全体-10Pt以下  
(属性n=30以上)

	全体	5000	37.4	15.9	13.4	7.2	6.7	7.6	7.3	13.4	6.7	14.8	17.1	16.8	19.7	6.7	14.5	16.8	5.8	6.2	11.3	13.0	10.8	13.1	5.9	6.8	8.3	7.9	5.9	6.1	
性別	男性	2437	31.9	15.7	14.9	8.3	8.4	8.2	8.4	12.8	8.5	14.1	16.4	16.7	19.5	6.7	13.9	16.8	5.8	7.1	10.9	10.4	7.3	10.3	7.6	6.4	4.3	4.3	4.3	4.3	
	女性	2563	42.5	16.1	11.9	6.1	5.0	7.0	6.2	14.0	5.0	15.5	17.8	16.9	19.5	6.7	15.0	16.8	5.8	4.5	11.6	11.1	4.5	6.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	
年代別	10代	431	56.8	29.7	21.3	15.3	20.6	20.9	20.2	29.7	15.8	25.5	32.3	24.6	14.4	30.4	13.7	27.6	25.8	13.2	15.8	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	
	20代	712	51.4	23.3	19.1	12.4	9.6	11.9	13.5	23.2	13.5	27.5	27.4	26.4	11.9	23.0	10.0	21.9	19.8	9.6	15.9	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	
	30代	949	45.0	19.8	15.0	7.9	7.0	7.2	7.8	15.5	7.5	18.3	20.7	19.8	7.8	18.0	7.2	13.9	13.3	7.8	8.3	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	
	40代	1127	36.4	13.7	13.3	6.2	4.9	6.6	4.9	10.0	4.6	12.4	14.9	15.9	5.5	11.4	4.4	7.6	8.1	4.4	7.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	
	50代	915	27.0	10.6	9.9	4.6	4.0	4.3	3.9	8.1	3.7	9.5	11.8	12.7	3.7	9.3	3.6	5.5	5.4	3.7	5.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	60代	660	19.2	7.0	6.7	2.4	2.3	3.0	2.0	5.0	2.0	4.7	5.9	6.5	2.3	5.9	1.1	2.4	2.6	1.7	2.7	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	
	70代以上	206	22.3	7.3	6.8	1.0	1.5	1.9	1.0	5.3	1.0	1.5	4.4	9.7	2.4	1.9	-	2.4	1.5	0.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
SD習熟度	レベル4	499	46.7	25.5	23.6	19.2	15.4	16.0	14.4	22.2	14.0	22.0	27.7	26.9	14.2	24.4	13.0	19.8	19.6	11.0	17.0	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8
	レベル3	1716	41.0	17.4	15.2	8.6	7.4	8.6	8.6	15.9	8.2	17.1	18.6	19.3	7.2	16.5	6.6	12.4	12.2	6.5	9.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6
	レベル2	1918	35.3	13.5	10.4	4.2	4.2	5.1	5.1	11.1	4.3	12.8	14.9	13.8	5.1	12.1	3.5	9.0	8.8	4.5	5.7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
	レベル1	867	29.3	12.8	10.6	4.0	5.7	6.3	5.3	8.7	5.1	10.6	12.9	12.7	5.1	9.8	4.8	9.3	7.0	5.0	6.3	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	35.8	15.0	12.9	5.9	6.0	6.8	6.4	12.2	5.9	14.3	16.1	16.0	6.3	13.6	5.0	10.2	9.5	5.2	7.3	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	41.1	17.7	14.4	9.8	7.6	9.2	9.0	15.8	8.5	16.2	19.2	18.5	7.6	16.1	7.1	13.4	13.6	7.3	10.4	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3
	仕事(学業)利用のみ	33	21.2	21.2	12.1	12.1	27.3	15.2	12.1	18.2	6.1	9.1	18.2	15.2	15.2	21.2	18.2	18.2	9.1	9.1	15.2	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
時系別	2017年	5000	50.6	19.5	15.2	7.1	7.2	8.2	7.2	15.6	7.6	16.8	19.5	19.7	8.0	16.8	6.2	13.0	13.1	6.8	7.9	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1

## 5-2.インターネット利用時の脅威や被害 5-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知(計)をみると、「ワンクリック請求」(89.8%)が最も高い。次いで「フィッシング詐欺」(84.7%)、「セキュリティホール(脆弱性)」(64.1%)、「偽セキュリティソフト」(58.9%)と続く。

【Q7】 あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威などについてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

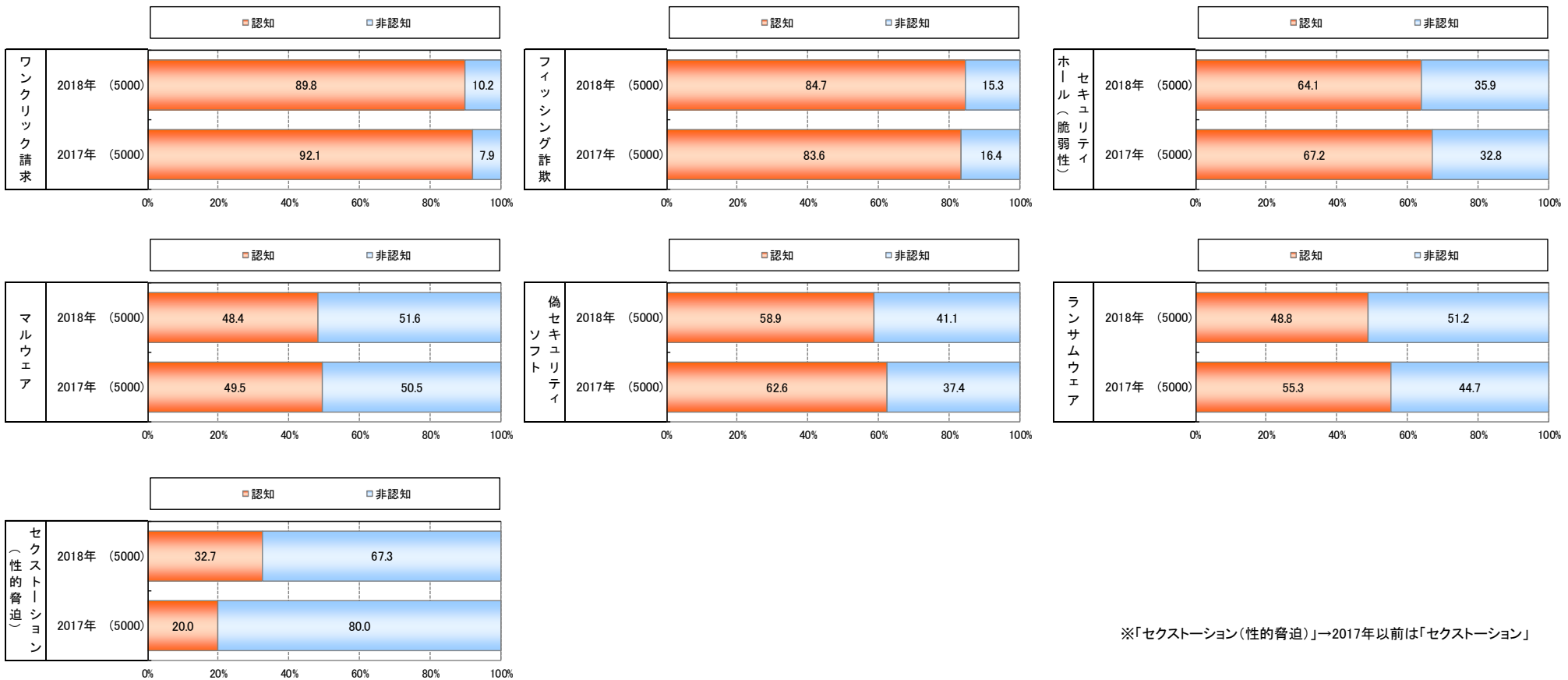


※「パスワードリスト攻撃(リスト型アカウントハッキング)」「標的型攻撃」「DoS(サービス妨害)攻撃」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」は今年度から追加した設問  
 ※「セクストーション(性的脅迫)」→2017年以前は「セクストーション」

## 5-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知②

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の「認知」について、前年(2017年)と比較すると、「セクストーション(性的脅迫)」が12.7ポイント増加している。一方、「ランサムウェア」が6.5ポイント、「偽セキュリティソフト」が3.7ポイント、「セキュリティホール(脆弱性)」が3.1ポイント減少している。

【Q7】あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威等についてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ) ※過去データがあるもののみ提示

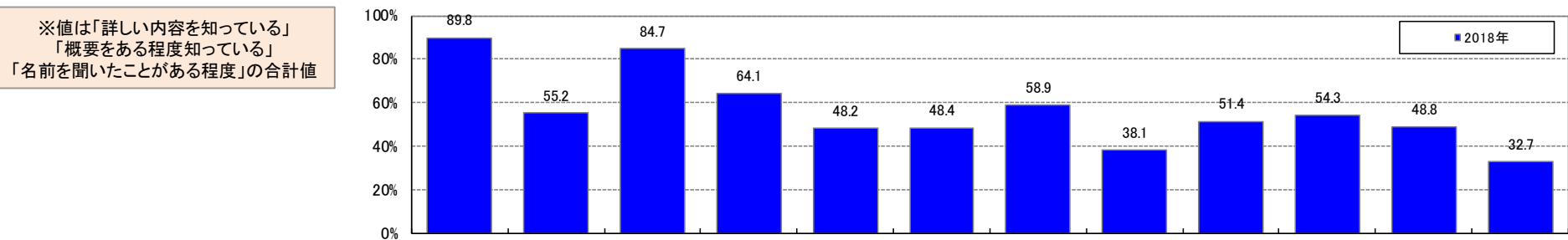


※「セクストーション(性的脅迫)」→2017年以前は「セクストーション」

## 5-2-1.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知③

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の認知について最も高いのは、「ワンクリック請求」(89.8%)である。次いで「フィッシング詐欺」(84.7%)、「セキュリティホール(脆弱性)」(64.1%)、「偽セキュリティソフト」(58.9%)と続く。
- 性別でみると、男性は多数の項目が10ポイント以上全体に比べて高い。
- 年代別でみると、10代は「DoS(サービス妨害)攻撃」が10.4ポイント、「セクストーション(性的脅迫)」が14.2ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「マルウェア」「DoS(サービス妨害)攻撃」「セクストーション(性的脅迫)」が30ポイント以上、「パスワードリスト攻撃(リスト型アカウントハッキング)」「標的型攻撃」「偽セキュリティソフト」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」「ランサムウェア」が20ポイント以上全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、「DoS(サービス妨害)攻撃」がプライベート・仕事(学業)の両方で利用は10ポイント、仕事(学業)利用のみは13.4ポイント、仕事(学業)利用のみは「偽セキュリティソフト」が10.8ポイント、「ランサムウェア」が11.8ポイント全体に比べて高い。

【Q7】あなたは、次のようなインターネット上での攻撃・脅威などについてご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)



		全体	ワンクリック請求	パスワードリスト攻撃(リスト型アカウントハッキング)	フィッシング詐欺	セキュリティホール(脆弱性)	標的型攻撃	マルウェア	偽セキュリティソフト	DoS(サービス妨害)攻撃	ビジネスメール詐欺(BEC)	偽警告(サポート詐欺)	ランサムウェア	セクストーション(性的脅迫)
全体		5000	89.8	55.2	84.7	64.1	48.2	48.4	58.9	38.1	51.4	54.3	48.8	32.7
性別	男性	2437	94.2	67.2	91.4	78.5	65.5	66.7	69.9	54.7	64.0	66.3	65.1	45.2
	女性	2563	85.7	43.9	78.3	50.3	31.8	31.1	48.5	22.3	39.4	43.0	33.3	20.8
年代別	10代	431	93.7	58.0	80.5	65.4	52.2	57.8	66.4	48.5	56.4	62.2	51.0	46.9
	20代	712	94.4	59.4	83.8	66.0	48.9	53.5	61.9	42.6	56.7	57.9	51.5	37.8
	30代	949	91.7	54.7	84.4	60.2	43.9	45.8	55.5	36.5	47.9	52.6	47.3	30.8
	40代	1127	90.4	54.2	86.8	65.1	48.5	51.4	58.4	39.4	52.2	55.3	51.9	32.3
	50代	915	90.2	55.7	87.5	66.9	51.9	46.1	59.2	37.7	54.9	55.1	50.3	32.0
	60代	660	82.6	51.4	81.7	61.1	46.2	41.7	57.4	29.2	43.9	46.2	43.3	25.3
	70代以上	206	76.2	52.9	83.0	63.6	45.1	39.3	55.3	31.1	43.2	51.5	35.0	23.3
SD習熟度	レベル4	499	94.6	82.0	92.0	84.0	75.8	80.6	82.0	72.1	76.8	81.8	77.8	63.9
	レベル3	1716	95.5	64.2	90.9	75.3	58.4	62.1	69.2	48.8	59.7	63.9	59.4	40.6
	レベル2	1918	88.1	48.3	83.6	58.9	41.1	38.9	52.9	27.9	46.5	48.9	43.0	24.7
	レベル1	867	79.8	37.4	70.6	41.9	27.8	24.0	38.8	19.7	31.4	31.7	23.8	16.7
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	88.3	51.6	83.1	61.5	44.3	44.3	55.2	33.3	46.9	50.6	44.6	28.3
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	93.5	63.1	88.2	69.6	56.5	57.4	66.8	48.1	61.2	62.4	57.5	42.1
	仕事(学業)利用のみ	33	75.8	57.6	75.8	66.7	57.6	51.5	69.7	51.5	51.5	51.5	60.6	42.4

※「パスワードリスト攻撃(リスト型アカウントハッキング)」「標的型攻撃」「DoS(サービス妨害)攻撃」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」は今年度から追加した設問

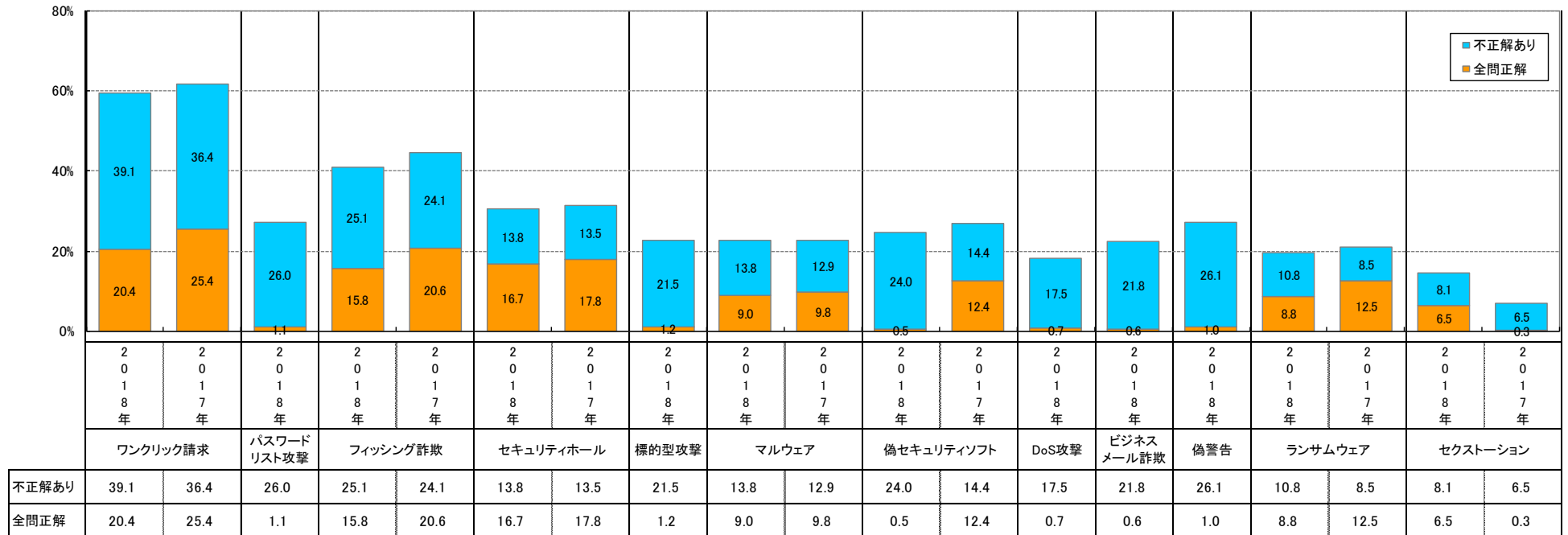
※「セクストーション(性的脅迫)」→2017年以前は「セクストーション」

## 5-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度①

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度について、全問正解の割合をみると、「ワンクリック請求」(20.4%)が最も高い。次いで「セキュリティホール」(16.7%)、「フィッシング詐欺」(15.8%)、「マルウェア」(9.0%)、「ランサムウェア」(8.8%)と続く。

【Q8】 次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※インターネット上での各攻撃・脅威を問う設問において、全3問正解の場合を「全問正解」、正解が2問以下の場合を「不正解」と定義している。  
 ※n数を調査対象者全体として算出。n=5000



※「パスワードリスト攻撃(リスト型アカウントハッキング)」「標的型攻撃」「DoS(サービス妨害)攻撃」「ビジネスメール詐欺(BEC)」「偽警告(サポート詐欺)」は今年度から追加した設問  
 ※「セクストーション(性的脅迫)」→2017年以前は「セクストーション」

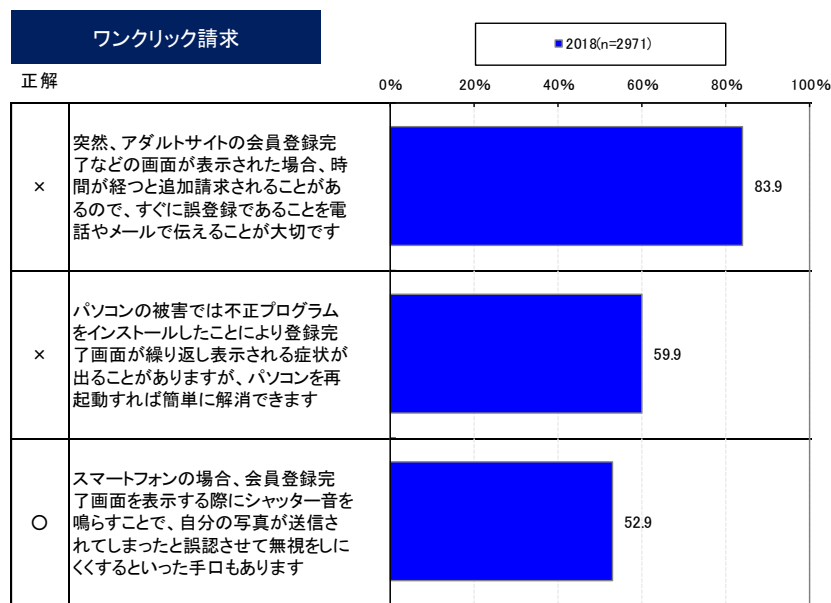


## 5-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度②

- ワンクリック請求について、全問正解率は34.3%。
- 「突然、アダルトサイトの会員登録完了などの画面が表示された場合、時間が経つと追加請求されることがあるので、すぐに誤登録であることを電話やメールで伝えることが大切です」(83.9%)の正解率が最も高く、「パソコンの被害では不正プログラムをインストールしたことにより登録完了画面が繰り返し表示される症状がありますが、パソコンを再起動すれば簡単に解消できます」(59.9%)、「スマートフォンの場合、会員登録完了画面を表示する際にシャッター音を鳴らすことで、自分の写真が送信されてしまったと誤認させて無視をしにくくするといった手口もあります」(52.9%)と続く。
- パスワードリスト攻撃について、全問正解率は4.1%。
- 「被害を防ぐには利用しているインターネットサービス毎に、異なるパスワードを設定することが有効です」(75.6%)の正解率が最も高く、次いで「流出した利用者のアカウント情報のリストを利用し、別のサービスへの不正ログインを試みる攻撃のことで」(67.3%)、「辞書や人名録などのリストに載っている単語やそれらを組み合わせたパスワードを総当たりする攻撃手法です」(12.0%)と続く。

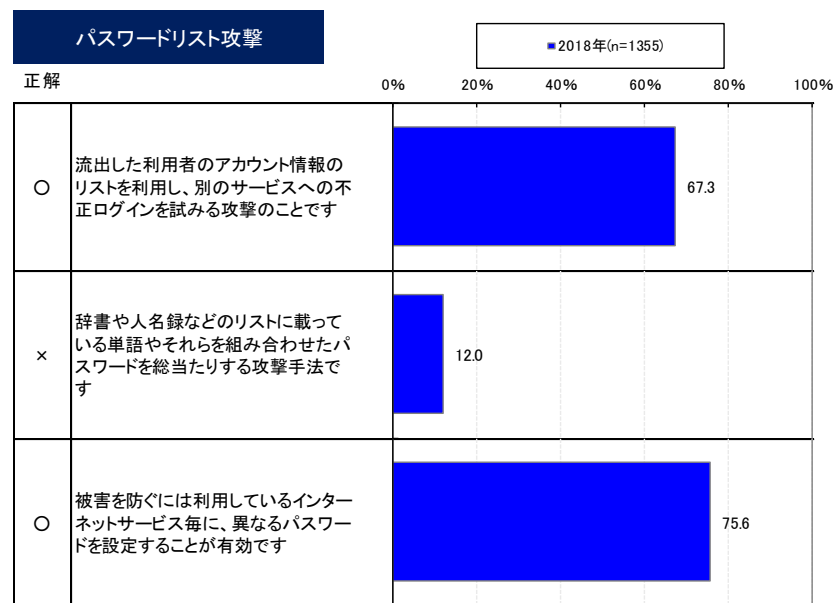
【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



※今年度から全面改訂

	全問正解	不正解あり
2018年	34.3%	65.7%



※今年度から追加した設問

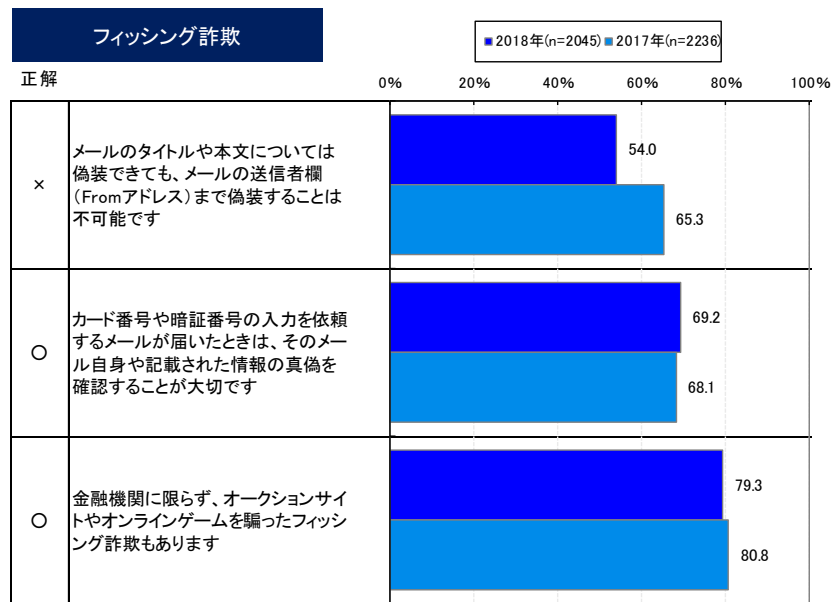
	全問正解	不正解あり
2018年	4.1%	95.9%

## 5-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度③

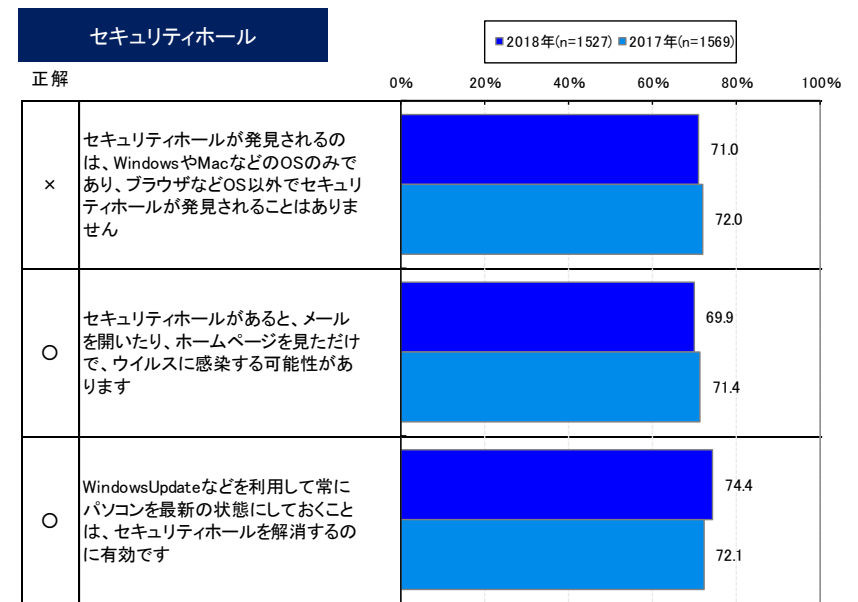
- フィッシング詐欺について、全問正解率は38.6%。前年(2017年)よりも7.6ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「メールのタイトルや本文については偽装できて、メールの送信者欄(Fromアドレス)まで偽装することは不可能です」の正解率が11.3ポイント減少している。
- セキュリティホールについて、全問正解率は54.7%。
- 「WindowsUpdateなどを利用して常にパソコンを最新の状態にしておくことは、セキュリティホールを解消するのに有効です」(74.4%)の正解率が最も高く、次いで「セキュリティホールが発見されるのは、WindowsやMacなどのOSのみであり、ブラウザなどOS以外でセキュリティホールが発見されることはありません」(71.0%)、「セキュリティホールがあると、メールを開いたり、ホームページを見ただけで、ウイルスに感染する可能性があります」(69.9%)と続く。

【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



	全問正解	不正解あり
2018年	38.6%	61.4%
2017年	46.2%	53.8%



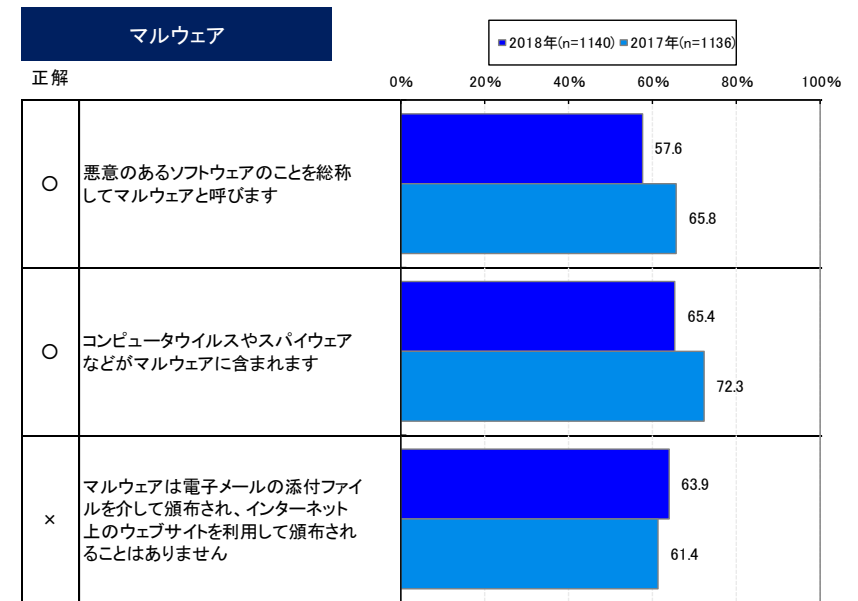
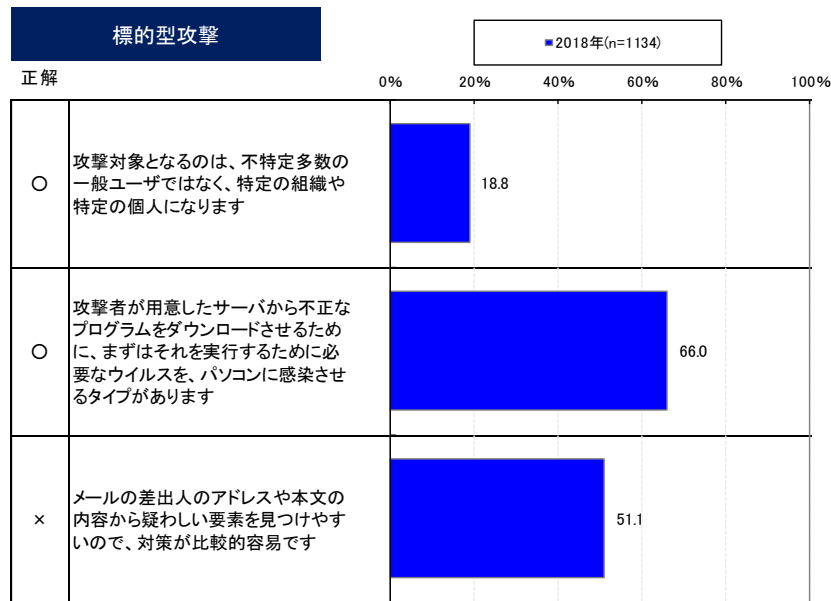
	全問正解	不正解あり
2018年	54.7%	45.3%
2017年	56.9%	43.1%

## 5-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度④

- 標的型攻撃について、全問正解率は5.1%。
- 「攻撃者が用意したサーバから不正なプログラムをダウンロードさせるために、まずはそれを実行するために必要なウイルスを、パソコンに感染させるタイプがあります」(66.0%)の正解率が最も高く、次いで「メールの差出人のアドレスや本文の内容から疑わしい要素を見つけやすいので、対策が比較的容易です」(51.1%)、「攻撃対象となるのは、不特定多数の一般ユーザではなく、特定の組織や特定の個人になります」(18.8%)と続く。
- マルウェアについて、全問正解率は39.5%。前年(2017年)よりも3.6ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「悪意のあるソフトウェアのことを総称してマルウェアと呼びます」の正解率が8.2ポイント、「コンピュータウイルスやスパイウェアなどがマルウェアに含まれます」の正解率が6.9ポイント減少している。

【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上での各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



※今年度から追加した設問

	全問正解	不正解あり
2018年	5.1%	94.9%

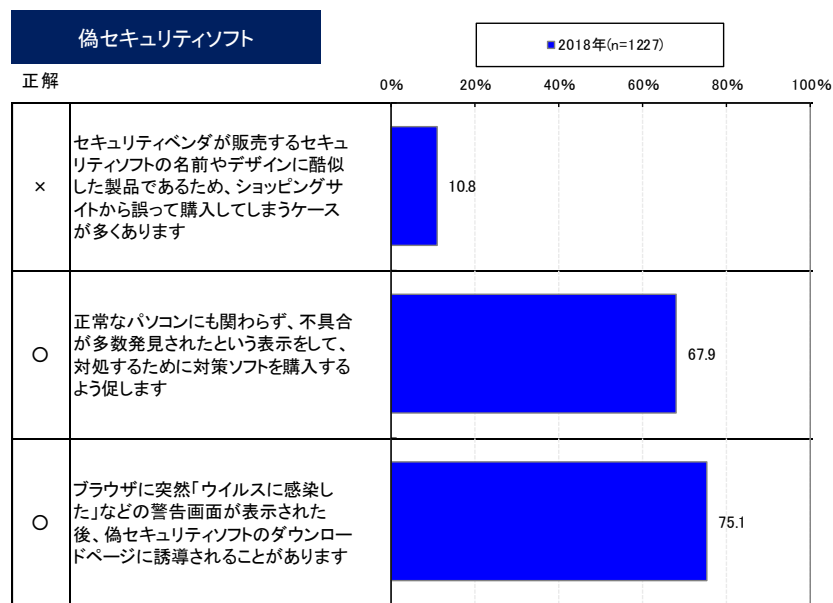
	全問正解	不正解あり
2018年	39.5%	60.5%
2017年	43.1%	56.9%

## 5-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑤

- 偽セキュリティソフトについて、全問正解率は2.2%。
- 「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面が表示された後、偽セキュリティソフトのダウンロードページに誘導されることがあります」(75.1%)の正解率が最も高く、次いで「正常なパソコンにも関わらず、不具合が多数発見されたという表示をして、対処するために対策ソフトを購入するよう促します」(67.9%)、「セキュリティベンダが販売するセキュリティソフトの名前やデザインに酷似した製品であるため、ショッピングサイトから誤って購入してしまうケースが多くあります」(10.8%)と続く。
- DoS攻撃について、全問正解率は3.7%。
- 「特定のサービスやサーバに対して、過剰なアクセスによる負荷をかけるなどによって利用できない状況にする攻撃です」(66.7%)の正解率が最も高く、次いで「ショッピングサイトにおいて被害を防ぐためには、大量の発注でもサービスが低下しないように作業員や在庫を十分に確保しておくことが重要です」(40.5%)、「他者のアカウントに不正ログインをして、各種設定を変更するなど当該サービスを利用できない状況にする攻撃です」(15.0%)と続く。

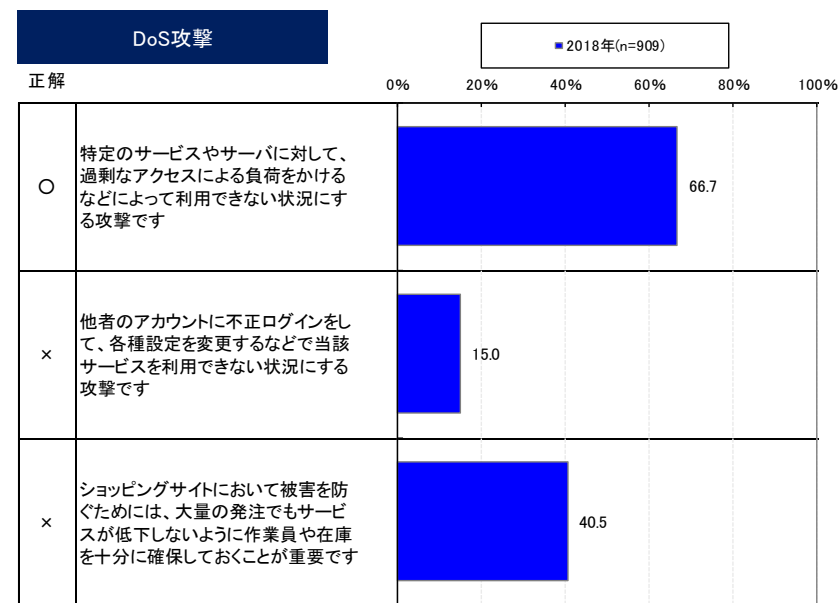
【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上の各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



※今年度から全面改訂

	全問正解	不正解あり
2018年	2.2%	97.8%



※今年度から追加した設問

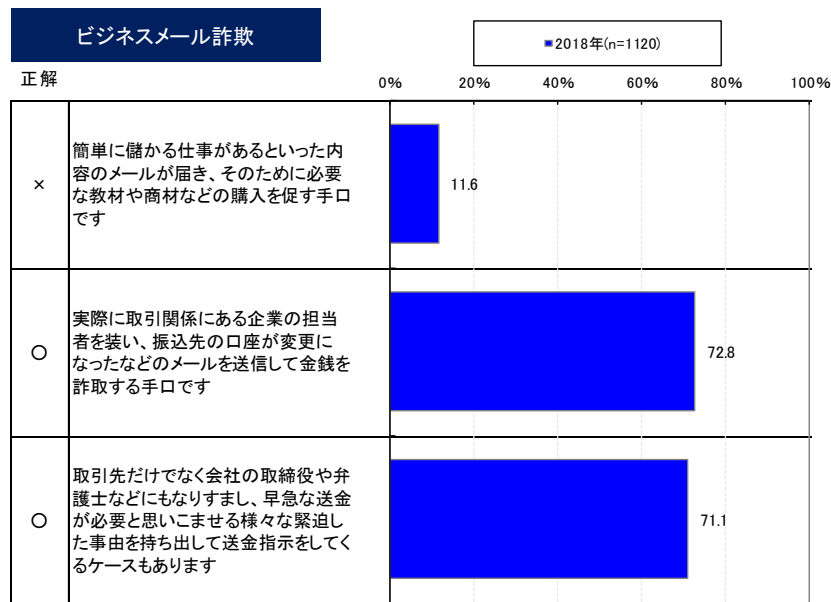
	全問正解	不正解あり
2018年	3.7%	96.3%

## 5-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑥

- ビジネスメール詐欺について、全問正解率は2.7%。
- 「実際に取引関係にある企業の担当者を装い、振込先の口座が変更になったなどのメールを送信して金銭を詐取する手口です」(72.8%)の正解率が最も高く、次いで「取引先だけでなく会社の取締役や弁護士などにもなりすまし、早急な送金が必要と思わせる様々な緊迫した事由を持ち出して送金指示をしてくるケースもあります」(71.1%)、「簡単に儲かる仕事があるといった内容のメールが届き、そのために必要な教材や商材などの購入を促す手口です」(11.6%)と続く。
- 偽警告について、全問正解率は3.8%。
- 「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面と電話番号を表示させ、不安を煽って電話をかけるように誘導する手口です」(77.8%)の正解率が最も高く、次いで「遠隔操作でパソコンを調査すると提案され、調査の結果パソコンに問題が見つかったとして有償のサポート契約を持ちかけられます」(68.8%)、「自宅にサポートデスクの担当者が訪問し、パソコンをチェックするとパフォーマンスが低下しているという診断結果を告げられて新しいパソコンの購入を迫られます」(13.5%)と続く。

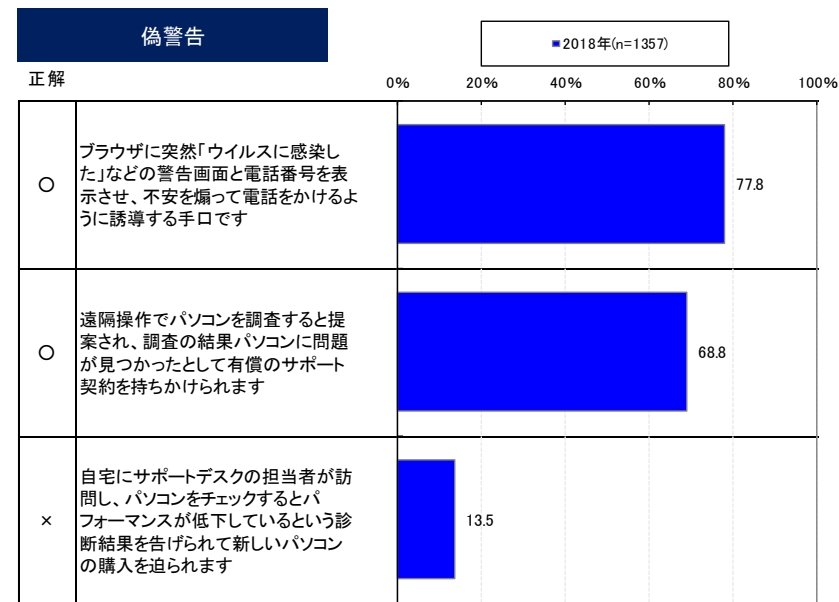
【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上の各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



※今年度から追加した設問

	全問正解	不正解あり
2018年	2.7%	97.3%



※今年度から追加した設問

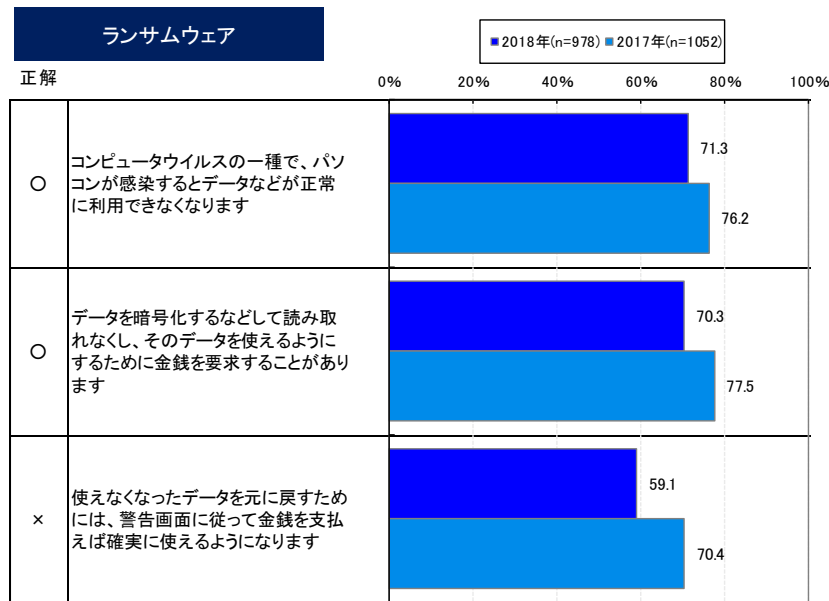
	全問正解	不正解あり
2018年	3.8%	96.2%

## 5-2-2.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の理解度⑦

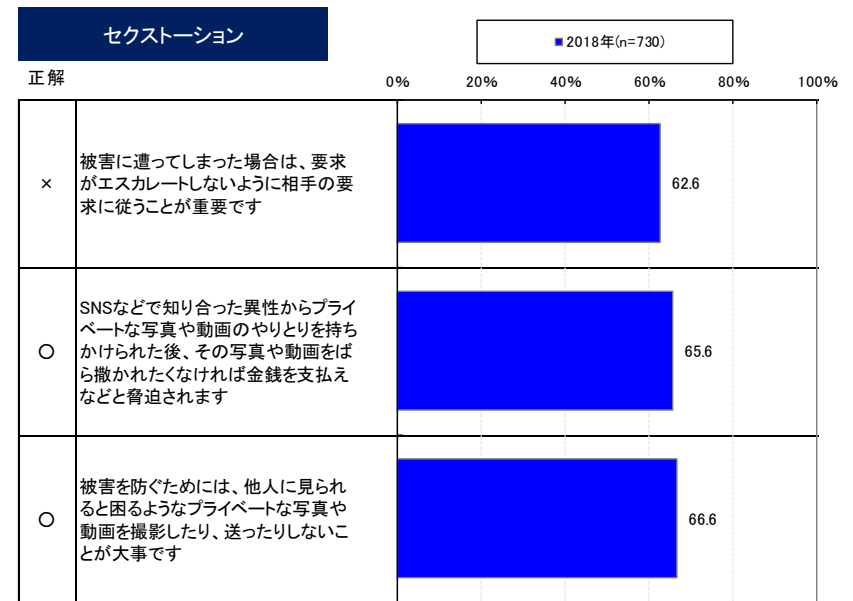
- ランサムウェアについて、全問正解率は44.8%。前年(2017年)よりも14.8ポイント減少している。
- 前年(2017年)と比較すると、「使えなくなったデータを元に戻すためには、警告画面に従って金銭を支払えば確実に使えるようになります」の正解率が11.3ポイント、「データを暗号化するなどして読み取れなくし、そのデータを使うようにするために金銭を要求することがあります」の正解率が7.2ポイント、「コンピュータウイルスの一種で、パソコンが感染するとデータなどが正常に利用できなくなります」の正解率が4.9ポイント減少している。
- セクストーションについて、全問正解率は44.7%。
- 「被害を防ぐためには、他人に見られると困るようなプライベートな写真や動画を撮影したり、送ったりしないことが大事です」(66.6%)の正解率が最も高く、次いで「SNSなどで知り合った異性からプライベートな写真や動画のやりとりを持ちかけられた後、その写真や動画をばら撒かれなければ金銭を支払えなどと脅迫されます」(65.6%)、「被害に遭ってしまった場合は、要求がエスカレートしないように相手の要求に従うことが重要です」(62.6%)と続く。

【Q8】次に挙げる攻撃や脅威などの概要や特徴に関する説明の内容が正しいか、間違っているかを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=インターネット上の各攻撃・脅威について「詳しい内容を知っている」または「概要をある程度知っている」と回答した人(Q7)



	全問正解	不正解あり
2018年	44.8%	55.2%
2017年	59.6%	40.4%



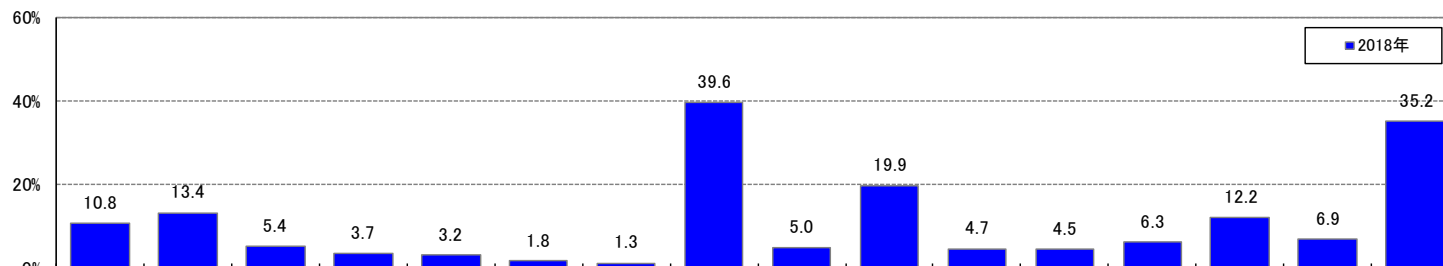
※今年度から全面改訂

	全問正解	不正解あり
2018年	44.7%	55.3%

## 5-2-3.情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の情報入手

- 情報セキュリティに関する攻撃・脅威等の情報入手について最も高いのは、「ニュースサイト」(39.6%)である。次いで「特にない」(35.2%)、「新聞・雑誌の特集など」(19.9%)、「セキュリティベンダーのウェブサイト」(13.4%)と続く。
- 性別でみると、男性は「セキュリティベンダーのウェブサイト」が5.7ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「セキュリティ専門家のブログ・SNS」が17.1ポイント、「セキュリティベンダーのウェブサイト」が14.9ポイント、「レベル1」は「特にない」が18.1ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「特にない」が22.4ポイント全体に比べて高い。

【Q9】あなたは前問で挙げたような攻撃や脅威などのセキュリティに関する情報を、どこで確認、入手していますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



■ 全体+10Pt以上  
■ 全体+5Pt以上  
■ 全体-5Pt以下  
■ 全体-10Pt以下  
 (属性n=30以上)

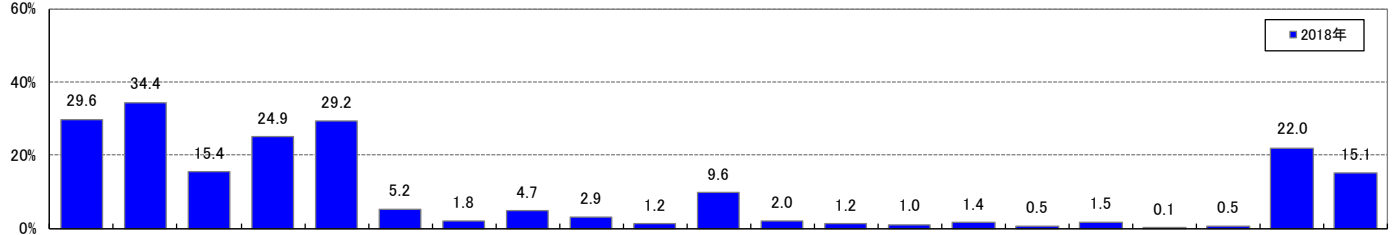
属性	属性	全体	セキュリティ専門家のブログ・SNS	セキュリティベンダーのウェブサイト	セキュリティマガジン	セキュリティ関連のイベント・セミナー	IPSAのウェブサイト	IPSAのメールマガジン	IPSAの発行書籍(情報セキュリティ白書など)	ニュースサイト	セキュリティ関連の書籍	新聞・雑誌の特集など	SNS	警察のウェブサイト・SNS	国民生活センターのウェブサイト	銀行のウェブサイト	携帯電話会社のウェブサイト	その他	特にない
全体	全体	5000	10.8	13.4	5.4	3.7	3.2	1.8	1.3	39.6	5.0	19.9	4.7	4.5	6.3	12.2	6.9	35.2	
性別	男性	2437	13.5	19.1	8.3	5.4	4.9	3.2	2.1	42.8	7.5	22.0	5.9	5.5	8.3	12.8	4.6	30.3	
	女性	2563	8.2	8.0	2.6	2.0	1.5	0.5	0.7	36.6	2.7	18.0	3.7	3.7	4.4	11.6	9.1	39.9	
年代別	10代	431	13.2	10.0	4.2	5.6	3.7	1.9	2.1	29.9	4.9	11.6	7.4	3.9	3.0	7.9	18.1	33.6	
	20代	712	15.9	13.3	4.6	5.8	5.5	3.5	2.7	41.0	6.3	17.3	6.2	5.5	4.2	7.0	8.7	31.6	
	30代	949	11.8	13.3	4.5	4.5	3.4	2.1	2.1	39.8	5.6	17.1	3.9	3.4	5.7	9.9	6.7	36.8	
	40代	1127	10.2	13.6	5.2	3.1	2.8	1.4	0.9	43.1	5.0	20.5	5.2	4.7	5.8	11.7	6.5	35.0	
	50代	915	8.9	13.4	6.1	2.2	2.4	1.1	0.3	40.0	4.3	21.2	3.5	4.3	7.1	15.0	4.0	36.2	
	60代	660	7.6	14.1	7.0	2.3	2.1	1.1	0.8	37.4	3.8	27.0	3.3	5.5	9.5	18.0	3.0	37.7	
	70代以上	206	5.8	18.0	6.8	2.4	1.9	1.5	0.5	40.3	6.3	28.6	5.3	5.3	12.1	20.4	5.3	33.0	
SD習熟度	レベル4	499	27.9	28.3	12.4	10.8	12.0	7.4	5.2	42.9	14.8	20.6	10.6	8.4	8.6	12.2	5.4	23.4	
	レベル3	1716	12.2	16.8	6.4	4.4	3.7	1.9	1.7	46.6	5.2	21.3	5.7	5.1	7.7	12.1	8.3	27.7	
	レベル2	1918	8.3	10.1	3.9	2.3	1.6	0.8	0.5	40.2	3.5	20.3	3.8	3.9	6.4	13.4	6.8	36.8	
	レベル1	867	3.7	5.4	2.5	1.0	0.6	0.6	0.2	22.6	2.4	16.0	1.6	2.8	2.0	9.5	5.1	53.3	
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	9.0	11.7	4.4	2.8	2.1	1.2	1.0	38.5	3.9	18.8	4.0	3.9	5.8	11.6	6.2	37.6	
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	14.7	17.2	7.4	5.5	5.3	2.9	2.0	42.3	7.5	22.7	6.4	6.0	7.5	13.4	8.7	29.6	
	仕事(学業)利用のみ	33	15.2	6.1	6.1	6.1	3.0	6.1	-	24.2	9.1	3.0	3.0	-	3.0	9.1	-	57.6	

※今年度から追加した設問

## 5-2-4.過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブル

- 過去1年間の情報セキュリティに関する被害・トラブルについて最も高いのは、「本文中のURLにアクセスするように促す不審なメールを受信した」(34.4%)である。次いで「添付ファイルを開くように促す不審なメールを受信した」(29.6%)、「ブラウザに突然「ウイルスに感染した」などの警告画面が表示された」(29.2%)、「身に覚えのない支払いを求める(架空請求)メールを受信した」(24.9%)と続く。
- 性別でみると、男性は「アダルトサイトの登録完了画面が突然表示された」が5.8ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「第三者による不正アクセスを試みられたというメールを受信した(実際の不正アクセス被害には至らない)」が10.3ポイント、レベル1は「上記のようなトラブルや被害があったかどうかわからない」が12ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「上記のようなトラブルや被害があったかどうかわからない」が33.4ポイント全体に比べて高い。

【Q10】あなたは過去1年間、インターネット利用中に次に挙げるような被害やトラブルを経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



■ 全体+10Pt以上  
■ 全体+5Pt以上  
■ 全体-5Pt以下  
■ 全体-10Pt以下  
 (属性n=30以上)

	全体	添付ファイルを開くように促す不審なメールを受信した	本文中のURLにアクセスするように促す不審なメールを受信した	身に覚えのない支払いを求める(架空請求)メールを受信した	第三者による不正アクセスを試みられたというメールを受信した(実際の不正アクセス被害には至らない)	クレジットカードの不正利用の可能性があるという連絡を受けた(実際の不正利用の警告画面が表示された)	クレジットカードの不正利用の可能性があるという連絡を受けた(実際の不正利用の警告画面が表示された)	インターネットバンキング利用中にいつもと異なる不審な認証画面が表示された	利用しているサービスのアカウントが第三者に不正アクセスされた	身に覚えのないメールを送信されていた(身に覚えのないメールを送信されていた)	不審なメール送信の踏み台とされた(身に覚えのないメールを送信されていた)	デバイスまたはクラウドに保存していたデータが流出した	サービスに登録していた個人情報やスマートアダルトサイトの登録完了画面が突然表示された	ブラウザの警告画面の誘導に従ってアプリをインストールしてしまった	不審なメール(および、その後の電話対応など)の誘導に従ってお金を支払ってしまった	クレジットカードが不正利用された(実際にクレジットカードに当たった)	クレジットカードが不正利用された(実際にクレジットカードに当たった)	インターネットバンキングの口座で不正送金の被害に遭った	他の金銭被害に至らなかった被害やトラブル	上記のようなトラブルや被害があったことはない	上記のようなトラブルや被害があったかどうかわからない		
全体	5000	29.6	34.4	15.4	24.9	29.2	5.2	1.8	4.7	2.9	1.2	9.6	2.0	1.2	1.0	1.4	0.5	1.5	0.1	0.5	22.0	15.1	
性別	男性	2437	32.3	36.5	17.4	27.0	33.7	7.1	2.7	5.4	3.3	1.6	15.4	2.6	1.8	1.8	2.0	0.9	2.1	0.0	0.2	18.3	14.9
	女性	2563	27.1	32.5	13.4	22.9	24.9	3.5	1.1	4.1	2.6	0.9	4.1	1.4	0.5	0.3	0.9	0.2	1.0	0.2	0.7	25.5	15.4
年代別	10代	431	23.0	27.4	12.8	17.4	26.5	2.8	2.3	5.1	2.1	2.6	14.2	3.0	1.6	1.6	1.2	0.2	1.6	-	0.7	23.4	18.8
	20代	712	31.9	38.3	17.0	25.7	30.9	6.0	3.8	7.7	2.4	2.1	13.3	1.8	2.4	2.4	2.7	1.4	2.7	0.1	0.3	20.8	13.2
	30代	949	30.0	35.3	17.0	25.7	30.3	5.2	2.1	5.9	2.8	0.6	10.6	1.7	1.3	0.9	1.7	0.8	2.1	0.2	0.5	19.6	15.5
	40代	1127	31.5	38.1	17.0	25.0	30.1	5.5	1.1	4.1	2.4	1.2	7.9	1.2	0.7	0.4	1.2	0.4	1.0	0.2	0.5	19.3	16.9
	50代	915	32.9	36.8	14.0	27.5	29.7	5.4	1.1	3.8	3.1	0.8	6.6	2.2	0.9	0.5	1.3	0.2	1.0	-	0.5	21.5	13.9
	60代	660	24.2	26.5	12.1	23.0	24.7	5.3	1.2	2.6	4.8	0.8	8.2	2.4	0.8	1.4	0.6	-	1.2	-	0.5	28.2	14.2
70代以上	206	26.7	26.2	15.0	27.7	30.6	5.8	2.4	2.4	3.4	1.5	9.7	4.4	0.5	-	1.5	-	1.0	-	-	31.1	11.7	
SD習熟度	レベル4	499	36.7	44.1	25.7	30.7	36.9	10.4	4.4	10.0	5.0	3.6	18.0	3.4	3.6	2.4	3.8	2.2	3.4	0.2	0.6	14.2	12.8
	レベル3	1716	32.6	40.3	19.1	26.8	33.7	6.3	2.1	6.3	2.7	1.5	11.8	2.6	1.2	1.5	1.6	0.6	2.1	0.1	0.3	19.9	9.8
	レベル2	1918	29.2	32.9	12.8	24.9	27.6	3.9	0.9	3.1	2.3	0.6	7.6	1.1	0.7	0.5	0.9	0.3	0.8	0.2	0.6	23.4	15.1
	レベル1	867	20.6	20.5	7.6	17.8	19.3	3.2	1.8	2.2	3.5	0.6	5.0	2.0	0.7	0.6	0.8	-	0.9	-	0.3	27.3	27.1
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	26.5	31.6	13.2	22.6	27.7	4.4	1.5	4.4	2.5	0.7	7.7	1.9	0.8	0.8	1.3	0.4	1.3	0.1	0.5	24.3	16.0
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	36.8	40.7	20.2	33.0	30.2	6.9	2.5	5.4	3.9	2.3	13.8	2.3	2.0	1.7	1.7	0.9	2.0	0.2	0.5	17.3	12.5
	仕事(学業)利用のみ	33	15.2	24.2	6.1	12.1	6.1	12.1	3.0	3.0	3.0	-	3.0	-	3.0	-	3.0	-	6.1	-	-	12.1	48.5

※今年度から追加した設問

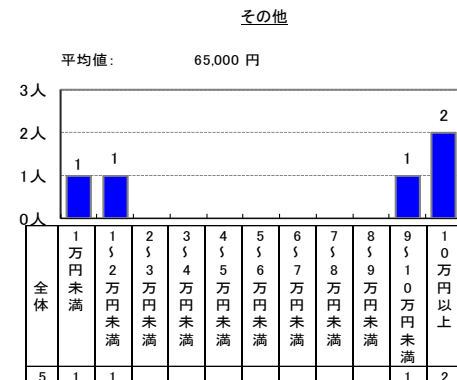
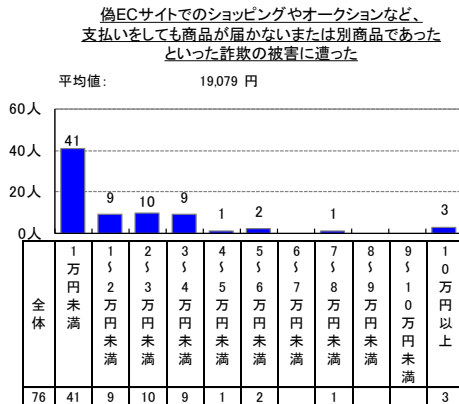
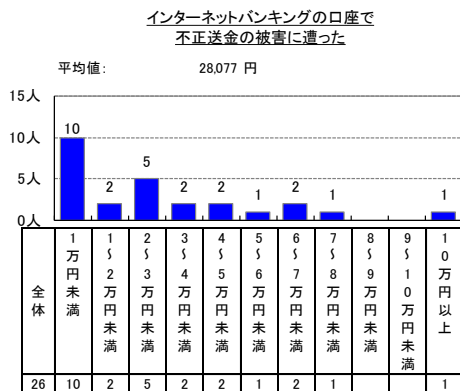
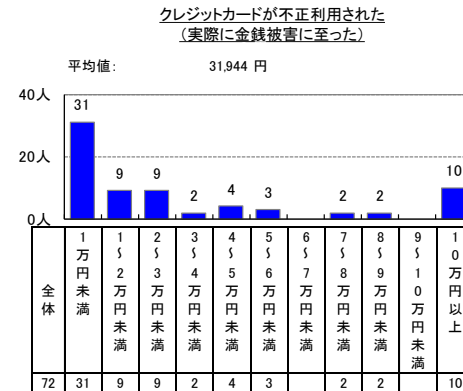
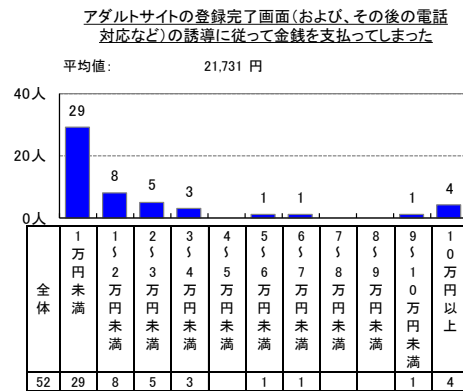
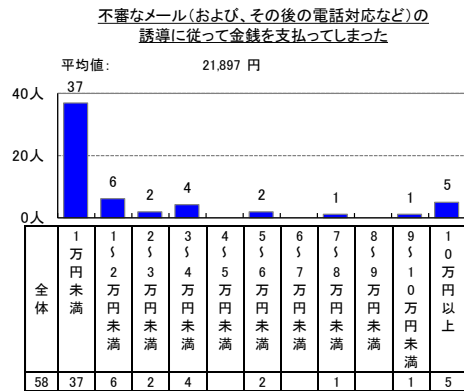


## 5-2-5.過去1年間の情報セキュリティに関する金銭被害額

- 過去1年間の情報セキュリティに関する金銭被害について、「偽ECサイトでのショッピングやオークションなど、支払いをしても商品が届かないまたは別商品であったといった詐欺の被害に遭った」は最も被害者が多い(76人)。「1万円未満」の被害額が多く、平均値は19,079円である。
- 次いで被害者が多い「クレジットカードが不正利用された(実際に金銭被害に至った)」(72人)も「1万円未満」の被害額が最も多く、次いで「10万円以上」と続き、平均値は31,944円である。

【Q11】 その際の具体的な被害金額について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

n=金銭的な被害を被った方(Q10)



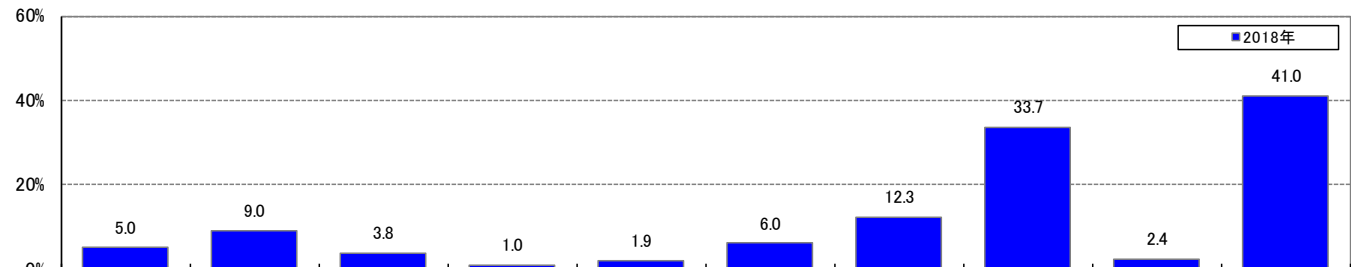
※今年度から追加した設問

## 5-2-6.情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法

- 情報セキュリティ被害・トラブル時の対処法について最も高いのは、「何もなかった」(41.0%)である。次いで「自力で対処」(33.7%)、「家族・友人・知人に相談」(12.3%)、「携帯電話会社(キャリア)に相談」(9.0%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「家族・友人・知人に相談」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「スマートデバイスメーカーに相談」が10.1ポイント、「自力で対処」が11.1ポイント全体に比べて高い。

【Q12】 前問でお答えになった被害やトラブルにあったときに、あなたがとった対処方法を以下からすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=情報セキュリティの被害やトラブル経験者(Q10)



■ 全体+10Pt以上  
■ 全体+5Pt以上  
■ 全体-5Pt以下  
■ 全体-10Pt以下  
 (属性n=30以上)

		全体	スマートデバイスメーカーに相談	携帯電話会社(キャリア)に相談	スマートデバイスを購入した販売店に相談	サービスの提供会社に相談	公的機関(警察署、消費生活センター、IPAなど)に相談	銀行・クレジットカード会社へ連絡	家族・友人・知人に相談	自力で対処	その他	何もなかった
全体		3144	5.0	9.0	3.8	1.0	1.9	6.0	12.3	33.7	2.4	41.0
性別	男性	1629	7.3	10.4	5.5	0.9	2.2	7.2	7.6	38.7	1.5	38.1
	女性	1515	2.5	7.6	2.0	1.2	1.7	4.8	17.5	28.4	3.4	44.1
年代別	10代	249	4.0	8.8	4.8	0.4	1.6	1.6	16.9	41.4	2.8	35.3
	20代	470	9.4	10.4	8.5	0.2	0.9	7.9	13.2	34.3	2.6	40.0
	30代	616	6.0	7.5	3.2	0.5	2.4	5.4	10.2	36.2	1.5	43.3
	40代	720	3.8	6.9	2.9	0.7	1.1	5.6	11.7	36.0	2.6	42.5
	50代	591	3.7	10.0	2.2	2.4	1.9	6.8	12.4	30.5	2.4	41.3
	60代	380	2.6	12.1	2.1	1.3	3.7	7.6	13.2	27.1	2.1	38.4
	70代以上	118	5.9	10.2	5.1	3.4	4.2	5.9	11.9	26.3	6.8	41.5
SD習熟度	レベル4	364	15.1	17.3	8.2	0.8	3.3	11.8	9.3	44.8	1.1	26.4
	レベル3	1205	4.9	7.6	4.1	0.9	1.7	6.5	8.7	39.0	2.7	38.8
	レベル2	1180	2.5	7.4	2.3	1.4	1.6	4.1	14.3	30.3	3.1	45.8
	レベル1	395	3.3	10.6	3.3	0.8	2.5	5.3	20.3	17.5	1.0	46.6
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	2027	3.9	8.5	2.8	1.2	1.7	5.6	11.9	31.3	2.4	43.7
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1104	6.9	9.8	5.7	0.7	2.4	6.9	13.3	38.6	2.6	35.8
	仕事(学業)利用のみ	13	15.4	23.1	7.7	-	7.7	-	-	-	-	61.5

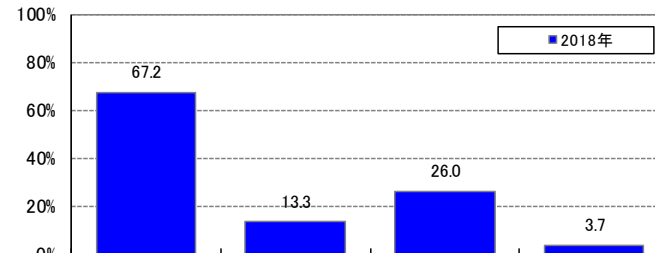
※今年度から全面改訂

## 5-2-7.情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由

- 情報セキュリティ被害・トラブル時に対処しなかった理由について最も高いのは、「対処の必要性を感じなかった」(67.2%)である。次いで「何をしてもよいかわからなかった」(26.0%)、「面倒だった」(13.3%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「対処の必要性を感じなかった」が5.2ポイント、女性は「何をしてもよいかわからなかった」が5.1ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル1は「何をしてもよいかわからなかった」が19.1ポイント全体に比べて高い。

【Q13】 対処を何もしなかった理由をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=被害やトラブル遭遇時に対処しなかった者(Q12)



		全体	対処の必要性を感じなかった	面倒だった	何をしてもよいかわからなかった	その他
全体		1288	67.2	13.3	26.0	3.7
性別	男性	620	72.4	13.9	20.5	4.0
	女性	668	62.4	12.7	31.1	3.4
年代別	10代	88	62.5	20.5	28.4	3.4
	20代	188	72.9	18.1	21.8	4.3
	30代	267	68.9	14.6	24.7	3.4
	40代	306	69.3	9.8	25.5	3.3
	50代	244	65.2	13.1	26.6	2.5
	60代	146	58.2	9.6	30.8	7.5
	70代以上	49	69.4	8.2	30.6	2.0
SD習熟度	レベル4	96	70.8	16.7	20.8	1.0
	レベル3	467	71.9	13.7	18.2	5.8
	レベル2	541	68.0	12.6	27.2	2.6
	レベル1	184	51.1	12.5	45.1	3.3
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	885	66.9	12.7	25.9	4.4
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	395	68.6	14.7	25.6	2.3
	仕事(学業)利用のみ	8	37.5	12.5	62.5	-

※今年度から全面改訂

## 5-2-8.インターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由

- インターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由についてみると、「メールアドレス」「固定電話番号」「携帯電話番号」「住所」は「迷惑な連絡や郵送物が増えることが心配だから」、「スマートデバイスに保存しているデータ(写真やドキュメントなど)」「クラウドストレージにアップロードしたデータ(写真やドキュメントなど)」は「自分の趣味や行動を他人に知られてしまうことが心配だから」が最も高い。それ以外は全て「詐欺や不正利用などの金銭被害に遭うことが心配だから」が最も高い。

【Q5】次に挙げる情報の中でインターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由として、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

■ ……1位の理由

	全体	詐欺や不正利用などの金銭被害に遭うことが心配だから	迷惑な連絡や郵送物が増えることが心配だから	自分の趣味や行動を他人に知られてしまうことが心配だから	まわりの趣味や行動を他人に知られてしまうことが心配だから	その他の心配や不安がある	漏えいしても特に困ることや不安はない
メールアドレス	5,000	54.3	58.7	14.1	10.9	13.0	8.1
固定電話番号	5,000	52.0	55.8	10.8	12.4	13.1	10.9
携帯電話番号	5,000	57.4	58.2	14.4	14.9	14.3	6.7
氏名	5,000	60.4	51.9	18.3	17.0	16.7	9.2
住所	5,000	60.5	61.5	18.0	19.5	16.3	5.6
生年月日	5,000	55.9	42.5	15.4	12.3	16.5	15.4
性別	5,000	31.6	24.9	10.7	10.2	11.4	40.0
マイナンバー(個人番号)	5,000	76.4	47.5	18.7	15.1	22.0	4.6
職業	5,000	37.1	31.0	16.1	9.2	15.0	30.7

	全体	詐欺や不正利用などの金銭被害に遭うことが心配だから	迷惑な連絡や郵送物が増えることが心配だから	自分の趣味や行動を他人に知られてしまうことが心配だから	まわりの趣味や行動を他人に知られてしまうことが心配だから	その他の心配や不安がある	漏えいしても特に困ることや不安はない
家族構成(配偶者や子供の有無など)	5,000	46.5	42.0	17.8	17.2	20.7	15.1
勤務先・通学先	5,000	44.1	41.3	20.0	17.3	18.7	14.9
クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード	5,000	80.8	41.8	19.0	13.2	19.5	4.1
金融機関の口座番号	5,000	81.1	36.6	15.1	10.7	17.4	4.4
インターネットショッピングの購入履歴	5,000	55.6	40.2	33.2	8.7	15.5	10.0
ウェブの検索履歴・閲覧履歴	5,000	43.1	34.2	39.6	8.6	15.8	12.3
位置情報(現在地・ロケーション履歴)	5,000	40.7	31.5	34.4	26.6	19.1	9.5
スマートデバイスに保存しているデータ(写真やドキュメントなど)	5,000	40.2	29.0	42.9	18.4	22.0	8.9
クラウドストレージにアップロードしたデータ(写真やドキュメントなど)	5,000	40.0	29.1	41.4	17.9	21.8	9.9

※今年度から全面改訂

## 5-2-9.情報漏えいによるサービス提供側の補償額

- 情報漏えいによるサービス提供側の補償額についてみると、「クレジットカード情報」「パスポートの情報」「氏名と、住所や電話番号などの連絡先」「氏名と、生年月日や血液型などの個人に関する情報」は「50,001円以上」が最も高い。それ以外は全て「0円（特に補償などは不要）」が最も高い。

【Q14】 あなたが利用しているサービスにおいて提供側の不適切な運用による情報漏えいが発生した場合、その補償として妥当と考える（お詫びとして納得できる）金額についてそれぞれあてはまるものを選択してください。（お答えはそれぞれ1つずつ）

■ ……1位の補償額

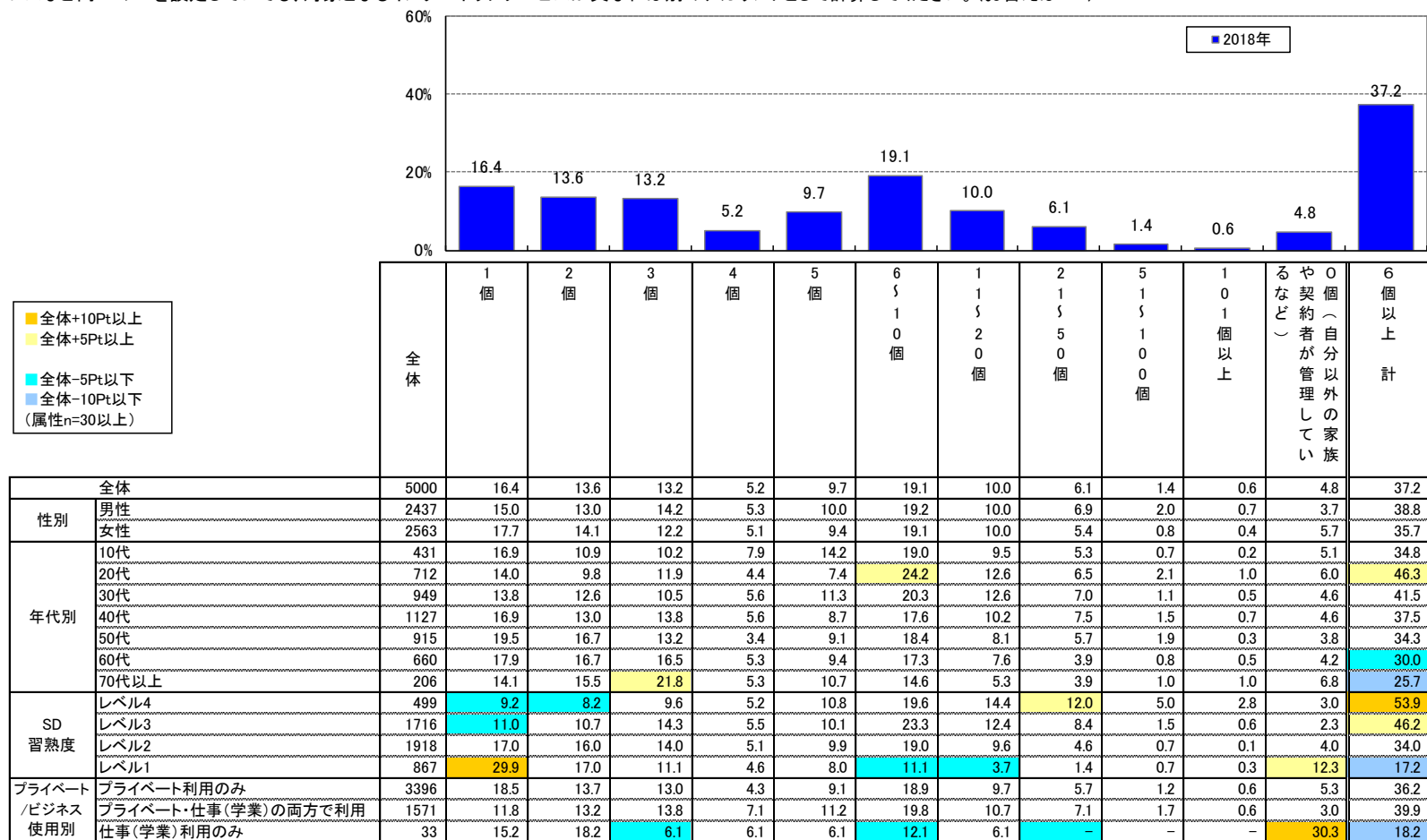
	全体	0円 （特に補償などは不要）	1 5 3 0 0 0 円	3 0 1 5 0 0 0 円	5 0 1 1 0 0 0 円	1 0 1 1 3 0 0 0 円	3 0 1 5 0 0 0 円	5 0 1 1 0 0 0 円	1 0 0 0 0 0 円	3 0 0 0 0 0 円	5 0 0 0 1 円 以上	1 万 円 以上 計
サービス利用に必要なIDと、暗号化されているパスワード	5,000	30.1	4.5	3.5	5.7	5.9	3.9	5.8	7.6	3.1	29.9	40.6
サービス利用に必要なIDと、暗号化されていないパスワード	5,000	32.2	4.9	3.8	5.9	6.2	4.1	6.0	7.4	3.8	25.7	36.9
メールアドレス	5,000	31.7	4.7	4.1	6.0	7.0	4.7	6.7	7.5	3.7	23.9	35.0
クレジットカード情報	5,000	22.4	3.9	2.4	3.3	3.4	2.4	4.2	5.9	3.3	48.8	58.1
パスポートの情報	5,000	25.2	3.4	2.3	3.2	3.5	2.5	4.5	5.7	3.9	45.7	55.3
氏名と、住所や電話番号などの連絡先	5,000	24.3	3.9	2.7	3.7	3.9	3.0	5.4	6.9	4.6	41.6	53.1
氏名と、生年月日や血液型などの個人に関する情報	5,000	26.7	3.7	2.9	4.5	5.0	3.7	6.2	7.1	4.6	35.6	47.3
趣味や嗜好に関する情報 （登録したプロフィール情報や閲覧・購入履歴など）	5,000	34.1	4.0	3.6	5.9	6.6	4.5	6.3	7.5	4.1	23.5	35.1
学歴または職歴	5,000	37.2	4.1	3.2	6.1	5.9	4.2	5.9	6.9	3.7	22.8	33.3
既往歴や健康診断結果などの情報	5,000	31.9	3.7	3.4	4.5	5.2	4.2	6.0	6.8	4.3	30.0	41.1

※今年度から追加した設問

## 5-3.アカウントの管理方法 5-3-1.インターネットサービス利用のための保有アカウント数

- インターネットサービス利用のための保有アカウント数について最も高いのは、「6～10個」(19.1%)である。次いで、「1個」(16.4%)、「2個」(13.6%)、「3個」(13.2%)と続く。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「6個以上」が16.7ポイント、レベル1は「1個」が13.5ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別で見ると、仕事(学業)利用のみは「0個(自分以外の家族や契約者が管理しているなど)」が25.5ポイント全体に比べて高い。

【Q15】 あなたが現在所有、管理しているインターネットサービス利用のためのアカウント数について、あてはまるものを選択してください。  
メールアドレスなど同一のIDを設定していても、対象となるインターネットサービスが異なれば別のアカウントとして計算してください。(お答えは1つ)



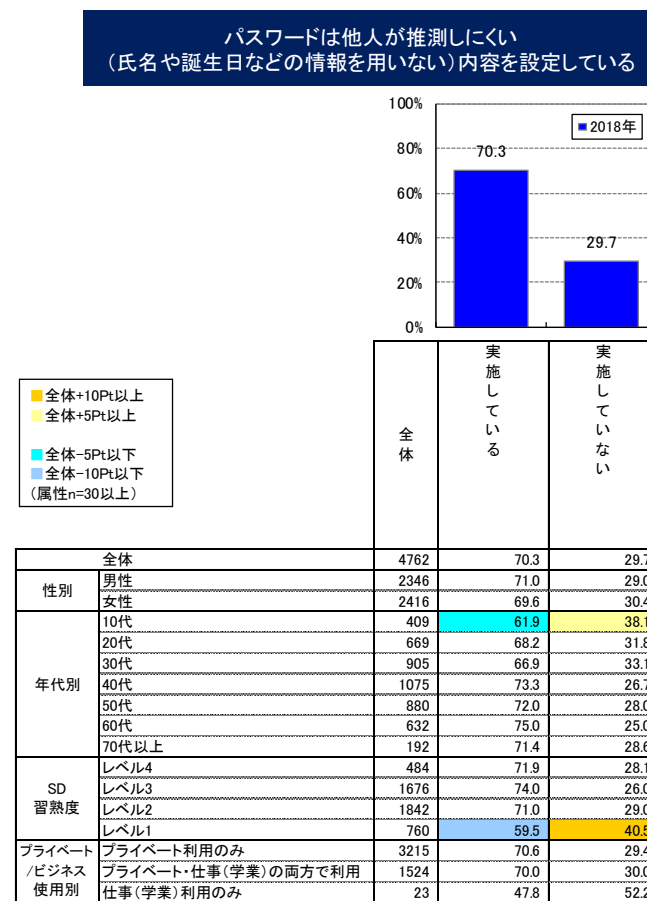
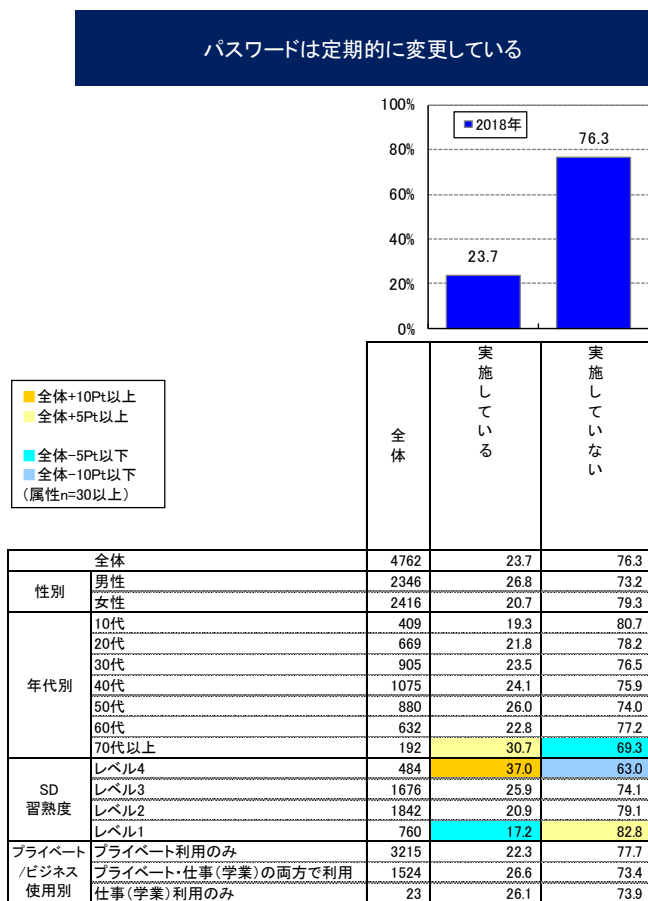
※今年度から追加した設問

## 5-3-2.パスワード設定の実施状況①

- 『パスワードは定期的に変更している』を「実施している」割合は23.7%である。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「実施している」が13.3ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワードは他人が推測しにくい(氏名や誕生日などの情報を用いない)内容を設定している』を「実施している」割合は70.3%である。
- SD習熟度で見ると、レベル1は「実施していない」が10.8ポイント全体に比べて高い。

【Q16】 アカウントのパスワード設定における対策の実施について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つつ)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)



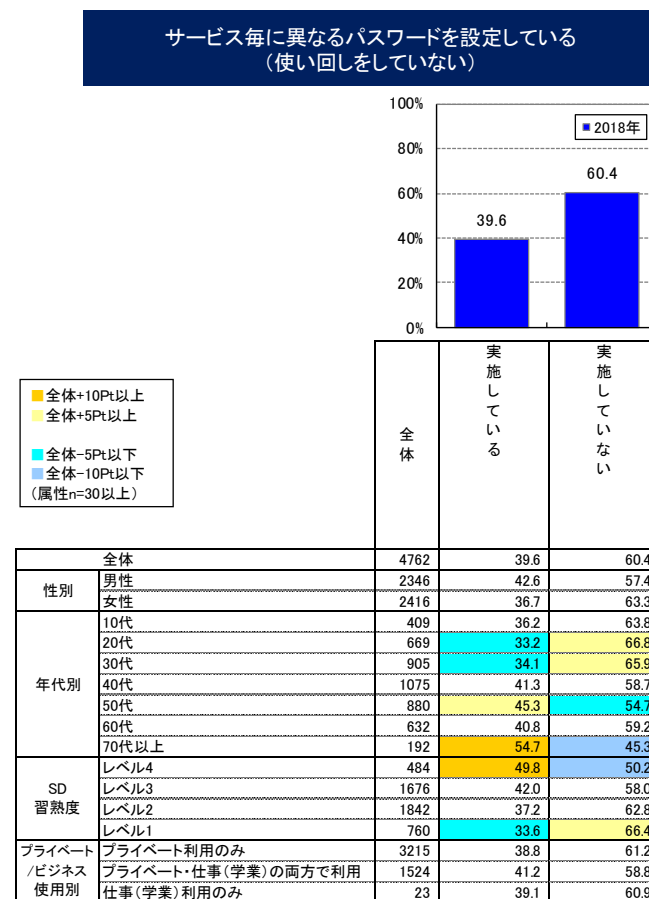
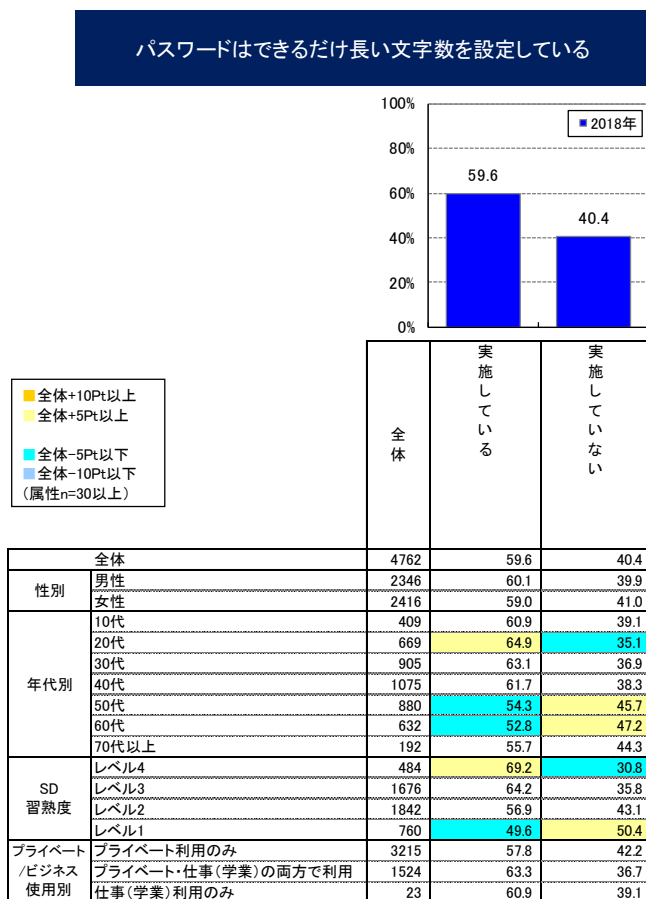
※今年度から追加した設問

## 5-3-2.パスワード設定の実施状況②

- 『パスワードはできるだけ長い文字数を設定している』を「実施している」割合は59.6%である。
- 年代別でみると、20代は「実施している」が5.3ポイント、「実施していない」が50代は5.3ポイント、60代は6.8ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「実施している」が9.6ポイント、レベル1は「実施していない」が10ポイント全体に比べて高い。
- 『サービス毎に異なるパスワードを設定している(使い回しをしていない)』を「実施している」割合は39.6%である。
- 年代別でみると、70代以上は「実施している」が15.1ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「実施している」が10.2ポイント全体に比べて高い。

【Q16】 アカウントのパスワード設定における対策の実施について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つつ)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)



※今年度から追加した設問

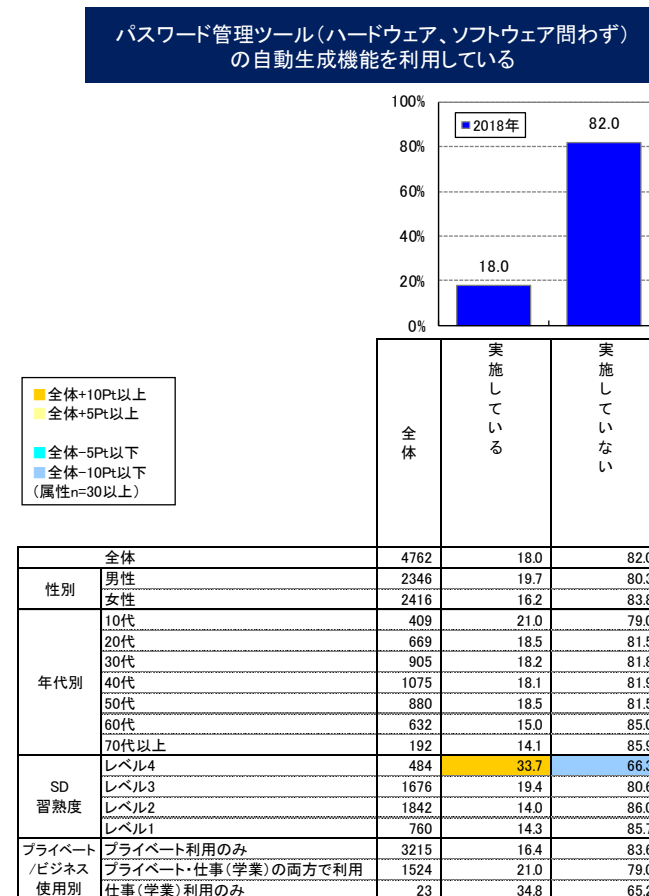
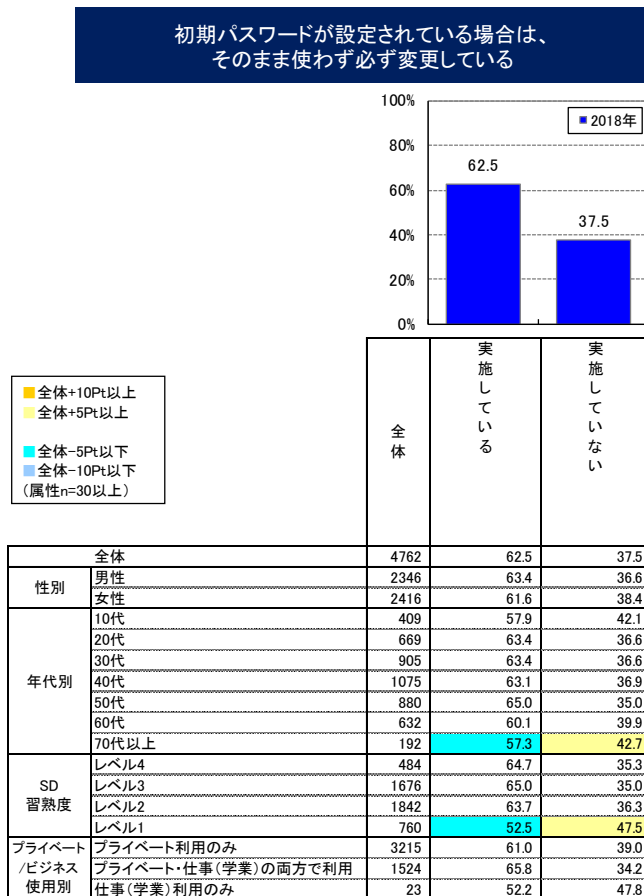


## 5-3-2.パスワード設定の実施状況③

- 『初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している』を「実施している」割合は62.5%である。
- 年代別でみると、70代以上は「実施していない」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル1は「実施していない」が10ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワード管理ツール(ハードウェア、ソフトウェア問わず)の自動生成機能を利用している』を「実施している」割合は18.0%である。
- SD習熟度でみると、レベル4は「実施している」が15.7ポイント全体に比べて高い。

【Q16】 アカウントのパスワード設定における対策の実施について、あてはまるものを選択してください。(お答えはそれぞれ1つつ)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)



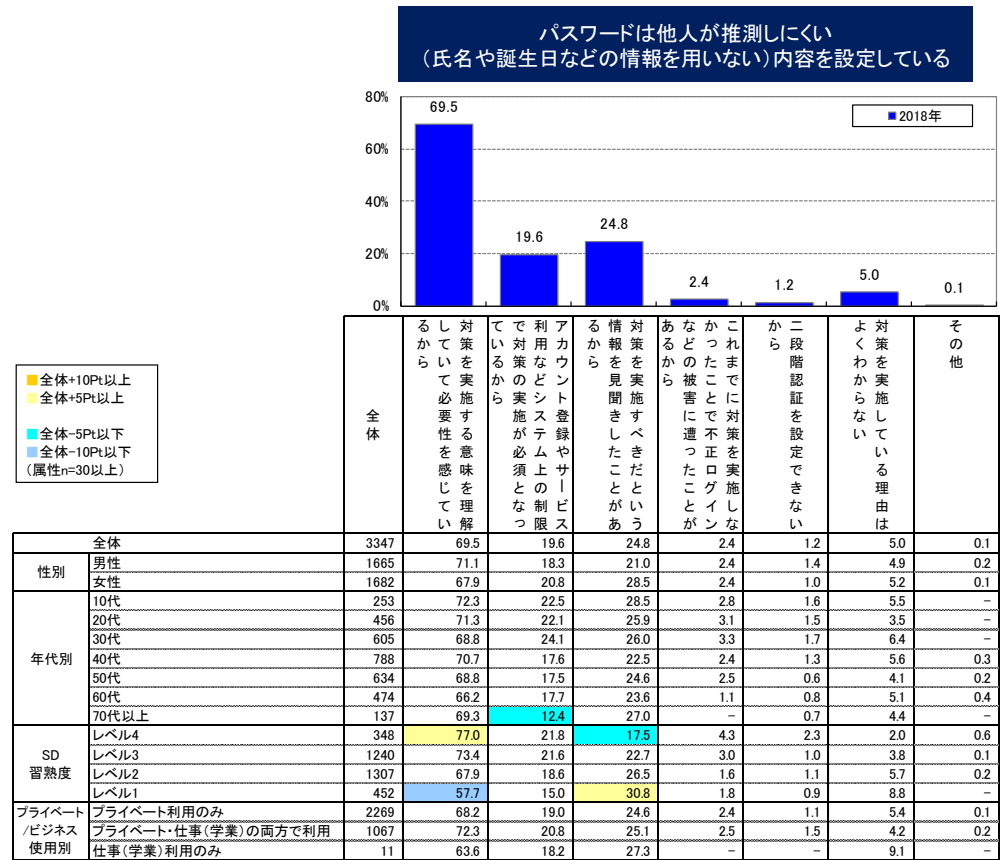
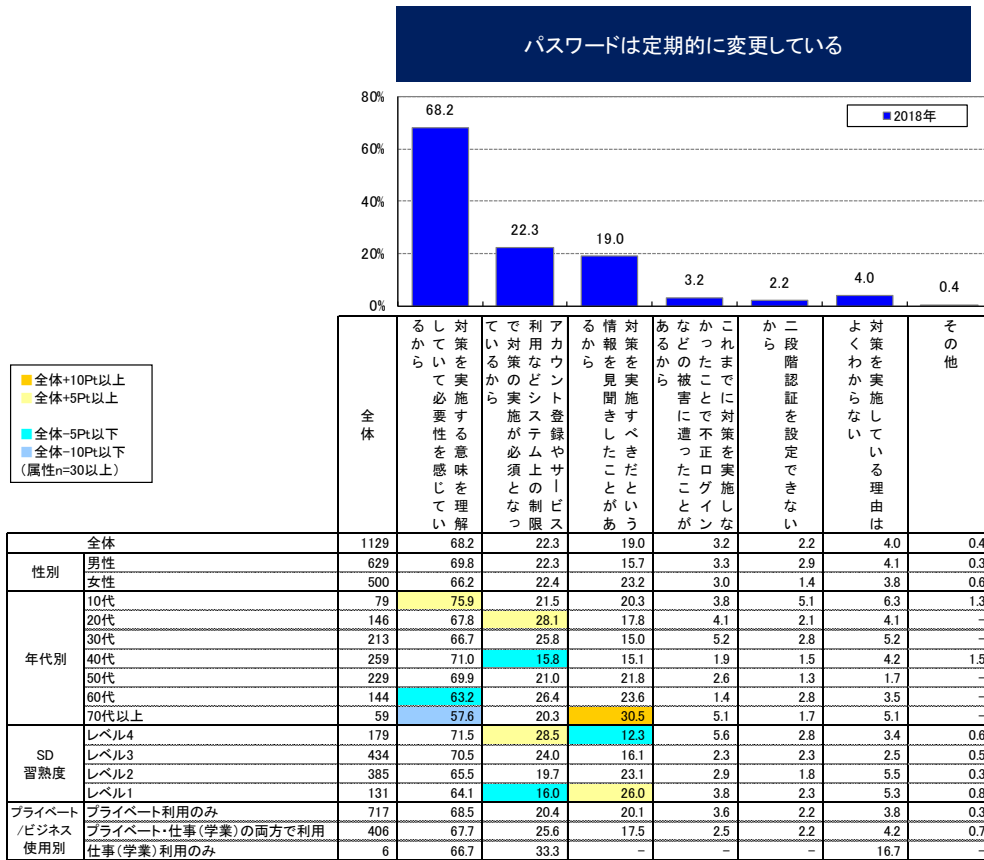
※今年度から追加した設問

### 5-3-3.パスワード設定の実施理由①

- 『パスワードは定期的に変更している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(68.2%)である。次いで「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(22.3%)、「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(19.0%)と続く。
- 年代別でみると、70代以上は「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が11.5ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワードは他人が推測しにくい(氏名や誕生日などの情報を用いない)内容を設定している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(69.5%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(24.8%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(19.6%)と続く。
- SD習熟度でみると、レベル4は「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」が7.5ポイント、レベル1は「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が6ポイント全体に比べて高い。

【Q17】 対策を実施している理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

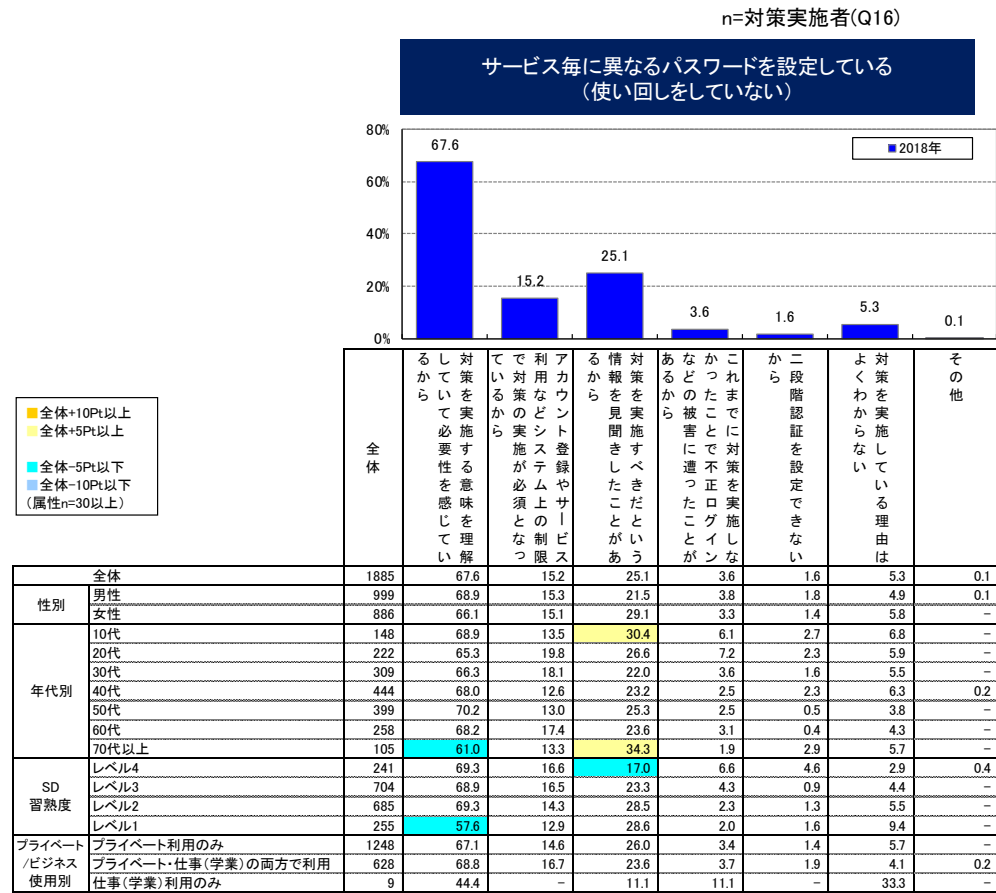
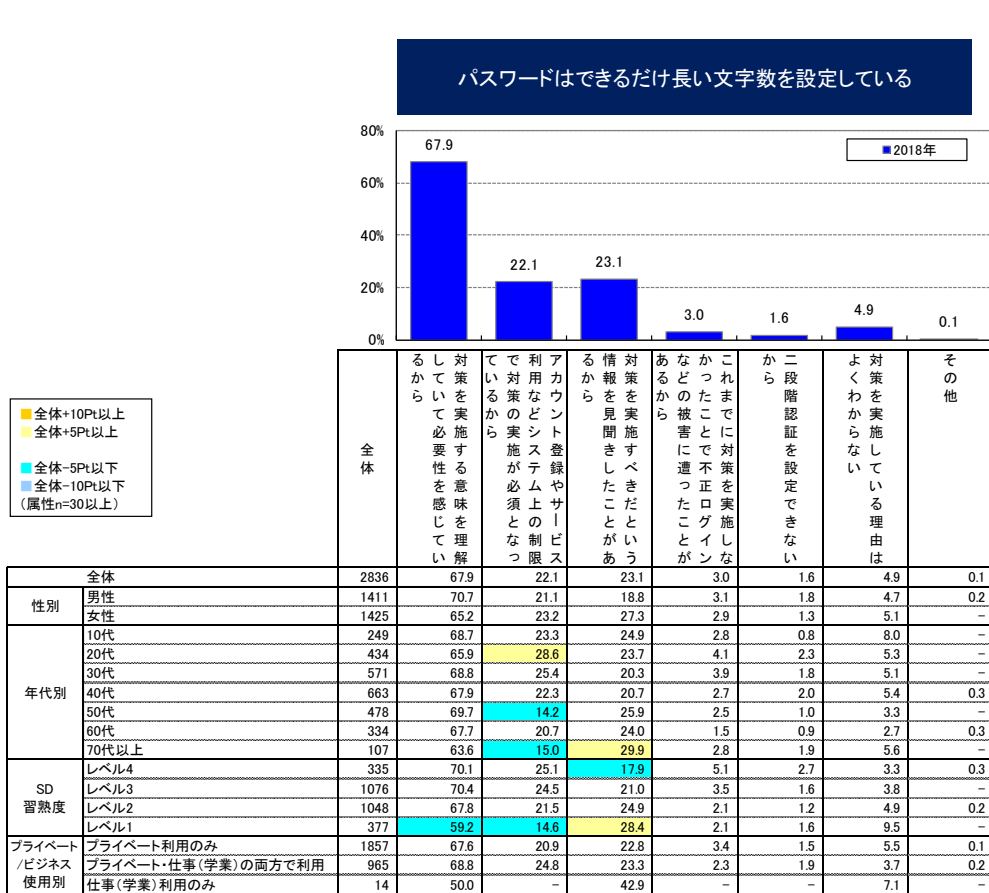
n=対策実施者(Q16)



### 5-3-3.パスワード設定の実施理由②

- 『パスワードはできるだけ長い文字数を設定している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(67.9%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(23.1%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(22.1%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」が6.5ポイント、70代以上は「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が6.8ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル1は「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が5.3ポイント全体に比べて高い。
- 『サービス毎に異なるパスワードを設定している(使い回しをしていない)』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(67.6%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(25.1%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(15.2%)と続く。
- 年代別でみると、「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が10代は5.3ポイント、70代以上は9.2ポイント全体に比べて高い。

【Q17】 対策を実施している理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

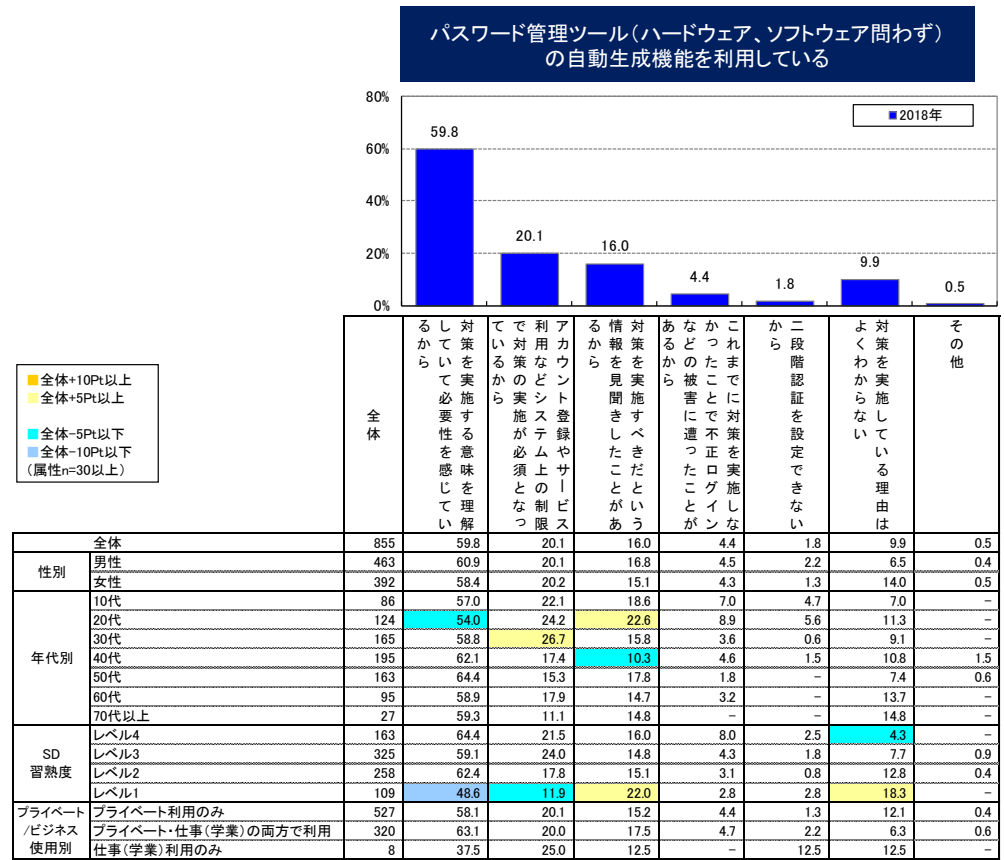
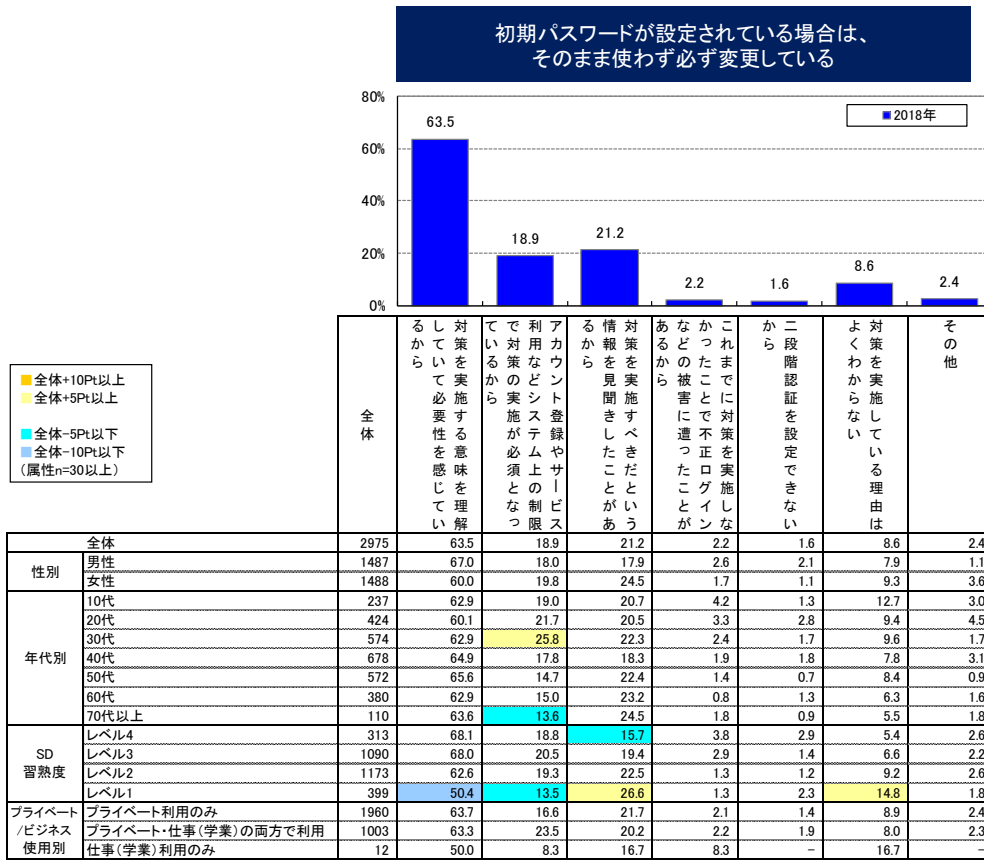


### 5-3-3.パスワード設定の実施理由③

- 『初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(63.5%)である。次いで「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(21.2%)、「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(18.9%)と続く。
- 年代別でみると、30代は「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」が6.9ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル1は「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が5.4ポイント、「対策を実施している理由はよくわからない」が6.2ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワード管理ツール(ハードウェア、ソフトウェア問わず)の自動生成機能を利用している』を実施している理由について最も高いのは、「対策を実施する意味を理解して必要性を感じているから」(59.8%)である。次いで「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」(20.1%)、「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」(16.0%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が6.6ポイント、30代は「アカウント登録やサービス利用などシステム上の制限で対策の実施が必須となっているから」が6.6ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル1は「対策を実施すべきだという情報を見聞きしたことがあるから」が6ポイント、「対策を実施している理由はよくわからない」が8.4ポイント全体に比べて高い。

【Q17】 対策を実施している理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

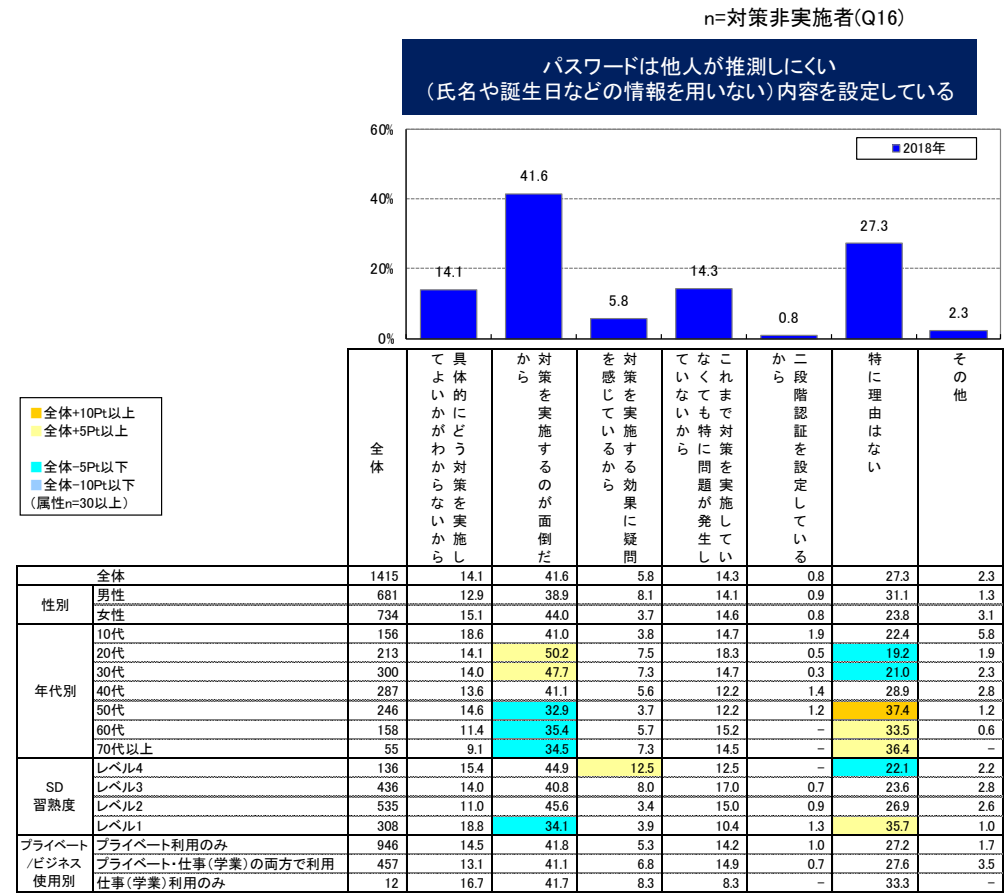
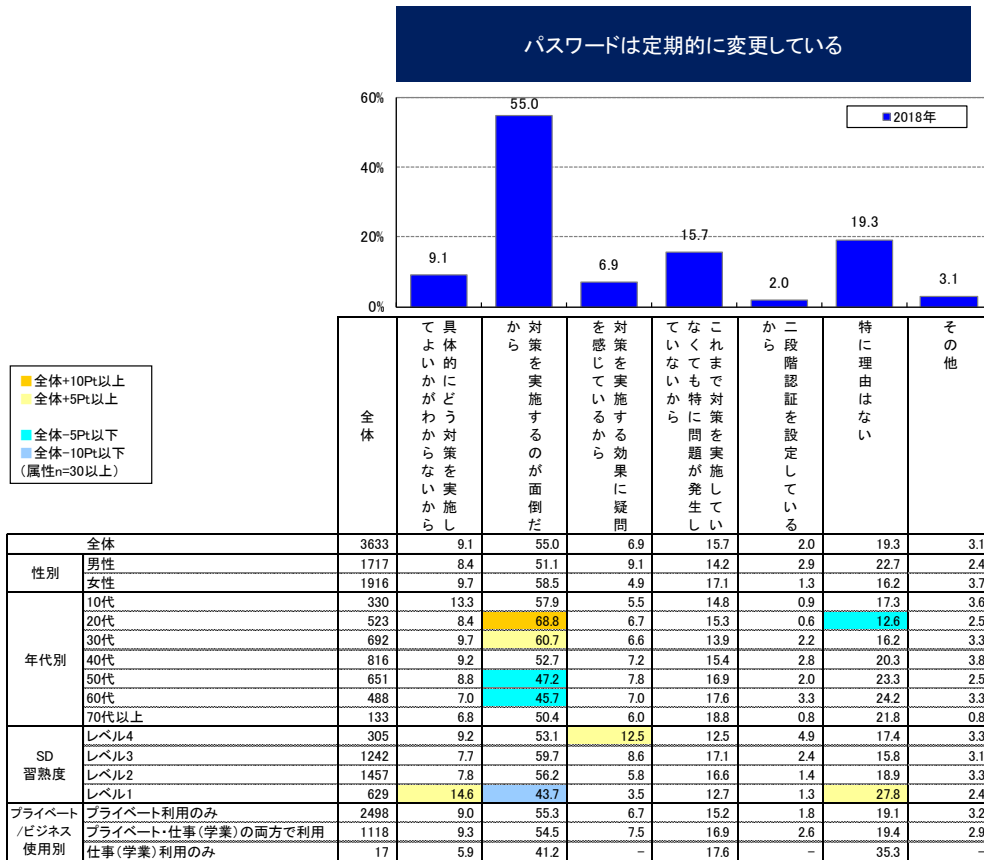
n=対策実施者(Q16)



## 5-3-4.パスワード設定の非実施理由①

- 『パスワードは定期的に変更している』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(55.0%)である。次いで「特に理由はない」(19.3%)、「これまで対策を実施していなくても特に問題が発生していないから」(15.7%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「対策を実施するのが面倒だから」が13.8ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「対策を実施する効果に疑問を感じているから」が5.6ポイント、レベル1は「具体的にどう対策を実施してよいかかわからないから」が5.5ポイント、「特に理由はない」が8.5ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワードは他人が推測しにくい(氏名や誕生日などの情報を用いない)内容を設定している』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(41.6%)である。次いで「特に理由はない」(27.3%)、「これまで対策を実施していなくても特に問題が発生していないから」(14.3%)と続く。
- 年代別でみると、50代は「特に理由はない」が10.1ポイント全体に比べて高い。

【Q18】 対策を実施していない理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

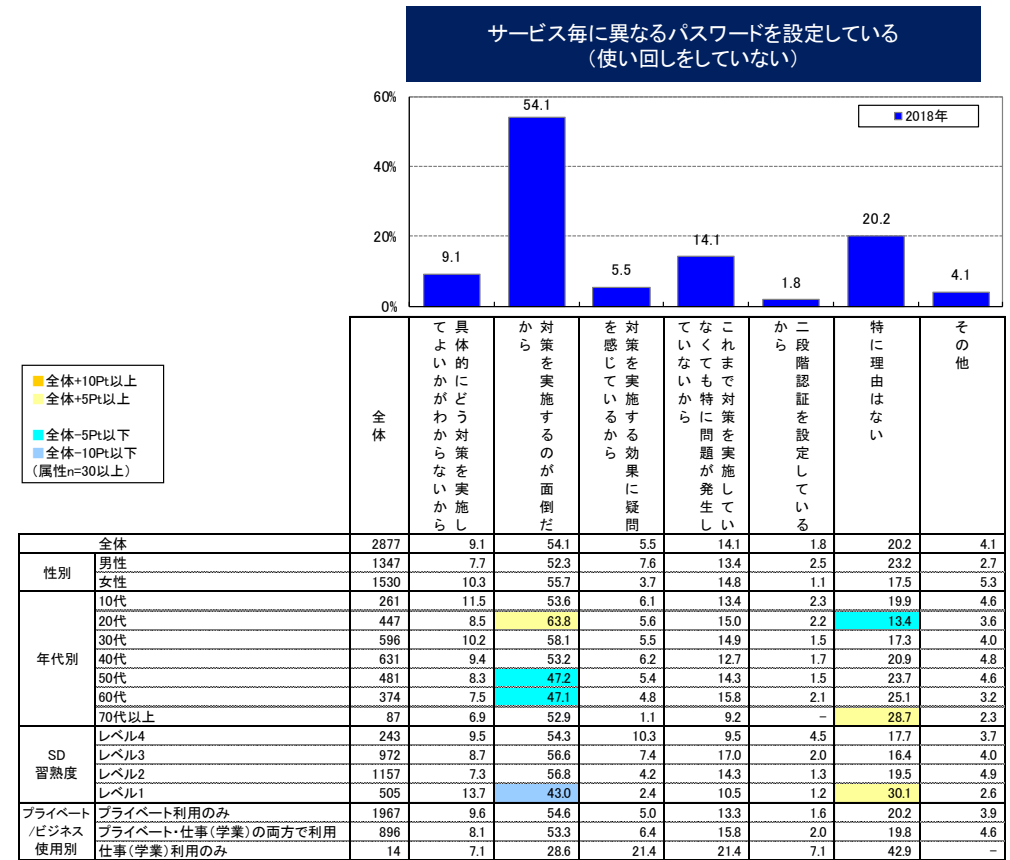
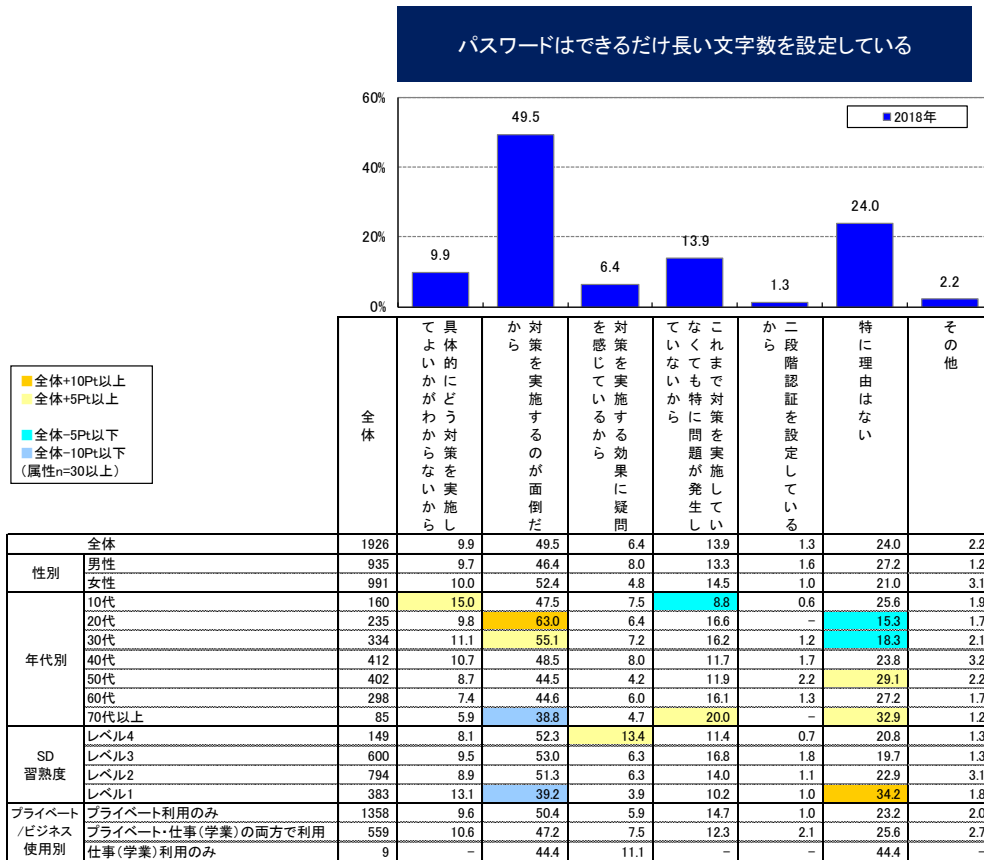


## 5-3-4.パスワード設定の非実施理由②

- 『パスワードはできるだけ長い文字数を設定している』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(49.5%)である。次いで「特に理由はない」(24.0%)、「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」(13.9%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「対策を実施するのが面倒だから」が13.5ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル1は「特に理由はない」が10.2ポイント全体に比べて高い。
- 『サービス毎に異なるパスワードを設定している(使い回しをしていない)』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(54.1%)である。次いで「特に理由はない」(20.2%)、「これまで対策を実施してなくても特に問題が発生していないから」(14.1%)と続く。
- 年代別で見ると、20代は「対策を実施するのが面倒だから」が9.7ポイント、70代以上は「特に理由はない」が8.5ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル1は「特に理由はない」が9.9ポイント全体に比べて高い。

【Q18】 対策を実施していない理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=対策非実施者(Q16)



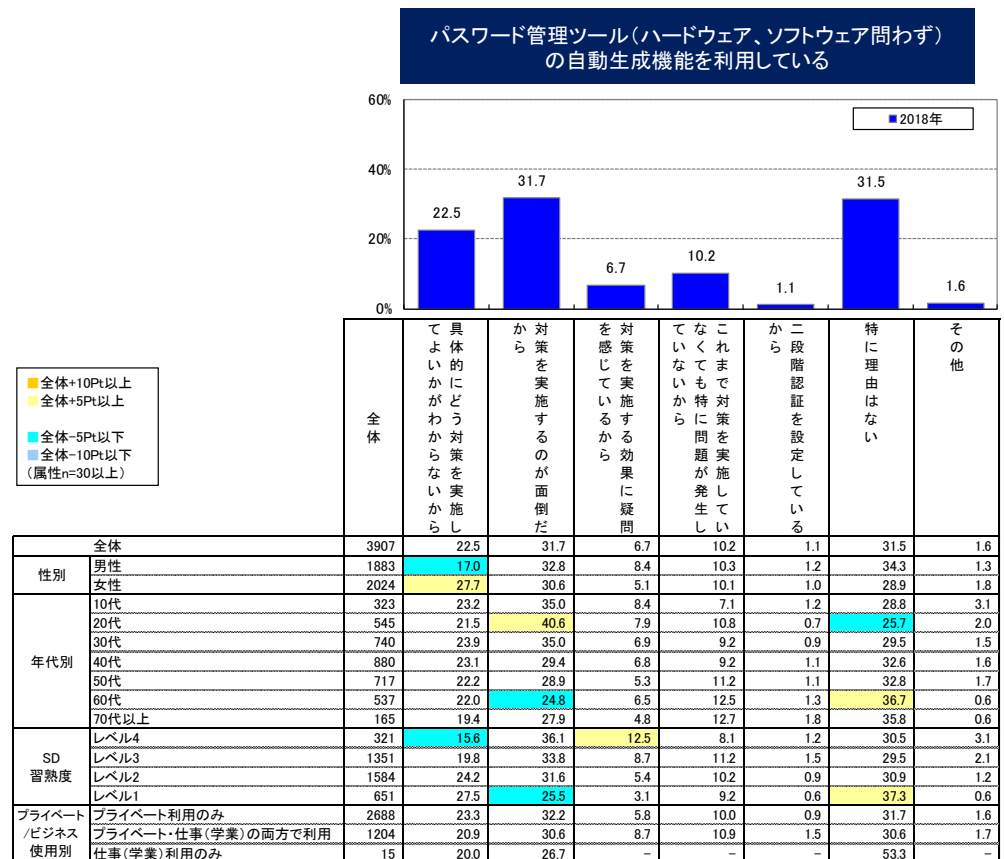
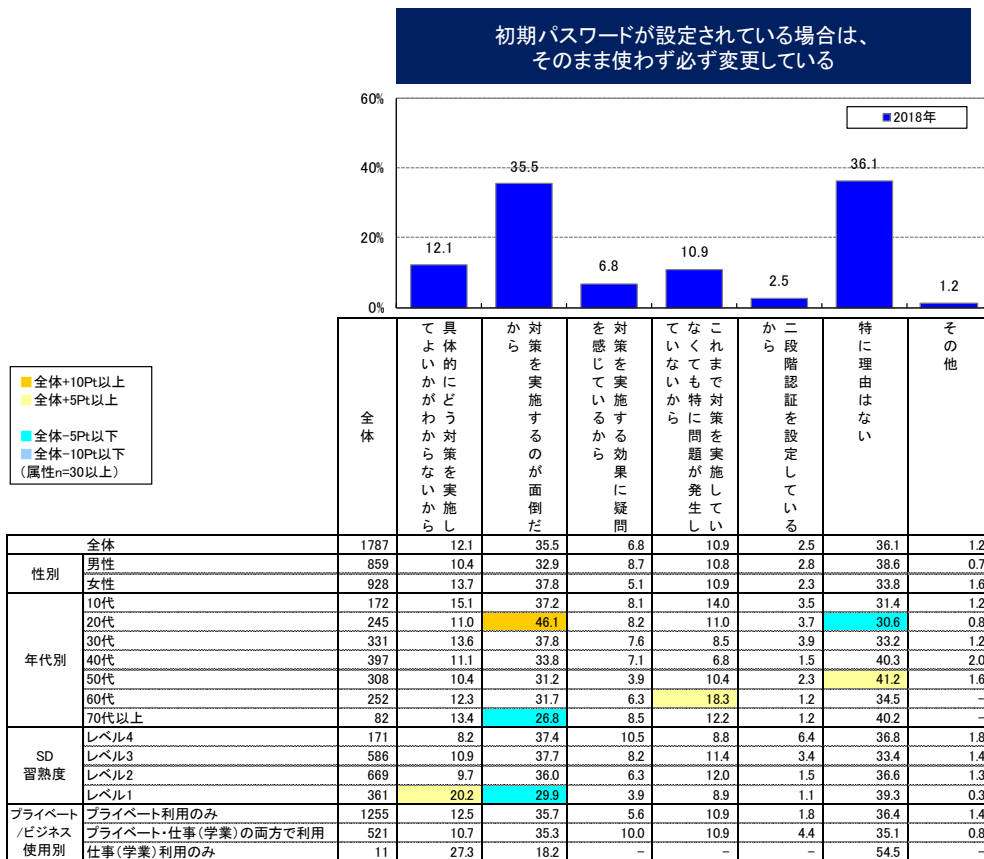
※今年度から追加した設問

### 5-3-4.パスワード設定の非実施理由③

- 『初期パスワードが設定されている場合は、そのまま使わず必ず変更している』を実施していない理由について最も高いのは、「特に理由はない」(36.1%)である。次いで「対策を実施するのが面倒だから」(35.5%)、「具体的にどう対策を実施してよいかかわからないから」(12.1%)と続く。
- 年代別でみると、20代は「対策を実施するのが面倒だから」が10.6ポイント全体に比べて高い。
- 『パスワード管理ツール(ハードウェア、ソフトウェア問わず)の自動生成機能を利用している』を実施していない理由について最も高いのは、「対策を実施するのが面倒だから」(31.7%)である。次いで「特に理由はない」(31.5%)、「具体的にどう対策を実施してよいかかわからないから」(22.5%)と続く。
- 性別でみると、女性は「具体的にどう対策を実施してよいかかわからないから」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- 年代別でみると、20代は「対策を実施するのが面倒だから」が8.9ポイント、60代は「特に理由はない」が5.2ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「対策を実施する効果に疑問を感じているから」が5.8ポイント、レベル1は「特に理由はない」が5.8ポイント全体に比べて高い。

【Q18】 対策を実施していない理由について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはそれぞれいくつでも)

n=対策非実施者(Q16)

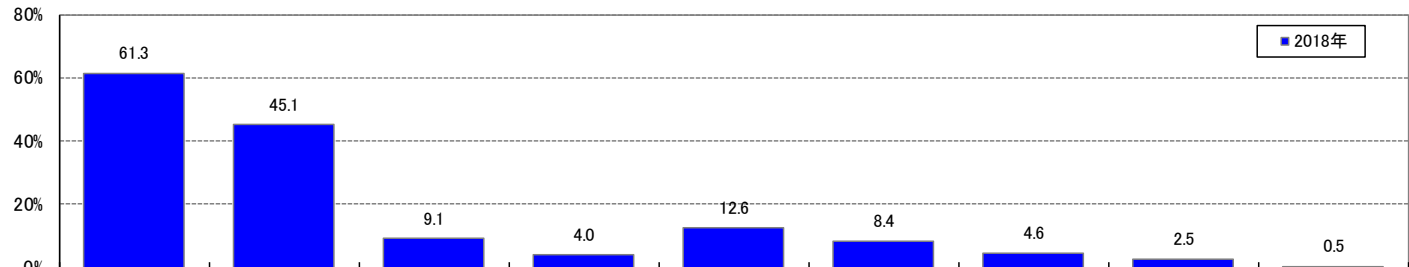


## 5-3-5.ID・パスワードの管理方法

- ID・パスワードの管理方法について最も高いのは、「自分で記憶している」(61.3%)である。次いで「手帳などの紙にメモをしている」(45.1%)、「ブラウザの保存機能を使っている」(12.6%)、「アカウント管理アプリを使っている」(9.1%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「手帳などの紙にメモをしている」が5.4ポイント全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、「手帳などの紙にメモをしている」が60代は19.5ポイント、70代以上は25.7ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「アカウント管理アプリを使っている」が11.1ポイント全体に比べて高い。

【Q19】 インターネット上のサービス、及び電子メールのアカウント(IDやパスワード)の管理方法について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=現在所有、管理しているアカウントがある方(Q15)



■ 全体+10Pt以上
■ 全体+5Pt以上
■ 全体-5Pt以下
■ 全体-10Pt以下 (属性n=30以上)

	全体	自分で記憶している	手帳などの紙にメモをしている	アカウント管理アプリを使っている	ネットワーク上のアカウント管理サービスを使っている	ブラウザの保存機能を使っている	電子ファイル(メモ帳や表計算ソフト)に記録し管理している(ファイルにパスワードロックなどはしていない)	電子ファイル(メモ帳や表計算ソフト)に記録し管理している(ファイルにパスワードロックなどをしている)	直接サービスを利用しない別の端末(パソコンや古いスマートフォンなど)に保存している	その他
全体	4762	61.3	45.1	9.1	4.0	12.6	8.4	4.6	2.5	0.5
性別										
男性	2346	61.4	39.6	12.0	4.9	13.7	10.1	5.8	2.9	0.3
女性	2416	61.3	50.5	6.3	3.1	11.6	6.7	3.4	2.2	0.6
年代別										
10代	409	68.7	29.8	10.3	4.4	15.4	6.8	5.6	1.7	1.0
20代	669	69.8	32.0	13.0	7.0	15.4	10.8	4.6	2.2	0.4
30代	905	68.3	37.3	10.9	4.3	13.1	10.2	3.0	2.4	0.3
40代	1075	66.4	43.6	8.6	3.6	13.0	6.1	4.2	2.4	0.6
50代	880	54.7	52.4	6.7	3.1	10.9	8.3	5.5	2.8	0.5
60代	632	44.9	64.6	5.7	2.1	9.8	8.1	4.7	2.4	-
70代以上	192	39.6	70.8	8.9	3.6	9.4	8.9	7.8	5.7	1.0
SD習熟度										
レベル4	484	65.3	30.8	20.2	8.9	17.6	11.4	10.1	3.9	0.6
レベル3	1676	64.8	39.3	12.0	5.0	14.9	10.4	5.0	2.6	0.6
レベル2	1842	60.0	50.8	5.9	2.3	10.9	7.3	3.6	2.2	0.3
レベル1	760	54.5	53.3	3.3	2.8	8.7	4.6	2.6	2.5	0.4
プライベート/ビジネス使用別										
プライベート利用のみ	3215	60.5	46.8	7.9	3.4	11.4	8.0	4.2	2.1	0.4
プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1524	63.3	41.4	11.5	5.3	15.5	9.3	5.4	3.3	0.5
仕事(学業)利用のみ	23	56.5	47.8	17.4	-	-	4.3	4.3	8.7	-

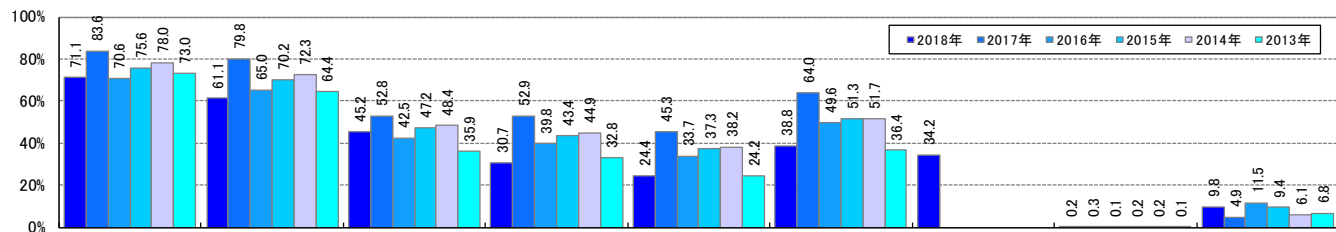
※今年度から追加した設問



## 5-4.セキュリティ対策の実施状況 5-4-1.スマートデバイス利用時の不安

- スマートデバイス利用時の不安について最も高いのは、「データ(メールアドレスなどの個人情報)が盗難・漏えいすること」(71.1%)である。次いで「第三者に不正利用されること(自動発信、有料サービス利用、データ送信など)」(61.1%)、「スマートデバイス本体の紛失や盗難」(45.2%)、「ワンクリック請求で詐欺に遭うこと」(38.8%)と続く。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「不安に感じるものはない」が20.5ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「ワンクリック請求で詐欺に遭うこと」「位置情報を取得され、行動履歴が漏えいすること」「スマートデバイスの使用履歴(アプリ使用履歴や通話履歴)が漏えいすること」が20ポイント以上大きく減少。また、「第三者に不正利用されること(自動発信、有料サービス利用、データ送信など)」「データ(メールアドレスなどの個人情報)が盗難・漏えいすること」が10ポイント以上減少している。

【Q20】 スマートデバイスを利用する上で、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



■ 全体+10Pt以上  
■ 全体+5Pt以上  
■ 全体-5Pt以下  
■ 全体-10Pt以下 (属性n=30以上)

	全体	データ(メールアドレスなどの個人情報)が盗難・漏えいすること	第三者に不正利用されること(自動発信、有料サービス利用、データ送信など)	スマートデバイス本体の紛失や盗難	位置情報を取得され、行動履歴が漏えいすること	スマートデバイスの使用履歴(アプリ使用履歴や通話履歴)が漏えいすること	ワンクリック請求で詐欺に遭うこと	不正アプリをインストールすることで被害(不正な情報送信やデバイス制御など)に遭うこと	その他	不安に感じるものはない
全体	5000	71.1	61.1	45.2	30.7	24.4	38.8	34.2	0.2	9.8
性別										
男性	2437	66.4	56.9	46.0	28.3	22.6	34.5	30.9	0.1	11.2
女性	2563	75.6	65.2	44.4	33.1	26.1	42.9	37.2	0.4	8.5
年代別										
10代	431	74.5	56.1	46.4	39.4	28.1	39.4	32.5	-	11.6
20代	712	71.9	60.3	47.5	36.4	27.7	35.4	31.5	-	11.9
30代	949	73.4	62.0	48.2	32.7	26.6	36.8	33.3	0.3	9.3
40代	1127	70.8	61.0	49.5	30.9	25.9	37.9	33.3	0.4	9.8
50代	915	72.7	60.9	43.6	27.5	21.0	40.9	36.8	0.1	8.9
60代	660	65.0	63.0	36.7	23.8	19.7	43.3	35.5	0.2	9.4
70代以上	206	65.0	67.0	32.0	19.9	16.5	39.3	39.8	0.5	6.8
SD習熟度										
レベル4	499	65.1	54.5	51.1	35.9	26.3	29.3	29.9	0.2	11.4
レベル3	1716	71.9	61.5	50.6	32.9	26.6	38.5	33.9	0.2	8.3
レベル2	1918	75.1	65.7	45.4	30.7	24.7	42.5	37.8	0.2	8.0
レベル1	867	64.4	54.0	30.8	23.6	18.1	36.7	29.1	0.2	15.8
プライベート/ビジネス使用別										
プライベート利用のみ	3396	70.6	60.8	42.4	28.3	22.8	37.8	33.5	0.3	10.4
プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	72.7	62.4	51.6	36.4	27.7	41.4	36.0	0.1	8.1
仕事(学業)利用のみ	33	48.5	33.3	27.3	9.1	24.2	12.1	15.2	-	30.3
時系列										
2017年	5000	83.6	79.8	52.8	52.9	45.3	64.0	-	0.3	4.9
2016年	5000	70.6	65.0	42.5	39.8	33.7	49.6	-	0.1	11.5
2015年	5000	75.6	70.2	47.2	43.4	37.3	51.3	-	0.2	9.4
2014年	5000	78.0	72.3	48.4	44.9	38.2	51.7	-	0.2	6.1
2013年	2066	73.0	64.4	35.9	32.8	24.2	36.4	-	0.1	6.8

※「データ(メールアドレスなどの個人情報)が盗難・漏えいすること」→2017年度以前は「データ(メールアドレス等の個人情報)が盗難・漏えいすること」

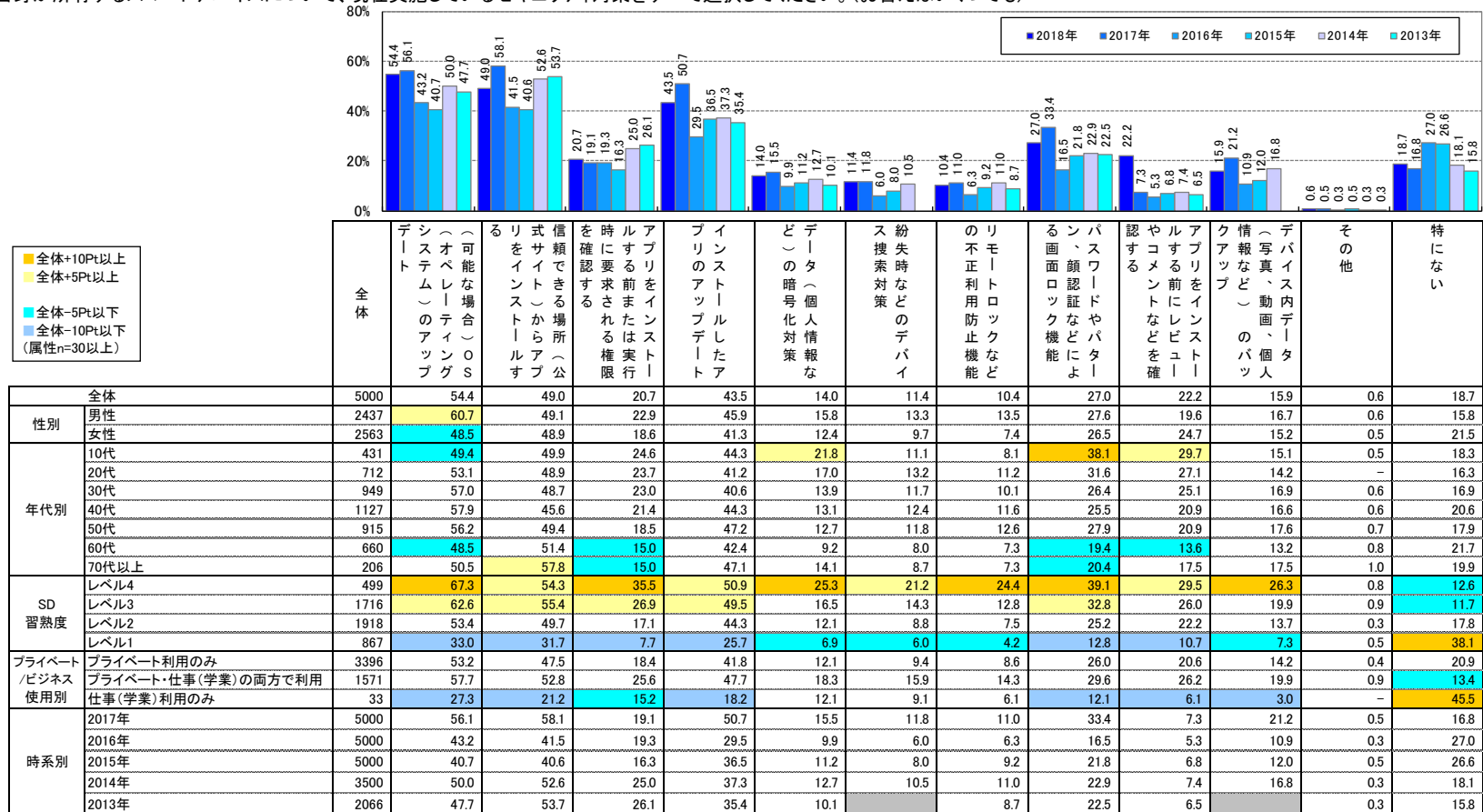
※「スマートデバイス本体の紛失や盗難」→2017年度以前は「スマートデバイス本体が紛失、盗難すること」

※「不正アプリをインストールすることで被害(不正な情報送信やデバイス制御など)に遭うこと」は今回から追加した設問

## 5-4-2.スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況

- スマートデバイスのセキュリティ対策の実施状況について最も高いのは、「(可能な場合)OS(オペレーティングシステム)のアップデート」(54.4%)である。次いで「信頼できる場所(公式サイト)からアプリをインストールする」(49.0%)、「インストールしたアプリのアップデート」(43.5%)、「パスワードやパターン、顔認証などによる画面ロック機能」(27.0%)と続く。
- 性別でみると、男性は「(可能な場合)OS(オペレーティングシステム)のアップデート」が6.3ポイント全体に比べて高い。
- 年代別でみると、10代は「パスワードやパターン、顔認証などによる画面ロック機能」が11.1ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は多数の項目が10ポイント以上全体に比べて高く、レベル1は「特になし」が19.4ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「特になし」が26.8ポイント全体に比べて高い。
- 前年(2017年)と比較すると、「アプリをインストールする前にレビューやコメントなどを確認する」が14.9ポイント増加している。一方、「信頼できる場所(公式サイト)からアプリをインストールする」が9.1ポイント、「インストールしたアプリのアップデート」が7.2ポイント、「パスワードやパターン、顔認証などによる画面ロック機能」が6.4ポイント、「デバイス内データ(写真、動画、個人情報など)のバックアップ」が5.3ポイント減少している。

【Q21】あなた自身が所有するスマートデバイスについて、現在実施しているセキュリティ対策をすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



■ 全体+10Pt以上  
■ 全体+5Pt以上  
■ 全体-5Pt以下  
■ 全体-10Pt以下  
 (属性n=30以上)

属性	全体	OS(可能な場合)のアップデート	信頼できる場所(公式サイト)からアプリをインストールする	インストールしたアプリのアップデート	パスワードやパターン、顔認証などによる画面ロック機能	アプリをインストールする前にレビューやコメントなどを確認する	デバイス内データ(写真、動画、個人情報など)のバックアップ	その他	特になし
全体	5000	54.4	49.0	20.7	43.5	14.0	5.3	0.6	18.7
性別									
男性	2437	60.7	49.1	22.9	45.9	15.8	13.3	13.5	16.7
女性	2563	48.5	48.9	18.6	41.3	12.4	9.7	7.4	24.7
年代別									
10代	431	49.4	49.9	24.6	44.3	21.8	11.1	8.1	38.1
20代	712	53.1	48.9	23.7	41.2	17.0	13.2	11.2	27.1
30代	949	57.0	48.7	23.0	40.6	13.9	11.7	10.1	26.4
40代	1127	57.9	45.6	21.4	44.3	13.1	12.4	11.6	25.5
50代	915	56.2	49.4	18.5	47.2	12.7	11.8	12.6	27.9
60代	660	48.5	51.4	15.0	42.4	9.2	8.0	7.3	19.4
70代以上	206	50.5	57.8	14.1	47.1	14.1	8.7	7.3	20.4
SD習熟度									
レベル4	499	67.3	54.3	35.5	50.9	25.3	21.2	24.4	39.1
レベル3	1716	62.6	55.4	26.9	49.5	16.5	14.3	12.8	32.8
レベル2	1918	53.4	49.7	17.1	44.3	12.1	8.8	7.5	25.2
レベル1	867	33.0	31.7	7.7	25.7	6.9	6.0	4.2	12.8
プライベート/ビジネス使用別									
プライベート利用のみ	3396	53.2	47.5	18.4	41.8	12.1	9.4	8.6	26.0
プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	57.7	52.8	25.6	47.7	18.3	15.9	14.3	29.6
仕事(学業)利用のみ	33	27.3	21.2	15.2	18.2	12.1	9.1	6.1	12.1
時系列									
2017年	5000	56.1	58.1	19.1	50.7	15.5	11.8	11.0	33.4
2016年	5000	43.2	41.5	19.3	29.5	9.9	6.0	6.3	16.5
2015年	5000	40.7	40.6	16.3	36.5	11.2	8.0	9.2	21.8
2014年	3500	50.0	52.6	25.0	37.3	12.7	10.5	11.0	22.9
2013年	2066	47.7	53.7	26.1	35.4	10.1	8.7	22.5	6.5

※「アプリをインストールする前または実行時に要求される権限を確認する」→2017年度以前は「アプリをインストールする前にアクセス許可を確認する(Androidのみ)」  
 ※「データ(個人情報など)の暗号化対策」→2017年度以前は「データ(個人情報等)の暗号化対策」  
 ※「紛失時などのデバイス検索対策」→2017年度以前は「紛失時等のデバイス検索対策」  
 ※「リモートロックなどの不正利用防止機能」→2017年度以前は「リモートロック等の不正利用防止機能」  
 ※「アプリをインストールする前にレビューやコメントなどを確認する」→2017年度以前は「アプリをインストールする前に独自にセキュリティチェックなどを行っているサイト(アンドロイダー、等)や評価を確認する」  
 ※「デバイス内データ(写真、動画、個人情報など)のバックアップ」→2017年度以前は「デバイス内データ(写真、動画、個人情報、等)のバックアップ」

### 5-4-3.スマートデバイス利用に関する問題意識①

- スマートデバイス利用に関する問題意識について、「問題がある(計)」が最も高いのは、「ウイルスに感染している」などの警告画面から誘導されたアプリをインストールした(75.4%)である。次いで「不正ログインされた」などのパスワード変更を推奨するメールの案内に従ってID、パスワードを入力した(71.8%)、「画面ロックのPINを誕生日にしている(67.5%)、「公式マーケット以外から入手したアプリをインストールした(60.4%)と続く。

【Q22】 以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)



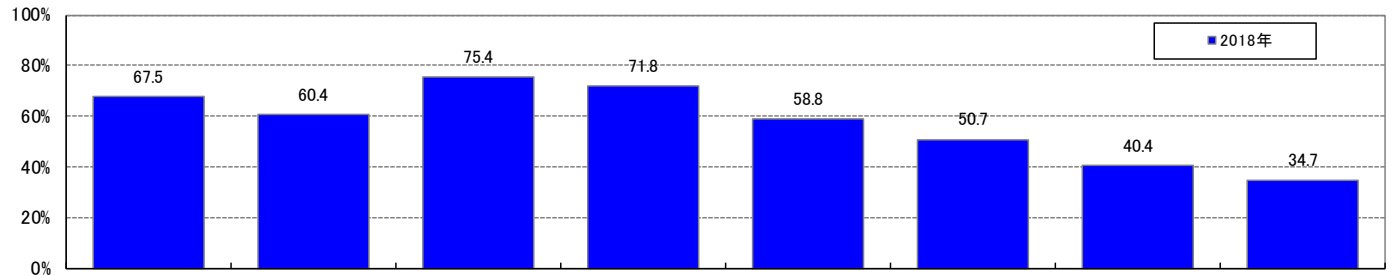
※今年度から追加した設問

## 5-4-3.スマートデバイス利用に関する問題意識②

- スマートデバイス利用に関する問題意識について最も高いのは、「ウイルスに感染している」などの警告画面から誘導されたアプリをインストールした(75.4%)である。次いで「不正ログインされた」などのパスワード変更を推奨するメールの案内に従ってID、パスワードを入力した(71.8%)、「画面ロックのPINを誕生日にしている」(67.5%)、「公式マーケット以外から入手したアプリをインストールした」(60.4%)と続く。
- 年代別でみると、60代は「現在のOSのバージョンを把握していない」が5.4ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度でみると、レベル4は「現在のOSのバージョンを把握していない」が7.9ポイント、レベル3は「画面ロックのPINを誕生日にしている」が6.7ポイント、「公式マーケット以外から入手したアプリをインストールした」が6.8ポイント、「ウイルスに感染している」などの警告画面から誘導されたアプリをインストールした」が5.8ポイント、「公衆無線LAN(無料Wi-Fi)に接続してOSをアップデートした」が5.5ポイント全体に比べて高い。

【Q22】 以下の行為について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択してください。(お答えはそれぞれ1つずつ)

※値は「とても問題がある」「やや問題がある」の合計値



		全体	画面ロックのPINを誕生日にしている	公式マーケット以外から入手したアプリをインストールした	「ウイルスに感染している」などの警告画面から誘導されたアプリをインストールした	「不正ログインされた」などのパスワード変更を推奨するメールの案内に従ってID、パスワードを入力した	セキュリティアプリをインストールしていない	公衆無線LAN(無料Wi-Fi)に接続してOSをアップデートした	現在のOSのバージョンを把握していない	位置情報を利用(外部送信)するアプリをインストールしている
全体		5000	67.5	60.4	75.4	71.8	58.8	50.7	40.4	34.7
性別	男性	2437	67.8	61.1	75.5	72.9	61.3	53.6	44.5	35.5
	女性	2563	67.1	59.8	75.3	70.7	56.4	48.0	36.5	34.0
年代別	10代	431	60.3	57.1	73.8	63.6	53.4	46.9	35.5	35.5
	20代	712	67.0	59.0	76.0	69.0	52.1	48.7	35.8	36.2
	30代	949	70.0	59.4	76.9	71.5	59.2	48.5	35.9	33.8
	40代	1127	71.4	62.4	76.7	74.4	61.8	52.7	42.4	33.6
	50代	915	67.5	60.9	74.4	73.6	61.2	52.1	44.3	36.1
	60代	660	64.2	62.4	74.1	73.2	61.7	53.5	45.8	35.2
	70代以上	206	61.2	58.3	71.4	73.3	54.9	50.0	42.2	30.6
SD習熟度	レベル4	499	69.3	57.9	74.3	70.1	56.5	52.7	48.3	36.9
	レベル3	1716	74.2	67.2	81.2	76.3	63.4	56.2	45.3	38.1
	レベル2	1918	68.4	62.4	77.2	74.3	61.3	51.0	39.3	33.6
	レベル1	867	51.0	44.2	60.7	58.2	45.3	38.1	28.7	29.3
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	66.5	59.7	74.1	71.2	57.7	50.1	39.0	34.0
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	70.0	62.6	78.7	73.7	61.4	52.3	43.5	36.4
	仕事(学業)利用のみ	33	45.5	30.3	45.5	42.4	45.5	42.4	36.4	33.3

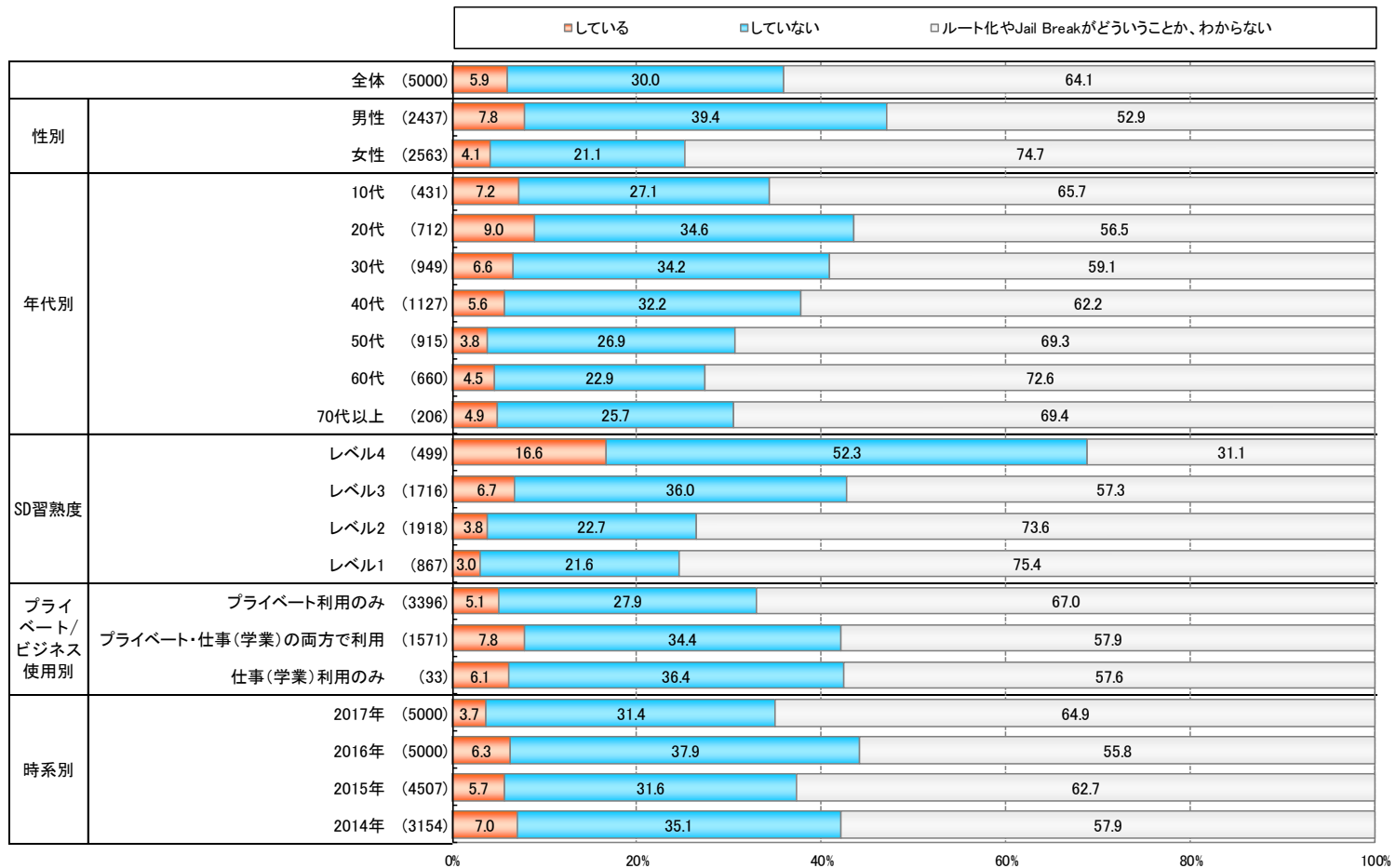
※今年度から追加した設問

# 5-5.スマートデバイスの利用状況

## 5-5-1.ルート化やJailBreakの設定経験

- ルート化やJailBreakの設定経験について最も高いのは、「ルート化やJailBreakがどういうことか、わからない」(64.1%)である。次いで「していない」(30.0%)、「している」(5.9%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「ルート化やJailBreakがどういうことか、わからない」が10.6ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「している」が10.7ポイント、「していない」が22.3ポイント、レベル1は「ルート化やJailBreakがどういうことか、わからない」が11.3ポイント全体に比べて高い。

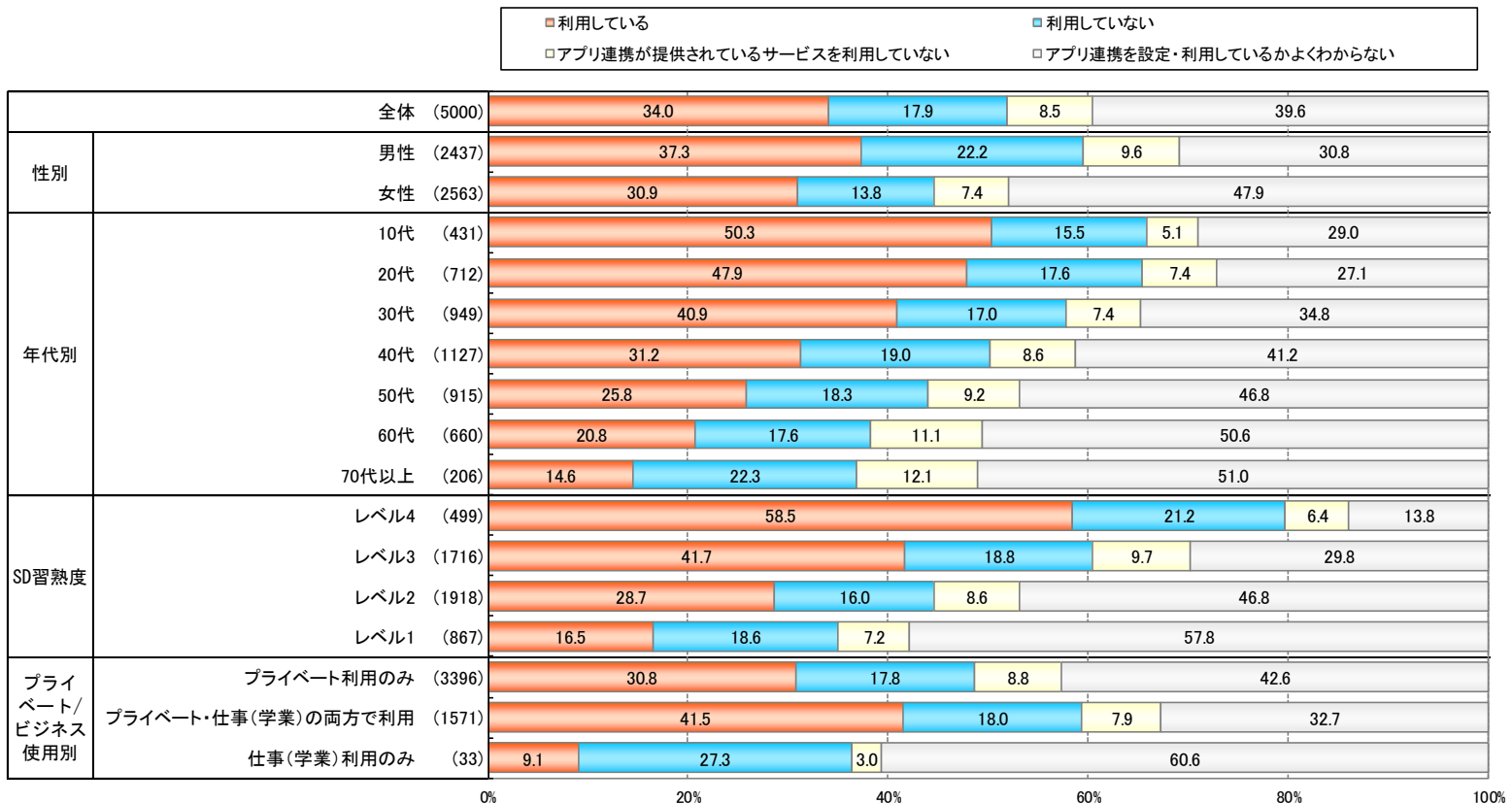
【Q23】 スマートデバイスに対して、Androidならばルート化、iOSならばJailBreakをしていますか。(お答えは1つ)



## 5-5-2.アプリ連携の設定・利用状況

- アプリ連携の設定・利用状況について最も高いのは、「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」(39.6%)である。次いで「利用している」(34.0%)、「利用していない」(17.9%)、「アプリ連携が提供されているサービスを利用していない」(8.5%)と続く。
- 性別で見ると、女性は「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」が8.3ポイント全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、「利用している」が10代は16.3ポイント、20代は13.9ポイント、「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」が60代は11ポイント、70代以上は11.4ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「利用している」が24.5ポイント、レベル1は「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」が18.2ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別で見ると、仕事(学業)利用のみは「アプリ連携を設定・利用しているかよくわからない」が21ポイント全体に比べて高い。

【Q24】 アプリ連携の設定・利用状況について、あてはまるものを選択してください。



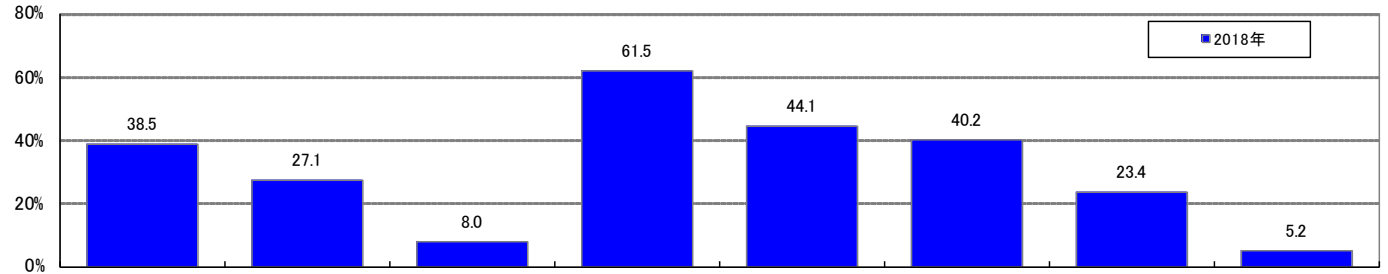
※今年度から追加した設問

### 5-5-3.プライベート目的でスマートデバイスを利用する場所・シーン

- プライベート目的でスマートデバイスを利用する場所・シーンについて最も高いのは、「ベッド・布団(就寝前)」(61.5%)である。次いで「電車・バス」(44.1%)、「会社・学校(勤務・授業時間以外)」(40.2%)、「食事中(自宅)」(38.5%)と続く。
- 性別で見ると、男性は「トイレ」が5.6ポイント、「会社・学校(勤務・授業時間以外)」が9.2ポイント全体に比べて高い。
- 年代別で見ると、「会社・学校(勤務・授業時間以外)」が10代は12.6ポイント、20代は10.6ポイント、「トイレ」が20代は15.4ポイント、30代は10.4ポイント、10代は「電車・バス」が17.5ポイント、20代は「食事中(自宅)」が12.1ポイント、「ベッド・布団(就寝前)」が13.2ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「トイレ」が12.5ポイント、「電車・バス」が11.1ポイント、「会社・学校(勤務・授業時間以外)」が10.1ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別で見ると、プライベート・仕事(学業)の両方で利用は「会社・学校(勤務・授業時間以外)」が19.9ポイント全体に比べて高い。

【Q25】 プライベート目的でスマートデバイスを日常的に利用している場所やシーンについて、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

n=プライベート目的でスマートデバイス利用者(Q2)

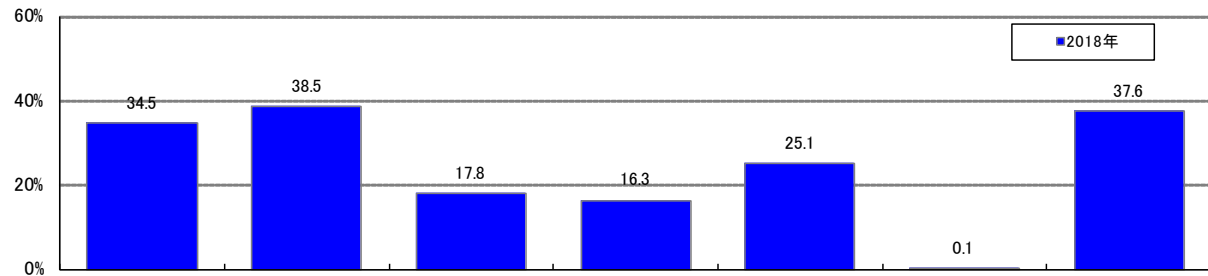


		全体	食事中(自宅)	トイレ	入浴中	ベッド・布団(就寝前)	電車・バス	会社・学校(勤務・授業時間以外)	食事中(飲食店)	その他
全体		4967	38.5	27.1	8.0	61.5	44.1	40.2	23.4	5.2
性別	男性	2416	39.1	32.7	7.9	57.2	48.5	49.4	25.1	3.6
	女性	2551	37.9	21.7	8.0	65.7	40.0	31.5	21.8	6.6
年代別	10代	424	42.7	33.7	14.4	63.4	61.6	52.8	28.1	2.1
	20代	708	50.6	42.5	17.7	74.7	53.8	50.8	33.1	0.7
	30代	943	42.6	37.5	8.7	70.7	41.8	41.4	26.6	2.7
	40代	1124	35.3	24.9	6.8	63.3	42.0	43.1	23.4	3.7
	50代	906	29.8	17.4	4.1	53.9	41.9	39.2	18.0	6.4
	60代	656	35.8	13.6	1.7	45.1	35.2	24.2	15.4	11.4
	70代以上	206	33.5	9.7	1.5	46.6	35.4	11.7	15.0	20.4
SD習熟度	レベル4	495	48.5	39.6	16.4	64.6	55.2	50.3	32.5	1.4
	レベル3	1712	39.9	33.3	9.8	65.7	51.6	46.9	26.8	4.3
	レベル2	1906	35.9	23.7	6.0	62.1	41.1	37.8	22.0	6.0
	レベル1	854	35.7	15.0	3.6	50.4	29.5	26.1	14.3	7.1
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	38.1	23.5	6.7	60.7	40.4	31.0	21.0	6.2
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	39.3	34.9	10.8	63.3	52.3	60.1	28.6	2.9
	仕事(学業)利用のみ	0	-	-	-	-	-	-	-	-

## 5-6.情報セキュリティに関する情報収集 5-6-1.過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報

- 過去1年間に知りたいと思ったセキュリティ情報について最も高いのは、「被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報」(38.5%)である。次いで「特にない」(37.6%)、「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」(34.5%)、「被害が起きたときの相談や届出に関する情報」(25.1%)と続く。
- SD習熟度でみると、レベル4は「最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報」が14ポイント、レベル1は「特にない」が15.3ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別でみると、仕事(学業)利用のみは「特にない」が29.1ポイント全体に比べて高い。

【Q26】 過去1年間に、あなたが知りたいと思ったセキュリティ情報はどのようなことでしたか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



		全体	最新のセキュリティ事象やセキュリティに関する被害の情報	被害を防ぐための予防策や被害が生じた場合の対応策などの具体的事例に関する情報	市販されているセキュリティサービス・製品に関する情報	ユーザの被害や対策実施などに関する体験談やレポートの情報	被害が起きたときの相談や届出に関する情報	その他	特にない
全体		5000	34.5	38.5	17.8	16.3	25.1	0.1	37.6
性別	男性	2437	37.4	37.4	20.6	16.1	22.9	0.2	35.4
	女性	2563	31.6	39.6	15.1	16.5	27.2	0.1	39.6
	年代別								
	10代	431	37.1	36.0	20.0	19.0	23.9	-	39.2
	20代	712	34.8	39.2	18.3	21.1	22.5	-	36.1
	30代	949	37.1	37.4	17.8	17.5	23.5	0.1	36.5
	40代	1127	34.4	37.4	18.1	15.6	24.2	0.1	40.3
	50代	915	31.3	41.0	17.0	14.3	27.9	0.1	36.8
	60代	660	32.9	38.2	16.2	12.9	28.0	0.3	36.7
	70代以上	206	35.0	43.7	18.0	12.1	27.7	0.5	35.4
SD習熟度	レベル4	499	48.5	41.5	23.4	22.2	20.8	0.2	28.3
	レベル3	1716	38.3	41.1	19.9	19.2	24.2	0.1	32.6
	レベル2	1918	32.7	40.8	17.2	15.5	27.9	0.2	37.5
	レベル1	867	22.7	26.9	11.6	8.9	23.2	-	52.9
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	32.3	36.5	15.6	14.9	23.9	0.1	40.3
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	39.3	43.5	22.7	19.5	28.0	0.1	31.1
	仕事(学業)利用のみ	33	24.2	12.1	9.1	6.1	12.1	-	66.7

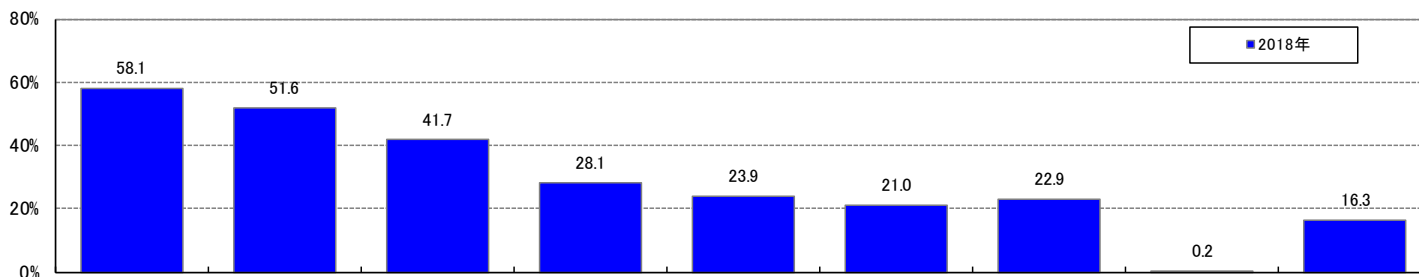
※今年度から追加した設問



## 5-6-2.セキュリティ情報を収集する際の問題点

- セキュリティ情報を収集する際の問題点について最も高いのは、「知らない用語が多い」(58.1%)である。次いで「内容が難しい」(51.6%)、「情報が多すぎる」(41.7%)、「自分から情報収集や勉強するのが面倒」(28.1%)と続く。
- 年代別で見ると、70代以上は「自分に関係がある情報なのかわからない」が10.1ポイント全体に比べて高い。
- SD習熟度で見ると、レベル4は「特に問題点は感じていない」が12.6ポイント全体に比べて高い。
- プライベート/ビジネス使用別で見ると、仕事(学業)利用のみは「特に問題点は感じていない」が29.2ポイント全体に比べて高い。

【Q27】 あなたは、セキュリティ情報を収集するにあたって、どのような問題点を感じていますか。あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)



		全体	知らない用語が多い	内容が難しい	情報が多すぎる	自分から情報収集や勉強するのが面倒	情報の更新が早すぎて追いつけない	情報がどこにあるかわからない	自分に関係がある情報なのかわからない	その他	特に問題点は感じていない
全体		5000	58.1	51.6	41.7	28.1	23.9	21.0	22.9	0.2	16.3
性別	男性	2437	47.9	43.9	40.7	24.2	22.0	18.1	18.2	0.2	20.6
	女性	2563	67.9	59.0	42.6	31.9	25.6	23.9	27.4	0.2	12.2
年代別	10代	431	52.7	46.6	43.6	28.3	20.9	17.6	14.6	-	20.0
	20代	712	55.5	52.8	46.9	31.0	28.7	20.5	21.1	-	15.7
	30代	949	59.6	53.8	46.8	30.3	25.0	22.2	21.7	0.2	15.9
	40代	1127	57.1	52.2	41.0	27.2	24.4	21.4	22.0	0.4	17.6
	50代	915	57.3	48.9	38.3	27.0	22.3	20.1	23.9	0.2	16.4
	60代	660	63.5	52.6	34.5	25.5	21.2	22.7	29.1	0.2	13.9
	70代以上	206	64.1	53.9	37.4	26.2	20.9	21.4	33.0	0.5	12.6
SD習熟度	レベル4	499	33.5	33.7	34.3	22.2	23.8	14.0	14.0	0.2	28.9
	レベル3	1716	52.5	47.4	44.0	28.0	23.6	18.7	18.5	0.3	15.8
	レベル2	1918	66.5	57.7	44.4	29.8	24.9	23.0	26.5	0.2	12.6
	レベル1	867	65.1	56.7	35.3	28.0	22.1	25.4	29.0	-	18.3
プライベート/ビジネス使用別	プライベート利用のみ	3396	58.4	52.0	39.8	27.1	22.6	20.8	23.7	0.2	16.4
	プライベート・仕事(学業)の両方で利用	1571	58.1	51.2	46.1	30.4	26.7	21.8	21.5	0.2	15.5
	仕事(学業)利用のみ	33	33.3	30.3	21.2	21.2	15.2	15.2	12.1	-	45.5

※今年度から追加した設問

## **6.Appendix : インターネット依存度について**

---

- 分析目的

- インターネットの依存度について、年代別の依存傾向、依存度によるサービスの利用状況、被害状況などについて分析する。

- 分析方法

- インターネット依存度テスト(IAT: Internet Addiction Test)<sup>(1)</sup>による評価
- インターネット依存度テスト

Q6

必須

あなたが最近インターネットを利用する中で、次のようなことはどの程度ありますか。それぞれについて、ひとつずつお選びください。

・20問の質問に対し、5件法式で回答

-20～39点 :L1 (平均的なオンラインユーザーである)

-40～69点 :L2 (インターネットによる問題があり、インターネットが生活に与える影響について考える必要がある。)

-70～100点:L3 (インターネットが生活に重大な問題をもたらしている。治療の必要がある。)

(1) 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター. ネット依存のスクリーニングテスト. [http://www.kurihama-med.jp/tiar/tiar\\_07.html](http://www.kurihama-med.jp/tiar/tiar_07.html), (参照2018-10-18).

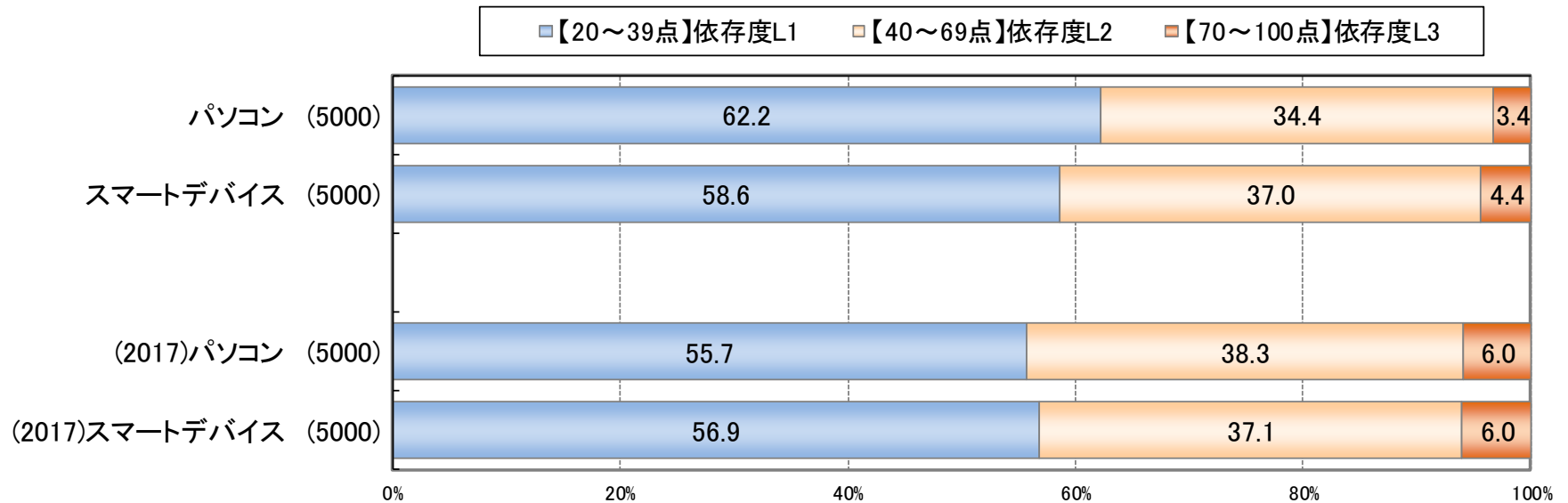
## インターネット依存度の分析結果概要

- 依存度が高い利用者は、インターネットの利用時間が長い傾向がみられる。
- 若年層(10代、20代)のインターネット依存度が高い。特にスマートデバイス利用者において、その傾向がみられる。
- インターネット依存度が高いパソコン利用者の傾向
  - 依存度L3では休日の「10時間以上」のインターネット利用が2割近くに達する。
  - 依存度が高いほど、利用しているサービス個数が多い。
  - 依存度レベルが高くなるほど「動画共有サイト」、「アダルトサイト」、「オンラインゲーム」、「SNS」、「動画配信サービス」、「掲示板」などのエンタメ関連のインターネットの利用が増える。
- インターネット依存度が高いスマートデバイス利用者の傾向
  - 依存度L3では休日の「5時間以上」のインターネット利用が4割を超える。
  - 依存度が高いほど、利用しているサービス個数が多い。
  - 依存度レベルが高くなるほど「動画共有サイト」、「懸賞サイト」、「アダルトサイト」、「オンラインゲーム」、「動画配信サービス」などのエンタメ関連のインターネット利用が増える。
  - 利用場所・シーンは、【依存度L3】が相対的にスコアが高い項目が多く、利用場所・シーンが多岐にわたる。また、【依存度L3】では2割が「入浴中」でも日常的に利用している。

# インターネット依存度の構成比

- スマートデバイス利用者の方が「依存度L2、L3」が若干多いものの、パソコン利用者とはほぼ同様な割合。
- 昨年に比べると、パソコン利用者の「依存度L1」が多い。

インターネット依存度の構成比



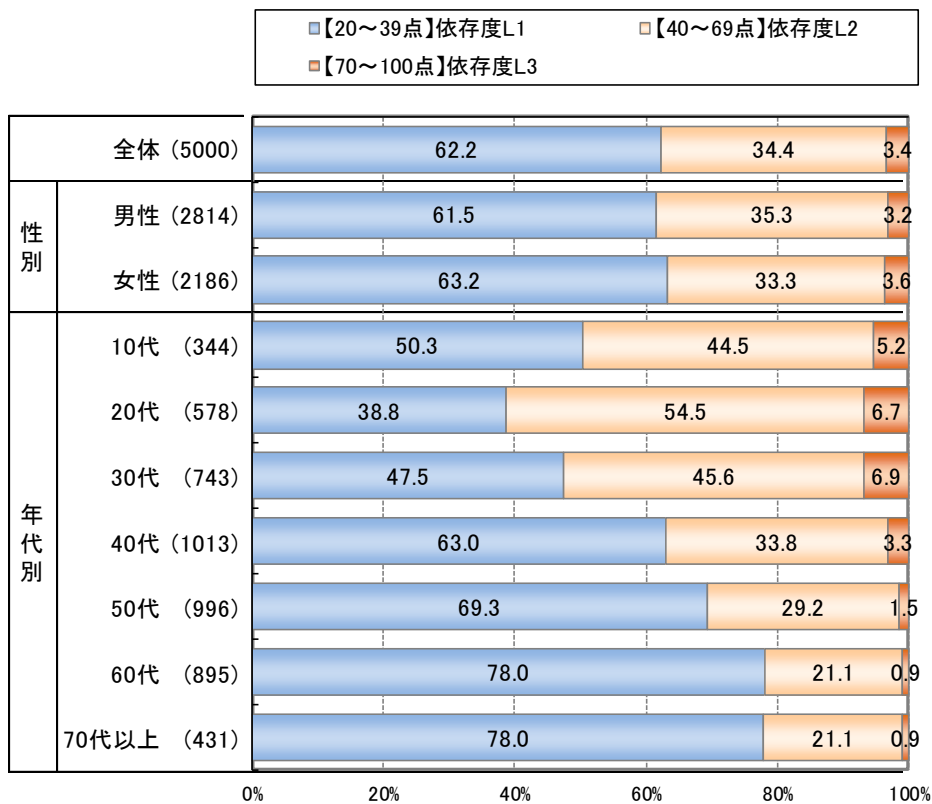
# 性別・年代別のインターネット依存度の構成比

- パソコン利用者では、昨年、今年ともに【20代】の6割超が生活に影響があるレベルの「依存度L2、L3」となっている。
- 年代が高くなるにつれて、「依存度L1」の構成比が高くなる。

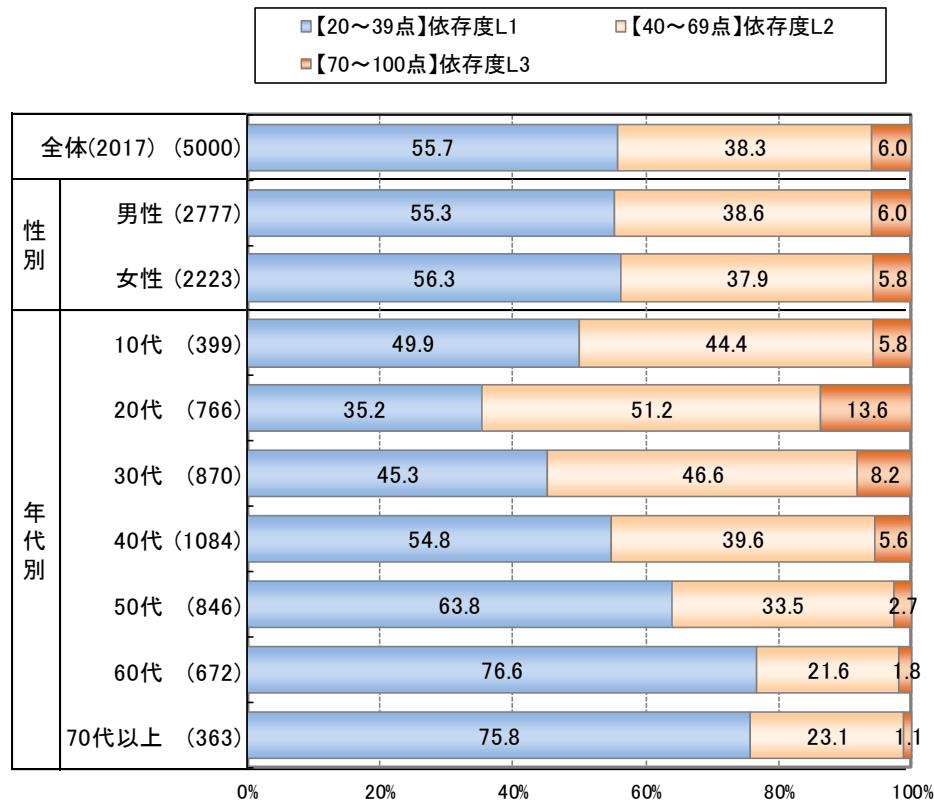
※10代は「依存度L1」の構成比が5割を占めている、これはパソコンでのインターネット利用自体が少ない可能性が考えられる。

インターネット依存度の構成比：性別、年代別

【パソコン利用者】



【パソコン利用者 (2017)】

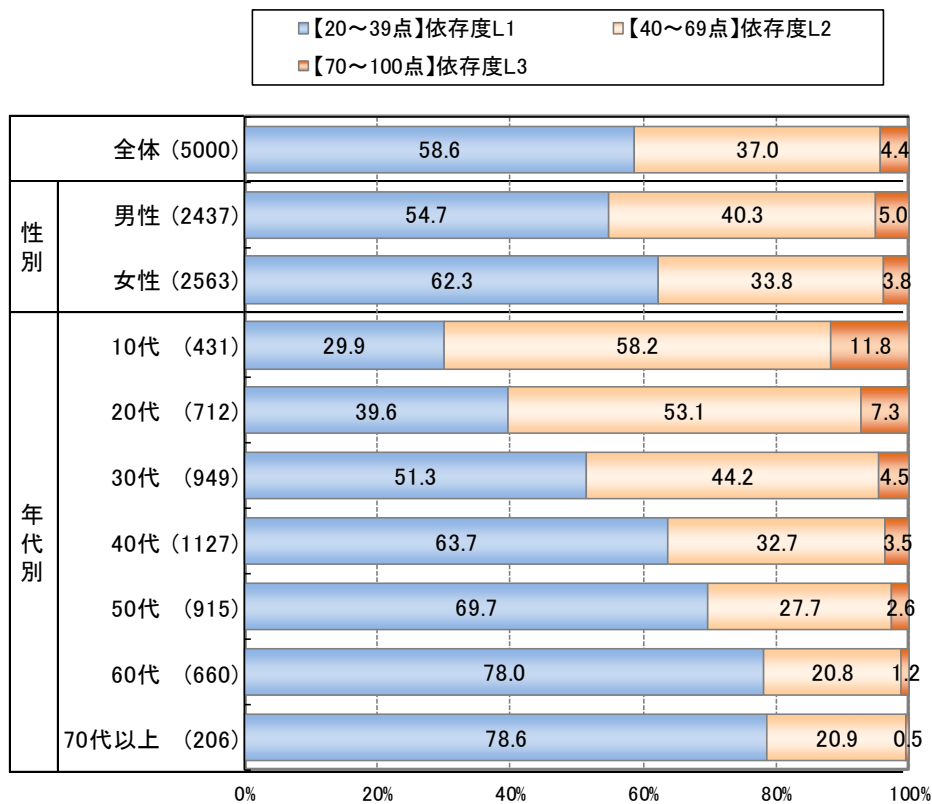


# 性別・年代別のインターネット依存度の構成比

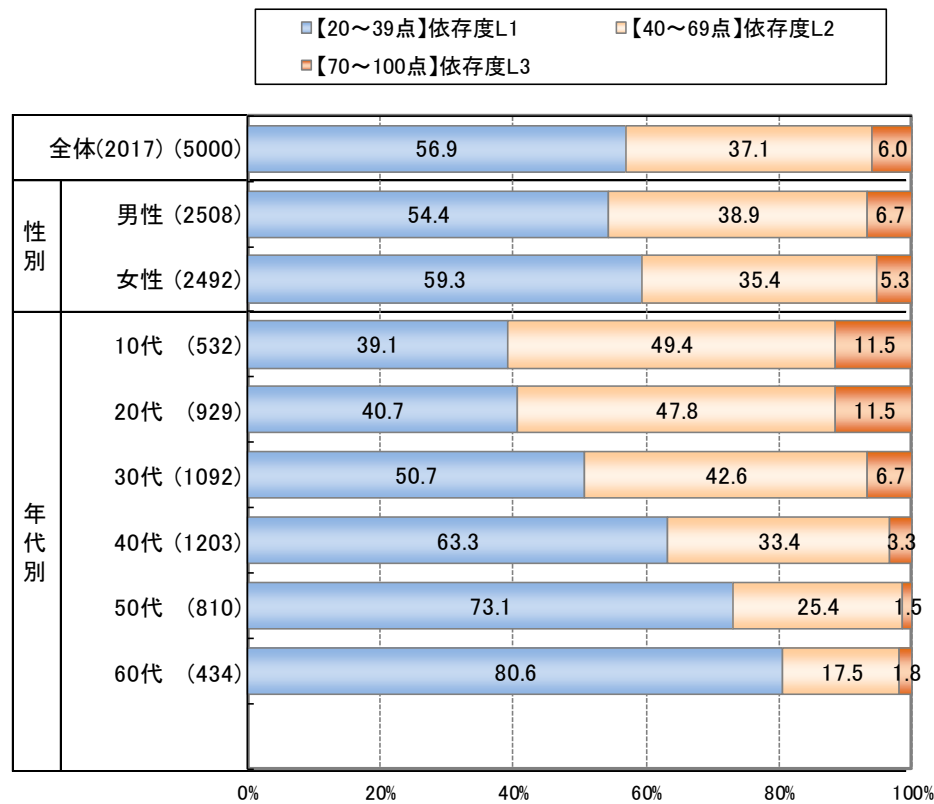
- スマートデバイス利用者では、今年【10代】の7割程度が生活に影響があるレベルの「依存度L2、L3」となっている。
- 性別では【男性】の依存度レベルが【女性】よりも高い。また、年代が高くなるにつれて、「依存度L1」の構成比が高くなる。

インターネット依存度の構成比：性別、年代別

【スマートデバイス利用者】



【スマートデバイス利用者 (2017)】







※2018年度調査より、「スマートデバイス利用者：70代以上」の回収を行う

# パソコン利用者の依存度に関する傾向

---

※数表内の網掛け

-  全体値より10ポイント以上高いもの
  -  全体値より5ポイント以上高いもの
  -  全体値より5ポイント以上低いもの
  -  全体値より10ポイント以上低いもの
- 但しn=30未満は除く。  
(以降のページも同様。)



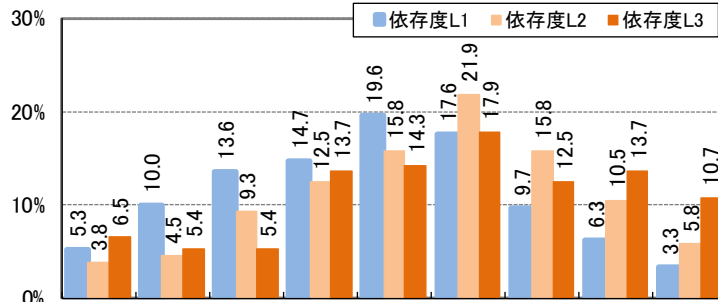
# パソコンでのインターネット利用時間

- 平日、休日ともに【依存度L1】では「30分未満～3時間未満」、【依存度L2】では「3時間～7時間未満」、【依存度L3】では「7時間以上」において、それぞれ他レベルに比べスコアが高い。
- 依存度レベルが高いほど、インターネットの利用時間も長くなっている。

【SC5】あなたは普段プライベートで、当該機器（インターネット）をどのくらい利用していますか。

「平日（仕事や学校等のある日）」と「休日（仕事や学校等のない日）」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。

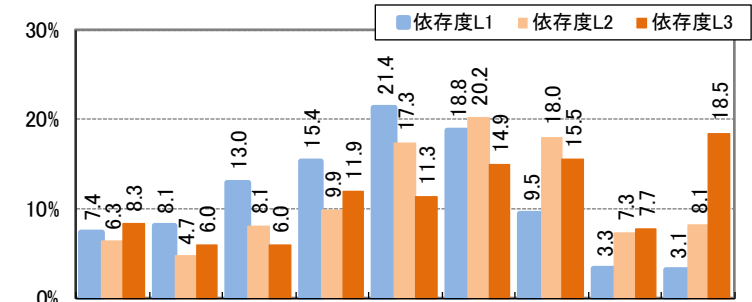
【平日のパソコン利用時間】



		全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上
依存度別	全体(2018)	5000	4.8	8.0	11.8	13.9	18.1	19.1	11.9	8.0	4.4
	依存度L1	3112	5.3	10.0	13.6	14.7	19.6	17.6	9.7	6.3	3.3
	依存度L2	1720	3.8	4.5	9.3	12.5	15.8	21.9	15.8	10.5	5.8
	依存度L3	168	6.5	5.4	5.4	13.7	14.3	17.9	12.5	13.7	10.7

依存度別	全体(2017)	5000	4.7	9.3	14.2	15.9	18.6	16.7	10.4	5.6	4.6
	依存度L1	2787	5.5	11.5	15.4	17.0	18.9	15.2	8.3	4.7	3.5
	依存度L2	1915	3.8	7.0	13.2	14.9	18.1	18.6	12.7	6.2	5.5
	依存度L3	298	3.4	3.4	10.1	11.7	18.1	18.8	15.1	10.4	9.1

【休日のパソコン利用時間】



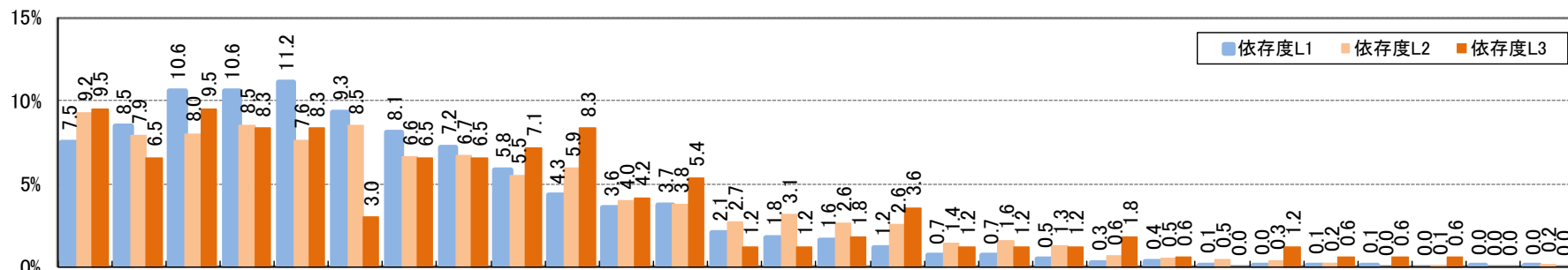
		全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上
依存度別	全体(2018)	5000	7.0	6.9	11.1	13.4	19.6	19.1	12.7	4.8	5.4
	依存度L1	3112	7.4	8.1	13.0	15.4	21.4	18.8	9.5	3.3	3.1
	依存度L2	1720	6.3	4.7	8.1	9.9	17.3	20.2	18.0	7.3	8.1
	依存度L3	168	8.3	6.0	6.0	11.9	11.3	14.9	15.5	7.7	18.5

依存度別	全体(2017)	5000	6.7	7.4	12.5	14.8	18.7	19.0	10.5	4.9	5.6
	依存度L1	2787	7.4	9.2	14.5	16.6	19.6	18.0	7.8	3.3	3.7
	依存度L2	1915	5.8	5.1	10.2	12.7	18.0	20.7	13.7	6.4	7.2
	依存度L3	298	6.4	5.4	7.7	11.1	14.1	16.4	15.4	10.4	13.1

# パソコンでのサービスの利用個数

- 依存度別に利用サービスの個数をみると、【依存度L1】では「3～5個」がボリュームゾーン。
- 平均個数をみると、依存度レベルが高くなるほど、利用サービスの個数が多くなる。

【Q3】あなたがパソコンでインターネットを利用する際、どのようなウェブサイトやインターネットサービスを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。

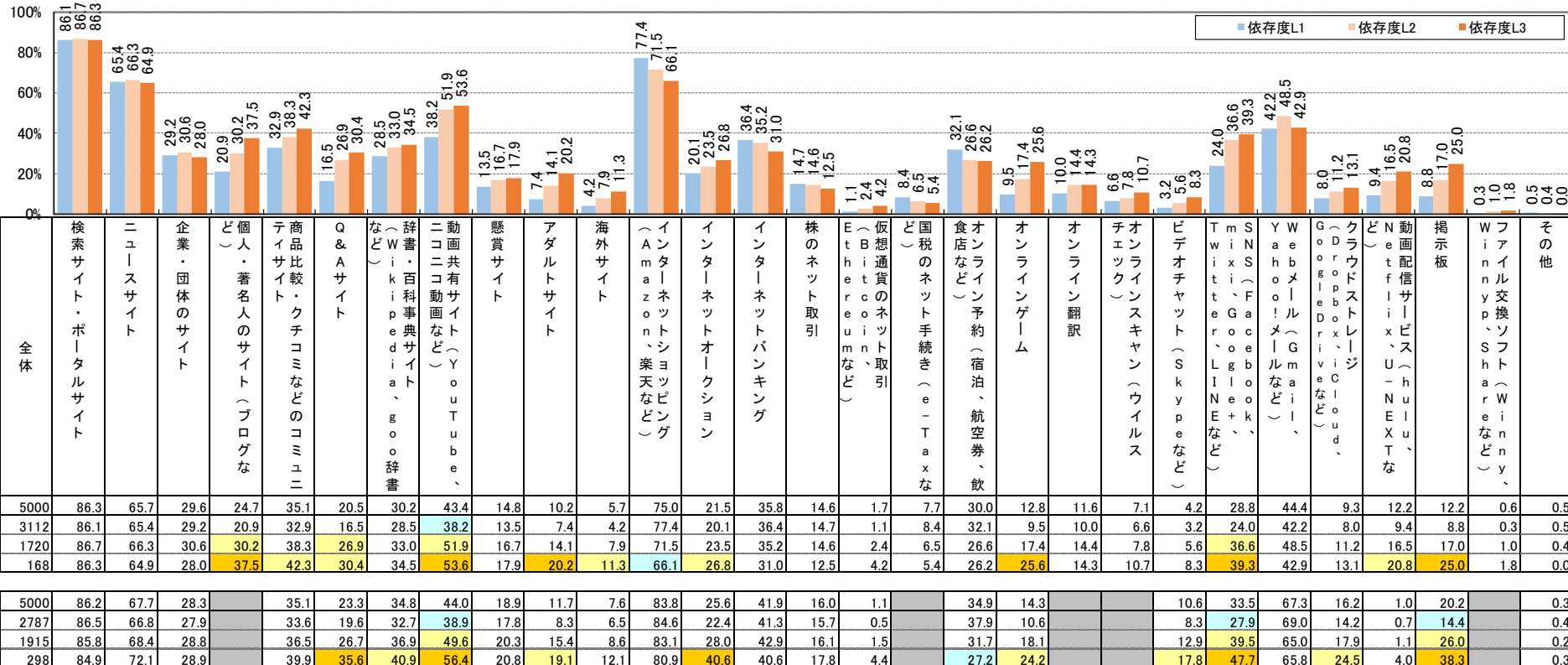


		全体	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	10個	11個	12個	13個	14個	15個	16個	17個	18個	19個	20個	21個	22個	23個	24個	25個	26個	27個	28個	29個	30個	平均(個)
依存度別	全体(2018)	5000	8.2	8.2	9.7	9.8	9.8	8.8	7.6	7.0	5.8	5.0	3.7	3.8	2.2	2.2	2.0	1.7	0.9	1.0	0.8	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	7.0	
	依存度L1	3112	7.5	8.5	10.6	10.6	11.2	9.3	8.1	7.2	5.8	4.3	3.6	3.7	2.1	1.8	1.6	1.2	0.7	0.7	0.5	0.3	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	
	依存度L2	1720	9.2	7.9	8.0	8.5	7.6	8.5	6.6	6.7	5.5	5.9	4.0	3.8	2.7	3.1	2.6	2.6	1.4	1.6	1.3	0.6	0.5	0.5	0.3	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	7.6
	依存度L3	168	9.5	6.5	9.5	8.3	8.3	3.0	6.5	6.5	7.1	8.3	4.2	5.4	1.2	1.2	1.8	3.6	1.2	1.2	1.2	1.8	0.6	0.0	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	8.0
依存度別	全体(2017)	5000	6.6	6.1	7.6	9.1	9.6	8.5	8.9	8.1	6.4	6.0	4.7	4.3	3.3	3.0	2.3	1.4	1.1	1.3	0.7	0.4	0.3	0.1	0.1	0.0	-	-	-	-	7.8		
	依存度L1	2787	6.1	6.5	8.0	10.1	10.7	9.1	9.7	8.1	6.7	5.6	4.5	4.0	3.3	2.6	1.7	0.9	0.8	0.7	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	7.5	
	依存度L2	1915	7.1	5.8	7.3	7.6	8.9	7.6	8.3	7.9	6.2	6.6	5.3	4.5	3.2	3.4	3.1	1.8	1.6	1.9	0.8	0.6	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	-	-	-	-	8.1	
	依存度L3	298	8.4	4.7	5.7	9.1	3.0	8.1	6.4	9.7	5.4	6.4	3.0	6.0	3.4	4.7	3.0	3.4	1.3	2.3	3.0	1.0	0.7	0.3	1.0	0.0	-	-	-	-	9.0		

# パソコンでのインターネットの利用用途

- 依存度別に利用サービスをみると、依存度レベルが高くなるほど「動画共有サイト」、「アダルトサイト」、「オンラインゲーム」、「SNS」、「動画配信サービス」、「掲示板」などのエンタメ関連のインターネットの利用用途が増える傾向。(昨年もほぼ同傾向)

【Q3】あなたがパソコンでインターネットを利用する際、どのようなウェブサイトやインターネットサービスを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。



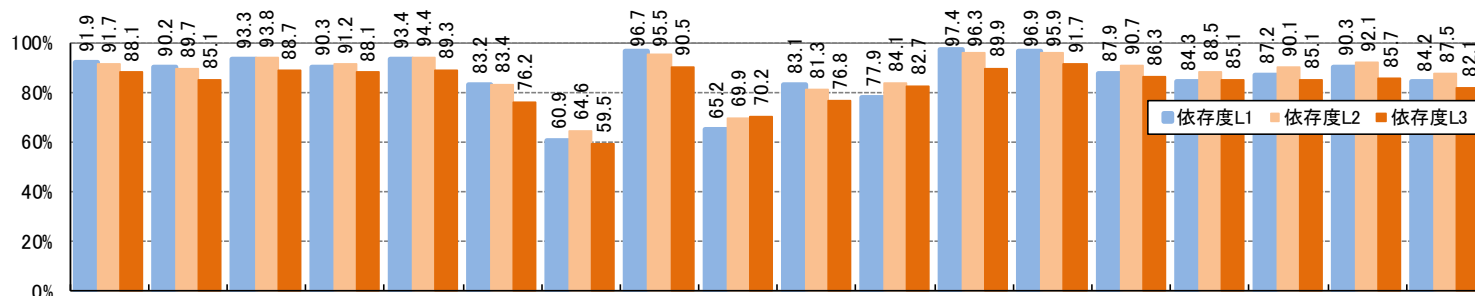
※グレーの項目は、2018年度調査より聴取

# パソコン利用者のインターネット上に漏洩したら困る情報

- インターネット上に漏洩したら困る情報についてみると、ほとんどの依存度レベル、ほとんどの項目において8割超が漏洩したら困ると回答。
- 漏洩したら困る情報でスコアが低い項目は「性別」「職業」「勤務先・通学先」となっている。

\* 2017年は複数回答での設問。

【Q5】次に挙げる情報の中でインターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由として、あてはまるものをすべて選択してください。 2018年は項目毎に理由を聴取し、いずれかの選択肢をチェックした人を合算した値で作表。







	n	メールアドレス	固定電話番号	携帯電話番号	氏名	住所	生年月日	性別	マイナンバー(個人番号)	職業	家族構成(配偶者や子供の有無など)	勤務先・通学先	クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード	金融機関の口座番号	インターネットショッピングの購入履歴	ウェブの検索履歴・閲覧履歴	履歴(現在地・ロケーション)	位置情報(写真やドキュメントなど)	パソコンに保存しているデータ(写真やドキュメントなど)	
全体(2018)	5000	91.7	89.8	93.3	90.6	93.6	83.1	62.1	96.1	67.0	82.2	80.2	96.8	96.4	88.8	85.8	88.1	90.8	85.2	
依存度別	依存度L1	3112	91.9	90.2	93.3	90.3	93.4	83.2	60.9	96.7	65.2	83.1	77.9	97.4	96.9	87.9	84.3	87.2	90.3	84.2
	依存度L2	1720	91.7	89.7	93.8	91.2	94.4	83.4	64.6	95.5	69.9	84.1	96.3	95.9	90.7	88.5	90.1	92.1	87.5	
	依存度L3	168	88.1	85.1	88.7	88.1	89.3	76.2	59.5	90.5	70.2	76.8	82.7	89.9	91.7	86.3	85.1	85.1	85.7	82.1
全体(2017)	5000	64.2	57.3	69.3	72.7	69.5	49.7	25.7	75.5	23.4		39.2	77.8	79.4		24.3	37.6		21.0	
依存度別	依存度L1	2787	65.2	59.3	69.2	72.9	68.7	51.1	25.5	21.7		36.1	80.7	82.5		22.3	36.6		19.6	
	依存度L2	1915	62.3	54.7	69.1	72.2	70.0	47.3	25.3	24.1		41.3	75.0	75.8		25.2	38.1		21.5	
	依存度L3	298	68.1	56.0	71.5	74.2	73.8	53.4	31.2	72.1	35.2	54.7	68.8	73.2		37.6	44.0		30.9	

※グレーの項目は、2018年度調査より聴取

# スマートデバイス利用者の依存度に関する傾向

---

※数表内の網掛け

-  全体値より10ポイント以上高いもの
  -  全体値より5ポイント以上高いもの
  -  全体値より5ポイント以上低いもの
  -  全体値より10ポイント以上低いもの
- 但しn=30未満は除く。  
(以降のページも同様。)

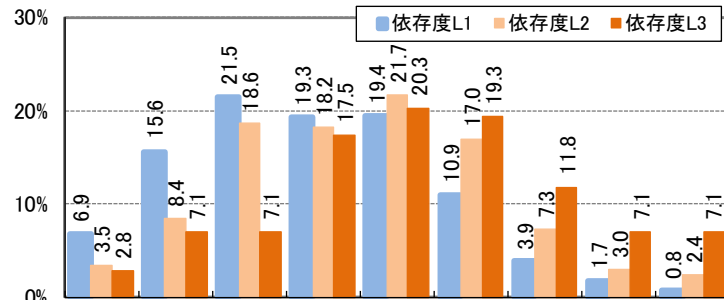
# スマートデバイスでのインターネット利用時間

- 平日、休日ともに【依存度L1】では「30分未満～2時間未満」、【依存度L2】では「2時間～3時間未満」、【依存度L3】では「3時間以上」において、それぞれ他レベルに比べスコアが高い。
- 依存度レベルが高いほど、インターネットの利用時間も長くなっている。

【SC5】あなたは普段プライベートで、当該機器（インターネット）をどのくらい利用していますか。

「平日（仕事や学校等のある日）」と「休日（仕事や学校等のない日）」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。

【平日のスマートフォン利用時間】

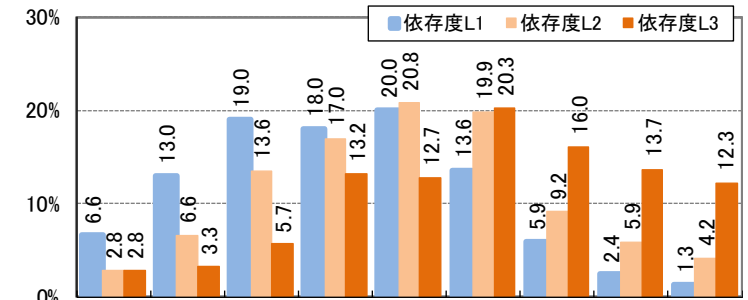


全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上	
全体(2018)	4753	5.4	12.5	19.8	18.8	20.3	13.6	5.5	2.4	1.7
依存度別										
依存度L1	2749	6.9	15.6	21.5	19.3	19.4	10.9	3.9	1.7	0.8
依存度L2	1792	3.5	8.4	18.6	18.2	21.7	17.0	7.3	3.0	2.4
依存度L3	212	2.8	7.1	7.1	17.5	20.3	19.3	11.8	7.1	7.1

\*スマートフォン・タブレットの合計

全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上	
全体(2017)	5000	4.7	13.4	20.8	18.8	20.3	13.9	4.6	1.8	1.8
依存度別										
依存度L1	2843	6.0	16.6	22.9	18.9	19.4	10.9	3.2	1.1	1.0
依存度L2	1856	2.8	9.1	18.8	18.9	21.6	17.9	5.7	2.6	2.5
依存度L3	301	4.3	9.0	13.3	17.6	20.3	16.6	10.6	2.7	5.6

【休日のスマートフォン利用時間】



全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上	
全体(2018)	4753	5.0	10.2	16.3	17.4	20.0	16.3	7.6	4.2	2.9
依存度別										
依存度L1	2749	6.6	13.0	19.0	18.0	20.0	13.6	5.9	2.4	1.3
依存度L2	1792	2.8	6.6	13.6	17.0	20.8	19.9	9.2	5.9	4.2
依存度L3	212	2.8	3.3	5.7	13.2	12.7	20.3	16.0	13.7	12.3

\*スマートフォン・タブレットの合計

全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上	
全体(2017)	5000	4.1	9.2	17.2	17.4	19.8	17.7	8.9	2.9	2.8
依存度別										
依存度L1	2843	5.1	11.4	20.1	19.1	19.9	15.5	5.7	1.7	1.5
依存度L2	1856	2.8	6.4	13.5	15.3	20.5	20.8	12.9	4.1	3.7
依存度L3	301	2.3	6.0	13.3	14.3	14.0	18.9	15.0	6.3	10.0

※2018年度調査より、「スマートフォン」と「タブレット」を分けてインターネット利用時間を聴取

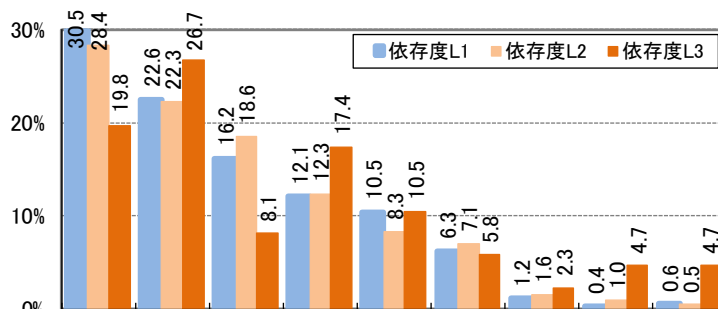
# スマートデバイスでのインターネット利用時間

- 平日、休日ともに「～1時間半未満」がボリュームゾーンとなっている。
- 【依存度L1】と【依存度L2】はほぼ同じスコアの動きがみられるが、【依存度L3】は【依存度L1、L2】とは異なるスコアの動きがみられる。

【SC5】あなたは普段プライベートで、当該機器（インターネット）をどのくらい利用していますか。

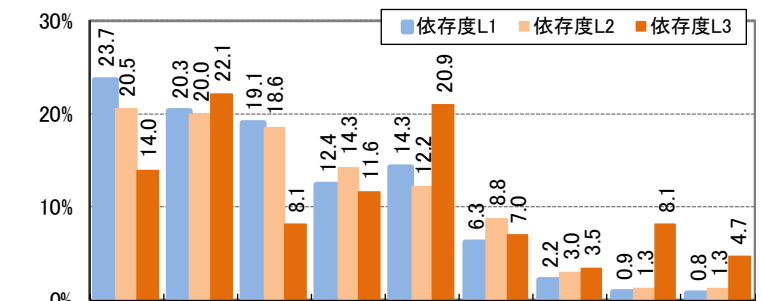
「平日（仕事や学校等のある日）」と「休日（仕事や学校等のない日）」別に、一日あたりのおよその平均利用時間をお答えください。

【平日のタブレット利用時間】



		全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上
依存度別	全体	1827	29.1	22.7	16.6	12.4	9.7	6.5	1.4	0.8	0.8
	依存度L1	1117	30.3	22.6	16.2	12.1	10.5	6.3	1.2	0.4	0.6
	依存度L2	624	28.4	22.3	18.6	12.3	8.3	7.1	1.6	1.0	0.5
	依存度L3	86	19.8	26.7	8.1	17.4	10.5	5.8	2.3	4.7	4.7

【休日のタブレット利用時間】

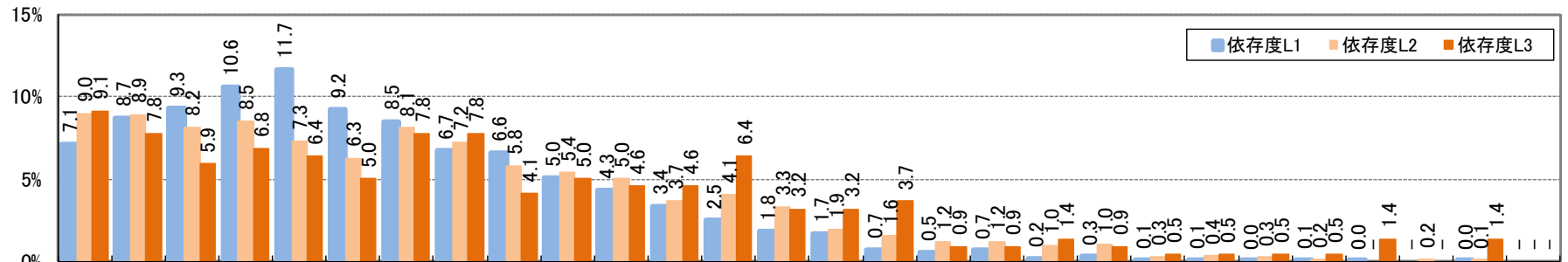


		全体	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間半未満	1時間半～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～5時間未満	5時間～7時間未満	7時間～10時間未満	10時間以上
依存度別	全体	1827	22.2	20.3	18.4	13.0	13.9	7.2	2.6	1.4	1.1
	依存度L1	1117	23.7	20.3	19.1	12.4	14.3	6.3	2.2	0.9	0.8
	依存度L2	624	20.5	20.0	18.6	14.3	12.2	8.8	3.0	1.3	1.3
	依存度L3	86	14.0	22.1	8.1	11.6	20.9	7.0	3.5	8.1	4.7

# スマートデバイスでのサービスの利用個数

- 依存度別に利用サービスの個数をみると、【依存度L1】では「4～6個」がボリュームゾーン。
- 平均個数をみると、依存度レベルが高くなるほど、利用サービスの個数が多くなる。

【Q3】あなたがスマートデバイスでインターネットを利用する際、どのようなウェブサイトやインターネットサービスを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。



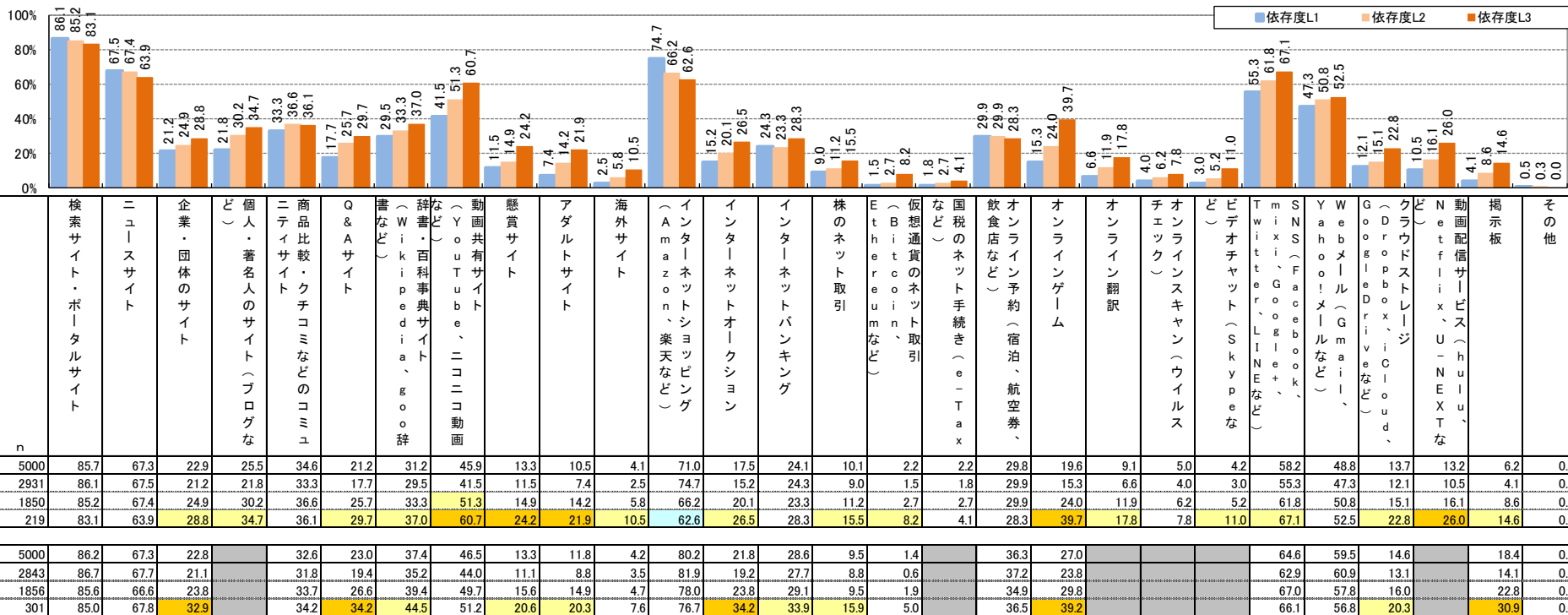
		全体	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	10個	11個	12個	13個	14個	15個	16個	17個	18個	19個	20個	21個	22個	23個	24個	25個	26個	27個	28個	平均(個)	
全体(2018)		5000	7.9	8.7	8.7	9.7	9.8	7.9	8.3	7.0	6.2	5.2	4.6	3.5	3.2	2.4	1.8	1.2	0.8	0.9	0.5	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	7.0
依存度別	依存度L1	2931	7.1	8.7	9.3	10.6	11.7	9.2	8.5	6.7	6.6	5.0	4.3	3.4	2.5	1.8	1.7	0.7	0.5	0.7	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	-	0.0	-	6.5	
	依存度L2	1850	9.0	8.9	8.2	8.5	7.3	6.3	8.1	7.2	5.8	5.4	5.0	3.7	4.1	3.3	1.9	1.6	1.2	1.2	1.0	1.0	0.3	0.4	0.3	0.2	-	0.2	0.1	-	7.5	
	依存度L3	219	9.1	7.8	5.9	6.8	6.4	5.0	7.8	7.8	4.1	5.0	4.6	4.6	6.4	3.2	3.2	3.7	0.9	0.9	1.4	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	1.4	-	1.4	-	8.6	
全体(2017)		5000	6.6	6.1	7.6	9.1	9.6	8.5	8.9	8.1	6.4	6.0	4.7	4.3	3.3	3.0	2.3	1.4	1.1	1.3	0.7	0.4	0.3	0.1	0.1	0.0	-	-	-	-	7.4	
依存度別	依存度L1	2787	6.1	6.5	8.0	10.1	10.7	9.1	9.7	8.1	6.7	5.6	4.5	4.0	3.3	2.6	1.7	0.9	0.8	0.7	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	7.0	
	依存度L2	1915	7.1	5.8	7.3	7.6	8.9	7.6	8.3	7.9	6.2	6.6	5.3	4.5	3.2	3.4	3.1	1.8	1.6	1.9	0.8	0.6	0.3	0.1	0.1	0.1	-	-	-	-	7.8	
	依存度L3	298	8.4	4.7	5.7	9.1	3.0	8.1	6.4	9.7	5.4	6.4	3.0	6.0	3.4	4.7	3.0	3.4	1.3	2.3	3.0	1.0	0.7	0.3	1.0	0.0	-	-	-	-	8.7	



# スマートデバイスでのインターネットの利用用途

- 依存度別に利用サービスをみると、依存度レベルが高くなるほど「動画共有サイト」、「懸賞サイト」、「アダルトサイト」、「オンラインゲーム」、「動画配信サービス」などのエンタメ関連のインターネット利用のスコア差が見られる傾向。

【Q3】あなたがスマートデバイスでインターネットを利用する際、どのようなウェブサイトやインターネットサービスを利用していますか。利用しているものをすべて選択してください。



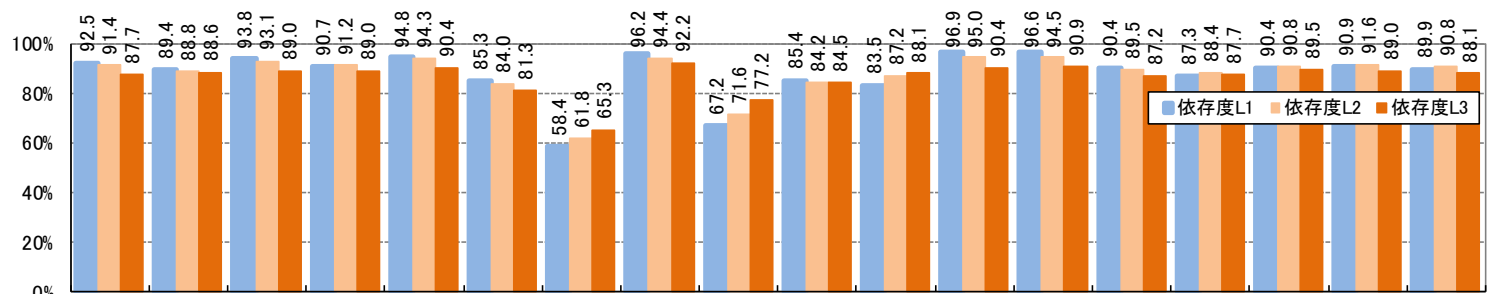
※グレーの項目は、2018年度調査より聴取

# スマートデバイス利用者のインターネット上に漏洩したら困る情報

- インターネット上に漏洩したら困る情報についてみると、ほとんどの依存度レベル、ほとんどの項目において8割超が漏洩したら困ると回答。
- 漏洩したら困る情報でスコアが低い項目は「性別」「職業」となっている。

\* 2017年は複数回答での設問。

【Q5】次に挙げる情報の中でインターネット上に漏えいしたら困る情報とその理由として、あてはまるものをすべて選択してください。 2018年は項目毎に理由を聴取し、いずれかの選択肢をチェックした人を合算した値で作表。



	n	メールアドレス	固定電話番号	携帯電話番号	氏名	住所	生年月日	性別	マイナンバー(個人番号)	職業	家族構成(配偶者や子供の有無など)	勤務先・通学先	クレジットカード番号・使用期限・セキュリティコード	金融機関の口座番号	インターネットショッピングの購入履歴	ウェブの検索履歴・閲覧履歴	位置情報(現在地・ロケーション履歴)	スマートフォンに保存しているデータ(写真やドキュメントなど)	クラウドストレージにアップロードしたデータ(写真やドキュメントなど)
全体(2018)	5000	91.9	89.1	93.3	90.8	94.4	84.6	60.0	95.4	69.3	84.9	85.1	95.9	95.6	90.0	87.7	90.5	91.1	90.1
依存度別	依存度L1	2931	92.5	89.4	93.8	90.7	85.3	58.4	96.2	67.2	85.4	83.5	96.9	96.6	90.4	87.3	90.4	90.9	89.9
	依存度L2	1850	91.4	88.8	93.1	91.2	84.0	61.8	94.4	71.6	84.2	87.2	95.0	94.5	89.5	88.4	90.8	91.6	90.8
	依存度L3	219	87.7	88.6	89.0	89.0	90.4	81.3	65.3	92.2	77.2	84.5	88.1	90.4	90.9	87.2	87.7	89.5	89.0
全体(2017)	5000	74.8	59.9	85.0	80.0	86.2	62.8	33.7	87.1	34.2		58.3	85.1	85.9		33.9	52.3		32.9
依存度別	依存度L1	2843	76.1	61.9	85.9	80.8	64.3	34.7	89.6	34.3		58.1	88.4	88.8		32.2	52.7		32.6
	依存度L2	1856	73.3	56.8	84.1	79.4	61.0	32.3	84.6	34.1		58.6	81.7	83.0		35.4	51.6		33.0
	依存度L3	301	71.8	59.8	81.7	75.7	83.4	59.1	32.9	79.1	34.6		58.5	74.1	76.4		40.9	53.5	

※グレーの項目は、2018年度調査より聴取

# プライベート目的でのスマートデバイスの利用場所・シーン

- 依存度別にみると、【依存度L3】が相対的にスコアが高い項目が多く、利用場所・シーンが多岐にわたっている様子がうかがえ、【依存度L2】がそれに続く。
- 【依存度L3】では2割が「入浴中」にもスマートデバイスを日常的に利用している。

【Q25】プライベート目的でスマートデバイスを日常的に利用している場所やシーンについて、あてはまるものをすべて選択してください。

